

14. 2□-315 14.2□
315



始



年一十和能

鑑幸品粧化物間小

貨雜品藥

に界世

きな類比

料粧化ンモルホ

若返り化粧水

クラブ乳液

クラブ美身クリーム

若返りクリーム

クラブ美身クリーム

クラブ白粉

ンシビブラク

粉洗ブラク

歯を白く強くする

クラブ歯磨

煉・半煉

専賣特許
綜合ホルモン含

専賣特許
強度ホルモン
隣腺酵素含

専賣特許
綜合ホルモン含

専賣特許
綜合ホルモン
隣腺酵素含



ホルモン化粧料

歯を白く強くする



クラブ白粉

専賣特許
綜合ホルモン含有

薬用

若返りクリーム

クラブ美身クリーム

専賣特許
綜合ホルモン含有

専賣特許
強度ホルモン
腺臓酵素含有

若返り化粧水



専賣特許
綜合ホルモン含有
腺臓酵素

クリーム
白粉

地肌を
美しくする

煉・半煉



昭和十一年

小間物化粧品鑑

附藥品・雜貨



千代田ポマ

日本最高基準品

連鎖整髮料・千代田

千代田沙尼亞芬
千代田托尼特

純椿千代田香油

千代田波馬



千代田整髮料本舖

株式會社千代田山岸商店

東京市豐島區池袋一丁目七八六・電話大塚(86)二〇三〇番

序

小間物化粧品年鑑は、一に亦これを「業界年鑑」と言ふ。蓋し複雑多岐なる全業界の機構並びにその發展諸相を調整して、これを體系的に取扱へる業界最初の文献にして且つ近代産業の重要部門を占むる業界の變遷、消長の姿を明確に把握しその現有勢力を一目の下に知らしめむとするには、唯僅かに此の一冊に倚るの外なき業界唯一の記録たるに因るものである。則ち昭和九年一月一日、わが社がはじめてその出版を敢行してより、こゝに漸く三年に過ぎざるも、業界の興隆、同業の繁榮に貢獻する文化事業として、業界の待望、一にこゝに鍾まるに至れる所以である。

然るにその編纂の容易ならざる、寔に一朝一夕の業に非ずして、われ等の理想に到達するには、前途尙遼遠の感なき能はざるも、その難きに就けるは、固よりわれ等の自ら選べる處の路にして、機關新聞としての使命に忠なるが爲めには、如何なる犠牲努力をも惜まざる處にわが社四十年の傳統的精神があり、行うて成らざるなしの信念がある。況や、絶大なる業界の支持後援は、此の事業をして愈々完成の域に進ましめ今や寧ろ一商報社の年鑑と言はむよりは、全同業の協力に待つ可き全業界の年鑑たるに至らしめ、随つて今十一年版の如きは、その協力の現はるゝ處、一段の精彩とともに一層の堅實味をその内容に加ふるを得、以て漸く年鑑としての定型に近きものを得るに至れるは、われ等の感激措く能はざる處である。

昭和十一年一月一日

東京小間物化粧品商報社

本調査の目的は、小問物の生産額を調査し、その増減を明らかにし、その原因を究明し、その対策を講ずることにあり、その結果を公表せしめ、関係各機関に供し、その参考と爲すことである。本調査は、昭和十一年版の調査結果を基として、昭和十二年版の調査結果を比較し、その増減を明らかにし、その原因を究明し、その対策を講ずることにあり、その結果を公表せしめ、関係各機関に供し、その参考と爲すことである。

緒言

一、業界年鑑昭和十一年版は、大體昨年の編輯體系に則れるも、その部門には一二の改正を加へ、「資料・統計」の一項目を削除して左の十四部門とした。

- 業界一年史 組合・團體 生産・販賣 商品・商店 廣告・宣傳 海外業界 博覽會・見本市 清遊・觀察 美容・流行 法規・法令 人事・人物 業界便覽 附業・藥品 資料・統計 資料・統計を削除したのは、統計は各部門、その必要に應じてこれを掲載しあるを以て別に「統計」の一項目を設くるの要なく、資料もまたこれを「便覽」に加ふることを以て適切と考へたからである。

一、全然削除したものに「賣部外品」がある。部外品は近來殊にその種類を増加せる爲めに、一々これを列挙するに堪へざるものあるのみならず、その容器被包には、取替規則によりて「賣部外品」と明記しあるにより、他の化粧品とは識別容易にして、特にこれを區別する必要なしと認めたるに因るものである。

- 一、「清遊・旅行」中の「全國旅館案内」「業界便覽」中の「郵便・電信・爲替・鐵道案内」等々の如き一般的のものは、これを削除することにした。
- 一、「前年版の「資料・統計」中に掲げたる「商標・實用新案・意匠・特許」等に関する統計はこれを「業界便覽」中に移すと同時に、その「月計表」の如きは「年表」に改め、簡潔を旨とすることにした。
- 一、「法規・法令」に関しては、その部門の前書に説明を加へてあるから、参照せられ度い。
- 一、今年新たに試みたものとしては、各部門毎に努めて「日記」を附することにしたことである。これはその各部門に於ける主力記事と對照して一年間の経過を明らかにせむとせるの用意に外ならない。
- 一、全國各地に於ける業界組合、商報社、商工會議所、各團體、各商店等々に照會を發してその調査を依頼したるものを加へ、「貨物雜貨」に於ける視野をも擴げ、從來の商品の外に「懷爐」及び「ハイトリ紙」等を加へた。

或ひはその回答を求めたるもの、調査方法乃至基準は左の通りである。

- ①「業界職員録」 六大都市の著名商店の外に、今年はその地方の分をも若干加へることとしたのは、漸次その範圍を擴めて全國的のものとなす準備工作である。
- ②「業界人名辭典」 全國主要都市に於ける業界有力店の店主、重役、支配人、部長級、東京組合員、各地商報主幹及び幹部社員等々にして、總て照會に對して回答ありたる分のみを登載、昨年掲載の分と雖も、回答なきものはこれを掲載しない。
- ③「工場一覽」 全國著名の製造本舖及び東京組合員。但、使用職工十名以上の制限を附したことは去年と同じである。
- ④「出張員一覽」 職員録と同一の原則による。
- ⑤「全國組合一覽」 全國の各組合に對して直接照會を發せるの外、各主要都市に於ける商工會議所、人口一萬以上の町役場に依頼して調査したものである。
- ⑥「商業組合」「工業組合」 商工省の調査に據る。
- ⑦「業界の諸團體」 全國各地の組合及び商報社に依頼したものを基準とした。
- 一、「生産販賣統計」は東京及び大阪の各組合調査のもの、その他の統計は國家及びそれ以外の當該團體より公表せられたるものにして、その出所に就いては何れも一々明記してある。

一、調査の年月に就いてもこれ又、それぞれの項目に明記してあるから、一々これを列挙するの煩を避ける。

- 一、人名配列の順序は一切五十音順を用ひ、府縣の順序は内務省慣用の行政區劃順に據らずして地理的標準によれるは、前年と同一である。
- 一、「業業・藥品」及び「貨物・雜貨」はその調査尚ほ完からずして、甚だ粗雑を極め、且つ今年も亦、多くの頁を削減し得ざりしも、漸次その完成を期す可きは言ふまでもない。
- 一、「海外」に関しては、在外商務官、貿易通信員等に對して調査の依頼を發したるも、期日までにその回答を得る能はざりしもの多く、今年もその充實を期し得なかつたのは遺憾に堪へない。
- 一、十一年版編纂に際して資料、談話を與へ、又その助力助言を與へられたる業界各商店をはじめ、左記各方面の援助に對しては、厚く感謝の意を表し度い。
- 内務省、商工省、大藏省、外務省、警視廳、特許局、統計局、東京府商工課、府立商工獎勵館、東京及び全國商工會議所、實業組合聯合會、滿洲輸入組合、日本産業協會、各地業界組合、商報社、東京朝日新聞

昭和十年版 小間物化粧品年鑑目次

序

緒言

業界一年史

生産・販賣

商品・商店

廣告・宣傳

昭和十年の業界回顧……………一
 商工大衆運動……………二
 小賣店の諸問題……………三
 帝都業界の問題……………七
 問屋の合同強化……………八
 滿洲國關稅問題……………一〇
 貴石關稅の撤廢……………二
 鉛白問題の終焉……………三
 化粧品課稅問題……………三
 組合・團體……………三
 組合中心の業界情勢……………三
 同業組合・商業組合・工業組合府縣別一覽表……………六
 全國組合一年史……………九
 組合中心の諸問題……………三
 輸出組合の現勢……………三
 全國業界組合一覽……………三
 組合役員選舉……………三
 全國商業組合一覽……………三
 全國工業組合一覽……………三
 輸出組合一覽……………三

機關新聞一覽……………一
 全國業界の諸團體……………一
 全國商工會議所職員一覽……………一
 商報社的一年……………一
 昭和十年の販賣界概觀……………一
 最近十年業界品生産統計……………一
 販賣市場の一年……………一
 取引制度改正……………一
 化粧品小間物製造販賣高 東京……………一
 昭和十年特賣一覽……………一
 化粧品製造販賣高 大阪……………一
 化粧品製造數量價格 東京……………一
 石鹼製造數量價格 大阪……………一
 石鹼卸賣業者の販賣數量價格 大阪……………一
 新製品一覽……………一
 値段改正一覽……………一
 昭和十年業界商品史……………一
 化粧石鹼界の一年……………一
 洗濯石鹼界の一年……………一
 齒磨界の一年……………一
 白粉製造界の一年……………一
 クリーム的一年 ①……………一
 クリーム的一年 ②……………一

ポマードの一年……………一
 香水界の一年……………一
 香油界の一年……………一
 化粧水界の一年……………一
 シヤムプーの一年……………一
 香料界の一年……………一
 頭飾・服飾品の一年……………一
 裝身具界の一年……………一
 洋裝雜貨の一年……………一
 小間物雜貨の一年……………一
 袋物界の一年……………一
 醫形界の一年……………一
 硬化油界の一年……………一
 顏料界の一年……………一
 セロイドの一年……………一
 商店一年史……………一
 商店日記……………一
 藥界工場一覽……………一
 地方出張員一覽……………一
 四十年前の商品……………一
 廣告界の諸問題……………一
 昭和十年の業界宣傳廣告……………一
 化粧品の新聞廣告……………一
 化粧品の雜誌廣告……………一
 三大婦人雜誌化粧品廣告統計表……………一
 歐米の廣告變遷史小觀……………一
 懸賞又は景品附販賣の方法……………一
 昭和十年に於ける各本舖の廣告宣傳一覽……………一

目次

一

海外貿易・海外業界

- A・愛用者に対する廣告宣傳……………一〇一
- B・販賣店に対する廣告宣傳……………一〇二
- 業界關係廣告團體……………一〇三
- 昭和十年中業界新聞廣告品種別行數表……………一〇四
- 廣告宣傳日記……………一〇五
- 業界品の國際化運動……………一〇六
- 業界品の海外進出……………一〇七
- 海外各國在留本邦人數……………一〇八
- 輸出取引の仕方……………一〇九
- 海外主要商工會議所一覽……………一一〇
- 石鹼輸出高……………一一一
- 輸入香粧品の現勢……………一一二
- 主要業界品貿易國別表……………一一三
- 世界のセロイド工業……………一一四
- 世界のゴム工業……………一一五
- 和蘭の石鹼生産高……………一一六
- 世界の香料界……………一一七
- 本邦香料輸入統計……………一一八
- 業界品輸出入年表……………一一九
- 世界の有名香粧品製造會社一覽……………一二〇
- 米國の石鹼生産高……………一二一
- 各國別貿易額一覽表……………一二二
- 海外日本商品陳列所及日本商品館一覽表……………一二三
- 貿易通信員アドレス一覽……………一二四
- 海外日本人商工會議所……………一二五
- 府立東京商工獎勵館海外駐在員……………一二六
- 大阪府立貿易館海外駐在員……………一二七
- 各國貨幣一覽……………一二八

美容・服飾・流行

- 流行の近代的傾向……………一三〇
- 昭和十年の流行界回顧……………一三一
- 美容界の問題……………一三二
- 昭和十年の美容を語る……………一三三
- 女子美容術組合一覽……………一三四
- 東都美容家一覽……………一三五

法規・法令

- 重要物產同業組合法……………一三六
- 重要物產同業組合法施行規則……………一三七
- 重要物產同業組合法第十條の四第三項の規定に依る重要輸出品の種類……………一三八
- 重要物產同業組合及同聯合會の取扱に關する件……………一三九
- 同業組合規則……………一四〇
- 賣藥部外品取銷規則……………一四一
- 賣藥部外品取銷規則施行細則……………一四二
- 化粧品取銷規則……………一四三
- 化粧品取銷規則施行細則……………一四四
- 含鉛白粉禁止法令……………一四五
- 懸賞抽籤附販賣取銷規則……………一四六
- 毒物劇物營業取銷規則改正……………一四七
- 藥種藥劑毒劇物營業試驗手数料改正……………一四八
- 廣告物取銷法……………一四九
- 廣告物取銷法施行規則……………一五〇
- 美容術營業取銷規則……………一五一
- 美容術營業取銷規則施行細則……………一五二
- 商品券取銷法……………一五三
- 人事・人物……………一五四
- 業界職員錄……………一五五

博覽會・展覽會・見本市

- 滿洲の業界製造業……………一六〇
- 滿洲への携帶見本……………一六一
- 東京市產業局鮮滿支駐在員……………一六二
- 滿洲輸入組合……………一六三
- 滿洲國特許法……………一六四
- 滿洲の面積人口……………一六五
- 本邦博覽會の沿革……………一六六
- 日本萬國博覽會……………一六七
- 内外主要博覽會一覽……………一六八
- 日本萬國博覽會の使命……………一六九
- 本邦參加の外國博覽會……………一七〇
- 萬國博覽會設計畫……………一七一
- 東京商品見本市出品及招待者數……………一七二
- 見本市の沿革……………一七三
- 昭和十年の博覽會展覽會見本市……………一七四
- 海外見本市……………一七五

視察・清遊・旅行

- 業界清遊觀劇總覽……………一七六
- 清遊觀劇日記……………一七七
- 清遊觀劇一覽……………一七八
- ハイキング・コース……………一七九
- 清遊地方別表……………一八〇
- 劇場別觀劇表……………一八一
- 觀光ニュース……………一八二
- 團體的清遊……………一八三
- クイボン旅行……………一八四
- 旅行の相談……………一八五

荒物・雜貨

- 昭和十年の荒物界……………一八六
- 線香……………一八七
- 燭……………一八八
- 蠟……………一八九
- 東子……………一九〇
- 布海苔……………一九一
- 懷爐・懷爐灰……………一九二
- 市場の一年……………一九三
- 荒物組合……………一九四
- 荒物關係本舖一覽……………一九五
- 荒物界の諸團體……………一九六
- 荒物界島嶼……………一九七

業界便覽

- 業界關係の諸眉書式……………一九八
- 商標意匠特許實用新案出願登錄數……………一九九
- 業界の著作及出版物……………二〇〇
- 商標出願登錄總數……………二〇一
- 意匠出願登錄總數……………二〇二
- 特許出願登錄總數……………二〇三
- 實用新案出願登錄總數……………二〇四
- ホルモンの話……………二〇五
- 景品券の心得……………二〇六
- 愛用者懸賞募集の取締……………二〇七
- 鐵道運送規則改正……………二〇八
- 商品見本の證明書不要……………二〇九
- 入造麝香貴石關稅の改正……………二一〇
- 商工指導機關……………二一一
- 東京小間物化粧品商社案内……………二一二

小間物化粧品
年鑑廣告索引

(ヨリは)

特別面
レイト化粧品 真見 中山太陽堂
クラア化粧品 真見 久保 政吉商店
ウテナ化粧品 真見 千代田山岸商店
千代田整髪料 真見

あづ、美髪料
オンドリ梅香油
香料
メヌマホマード
御園化粧品
イロヤンヤンブー
各種帽子問屋
忠勇ハアラシ
石鹸器製造
お染梅香油
石鹸製造
サロシ化粧品
ドン 白粉
あづま卵甲
ルイア化粧品
ハリウッド化粧品
コールドリアン
コムバクト紅粧貨物
ホワイトオイル
香料
ツートリ化粧品
化粧瓶製造
龜の子東子

化粧品卸商
石鹸製造
ホーカール石鹸
エンゼル石鹸
婚禮頭飾品
化粧品卸商
パフボット
化粧品原料
婦人小間物問屋
マレー安全剃刀
商刷子雜貨卸商
あせ知らず
ヨリガル化粧品
理容化粧品
ラブミー化粧品
大島 椿
香料
美容素化粧品
伊豆梅美髮料
化粧品卸商
袋物製造
メザマシ化粧品
ローレル化粧品
ママーフラスター
コタイ化粧品
松竹石鹸
セルロイド製品
化粧品問屋
子供服エプロン卸商
頭飾品小間物
カガシ化粧品
花王石鹸
化粧パフ製造

日進堂 二八
日本火災保險株式會社 二四
芳誠合石鹸製造所 七
ホーカール石鹸製造所 七
殿井商店 二二
時田商店頭飾部 二二
東京堂株式會社 二二
東京火災保險株式會社 二四
東洋美術工業所 二四
東 商店 二八
飛川商店 二八
富森商店 二八
島田商店 二八
徳永保之助商店 二八
リールガル商會 二八
理容館 二八
眞住商店 二八
大島梅製油所 二八
小川商店 二八
小川東一郎商店 二八
大觀 彩芳園 二八
大山勇次郎商店 二八
大崎屋本店 二八
大野金城堂 二八
太田榮治郎商店 二八
大木合名會社 二八
岡本信太郎商店 二八
奥山石鹸工場 二八
荻村龜太郎商店 二八
藤田盛眞堂 二八
渡邊商店 二八
若松屋支店 二八
カガシ化粧品本舖 二八
花王石鹸長瀬商會 二八
河合商店 二八

化粧瓶
ジャンパーズボン卸商
キヨス化粧品
スチールマン
喫煙具一式
婦人小間物卸商
頭飾品小間物卸商
ニード洗粉
中外化粧品卸商
國産カツビ化粧品
アイデアル化粧品
香料
化粧品卸商
藥品化粧品問屋
ヨウモトニツク
ナンパワロン洗粉
香料
相馬石鹸
月の友五百番香水
文房具筆墨問屋
金鶴石鹸
數島香
鶴之卵石鹸
化粧品卸商
菊牡丹紋取線香
線香問屋
荒物問屋
小間物雜貨卸商
ライオン洗濯石鹸
ライオン白粉
ボツペロコムバクト
化粧品問屋
鏡問屋

益屋商店 二八
川口善朗商店 二八
川野立志堂 二八
河田商會 二八
金井五郎兵衛 二八
關東 二八
吉川伊三商店 二八
吉村安太郎商店 二八
田中善株式會社 二八
田中花王堂 二八
田端豐香閣 二八
高橋東洋堂 二八
高砂香料株式會社 二八
高橋 錦治商店 二八
玉置合名會社 二八
泰昌製藥株式會社 二八
第一藥院化粧品部 二八
會田政治商店 二八
相馬帝國社 二八
月の友化粧園 二八
堤 商店 二八
鶴屋商店 二八
津川安正堂 二八
鶴之卵石鹸本舖 二八
塚田合名會社 二八
中造玉初堂 二八
中村茂八商店 二八
中津屋本店 二八
ライオン石鹸株式會社 二八
ラモナー美粧園 二八
蘭 月 會 二八
村岸商店 二八
村田繁治郎商店 二八
村山勳商店 二八

クモ印美髮料
貴金屬小間物卸商
化粧品卸商
モダンシヤンブー
ラノリンコールドクリーム
透明久能木石鹸
髮髻形問屋
柳屋ホマード
小柳スマート髮洗粉
太陽印粉石鹸
カールタイ
化粧品卸商
君が代
レツテルペーパー
ピクトリ十月経帯
ピタオール
化粧品問屋
ミツワ石鹸
小間物裝身具卸商
丸善ペーパー
和洋結髪用品
銀冠ケース
透清エキス、カミノ
ミモザ化粧品
化粧品原料
ピラウラ
ランランゴマード
レンジツ石鹸
ぼたん園髮洗粉
ライオン齒磨
レコード石鹸
ゴサマーヘナネット
香料
かもしじから製造
線香荒物問屋
香料

ウエルス商會 二八
野澤屋商店 二八
系原花生堂 二八
葛原工業所 二八
クレー木本所 二八
久龍水木店 二八
ヤマキ商會 二八
柳屋本商店 二八
柳屋吉商店 二八
柳屋恒吉商店 二八
柳下化粧品株式會社 二八
山吉商店 二八
山田進歩堂 二八
大和ゴム製作所 二八
松浦商店香粧品部 二八
松井誠支店 二八
丸見屋商店 二八
万新商店 二八
丸善洋物卸部 二八
丸治商店 二八
丸新 二八
正木屋商店 二八
増澤化粧品部 二八
松本伊兵衛商店 二八
啓芳堂 二八
福田商店 二八
福井屋商店 二八
藤井ばたん園 二八
小林商店 二八
合同油脂株式會社 二八
ゴサマー本舖 二八
小林健次郎商店 二八
小町屋商店 二八
小森敬三商店 二八
小林安太郎商店 二八

ミハル化粧品
小間物雜貨卸商
荒物海草乾物問屋
紙函製造
香料
メトロン月経帯
ヘチマコロン
オリガナル化粧品
アテカ洗石鹸
婦人小間物問屋
たばこ石鹸
マイスキ
タイラシ髮洗粉
亞鉛筆
流線型石鹸
手すりホン卸商
化粧品石鹸問屋
婦人小間物問屋
百万串髮洗粉
ウツマキ石鹸
糸針雜貨卸
化粧品問屋
金鶴香水
ユニオン香水
パイム洗粉
頭飾品裝身具雜貨卸商
香料
玉からす
クロバレーモンクリーム
麗人化粧品
化粧品原料
セルロイド生地
手柄リボン卸商

後藤清太郎商店 二八
後町前一商店 二八
駒木銀三郎商店 二八
興徳社 二八
永廣堂 二八
遠藤香料店 二八
チロシ商會 二八
天野源七商店 二八
安藤井筒堂 二八
旭電工業株式會社 二八
阿部鏡商店 二八
三共株式會社 二八
三友商會 二八
澤化學工業株式會社 二八
齋藤流明會 二八
眞田佳一商店 二八
木屋芳兵衛本店 二八
木下商店 二八
木下商店 二八
近磯商店 二八
近利商店 二八
金美堂本店 二八
金鶴香水株式會社 二八
協和會 二八
ユニオン商店 二八
明治火災保險株式會社 二八
宮本庄七商店 二八
宮坂商店 二八
三好梅壽堂 二八
三葉商會 二八
三原助九期商店 二八
三和以字壽商店 二八
三浦實治商店 二八
三浦啓司商店 二八

庄慶香油
ホルモリン
マヌー化粧品
香料
ライオンインキ
アダムマウスイ鏡
小間物雜貨卸商
セルロイド掃製造
カンフオレット
黄揚糖製造
オカツ化粧品
タマゴシヤンブー
モンココクリム
美顔化粧品
小間物化粧品問屋
婦人小間物問屋
天狗印メリヤス
仁丹 齒磨
仁丹の鹽泉
荒物問屋
シカレットケース製造
小間物雜貨問屋
マイククリム
化粧品器製造
レモン石鹸
裁縫用品雜貨問屋
菊水髮洗粉
アモンパヤ
手藝材料一式
萬人向オビハサミ
ウテナミセルアイロン

庄慶商店 二八
資生堂 二八
尚美堂 二八
藤崎四郎商店 二八
藤崎イニキ製造株式會社 二八
藤崎香料株式會社 二八
堀野アダム園 二八
志村邦造商店 二八
清水美一郎商店 二八
植和理化學工業所 二八
十三屋糖店 二八
美香園 二八
モシココ洗粉本舖 二八
桃谷順天館 二八
森本本店 二八
森本支店 二八
森田商會 二八
森下商店 二八
同 二八
森大商店 二八
森留藏商店 二八
森末商店 二八
守屋合名會社 二八
セネラル金屬製作所 二八
成和商會 二八
關口次朗商店 二八
洗光堂 二八
杉田商店 二八
須田商店 二八
鈴木兄弟商會 二八
鈴木アイロン製作所 二八

註：...はグラフィアの略

ライオン歯磨

ライオン歯磨は
此の故に江湖の
御愛用を辱らす

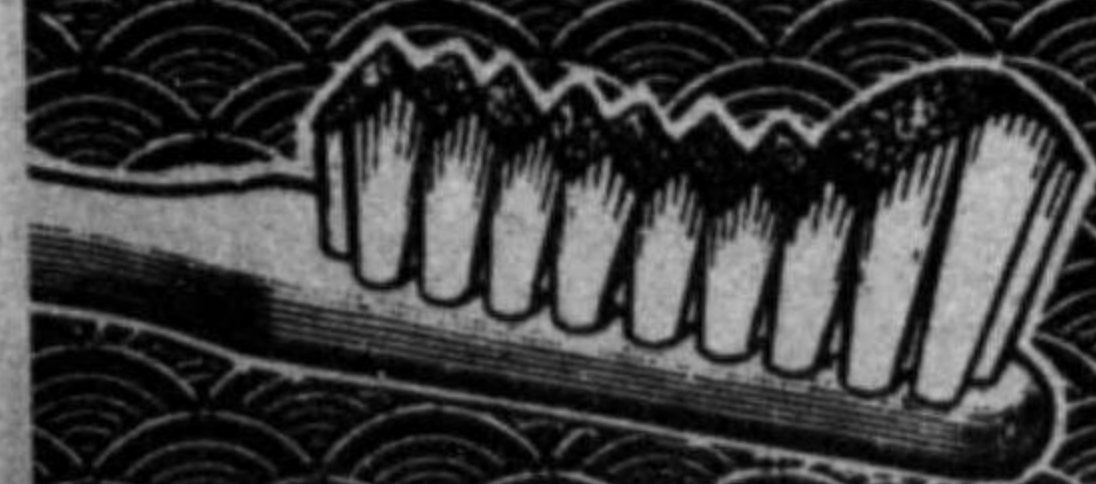
- 一、四十有餘年の經驗
- 一、熟達無比の技術

- 一、厳選されたる原料
- 一、最も優秀なる香味料
- 一、大量製産に基く最廉價

ライオン歯磨本舗

株式會社 小林商店

東京・大阪・名古屋



美を創る
若さとの朗明の自然美



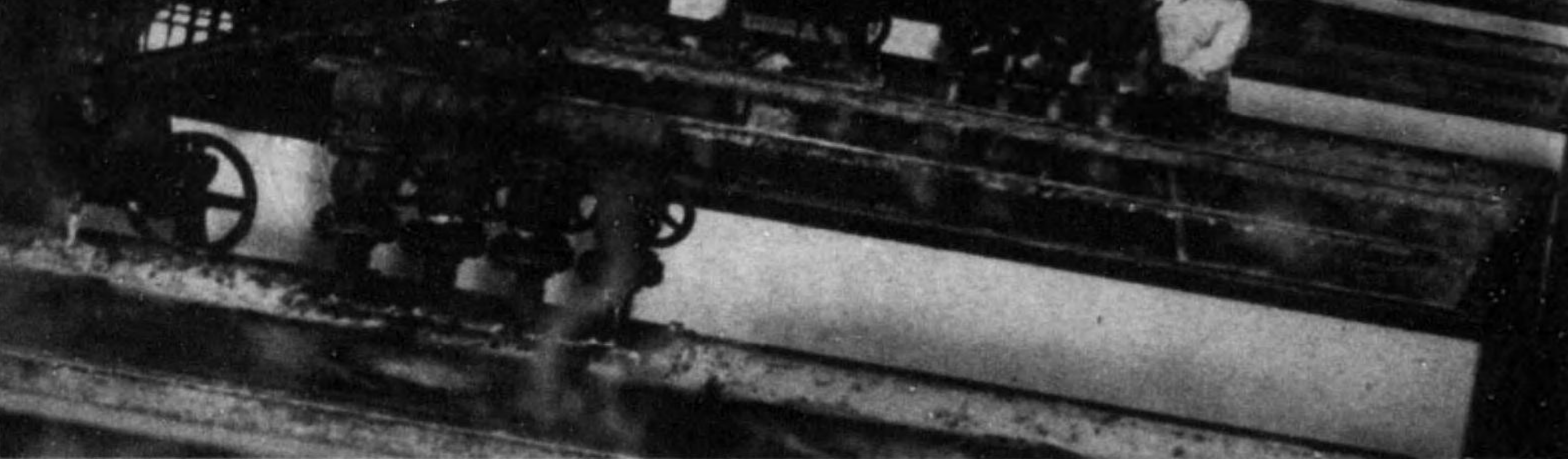
ヘチマコロン

貴下の商戦の
第一陣には…
聲價益々高き
ヘチマコロンを
ヘチマクリームを
常にお忘れなく！



本舗 天野源七商店
東京日本橋區横山町

會商瀨長社



トーパ王花・オープンヤシ王

鹼石粉王花・ムーホ用一ザ

ンリセリグ星月・オープンヤシムーリ



支店 大阪 市西區 立賣堀北通一丁目
 出張所 朝鮮 京城 府永樂町二丁目
 出張所 滿洲 國奉天 小西門外電車路二九七
 工場 東京 市向島區 吾端町一丁目

會商瀨長社

地番一丁目二町

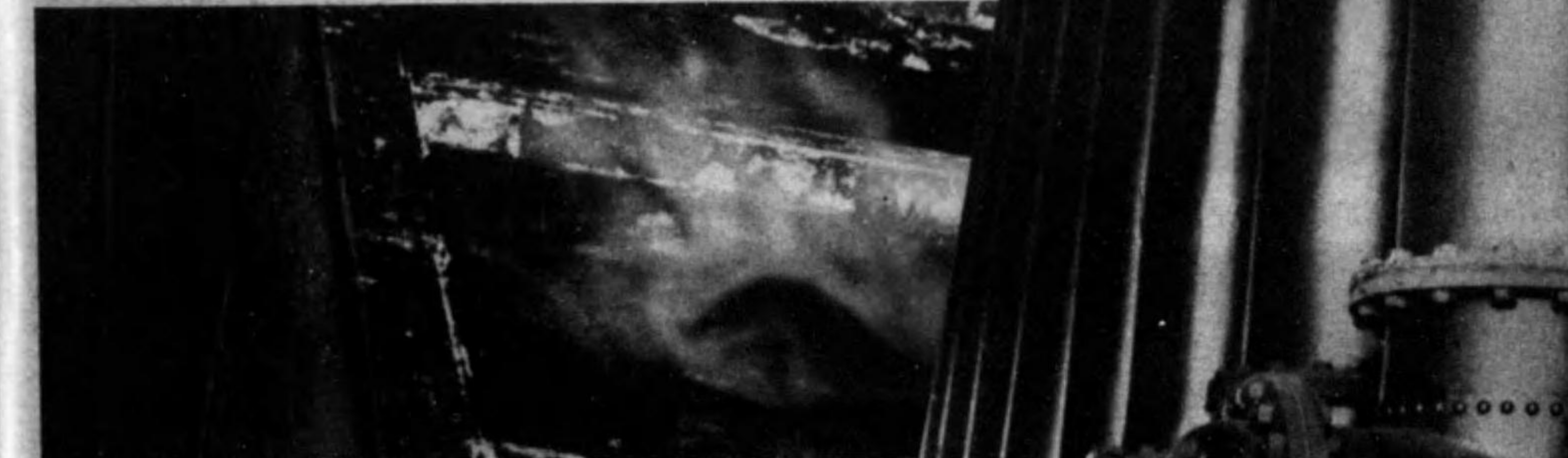
式株鹼石王花



花・鹼石王花

庭家・ズービんせ粒小 鹼石くた

ク月星・鹼石水王花



會式株鹼石王花

喰馬區橋本市京東

業界一年史

昭和十年の業界回顧

一九三五年、非常時日本の経済線上に、多端なその一年を送つたわが業界も又、非常時の連続であつたと言へるであらう。業界に於ける最近の中心話題たるかの感さへある東京の販賣市場は、昭和十年を迎ふるも、依然として無統制状態を續け、苛烈なる濫賣競争は聊かも緩和されずして弱體業者の整理相違の傾向、一度び現はれ来るや、市場真正の運動は漸く熱烈、眞鍮を極め、健全業界の建設を目指して邁進せむとする同業者の強き意圖及びその協力は、大いに業界の期待に値ひするものであつた。

帝都に於ける販賣市場が、斯くの如き情勢下に置かるゝや、問屋界の分解作用は勢ひの免かれざる處であるとともに其處に新勢力の出現を見ることも又、當然の成行きであつた。即ち問屋合同の傾向は、業界をして漸次、強化の一途を辿らしむるに最も力ある一つの現象であつたと言へるであらう。

豫算編成期に入らば、殆ど恒例の如く、業界の神経を尖鋭化せしむるものに化粧品課税問題がある。然し昨年は遂に何等表面化することなくして済み、これが對應工作を必要としなかつたことは一應業界の慶幸に値ひするに似たるも固よりこれを以つて遽かに樂觀す可きに非ざるは言ふまでもなく、或ひは國防豫算の發展に伴ひ、如何なる新現象が生じないとも言ひ切れないであらう。

多年懸案の問題にして昨年中にその解決を見たるは、たゞ貴石關稅改正問題あるのみにして、同業者の努力がその運動を起してより僅々一年にしてよく此の成果を贏ち得たるは、正に一成功と稱す可く、これに反して苦闘連年、今尙酬いられずして容易にその目的を達し得ざるものに香料十割關稅及び滿洲國輸入關稅の低下問題がある。その要項の容れらるゝは果して何の日か、今の處殆どその見通しのつかないのは心外といふの外はない。一年間の猶豫期限を附して同業者の善處に委してあつた含鉛白粉の問題は、昨年限りの期間満了とともに絶対に禁止されたわけであるから、今後はたゞ販賣店の注意を要するに止まるであらう。

昭和十年に於ける商工大衆の團體運動としては、同業組合の強化運動、商工中央金庫設立促進運動、商權擁護運動等を以つてその主力的なものと思ふことが出来るであらう。即ち農村通重の傳統的的政策——就中産業組合に對する保護助長及びその強大化政策により、中小商工業者の蒙る壓迫は、洵に深刻を極め、その打撃いよ／＼激甚を加へ、動もすればその生存權をすらも奪はれむとするの危機に瀕するに至るや、その生きる道を求めて起ち、遂に大衆の力を發揮するに至れるは、常に歴眼を蒙るものゝ必然の勢ひである。要するに昨年に於ける團體運動は、何れもその前年、若くはそれ以前よりの組織的のものにして且つその成果は一朝にして收め得可き性質のものには非ずとするも、よく中小商工業者の總意を反映するに、略遺憾なき努力が試みられたものと斷じて可からう。

思ふに昭和十年の業界は、多事多端を極め、時には市場の情勢甚だ急迫を告げむとするものさへあるかに見えたるも當業者の努力はよくその危機を乗り越えて市場の調整を保ち、その間頗りに行はれたる代辦作用は、却つて業界の肅正を授け、下半年に入るに及び一層その明瞭さを帯び來れるが如く、年末に臨むも、その前年に體驗したるが如き暗慘、憂鬱の氣分を感じしめなかつたのは、業界の更生、或ひは漸くにして近づけるを物語るものであらう。

佳絶香芳

庄慶美髮料

的覺感新

品粧化ルーノピ



店商慶庄 社會式株舖本
 幌札・臺仙・京東

- 庄慶香油
- 庄慶ボマード
- 庄慶露出香油
- 庄慶檀香油
- 庄慶シャンプー
- ピノール香油
- ピノールクリーム
- ピノール粉白粉

例言

一、業界一年史は、過去一年間に起れる業界の諸問題中、その主要なるもののみを問題別に取扱ひ、以て業界の趨勢及びその、動向を知るに備へむとしたものである。

商工大衆運動

① 同業組合強化運動

昭和九年の秋、第二回全国商工同業組合大会が、大阪に開かれたことは、今尙業者の記憶に新たる處であらう。

縣の實行委員三十六名は、東京實業組合聯合會に召集、委員長中山太一氏を先頭として商工省を訪問

而して第二次官民懇談會は、それより日を閉みすること半歳、七月五日、中山委員長以下十一代表は東京會館に商工省の勝、吉野兩次官、高橋參事、村瀬商務、岸工務の兩局長、大島商務、牧工務課長等と會見、左記の同業組合強化原案を中心として双方隔意なき意見の交換を行ひたる處、大體兩者の意見の一致を見るに至つた。

一、商工組合關係法規の綜合的改正並びに運用に關する要案

同業組合法、商業組合法、輸出組合法並びにその附屬法規を改正するとともに運用上、更らに遺憾なきを期し同業組合を中心として各種組合の圓滿なる連携と協力團結により、商工業の中樞機關たる機能を完全に發揮せしむることを要す

一、重要物産同業組合法中改正事項の件

一、前項の營業者はその組合より加入の通知を受けたる日よりその組合員とす

限、組合の營業に關する諸般の統制を行ふことを得

一、同業組合の經營及び過剰金の徴收は國稅徵收法に準據し得る規定を設くること

以上は法規上の關係もあり、即時その實現を見る可き性質のものには非ざるも、然かもその大會要望の決議事項が、何れも適切妥當にして且つその陳情實行運動が、排他的或は示威的行動に互るを避け、飽くまでも穩健公正の態度を以つて終始したるは、關係當局に好感を與へ、同業組合強化に關する諸問題の諒解に資するところ大なるものがあつたことは、何人も信じて疑はざる處である。

一、同業組合指導監督の爲め本省並びに地方廳に於いて專任の事務官を設けられ度きこと

一、小賣業の協同組織に關する事項

定に際して遂に削除を加へたる爲め、果然問題は政治化せむとするに至るや、商工當局は

一、興銀その他一般銀行による商工金融に於ては不十分であり、これらと併立して中央金庫設立の要がある

一、工、商、輸出三組合は創立後、それ〴〵五年乃至十年を経て相當發達を遂げ、特に産業統制の必要が痛感された結果、各組合の事業成績は急速に擧るに至つたので、隨つて單に産業組合と比較してその歴史が新しいといふことの時機尙早論は當らざるも甚しい

一、産組運動對反産組運動乃至商權擁護運動の對立は、ます〴〵政治問題化の傾向に在り、之れが對策として産組と商工組合とに同等の施設をなすことは當然考慮す可く、更らに組合自治精神の涵養を圖る上にも、自己の金融機關たる商工中央金庫の設立を要するものと思ふ

以上の見地から、大藏省當局に對して必死の折衝を續けたるが如きも、未だ何等の目鼻もつかずして遂に越年するに至つた。

然して一方、民間側に於ける商工中央金庫設立期成同盟では政治季節を前にして大いにその結束を固むるの必要上、十月二十六日を期して上野に全國大會を開催、商工省よりは一應中止の要求があつたにも拘らず、全國より商業、工業、輸出三組合の代表一千餘名出席の上、山崎龍吉氏を議長として議事を進め

現下のわが國中商工業者の實情に鑑み、業界の金融難を打開し以て中小商工業の發展を期せむが爲め、速かに商工中央金庫の設立を實現せむことを期す

以上の宣言、決議を可決したる後、三十名の陳情委員をして岡田首相以下の各大臣及び關係各方面を歴訪、陳情せしめ、又大阪に於いても、これと前後して府下三十有餘の商工團體によりて大阪商工中央金庫設置促進期成同盟會を結び、森平兵衛氏を委員長としてその實行運動に入つた。

小賣店の諸問題

① 小賣店改善問題

小賣商店の更生對策、或ひはその改善問題に關しては商工省の小賣業改善調査委員會を中心として、産業諸團體に於いてもその諮問に應じてそれ〴〵の研究機關を設け、速かにその道の發見に努む可く、焦心苦慮しつゝあるにも拘らず、その問題の複雑多岐にして且つその範圍の廣汎なるが爲め、研究容易ならずしていまだ何等の核心に觸るゝところなく、然かも小賣業者の窮迫、惻愷はいよ〴〵その急を告ぐるのみであると言ふのが、現下の小賣界に於ける一般情勢と見て差支へなからうと思ふ。

然るに昭和十年に於いては、漸くその一部の研究を完成せるが如く、十月十一日、改善委員會の第三回總會を商工省に開催せる際には、町田商相以下列席の上

議事項中、緊急的な三案に就いてのみなされたものであ
る。省としては此の案を中心として更に慎重審議の上
實行に移すものと見られる。随つて第二經營以下の研究
及び第一組織中の他の項目なども、當然残されてあるか
ら、これらは何れも今後の審議に待つて具體化されるも
のと思ふ。

小賣業の協同組織に関する決議

小賣業の改善を期する爲には種々の対策を必要とす
るが、小賣業者の協同組織に依りて之れが經濟的機能
を充實せしむることは、わが國小賣業者の實況に鑑み
最も緊要なる対策とす。而して小賣業者の協同組織の
中、商業組合制度はわが國の實情に最も適合し最近に
於いては組合の設立せらるるもの八百を越え、種々の組
合事業は小賣業者の自力更生上有効なる機能を發揮し
つつあるを以て、此の際一定計畫を樹立して組織的に
組合の設立普及を圖るとともに、その事業を助成増充
し、且之れが指導監督を十分ならしむることは最も緊
急の對策たり、依つて政府は速かに左の諸施設を實施
するの要あるものと認む。

- 一、商業組合の設立普及に關して實施すべき事項
- 一、中央及地方官廳に於いて商業組合の普及につき一定計畫を樹立して促進を圖ること
- 二、商業組合設立の認可權は適當の時期に之れを地方長官に委任し、中央官廳は認可の聯絡統一に遺漏なきを期すること
- 二、商業組合の助成増充に關し實施すべき事項
- 一、商業組合の共同施設に必要な助成金を交付すること

共同仕入、共同保管、共同運搬等組合の經濟的施設は組合事業の根幹をなし、その成否は組合の健全なる發達に甚大の關係を有するを以て、相當の助成金を交付し之れが普及を圖ることは最も緊要なりとす。然るに従來の助成金を以てしては所期の效果十分ならざるを以て適當に増額すること

- 一、店主、店員の教育のため講習會、研究會、座談會等を開催すること
- 二、店主、店員をして優良なる小賣經營を視察見學せしむること
- 三、各個の經營につき經營診斷、經濟批判、經營指導を受けしむること
- 四、經營相談の設置及び信用調査に關する施設をなすこと
- 三、配給機關の調整に關し施設すべき事項
- 中央官廳及地方廳に協議會その他適當なる機關を設置し小賣業者と他の配給機關との間に發生する問題を調整處理すること
- 四、小賣業指導員の整備充實に關する事項
- 一、前各項に指導に當るため左の施設を講ずること
- 中央官廳に於ける指導員設置
- 道府縣、市町村、商工會議所その他の團體に於ける指導員設置の助成
- 二、地方に設置せられたる指導員を指導養成するため中央及び地方に講習會、研究會等を開催すること

小賣業統制に関する決議

現下に於ける小賣業の窮迫には諸種の原因を挙げ得るも、業界に於ける無統制なる状態はその最も根本的なものにして業者の間に於ける無制限なる競争は賣場溢賣、不正粗悪品販賣等の弊を生ずるのみならず動もすれば生産者消費者等に對し充分その機能を發揮し得ざる状態に在り。之が適正なる規律統制を加ふることは最も緊要にして、之れが爲には業者の數又は資格若し店舗の距離の制限等小賣業の多量に對する統制に付考慮を加ふるとともに、その無秩序なる營業を規律する方法を講ずること必要なり。然れども小賣業者の多量に對する統制はわが國社會、經濟に影響する所多きを以て慎重に之れを考究するの要あり。依つて不取敢慮念の對策として採るべきは、現在の無秩序なる

二、商業組合の事業資金の充實を圖ること
組合事業の發展増充を圖る爲には組合資金を充實せしむること最も必要なるを以て、組合に對する低利資金の増額を爲すとともに、進んで金融機關の整備改善を圖ること

商業組合の指導監督に關し實施すべき事項

一、商業組合の指導監督機關を整備すること
組合の堅實なる發達を圖りその機能を遺憾なく發揮せしむるため適切なる指導を行ふとともに、その監督を十分ならしむるの要あり、之れがために組合普及の現状に鑑み、中央官廳並びに地方官廳に於ける指導監督機關を整備、充實せしむる適當とす

二、商業組合の事業經營に關し適當なる指導を與ふこと
組合事業の圓滿なる遂行を期する爲には、組合員に對し組合思想の涵養を圖るとともに、優秀なる現事者及び職員を指導養成するの要あるを以て左の如き施設を充實すること

組合の自治的監督の指導及びその普及促進
監督官廳の定期的實地監督の勵行、金融事業を

- 一、統制の主體に關する事項
- 一、統制は原則として自治的ならしむること
- 小賣業の統制はその營業の種類、方法並びに地方の特殊事情等に應ずべきものなるを以て、業界の實情に精通せる營業者の自治に依つて行はるゝを適當とし、政府は此の自治的統制を援助するとともに、その公正を期する爲め之れが指導監督に當るべきものとす
- 二、統制は原則として商業組合に依るか適當とす
- 營業の統制は小賣業者の大多數の要望たることを要し且公正妥當にして一般社會に認せらるゝものたることを要す。之れが爲めには共同の仕入、保管、運搬等の經濟的共同施設に依る營業の改善を基礎として行ふこと最も合理的にして且實行的なりとす。依つて營業の統制は原則として商業組合に依るを適當なりと認む
- 二、統制の方法に關する事項
- 一、統制は商業組合内の統制委員會の議決を経ること
- 營業の自治的統制の公正を期する爲には、組合内に組合員並びに利害關係者を以て組織する營業統制委員會を設けて審議せしむるを適當とす。特に價格協定に就いては組合員の外生産者、卸賣業者百貨店、小賣市場消費者代表等の利害關係者その他學識經驗者を以て組織する價格協定委員會の決議を経るものとし、組合員以外の利害關係者特に消費者の公正なる利益を確保し得るの措置を講ずるの要あり
- 二、統制に於ける協定の基準は之れを不當なる競争を排除し當然商業の公正なる利益を保護し、國民

營業方法を規律する營業の統制、就中販賣並びに仕入に關する統制なり。
政府はこれ等の營業の統制を遂行する爲に、左の諸點を考慮し速かに適當なる方策を樹立するの要あるを認む。

爲す組合に對しては特に頻りに之れを行ふこと
四、商業組合の連絡統一に關し實施すべき事項
一、同種商業組合又は關係業種の商業組合の全國又は道府縣聯合會の設立を促進指導すること
組合事業の徹底を圖り組合間の協調に資する爲には、全國又は道府縣聯合會の設立を圖るの要あり、依つて之れが指導促進を爲すこと

商業組合中央會の事業を助成すること

中央會の事業たる商業組合の全國的連絡統一、組合設立の普及促進、組合經營の指導、優良組合の表彰、理事者及職員の指導養成、機關紙の發行等に對し助成金を交付すること

各道府縣に中央會支部を設置し中央會の事業を擴充せしむること
小賣業助成及指導機關に關する決議
小賣業者の經濟更生を助成し指導するため、適當の方策を講ずること小賣業の改善振興上最も緊要を要するものならず國民經濟の健全なる發達に資すること大なるものあり、依つて政府は速かに左の諸施設を實施するの要あるものと認む。

- 一、小賣業助成及指導に關する計畫の樹立並びに實施につき施設すべき事項
- 一、中央官廳に於いて小賣業助成及指導に關する計畫並びに實施方法の大綱を樹立すること
- 二、地方官廳に於いてその地方の實情に應じ小賣業の助成及指導計畫を樹立し實施せしむること
- 三、小賣業窮迫の著しき地域に對しては特にその特殊事情を精査し具體的更生計畫を樹立してその實施を助成及指導すること
- 四、商店街の助成及指導に關する一定の計畫を樹立して之れが更法を計ること
- 二、小賣業の經營指導に關して施設すべき事項
- 道府縣、市町村、商工會議所その他の團體に左の如き事業を行はしめ、之れが助成をなすこと

經濟の健全なる發達に關する點に置くこと。特に販賣價格の協定に於いては當該商業に於ける通常の仕入原價、營業費、資本利子、企業家賃銀より構成せらるゝ價格を基準とすべく、且價格の騰落その他の事情の變更に照應せしむる方法をも講ずるの要あり

統制の強化に關する事項

一、營業の統制の強化を圖る爲商業組合法第九條の規定に依る命令の發動に關し左の事項を考慮すること
一、商業組合に依る自治的統制が組合に加入せざる營業者の爲その効果を充分に發揮し得ざる場合からざるを以て、商業組合法第九條の規定に依る命令を事態に應じ遲滞なく發動し得るやう適當なる時期に相當なる範圍に於いてその權限を地方長官に委任し、中央官廳はその指導監督に遺憾なきを期するを適當なりと認む

引を以つて販賣市場を悪化せしめ年の迫るとともに一層深刻味を帯び来るが爲め、本館十日會側としては今や、拱手傍觀す可きに非ずとして起ち、九年十一月二十一日、臨時會を召集してその對策を議したる處、市場の混亂を救ひ、永くその禍根を去つて業界の深憂を絶つ可しとの趣旨に於いては、全會員の意氣が完全に一致するに至つた。是に於いては、同二十九日、十二月五日の兩度その議案を開いて、各自その腹藏なき意見の交換を行ひ、持寄れる處の案を議題として慎重なる審議を遂げ、何よりも先づ當面の急務としては、失はれかけた市場の秩序回復とともに當業者をして常道に立還らしめ、健全業界の建設を目指して進むの緊急工作を取ることになつたが、然かも歳末、餘日なくして遂に十年を迎ふるに至つた。

本館十日會の蹶起が、少くとも帝都業界の人心安定に精神的の効果が齎されたのは事實であつたと見て、固よりその對策としてはいまだ何等の具體案を得るに至らず、況やその目指す處の百年の計——即ち同業永遠の福利を招來して眞にその共存共榮を圖る可しとする根本對策の發見に就いては、これ實に容易ならざるの大業であるけれども、然し業界百年の爲めには、小異を捨て大同に就くといふ大乗の精神をもつてその協力更生を誓へる全會員の意氣及び信念に至つては、洵に人意を強うせしむるに足るのみならず、當時その一會員が一旦十日會の名に於いてその決意を發表したる以上、その實行にも責任を持つ可きは言ふまでもない、それ程われ等の決意は固く、且つ一致して居る」と語れるに徴してもその意圖、以つて知る可しであつたと思ふ。

昭和十年に入れる帝都の販賣市場は年改まるとともに業界の人心又一一新、表面的にはやゝ平靜に歸せらるゝ如く、實際その前年末に現はれたるが如き深刻な不安は一掃されたるに似たるも、事實は必ずしも然らず、慘風時に荒び、餘震時に人心を脅かすものありて、業界の明朗化は容易に望まれ得可くもなく、暗澹たるその不運

象としては、問屋合同時代ともいふ可き趨勢が現はれかけたことのであつた。東京化粧品卸業組合の解消後に於ける亂戦時代は、業界の健全工作にむしる有效な淨化作用を興へたものであつたと見ることが出来る。何となれば此の間に於ける苛烈な同業者の競争は、資力及び信用の薄弱なるものをして漸次、その戰鬥力を萎縮せしめ、或ひは逡巡再び起つて進む能はざるもの、或ひはその戰線より退却のやむなきに至るもの等々、其處に行はれた自然淘汰は、優勝劣敗の法則をまさしくと眼前に露呈たらしめ、中には雨降つて地固まるの例へ通りに、此の淘汰こそは問屋過剰を救ふ唯一のものとして却つて更生後の業界に、期待をかけるものさへも一部にはあつた。然し考へられた通りに、不良及び不純分子の淘汰が果して完全に行はれたか何うかは知らないけれども、かゝる混亂時代に在りてその營業權を確保するに最も大切なものは、資本及び信用の強化であることが、何人にも痛切に感ぜられたのは事實であつた。

是に於いてか、孤立して各々の壁を守るよりも、その力を合せて城壁を固め、以てその戦線を整理することの最も得策なるを考へ、而して營業合同の先鞭をつけたのは桑原啓造、福島都雄、千木木彌八三氏の東京堂株式會社であつた。

東京堂の業界出現は、昭和十年一月一日の聲明書をもつて最初のものとするけれども、その合體工作の開始は卸業組合解散直後に在りとも言はれる。果して然りとすれば、三氏が舊來の營業を捨て、多年住み馴れた店舗にも惜しみなく別れて新たなるその營業機構を立つるまでには凡そ半歳を要して居るのに徴しても、合同の事業たるや、一朝一夕の業に非ざることを思はれるであらう。

續線は殆ど中元近くまでも底迷して帝都の業界を蔽へるものゝ如くであつた。勿論その後と雖も、二三の大目整理の發表された事實もあり、或ひは現金問屋の聯盟結成をさへ計畫せるものありと傳ふるなど、愉快ならざる業界ニュースに、屢々販賣市場をして不安に陥らしめ、肅正の大業は前途尙、遠望なるを思はしむるものがないでもない。

然らば十日會その後の對策や如何といふに、市場肅正の爲めには如何なる努力をも惜まざるの意氣に於いては相一致せるも、その目指す處は單に目前の應急策に非ずして、根本原則の確立にあり、以て取引市場永遠の計を發見せむとするにあつたので、その歸着點に到達するは容易でない。就中、相異なる各本館の立場及びその營業政策を顧慮するの時、その劃一的統制が果して可能なりや否やは、大いに危惧されたところであつた。のみならず業界將來の見通しをつけるといふことは、何人をも以つてしても大いに難しとする處である。然しながら全會員は飽くまでもその歩調を破らじとする決心の下に、銳意努力、互ひにその誠意を披瀝して歩み寄るに努め、あらゆる角度から、あらゆる場合、あらゆる情勢を考慮に入れたる各種の私案を得たるも、これを實行案となすまでには、尙未だ相當の距離があり、慎重の研究を経るに非ざれば、業界百年の原則としては早急に決定し難きの情勢に立ち至つた。

是に於いてか、更らにその研究機關を新たにして局面展開の必要が感ぜらるゝに至つたので、暫らく十日會の全體會議を離れて、別に五店會議が成立するに至つた。五店會議の内容もまた絶對秘密に附されざるを以つてこれを語り得ざるも、その主眼部が殆ど連日の如くに協議を重ねたる上、或る結論に到達せるが如く、若しも業界の情勢が一層此の上にも緊迫するに於いては、斷乎たる處置に出づ可しといふ重大決意を抱くに至れるものゝ如く觀測された。それは作夏七月頃の形勢である。然しその後の業界情勢は一時、憂慮されたるが如くには悪化

堪として折げ、同業の共存共榮は自から期し得可きにも拘らず、方今業界の混亂、同業者の疲弊困憊その極に達せるは、禍根固より遠しと雖も、畢竟信用の缺如と聯携の不備に基因するもの多し、自からその調整を缺くや、勢ひの趨く處、市場の統制紊亂、爲めに業界の健全性を失ひ、同業相喰むの慘狀に陥れるものにして、要するに生産過剰と同業者の過多に原因するは、今や明白なる事實に有之候。

以上は聲明書の一節である。業界混亂の諸因が同業の過剰にあるを指摘して、更らに是れに善處するの道を説く、曰く
下名等、夙に之れを憂ひ、如何にして業界の危機線を突破すべきやに就いては、一念至誠の發する處、具まに案を練り、苦心研究を相違げ候處、業界の混亂を救ひ、同業者の自力更生を圖るの道は
一、資本強化
二、信用擴大
三、同業自製
四、傳統打破

以上の外には絕對にその方策なしとの見解に到達、此に先づ三者合體、その資本と力とを一にして營業權の強化を圖る可く、一心血盟の上、各自はその斷ち難き情實を絶ち、傳統を都て、斷然舊來の業務を廢して新たな營業機構の下に、その陣容を改め、方針を更へ、微力ながらも今後は販賣市場の合理化を目指して勇敢なる進軍を續くる爲め、いよゝ昭和十年を期して新らしき業界戦線への首途に上り候次第に有之——資本及び信用の強化を目標とせる桑原、福島、千木木三者の合體が、果してその理想通りに進みつゝありや否やは、われ等の與り知る處ではない。然しながら業界混亂の原因が同業の過剰にありとせらるゝの秋、自から同業制限の範を示せるその勇氣と決意に至つては、蓋し刑目に値ひするであらう。

を告げず、經濟界の非常時的危機も漸く緩和さるゝに隨ひ、漸次その憂色を拂拭し去るに及び、決意表明の最後的手段に出づるが如きこととなつたのは、業界に取りては寧ろ幸ひとする處であつた。

一方、東京化粧品卸業研究會に於いては、曾つて十七本館との會見を行ひ、その諒解を求めたる以來、只管靜觀主義を執つてあつたところ、二月二十七日、上野精養軒に全員總會を開いてその席上、化粧品販賣界最近の動向に就いての意見の交換を行ひ、更らに

一、卸商、小賣商双方に同業組合法による價格統制の制度を確立する方法
二、全國に於ける商業組合の動向並びに之れに對する政府の方針検討

以上の問題に就いての討議を試みたる後、十名の委員を擧げてその研究並びに一切の工作を委託することに一決。その後直ちに

葉滿田芳兵衛君 大山勇次郎君
藤田盛眞堂君 金高良助君
田中吉兵衛君 山口竹次郎君
松浦嘉七君 桑原啓造君
神保文太郎君 千木木彌八君
芥田林藏君

以上の委員を擧げ、成案を得るに至らば、機を逸せずして實行運動に移る可く申合せ、問屋更生の一途を目指して最も眞摯、熱烈な機運を醸成せられつゝあるかに見られたるも、その後幹事長金高良助氏の急死に遭ひ、遂かに中心人物ともいふ可き統率者を失へる同會としては既に何等かの行動に出づるの機会を失ひ、問屋界唯一の聯絡團體たる研究會の意氣がらざるは、遺憾千萬のことと言はなければならぬ。

問屋の合同強化

昭和十年、帝都の化粧品卸業界に於ける最も著しい現象を希望せる問屋ありともいひ、東京堂としても又、プロツク強化の爲めにその意圖はあつたものゝ如く、八月頃一旦上州屋の合流が傳へられたるも、これは停頓のまゝ、遂ひにその實現を見るに至らなかつたものと見るの外はない。

問屋合同の第二陣としては、關東組が現はれた。これも正しく東京堂の出現に刺戟せられた一つの團結と見るが如きも、然し關東組は、すでに九年前、東京に於ける荒物系の化粧品卸業者八名を以て組織せられたものであつて、必らずしも新合同體とは見る可からざるも、その加盟七店——會員中一名落伍——共同出資の上、新たに合資會社關東組を設立して共同仕入れを行ひ、以てその營業戰線の擴大を圖らうとするにあるものゝ如く、二月十一日の紀元節を以てその業務は開始せられたのであるが、東京堂の如く、店舗を合流せるものではなく、單にその仕入機關としての強化を目指せるものと見るに至當とするであらう。

然るに三月に至るや、井田兩國堂、武孝商店、山口豐永堂、芥田商店、鈴木義明商店の五商店が合流して協莊會を結び、問屋合同の第三陣として出現したのは、帝都の問屋界に新らしき話題を提供するに足るものであつた。協莊會も又固より店舗までをも合流せるには非ずして、此の點東京堂の合同とは大いにその趣を異にするも五店の結合は絕對の信頼と協力をとを基調とした同志の堅い握手によるものであり、その營業は相互協同の保證に立つ堅實、明朗な紳士協約の下に、實務の能率化、信用の高度化を圖らうとするにあるもので、業界には曾つてその例を見ざる處の新らしい一つの營業形態たる點に於いては、全く獨創味の高い問屋界の新機構と言つてよからう。三月十一日、井田、武井、山口、芥田の五氏が東京組合事務所相會してその組織を公表すると同時に左の如き趣意書を發表した。

化粧品販賣界の肅正は今尙行はれず、市場の濫賣は容易にその跡を絶つ能はずして、競争益々苛烈を極め

富業者は唯不安定な運送、遂に取引の正常を失ひ、自から多年の信用を崩壊せしむるの外なきに立至りまし

此の時、帝都の間屋界にその業を同じふするわれ等五名は相謀りて協賛會を結び、自由なるその立場と獨自の方針により、自力更生を旨として一路邁進することになりし

此の事業たるや固より一朝一夕の業には非ざるも、正しきものは勝つるの信念を以て戦ひ、精神一到の念力を以て粉砕するの覚悟であります

更に營業の形態は、從來に於ける各自の營業所及び營業權をそのまゝに行使するも、然しその營業の根本原則に至つては、嚴に統制ある方針の下にその取引を行ひ、常に最高の信用を保持することに努め、顧客に對してはサービス第一を旨とし、安心して仕入れの出来る親切丁寧なる問屋としてその配給より済済に至る迄、五名は相互協同の上その責に任じ、敢て違はざらむことを誓ふものであります

二、石油工業は爆薬原料グリセリンの生産に重大關係を有す

軍需品中の首位的存在爆薬の原料たるグリセリンは主として石油廢液より抽出せらる。従つて石油とグリセリンの關係性は軍事的重要性を有し日本政府に於いてもグリセリン工業には特殊の保護を加へ、之れが國內自給の確定に努められ、現狀に於いては殆んどその域に達し居るも、一朝有事の際には之れが不足を訴ふるに至るであらうことは、最近未だ尙若干の輸入に俟ちつゝあるに見て明かである

昭和八年上半季輸入高 國幣 一八一、九一三圓
昭和九年上半季輸入高 國幣 四一九、四九五圓
従つて此點に關する御考慮は何等之れを拂はるゝの要

尙、十月二十二日をもつて問屋の新プロック社和會の結成を見るに至つた。然しその目的とする處は、鞏固なる同業者の精神的結合により販賣界の肅正に貢獻するにあるものゝ如く、資本的合流に非ざる點に於いては東京堂、協賛會等々と全然その趣を異にせるものと見てよからう

滿洲國關稅問題

滿洲國に於ける輸入關稅は、滿洲建國以前、時の南京政府が日貨排斥を目的として制定したる排日の高率關稅にして、滿洲國がこれをそのまゝに踏襲して改むる處なきは、實に日滿兩國の貿易進展上に一大障礙を與ふるのみならず、日滿親善の上にも影響する處渺からざるものあるに鑑み、昭和七年十二月十五日、東京組合が關稅低下の陳情書を提出してその改正要請運動を起せるを初めとして、連年その運動を繼續、大阪化粧品同業組合及び石鹼同業組合に於いても、同一主旨の下に相呼應して起ち、昭和九年に於いては東京、大阪兩組合より代表を滿洲に送つて親しく滿洲國の當路と折衝せしむるの手續までも整へたるも、遂に渡滿の機を得ずして止み、大阪石鹼組合よりは松原組長以下三輪乙五郎、吉田久四郎、吉田實、世戸清の五氏を代表として派遣、關稅減減の實行運動に著手せしめたのは昭和九年の秋十月十五日のことであつた

無きものと信ずる。四、貴國の石油工業は原料關係より見て現在に於いては不適當である

貴國の現狀に於いては石油の重要原料たる椰子油、硬化油、苛性曹達等の供給の點よりして石油工業の勃興發展は之れを期待し得ない。されば今やその最高度に達せる日本石油工業の生産組織下に貴國の石油需要を依據せしめ、輸入關稅を低減し全國民に安價優良なる石油を常用するの機會を與へらるゝことは、是れ尙に日滿産業の相互依存性の現實化工作に他ならず、兩國特殊關係の最も合理的なる顯現なりと信ずる

貴石關稅の撤廢

貴石十兩關稅の撤廢案は、昭和十年三月十九日、衆議院を通過して貴族院へ回附、同二十三日の特別委員會通過、續いて二十五日の本會議に上提、左の如く滿場一致を以つて可決。同業者必死の運動、その効を奏してこゝにその多年の宿望を達するに至つた

關稅法中改正法律案
第七十五條に左の但書を加ふ
但し犯罪に係る貨物が關稅定率別表輸入稅表第四一、二號第二項に掲ぐる貴石なるときは罰金又は料料はその原價の三倍に相當する金額とす
第七十五條の二に左の但書を加ふ
但し犯罪に係る貨物が前條但書に掲ぐる貴石なるときは罰金は五千圓以下としその原價が五千圓を超過

一國輸入の基礎にも影響する處ある可きを慮れて容易にその要請を容れず、十一月に至つて第二次改正が發表せられたるが、全然業界品には觸れずして當業者を失望せしむること甚しきものがあつた。是に於いてか、大阪石鹼組合に於いては昭和十年に入るや、二月十一日、松原一郎、三輪乙五郎、吉田實治郎、吉田久四郎の四氏を東京せしめ、同十二日、東京石鹼組合の相馬組長、福島市藏保、誠次郎、ライオン石鹼、杉の原書記長の五氏とともに對滿事務局に川越次長、大藏省に谷口關稅課長を訪問、十四日には外務省に來栖通商局長、若松第三課長等を訪問、委曲を盡してその援助斡旋を求め、就中内地市場に於ける需給の緩和、調整を圖る上に於いても、滿洲市場を必要とする情勢にある當業者の苦境を述べ、その諒解を求むる處があつた。當業者の要請する改正稅率は化粧品石鹼の三割を一割に、洗濯石鹼の一割を五分に減減せむとするにある。而してその理由とする處如左

一、石鹼は日常必需品にして斷じて奢侈品に非ずされば現今實施の三割稅率は不當である

石鹼は化粧品(浴用、洗滌用)洗滌用とも保健衛生上一日も缺く可からざる物にしてその使用は決して奢侈費を以て目すべきに非ず、されば貴國に於いては苦力の如き下層階級者すら今日之を常用して居る。然るに此の必需品を三割關稅としてその稅率化粧品と同なるは如何にも不合理の感を抱かしむ、願れば彼の七種差等稅施行當時より現行稅率設定に至る間に於いてはその稅率を石鹼一割化粧品二割二歩とし石鹼を化粧品の中類以下に置かれたのである。現に日本に於いても化粧品用の香料は十割を課稅せらるゝも、石鹼用香料は大部分無稅に屬し最高のもつと雖も二割を超過せず、されば此本質上より来る差別に認識を與へられなば、兩者の間に必ず段位の設定せらるべきものなりと信ずる。尤も本項の比較は化粧品用石鹼に就いて云へるものにして洗濯用石鹼は「三」に述ぶる如く前年一

るときは原價に相當する金額以下とす
附則
本法は公布の日より之を施行す

即ち從來の贅澤關稅十兩から一兩、五分乃至一割に低下されたのである。その代りに、密輸入の取締りを嚴にする爲め、關稅の通説を圖りたる場合は、從來は稅金の三倍に相當する罰金、若くは料料であつたのが、改正法によれば原價の三倍、又第七十五條の二の「千圓以下の罰金又は料料」は「五千圓以下」に引上げられた

抑も貴石の十兩關稅撤廢運動は、大正十三年七月二十九日法律第二四號を以て公布された贅澤品輸入關稅法中にある十兩の貴石關稅率を普通商品に改め、舊稅率なる從價五分に還元せしめやうとする目的の下に、昭和九年の初めから開始された運動であつて、東西の同業者が結束して改正同盟會を結び、わが東京組合に於いても、當初から參加、終始これを支援するの態度に出たことは、年鑑十年版にも述べた通りであるから、敢てこれを繰返へさないが、われ等の大いに注意に値ひしことは、政府當局が、その改正に對しては、常に頑強なる反對意見を保持しつゝある贅澤品關稅が、例へその一種目に過ぎずとはいへ、僅かに一年有餘の運動によりて首尾よくその成功を納めたることにして、説くに道を以つてすれば、例へ不拔の鐵則と雖も必ずしも動かし得ざるものに非ずとの確信を得せしめたことこれである。貴石關稅撤廢に對しても高橋藏相は相當初強硬なる反對を唱へ、その陳情には一顧だに與へずしてその年遂ひに物にならなかつたが、當業者の熱烈なる陳情とその巧妙なる運動工作によつてさしもの高橋藏相も、その至情に動かされて遂ひにそれが改正に同意するに至つたものであり、且つその改正案が政府案として議會に提出するや、最初鐵關稅と一括上提されたのであつたが、議論の多い鐵關稅との道伴れては、その前途危しと見たる改正同盟會では更に安全の策としてその切離しを目録みたるが如きは對策の妙を得たものと首はざるを得ない

鉛白問題の終焉

含鉛白粉遂に市場にその跡を絶つ。昭和十年十二月三十一日、販賣期限日の切れたのを最後として、これを販賣することは固よりのこと、販賣の目的を以つて陳列、若くは貯蔵することを、固く禁止されたのである。そも、含鉛白粉禁止の問題は、昭和五年の春頃、明治三十三年四月十七日内務省令第十七號有害性著色料取締規則の改正を行ひ、その製造及び販賣期間を限定す可しとの議が、當局の間につたのに始まる。即ち當時これを耳にせる東西の同業者は相呼應して起ち、關東白粉製造同志會、大阪白粉商組合、京都白粉商組合の三團體に於いては、今後十年間の禁止期間延期を求む可く、代表者をして數次、陳情嘆願せしめたるも、當局の答へ處とならず、遂に昭和五年十月二十二日省令發布、含鉛白粉の製造は昭和八年十二月三十一日、その販賣は同九年十二月三十一日をもつて禁止せらるることとなつたのである。然るに當業者としては父祖傳來の家業を禁止さるゝに於いては、生活權を銷奪さるゝにもひとしき運命に陥るものとして連年、禁止延期の請願運動を貴衆兩院に試み、六十四議會に於いては衆議院に於ける委員の採擷を見たりといふのみにして何等の反響なく、空しく時日を過す中に、期間切迫、昭和八年限りをもつてその製造も亦、不可能に陥つたので、一段の焦燥を感じて當業者は、いよゝ必死の手段として外池氏、神田氏等の代表を内務省に出頭せしめ、同業炭の酸害を訴ふることもに轉業工作の爲めに若干の期間を延長せられ度しとの嘆願を試み、その同情に訴へたところ、内務省當局も社會政策的の見地から、遂にその販賣期間を一年間延期するに決定、昭和九年いよゝ押詰まれる十二月八日附の官報をもつて省令第三十五號「明治三十三年内務省令第十七號有害性著色料取締規則中改正の件」を發布、即日實施さるゝに至つた。かくして昭和十年中は

その販賣を許されたけれども、當局の意圖としては、此の一年間に於いて手持品の一掃に努めしめ、且つ轉業工作にも善處せしめる意味に外ならなかつたのであるから此の期日一度び経過したる今日以後に於いては、これが密造の取締りを嚴にす可きは、警視廳の上田衛生部長も言明せるところに於いて、これに關する警視廳令も、昨年末をもつて既に公布された筈であると思ふ。尚、朝鮮總督府に於いては、その取締を異にせる爲め二月二十日附府令第十三號をもつて改正規則を公布、鉛白の製造は昭和十一年十二月三十一日、販賣は同十三年十二月三十一日までは差支へなきことに改正された。

化粧品課税問題

内務省衛生局に於いては結核豫防國民運動に關する費用として十二萬圓を明年度豫算に計上したるも、大藏省の査定に於いてその全部が削除されたので、これが財源を化粧品賣薬部外品等に求め、これ等の生産品を課税の對象物としてその考究を進めつゝありとの情報も、俄然新聞紙上に現はるゝや、豫算閣議に於ける軍事費問題が硬化しかけた折柄ではある、業界としても聊かその成行きに氣遣はれないでもなかつたが、然し此の問題は必ずしも今に始まつたわけではなく、十年版年鑑参照昭和九年の二月二十七日の結核豫防法改正特別委員會に於いて賣薬化粧品、賣薬部外品、清涼飲料水の四種に課税の上、これを豫防費の財源となす可しといふ決議が行はれたに端を発するもので先年、税制改正準備委員會の議に上つた新税制論議とは、その根據及び系統を異にして居るものであつたので、業界としては別にその爲めに動くまでには至らず靜觀的態度を執つてゐたところ、果せるかな該問題は單に衛生局案に止まり正式に内務省案として議せられたものではなく、新聞の報道も多少興味のある取扱ひ方に傾いたやうな嫌ひもあつたが、仄聞する處によれば岡田衛生局長は、此の新税案を掲げて大藏省

に日參交渉大いに努めたるも、大藏省側としては化粧品課税といふも石鹸、齒粉等の如き保健衛生上の必需品は當然これを除外せざる可からざる事情にあれば、單に白粉、ポマード、香水、脱毛防止劑等々に對してこれを行ふとも、必然的に量り賣りを助長するのみにして徴税技術的には確定財源と爲し難しとの見解により、その要求には容易に應じなかつたので、内務省としても一先づ斷念せるものゝ如く、問題は自然解消の形となつた。

商權擁護全國大會開く
日本實業組合聯合會主催、商權擁護全國大會は、十二月六日神宮外苑日本青年館に開會、全國より馳せ參するもの四千。左の決議を行ひ、五班に別れて首相以下の關係當局に陳情、その目的の貫徹に努めた。

吾人は左記事項の貫徹に邁進し以てわれ等商權の確立を期す

- 一、米穀自治管理法案並びに産業處理統制法案の議會提出を阻止すること
- 一、産業組合、就中購買組合及び販賣組合に對する國費及び地方費の補助その他政府の過重なる保護助長を是正すること
- 一、購買組合及び販賣組合の違法行爲稅法行爲の取締執行を徹底せしむること
- 一、購買組合及び販賣組合の事業に官憲の關與を嚴禁すること

附帶決議
一、賣薬の官業又は半官業的經營の撤廢を期す
卸商研究會の陣容整備
幹事長金高良助氏の歿後、その中心を失ひたるまゝ、暫らく沈黙状態にあつた東京化粧品卸商研究會は、漸く十月月振りにして起ち、十二月四日幹事會を開いて先づその陣容整備を行ひ、幹事長に田中花王堂氏を推薦、越えて同二十一日全員總會を開催して今後の指標を定むる處があつた。

組合團體

組合中心の業界情勢

業界の中心を爲すものは組合である。隨つて業界の情勢を知らむと欲すれば組合の活動状態を知るに如かずとの見地から、最初の年鑑——即ち昭和九年版には六大都市に於ける八組合の沿革、現勢を紹介したるを始め、十年版には更に北海道、九州、朝鮮、及びその他一二地方に於ける九組合よりの報告によつてその機構並びに現勢の一斑を傳へた。然し今後は必ずしもその方針を踏襲することなく、最善と信ずる方法によつてその地方情勢を把握することに取扱ひ方を改め、今年に先づその試みとして曾つてわれ等が地方業界の訪問を行ひ、親しく接觸したる業界人の談話、若くはその他の資料によつて得たる組合中心の業界情勢を描くことにした。

中國地方

姫路

白鷺城を以つてその名を知るゝ姫路は、中國要衝の地。此の地に於ける業界の牛耳を執るものに額田菅治氏がある。昭和九年尾子富三郎氏の後を承けて組合長の要職に就ける人。年齒尙壯、極めて卒直に眞剣に業界の事情を説く。

「姫路の業界が版神に近く、動もすればその勢力圏内に在りて見らるゝも致方のない現状に在るが爲め、われわれとしては不斷の脅威を受けて居る。然しながら八萬の市民を持つ姫路を中心として其處に努力の餘地が残されてある以上、われわれはその配給機關としての正當な地歩を確保しなければならぬ。勿論競争が激しいのだから、勉強する外に方法はないとしても、然し儲からない商品に一生懸命になつて互ひに疲弊して行くといふのは餘りにも

馬鹿らしいことであるから、われわれとしては眞面目な本舗の持へた眞面目な商品、正當な利益の確保さるゝ品によつて進むより外はないと考へて居る業界がかうなるといふ／＼なデマが飛ぶので自然商賣が仕憎くなるが、販賣店が製造家を信せず、製造家が販賣店を信じないといふことは、結局お互ひの損となる外の何ものもない。」

説く處公正、額田組長の意見にして又業界の情勢を觸れる一般の意見とも見ることが出来るであらう。組合は昭和七年一月十六日の創立、組合員現在十三名。

岡山

「わたしや備前の岡山育ち」と歌にもあるこの岡山は、備前平野の中央、旭川の沿岸に發達せる瀬田田氏の城下。その人口に於いては廣島に及ばずとするも、水陸に於ける交通の便を備へ、商工都市としての奥深い發展がその將來を約束し

て居る上に、天下に著聞する後樂園は、三公園の一として多くの遊覽客をも吸引して居る。此の地の業界には天生堂中野氏あり、石川氏あり、現に組合の牛耳を執れる三宅慎吉氏がある。氏は業界の現状を語つて曰く

「これは業界だけの問題ではありませんが、岡山では最近、かういふ運動が起つて居ります。全市の商店が横に結びつく、つまり商店聯盟ですな。数からいへば凡そ四千にも上りませうからあらゆる業種業態を網羅した一大團結をつくらうといふのです。言はゞ小賣店の權益擁護、それを目的とするものなのですが、その團結の力と、協調の精神によつて小賣商人の更生も考へれば、共同利益も圓る、統制上の必要があればその助長運動もやるといふ風に非常に大きな仕事ではありますけれど、然しこれが出来れば卸、小賣を問はず、其處に力強い結團が出来ると、商賣も仕易くなるといふにはなりませんと思ひます。それが今組織の進行中で、すから、恐らく遠からず實現することと思はれます。」

そこで岡山に於ける現在の業界——現状は何うかといふ御質問ですから、過ぎ去つたことは抜きにしても、何しろなか／＼複雑な状態にありますので、一概にも申し上げられませんが、ど、ざつとお話しすれば現在の組合員は三十名、卸、小賣とも入れてますがそれが別に商賣敵といふやうな間柄の

ものもなく、至極親密、組合としてはしつくり行つて居ります。中には一二軒、蓋賣をやるやうな店もないではありませんが、特殊品の外に極度の蓋賣といふやうなものはありません。然し此の蓋賣防止に就いては、そりや随分やりましたよ、古くからのことですから、それだけお話ししても一二時間はかゝると思ひますが、矯正運動をやる方も、やうな方も、なか／＼根氣よくやつたものでした。けれども結局は駄目でした。今に絶対に根絶するといふわけには参りませんから、それだけで持出されたのは商業組合の問題ですが、幸先してやつて見ようといふので、運動はしましたが、然しよくよく研究してみると、第九條の發動が不可能であると聞いたので、それならつまらないと言ふので、そのまゝ中絶の案となつて了りました。

大阪からは五十里、僅かに三四時間の行程、可成りその競争も激烈であらうことが想像されるが、然し組合があつて或る程度までは押へて居るものと見られる組合の創立は明治二十五年、現組長は三宅慎吉氏、組合員三〇名、事務所は商工会議所内。

津山

津山は美作の第一郡、人口三萬五千。翠嶺四方を圍める盆地の中央に、静かなその姿を横へて居るところ、山あり、水あり、海に風光に富む。然かもその交通機關としては鳥取に出づるに因備線あり

岡山に出づるには伯備、中國の二線あり更に姫路線により、姫路に出づるの一線も最近その開通を見るに至つたので、此の地の發展は大いに見る可きものがある。津山に富岡徳平氏あり、風格豊かな業界人にしてその信用地方に高く。氏の組長としてその統率下にある津山化粧品商組合は昭和五年三月二十六日の創立にして現に六十名の同業者を網羅して居る、事務所は津山商工会議所内に置く。

倉敷

倉敷市は岡山を去ること西へ三里、汽車僅かに四十分に過ぎずして、自然岡山勢力の侵入を免がれざるも、此の地はもと天領にしてその爲めに苛酷なる請求を免かれたのと、商取引の安全を保證せられた處から、昔から富豪多く、維新前から蓄積せられたその財力により、倉敷紡績等々の工業が興されたものと云はれるだけに、業界、業界にも有力家多く、その商賣にも自から奥深きものあるを感じしめる。倉敷小間物化粧品組合は昭和二年の春の創立にして現在卸小賣を併せて二十四名の組合員を持ち、年に一二回の運動會を行ひ、以つてその親睦を圖るに努めて居る。然るに昨年の秋、多年組長として熱心、業界の發展に努めた原安次郎氏を失へるは、此の地業界の爲めに惜みても餘りあることであつた。

尾道

尾道の道は古くから開いた内海の港町。その地勢は後ろに山を負ひ海に臨み、狭

長、宛から帯のやうな町である。然かもその山丘は巨岩怪石の累積にして是れを切崩して市街地を造ることの不可能な爲めに、市の人口は依然として十年一日の如く、三萬を多く出でざるも、その港灣はさすがに中國屈指の良港、これを生命とする尾道の業界は、廣島、岡山の挾撃を受けながらも、尙且つその活氣を失はざる所以のものは、蓋し内海の島々をその市場として昔ながらの商權を維持しつゝあるによるものであらう。この港には日々百五十隻からの船が集集して貨物の集積場たるものがあるを見る。五軒の卸商、四十餘軒の小賣店があり、卸商の間には尾道小間物化粧品卸商組合の組織がある。現組長は藤本辰次郎氏。

廣島

中國の雄藩、淺野氏提封の地。多くの清流に富める水の都廣島は、現在人口三十萬に近く、實に中國にその王座を占むるの都たるのみならず、實に全國第七位に位するの大都としてその都市設備に、景観、産業經濟力等々に就いても、その威力侮る可からざるものがある。而してその海門宇品港を有するは、産業廣島をして一層その前途を洋々たらしめるものであらう。

然るに此の地の業界に緒方、鴨谷、田中、西本、佐久間氏等、問屋界の巨豪がその勢力を張るにも拘らず、同業組合といふものがない。以前五盟會といふ卸商の團體があつたけれども、今はそれさへもない。有力な卸小賣店一軒に近

同業者を市内に有しながら組合がない。試みに廣島市に於ける業界團體を見ると各業種を通じて同業組合一七、準同組合八、任意組合一二〇餘を有して居るにも拘らず、小間物化粧品だけがそのこれを有しない。

五盟會に代つたやうな形でも三日會といふ團體が出来ました。これは商業組合法が各地に出来てから、業界を救ふものは商業組合の外になしと言つたやうな説きへ行はれて居る。果してさういふ力のあるものが何うか、其處を一つ研究して見ようといふ話から、出来たのであります。然し何處の話を聞いて見ても、商業組合といふもの、評判が餘りよくないから、今のところ大して興味も有たれてないと言ふのが事實でせう。

緒方義文氏はかう語つて居る。然らば市中に於ける市場の統制は何うか、これに就いても緒方氏はいふ――

「群雄割據とでも言ひますか、あの競争の激しい九州を御覽なき。随分協定をやましく言ひ、又事實實行の出来て居る處もあるらしいにも拘らず、次から次へと整理が出て来る。それに比べると廣島などは表面的協定こそ出来てゐないが、整理などは至つて少い。」

吳

理由は何れにせよ、然し廣島程の大都市に、同業者の結束が出来てゐないのは、轉寂寧を感じざるを得ない。

の創立にして、現在組合員四十名、その事務所を吳商工会議所内に置く。

宇部

宇部は工業都市として又、炭坑地としてその發展を見たる處、市制を布いてよりまだ十六年に過ぎざるも、人口既に六萬を超え、その石炭の如きは二百五十年の歴史を有すると言はる。だけに、陸地下の埋藏量は既に掘盡して今は遙かに海底下に及び、出炭量百五十萬噸と稱せられる。宇部驛は山陽線に在るも、その市街は宇部驛道に乘換へて十餘分を要する。宇部小間物化粧品組合は西田民恵氏を組長として全員五名。

山口

山口は翠嶺縹らむむばかりの山丘下、権野川の清流に臨める美しき都市、遠くは大内氏が此處にその本據を構へて威を中國に振ひ、近くは毛利氏、萩城を出て、こゝに藩政を執つたといふ歴史的地だけに、明治維新の際には風雲の策源地となつたのは人の知る處であらう。人口三萬三千、市制を布いて僅かに八年、純然たる消費都市である。組合としては山口小間物商組合及び山口化粧品商組合あり、小間物の方は組織の年代は詳かならざるも、組合員九名、化粧品組合は昭和九年七月七日の創立にして一三〇名の組合員を擁して居る。組長は何れも來栖信助氏。

下關

日本の關門――。下關の驛頭に立つもの、ひとしく感ずる處の印象は、此の日本關門といふ、威大なるその壓力であらう。下關の組合を語る前に忘れてならないのは、此の地の業界が夏川、藤津の兩巨頭を有することである。夏川氏はその風格といひ、趣味と云ひ、且つ洗練されたその社交振りと云ひ、寛厚の紳士たるに對して藤津氏は巨額自から野趣を帯び、然して豪快竹を削つたやうな明朗さの中に、縱横の奇策を有する人。その性格の相反せるが如く、その主義、その商賣の何れの點からするも相異れる兩氏を見るは、洵に面白き對象である。而して夏川氏は江州の産、藤津氏は長州の生れ、その年齢に於いてのみや、距離なきが如く、且つとも下關業界の偉大なる存在たるに於いて相一致して居ると言つていい。

下關の組合は下關化粧品商組合と呼び昭和二年の創立、日向野久次郎氏前組長藤野氏に代つて組合の要職に立ち、三百七名といふ大衆を擁して業界の統制に任じて居ると聞く。

萩

長州萩と聞けば、直ぐに明治維新史が思ひ出される程に、歴史的の地である。毛利氏三十六萬石の城下、山水の景趣豊かな町。

萩の業界には組合があつたが今は全く有名無實、最初はかなりうまく行つてゐた處、一名の濫賣者が現はれたために突界怒ら湯亂、一回は説諭、二回目は罰金

といふ風に嚴重にやつて見たが駄目である。柏木組長時代には訴訟までもやつて肅正を圖らうとしたけれども、それが事情あつて行はれなかつた爲めに、組合も遂に解散のやむなきに至つた。或る本舗の出張員が調停の勞を執らうとしたこともあるけれど、纏まりかけたと思ふ直爲めに再び總崩れ、此の出張員が介入した爲めに却つて救はれざるものになつて了つたといふ話さへ残して居る。同業者現在八十名、何とかして美々しく纏めて行き度といふ意端は、業界にもあるやうであるから、或ひは機運さへ熱したらと思はれる。萩の業界が因襲の衣を脱捨てて日の近からむことを祈る。

松江

八雲立つ出雲路は出雲文化發祥の地として三千年の歴史に輝くところ。松江市は宍道湖畔にあり、遙かに風流大守不昧正を徳ぶに適はしい風景都市。その風格、景観、更らに産業的地位から言つても、山陰の第一都である。業界の長老堀谷種一郎氏に、業界の歴史を聴く――。

「松江に於ける組合の歴史を申し上げますれば随分古いお話になりますが、丁度明治三十年頃であつたと思ひます。何しろ當今とは違ひまして業界も小間物が主とせられた時代、丸見屋さんがまだ丸見屋善兵衛の名でお商賣をなすつてゐられた頃のことですから、化粧品と申しては小町水、花王散、ダイヤ」

シド商賈位のものでしたらうが、それ
も取引しても僅かなもの、まア小間物
専門の組合で組合員が二十四五名あつ
たやうに記憶して居ります。それが化
粧品が勢力を得て来るやうになりまし
てから、組合の名稱も松江小間物化粧
品卸商組合と改められたもの、現在
では殆ど化粧品小間物といふ風に主客
顛倒致しました。それで組合も自然こ
れを維持する人々だけが残つてやつて
居りますが、組合員も

神田 新市 三成 熊市
長岡明通堂 湯原彌一郎
會田 榮藏 梶谷種一郎
以上の六名、微々たるものながら、
然し松江に於ける卸商店だけは全部加
盟致して居ります。

以てその業界情勢も窺はれるであらう
安賣も全然ないとは言へないが、一側位
なら濫賣とは言へないだらうと、業界で
は見て居るやうであつた。松江小間物化
粧品卸商組合は明治二十五年の組織に
して現在六名の組合員を持つ。

米子

米子市は東に鳥取、西に松江を控へな
がらも、商工の發展を以てしては決して
それ等の威勢一壓せらるゝことなく、活
氣ある商工都市を形成して居る。人口四
萬四千。業界としては歐洲大戦の頃、神
庭常吉氏を組長に、津田重太郎氏を副組
長として組合を組織したるも、一二軒の
濫賣店あり、その爲めに統制行はれずし
て二三年にして自然消滅に陥つた。その

後暫らく團體としての行動は執れなかつ
たが、昭和五年に至るや、神庭政七氏を
組長として雑貨小間物卸商組合を設立、現
に二十八名の組合員あり、年に一二回總
會を開催して居る。別に事業を行ふに非
ざるも、親睦を圖る意味に於いて此の組
合の存在は、可成り業界の爲めになつて
居るといふ話も聞いた。その事務所は米
子會議所内に設けてある。

鳥取

池田氏三十二萬石の城下、因伯二州の
首都。鳥取に於ける鳥取小間物化粧品商
組合は全組合員三十五名、その牛耳を執
るものは若き業界人松田恒蔵氏である。

「がつもりした組合の出来たのは大正
二年からです。役員には變遷がありま
したけれども、鳥屋、田中氏等の如き
元老が居られるので若輩ながら、老父
のあとを襲つてその要職を汚して居る
わけです。古い歴史を持つ組合だけに
お互ひの親睦に於いては他に一寸見
られない、處があると思ひます。互
ひの親睦さへ得れば無茶をするやう
なこともなく、値段の協定にしても自
然、互ひに責任を持合ひますから、決
して其處に無理な營業は行はれません
それで氣脈さへ通じて居れば同業團體
としての一半の目的は達せられたもの
と考へて居ります。」
新人組長の意圖を窺ひ知るに足るとも
もに、鳥取組合の世勢の一半をも知るこ
とが出来てあらう。同業組合のあると

三條

昔から、生き馬の眼をぬく三條……と
云はれたほど商賣の潤利たる土地として
知られ、以前は小間物、雑貨では随分大
きな問屋がそつてゐた町であつたさう
だが、現在、小間物、化粧品の卸は小町
屋及びほてい屋の二店位なものであらう
他にも二三、投げて歩く程度の店があつ
ても、それは勿論問題ではない。
化粧品小賣方面の競争は、なか／＼激
烈なものがあり、濫賣も全く相當なもの
である。組合としては、吉田熊次氏を組
合長とする三條小間物洋品卸商組合があ
る。これは組合員約六十名。業局も先づ七、
八軒のところであらう。組合の仕事は、
収益税の掛け合ひが目的である。そして
年に一回、主として親睦を計る意味での
會合を催して居る。商業組合に關しては、
小賣卸兩方面ともその議はあるのである
が、却々おいそれとまとまりさうにはな
い現状である。三條市は周知の如く金物
の産地で、その中でも双物類が最も有力
である。だから、その輸出でもありと市
にはぐつと活氣が出て来る。現在のところ
景氣も比較的、方であらう。

高田

高田は雪の都。此の下に酒屋あり」と
いふ、立札が、軒よりも高い積雪の上に
見られるといふのも、他に類のない雪國
風景である。それだけにスキーの發祥地

行かう譯はない。わけても最近感情が尖
鋭化して來たので、本舖側も参加して座
談會を開かうといふ計畫も出來て居る。
本舖、卸、小賣、此の三者の隔和によつ
て業界の共存共榮を圖らうといふのであ
る。そも／＼かうした葛藤は各地至ると
ころに見る業界の弱點暴露ではあるけれ
ども、然し卸、小賣店の協力なくして眞
の業界平和はあり得ないのであるから、
兩者の隔和にその一步を進めた福知山が
此の際眞剣な自覺とともにその更生に努
力されることであらう。組合の創立は大
正十一年六月二十五日。

北陸・北信

新潟

大江洋々として北海に朝する信濃川の
河口、昔は五港の一と稱せられた越後の
首都新潟は、人口十有六萬、石油、電氣、
工場、鐵工場等々の近代工業と港灣都市
としての繁榮をあつめ、北國美人の名に
知られた情緒の町でもある。業界として
は廣大な越後の北半と佐渡とをこの勢力
圍に持つだけに、英氣瀟灑、小黒三郎
氏が牛耳をとれる卸商團體に新潟化粧品
小間物卸商組合があり、十有六名の
同業をその傘下にあつめ、川崎又治氏を
その組長とする新潟市化粧品小間物洋品
卸商組合は、卸、小賣を交へて四十有
四五名の組合員を擁して居る。年に二三
回あつまる程度で別段の仕事もして居り
ません」と川崎組長は謙遜して居るけ
れども、小黒氏に言はしむれば「それで

高岡

出た説明さには、道がのデパートをして
嘔然たらしめたといふ逸話さへある。一
糸亂れざる統制振りは全く敬服の外はな
い。小賣の安井組長はいふ「組合の規則
などよりは人情、乃至禮義、又は和を以
つて善處する」と、味はふ可き言葉とい
ふ可きであらう。

富山

越中富山といへば藥の都。波濤のうね
るやうな立山連峰を仰ぐ大平原の中央に
その市域を占め、東京、大阪からは、何
からするも丁度その中央、加ふるに高山
嶺が東海道と裏日本とをこゝに結びつけ
て居る。地の利から言ふも、全く北陸の
要衝、市の發展は限りなきものがある。
業界組合としては卸商側に、成田松太郎
氏を組長とする富山小間物組合があり、
昭和七年十月の組織にして現組合員十四
名。小賣側には安井榮次郎氏がその牛耳
を執る富山小間物化粧品小賣商組合があ
る、昭和五年の創立にして現在百二十有
餘名の同業を網羅して居る。此の地に於
いて最も感心したのは同業の結束に一分
のゆるみもないことである。曾つても金
澤の宮市大丸が富山に支店を設けるや、
人氣を引かうが爲めの化粧品の安賣を始
めた時、全員結束して對抗、その化粧品
全部を安値のまゝに悉く買占め、それを
定價で賣つたといふ、一石二鳥の對策に

金澤

前田氏百萬石の舊城下、加賀の金澤は
北國の首都ともいふ可き雄大なその品位
と都市の景観と風景とを併せ有つ大都市
である。最近郊外町村を合せて大金澤市

を形成したので人口正に二十萬。三公團の一たる兼六公園あり、師團あり、醫科大學あり、市中賑賑を極めて居る。業界組合としては「金澤小間物化粧品雑貨商會」「金澤雑貨商會」「金澤雜貨小間物化粧品商會」の三組合あり、以て業界の繁榮を知るに足るであらう。四組合の中、「金澤小間物化粧品商會」は業界の長老野村吉六氏をその組長として一百有餘名の同業者を擁して業界に活躍して居る。大正三年一月の創立。金澤雑貨は兼谷篤爾氏の率ゆる處にして組合員五十一名、その創立は明治四十四年にして組合として一番古い歴史を有つて居る。「金澤雜貨小間物化粧品商會」は組合員二十名、沼田恒次郎氏が組長、昭和四年の創立。「金澤市荒物」の方はそれより二年前の創立にして組長は徳野彌吉氏、組合員二十一名。

福井

金澤から汽車一時間。福井は越前の首都にして福井縣廳の所在地。名君奉獻公を以て名高い松平氏三十二萬石の舊城下今は年額五千萬圓に近しいはる、絹織物の産地としての強大な産業都市、輸出向人絹もまた二千萬圓に上るといふに徴しても、福井の富は想像されるであらう。こゝに三田崎政治氏をその組長とする福井小間物商組合あり、大正十年五月の創立にして現に五十有餘名の組合員を有して居る。三田崎組長の言ふ處によれば、小間物の衰退に引返へ化粧品的發展は年々

長野

「信濃では月と佛とおらが蕎麥」一茶の句にもあるが如く、一光三尊佛と稱せられる本尊阿彌陀如來の在はしまず長野の町は、その善光寺を中心として發達した宗教都市である。信濃縣長野縣から、一路その山門に至る南北の大道路は、常に絡驛として絶ゆることなき参詣者の續いてゐるのは、全く長野に非ずば見られない佛都風景である。隨つて業界をしてはこれらの参詣客を擁して潤利たる販賣力を有するにも拘らず、團結力に乏しく、たゞ佛かに荒物米統の長野荒物雜貨商組合を有するのみにして小間物化粧品方面には現在何等の團體をも有して

居らない。勿論以前には組合の組織があつたけれども、種々な業界事情から、既に久しき以前に解散されて了ひ、近年その再組織に奔走された人もあつたけれども、空しき努力に終つたといふのは、長野の如き大郡だけに、甚だ惜しむべきこと、言はなければならぬ。われ等は特殊な地方事情を一蹴して鞏固な組合の結成を見、確乎たる統制によりて業界の和平及びその繁榮を企圖せられむことを望んでやまない。尚、荒物組合は青木専助氏を組長として現に四十八名の組合員あり、然かも三十有五年の歴史を有し、その初代組長であつたといふ青木氏の嚴父は八十有九歳の高齡にして尙健在であるといふ。

上田

上田は長野から一時間、千曲川の右岸段丘上に位する舊築都市。維新前までは松平氏五萬三千石の舊城下、その城址は千曲川に臨む階崖にあり、今尙殘蹟を止む。業界には秋山馨氏を組長とする上田小間物化粧品商組合あり、大正二年の創立、現在三十名に近い同業者を組合員として居る。町は蠶糸と稱せらるゝだけに蠶糸及び蠶紙取引の中心地にして上田蠶糸専門學校あり、蠶紡の大工場もその敷地を千曲川畔に相して建てが展開せらるゝ。將來の大工業地帯を想はしめる。然して此の地の業界にアマチュア天文學者宮島善一郎氏あり、その篤學精進は大いに敬服に値するものがある。又以て業界の誇りとすに足るであらう。

全國組合一年史

一、昭和十年度に於ける全国各地の業界情勢を一目の下に知らしめむが爲めに調査したるものにして、過去一年中に行はれたる各地組合の事業概要を収む。
二、材料は總て各地組合よりの報告に據る。
三、隨つて組合の組織なき地方に及ばざるは遺憾なるも、現在それ等の調査機關なき業界にありては、將來の考慮に移すの外はない。
一、明年よりは勉めて廣く資料の蒐集に努め、眞の業界情勢史を編まむとする處にわれ等の理想を置く。

北海道

北海道小間物化粧品商會
八月二十日、小樽市郊外オオモイ龍宮閣に總會開催、定山溪元湯ホテルに懇親會を開く、議案如左。
一、聯合會員に限る取扱ひ商品に関する件
二、得意先の支持善處に関する件
三、化粧品の濫賣防止に関する件
四、新興化粧品に関する件
五、景品券取扱ひ手続に関する件
六、過大不當なる景品添附と宣傳に関する件
七、北海道商報に関する件
八、次回開催地選定の件
九、役員改選の件
札幌小間物化粧品商會
一月十日、新年總會。▽十月晚秋商業觀察の爲め團體旅行を行ふ。
札幌種痘會
二月十一日、商工會議所に創立總會を開く。
小樽小間物化粧品商會
一月二十五日、定時總會。
小樽種痘會
二月二日、總會、新年懇親會開催。

東北

小樽洋物商會
一月二十五日、定時總會。
小樽洋物小間物商會
一月二十日、定時總會、役員改選を行ふ。▽三月、臨時總會開催、營業收益稅申告に関する件を議す。▽五月十五日、店員慰安會及び勤続店員表彰式を舉ぐ。
小樽種痘會
一月八日、營業統制規定認可。▽一月二十日、臨時總會。
西宮時計賣金屋商會
二月二十日及び八月二十日、總會開催。▽七月一日、函館港祭の際、組合員一同提燈十數個を連れて行列に参加。▽理事會を開くこと十六回。▽十一月、組合員一同大沼公園に紅葉狩を催すべく計畫中。
帯廣種痘會
一月、定期總會を開く。▽五月、春季旅行會として十勝川温泉旅行を試む。▽毎月一回、例會開催。
網走化粧品商會
七月二日、總會開催。
仙臺小間物雜貨商會
一月十二日、定時總會を青葉に開く。
▽七月十七日、第三十回店員獎勵會並び

同業組合・商業組合・工業組合府縣別一覽表

Table with columns for Prefecture (府縣), Industry (同業組合), Commerce (商業組合), and Industry (工業組合). Rows list various prefectures like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc., with corresponding counts for each category.

に慰安會を發給神社神苑に開く、十年勤続者三名、七年勤続者十一名、五年勤続者十五名を表彰。
氣仙沼洋物雜貨商會
一月二十七日より向ふ一週間、卸賣會開催。▽三月二十日、臨時總會開催。▽四月二十六日、通常總會開催。▽八月十五日、日本産業部專務研究部長上野陽一氏の臨席を得、小賣商發展策を話題として座談會を開く。▽九月五日、東京見本市參觀の爲め上京。
一關洋物化粧品商會
二月二十日、定時總會開催、前年度事業報告及び十年度事業計畫その他の協議を行ひ、終つて懇親會を開く。▽五月五日、實業組合聯合會主催の第三回店員獎勵運動會並に精勤店員表彰式あり、組合並に小間物文具商組合ともに参加、兩組合より五ヶ年以上精勤者三名、十ヶ年以上精勤者二名表彰を受く。
花巻小間物化粧品同業組合
化粧品賣價立直し及び定休日清遊を行ふ。
秋田市小間物商會
一月二十三日、午後より秋田商工會議所に第二十三回店員表彰式を舉げ、第三十七回定時總會を開催。▽十月三日、組合員三十名、秋季運動會として河邊郡大坂野明治天皇聖蹟拜觀、同地開墾地造林を觀察の上、記念堂にて通常總會を舉ぐ。
秋田荒物商會
一月二十九日、定時總會を午後五時より松蔭亭に開く。
本莊小間物同業組合
相互扶助の精神を實踐化して組合員間の無慮講を創め落札入へは無利子を以て販賣する。
山形小間物洋品商會
一月十五日、市内囃月亭に定時總會を開き九年度事務並に會計報告、十年度に

東京

東京小間物化粧品商會
昭和十年一月十二日、組合定時總會を帝國ホテルに開催第十五回滿二十年並びに第二十六回滿十年精勤従業員表彰式を舉ぐ、表彰を受けたるもの二十二年二十一名、十年二百四十八名。▽一月二十六日、重任役員表彰式舉行滿二十年中山太一君、滿十年葉澤田芳兵衛君以上兩氏に感謝狀記念品贈呈。▽三月二十五日、東京賞金屬製造同業組合を中心とわが組合を始め關係諸組合参加の下に結成せられたる寶石關稅改正同盟會に於いては寶石十割關稅撤廢を期して猛運動を續け來りたる處、

改正案は今期議案を通過、業者多年の宿願達成せらる。三月二十六日、横浜市主催復興記念博覧会へ組合中の有志二十店を以て出品同業組合組織の上共同陳列。六月十一日、商工省より工藝品見本製作の指令あり、組合員宮本庄七商店を推薦、同店に於いては見本三十點を製作、東京府を経て納入。六月三十日組合債第六回償還並に第七回利拂執行。七月六日、組合生産高及び販賣高調査委員會を開く。七月十二日、静岡、清水地方に震災あり役員一同より義捐金壹百五十圓、各市の小間物化粧品組合を通じて震災同業者に配分贈呈。七月十八日昭和九年産業成績報告及組合経費決算報告書東京府へ提出。八月十一日、組合員中の化粧品製造業者有志に依り東京化粧品製造工業會創立同事務所を組合内に設く。八月三十日、日本萬國博覽會協會へ組合員の出資参加方動議。同、東京實業組合聯合會に於いて商業經營、工業經營、法律の三研究部設置に付組合より代表委員參加。九月二十五日、東京府商工從業員表彰規定に依る滿三十年以上精勤の組合從業員十九名推薦。九月二十八日、東京商工會議所、東京實業組合聯合會へ營業收益税査定に關する組合の意見書提出。十月七日、日本電報通信社主催中華民國經濟觀察團に組合より廣田理事參加、支那各地視察に出發。十月十一日、第十七回組合大運動會を豊島園に舉行、参加者三千名。

組合構上に開く。九月二十日、組合恒例の行事にして從業員渴望の的なる遠足會を開催、從業員七百餘名東武線雷門驛より特設列車にて栃木縣鬼怒川温泉に遊び一日の清遊を志にせしむ。

東京實業組合聯合會同業組合
一月六日、淺草草津亭に定時總會開催。同日同所に第二十七回勸業從業員表彰式舉行。四月十日、上野公園無極亭に定時總會開催。五月三日、九の内東京會館に組合創立三十周年記念祝賀會を開催、功勞者表彰、二十年以上勸業從業員表彰式を行ふ。五月八日、組合創立三十周年記念の爲め從業員一千名を熱海温泉に清遊せしむ。六月十四日、日本橋俱樂部に友松園講師を招いて講演會を開き、組合創立三十周年記念講演をも觀覽せしむ。十月十日、淺草並木クラブに第十三回講演會を開き小林一郎氏に講演を乞ひ、組合員及び從業員四百名來聴。

東京醫藥組合
一月八日、總會開催、十年勸業從業員表彰。同日役員改選を行ひ、新組長に高津三氏五選。前組長小山平藏氏表彰。

東京實業同業組合
三月三日、總會兼懇親會を熱海に開催。組合員に於いては毎月三日組合員集會の上各自任意に商取引をなすものにして特別に組合としての事業を行はない。

東京香料商組合
年始深川亭に總會を開催、役員の改選を行ふ。四月、箱根に東京、大阪香料商有志の懇親會を開く。

東京東亞商會同業組合
五月十七日、深川清澄町の大正記念館に第三回定期總會を開く。十一月一日より七日迄商業組合法施行滿三週年記念として消費大衆宣傳を本位として福引賣

出しを舉行、但指定商品に限る。

横濱化粧品同業組合
一月二十日、神奈川台田中家に定時總會開催。三月二十六日より五月二十四日までの約二ヶ月間、横濱港頭山下公園に開催されたる復興記念博覧會へ化粧品出品。五月六日、同博覽會へ化粧品本館多數を招待、ホテル・ニューグランドに懇親會を開く。十年度より店員會を復活し、店員の精神修養、思想善導並に一般取扱商品の知識涵養を期して、一年間に數回講演會を開催、且つ關係會社工業等の實地見學を行ふ。八月三日、市内中區花吹町の一八へ移轉。

櫻井實業同業組合
一月九日、第九回總會並に新年宴會舉行。九月九日、組合員旅行會決議、月壹圓積立、十一月舉行豫定。一月十八日、新年大賣立會を行ふ、昭和五年九月十八日の第一回より毎回續行。四月九日、第三回店員慰勞會舉行、一行五百名、行程多摩御殿、靖國神社、記念堂參拜、ラ・オ・ン商工場見學。十一月、五年、十年、十五年、二十年の勸業者に對して第二回店員表彰式舉行。

厚木化粧品同業組合
一月二十日、第八回定期總會開催、組合員の事業の進歩を販賣定價統制におき組合相互の懇親を深むる爲め、時々懇親會を開くことに決定。四月二十一日、役員改選引續き。六月七日、懇親會を兼ねて多摩方面に旅行。七月七日、懇親會開催。

千葉化粧品石鹼同業組合
一月、定時總會を開催、收支決算、豫算並に事業計畫等を協議す。組合の主要なる事業は販賣統制にして商品の販賣價

格協定の土上組合員嚴正に遵守履行して居る。

野田町化粧品同業組合
四月十七日、定時總會開催、表彰式を舉行、前幹事各々時治郎氏を表彰。五月二十一日、花王石鹼工場、アスカ石鹼工場見學、堀切萬壽園見物、組合員二十名參加。

佐原小間物化粧品同業組合
一月五日、新年宴會を開いて前年度の決算報告。以後毎月五日、五日會の名稱にて會合、新製品の値段協定。毎年四月店員の爲め各地商業視察旅行を行ふ。四月二十五日、第一回定期總會。七月十日、第二回定期總會開催。一月二十日より有名化粧品統制販賣價格協定實施。

群馬縣中部化粧品同業組合
四月十四日、定時總會を前橋商工會議所に開催、六月二十五日再び同所に定時總會を開く。

群馬縣西部化粧品同業組合
商業組合設立せられたるを以て從業者の高崎小間物化粧品組合は解散、目下商業組合の進展に努力しつゝあり、價格統制及び共同仕入等に關しては研究中。

佐波小間物化粧品同業組合
昭和八年群馬縣中部化粧品商業組合を組織し同九年商工大臣の認可を得、商業統制に著る爲め一部の組合は現存せるもの、自然商業組合の傘下に入り組合としての事業を行はない。

熊谷化粧品小賣商同業組合
一月一日、全地區に統制を施行。二月二十七日、第三回通常總會を開く。同日信用評定委員會を開く。一月三十一日、出資口數二〇〇口拂出資總額を一六三二圓に變更登記。五月五日、熊谷地區内の試賣を行ふ。十月十五日、

北 陸

熊谷市公會堂に協定價決定委員會を開く。同日同所に信用評定委員會を開く。

葛城地方小間物化粧品同業組合
四月十日、第二十二回定期總會を開催、役員改選及び優良組合員の表彰を行ふ。

新進化粧品小間物同業組合
四月十六日、總會を開く。

高田小間物化粧品同業組合
一月十三日、新年總會。七月十日臨時總會。七月二十日、組合員追悼會執行。十月十三日、秋季運動會舉行。

新發田小間物同業組合
一月七日、定期總會。六月五日、從業員の慰安會として他組合と聯合の上彌彦神社へ參拜。

新發田町同業組合
一月九日、新年宴會並に總會。三月九日、定時例會。六月九日、彌彦神社へ組合旅行。五月九日、定時例會。九月九日定時例會。

堀之内町小間物同業組合
春季は四月、秋季は十一月總會を開く。春季親睦の日歸り舉行。秋季他の團體と聯合慰勞會を開く。

富山小間物同業組合
三月五日、第四回定期總會を開催。四月十五日、吳羽山公園に店員慰安會を兼ね親睦會を開催す、出席者八十六名。

富山小間物同業組合
八月一日、東岩瀬海水浴場に店員慰安會を開催、出席者百十三名。

富山小間物同業組合
三月六日、總會開催、懇親會を催す。三月十日、収益税の申告につき幹部會開催。五月一日、吳羽山公園に懇親會開催。組合員出席。七月十三日、市商工聯合會より商業調査員二名選出方通知あり、委員會を開いて島倉彦作、高岡庄

中 部

次郎の兩氏に決定。十月五日、富山縣主催商業組合講演會あり組合員一同聽講。

富山小間物化粧品小賣商組合
四月總會を開く、一旬一回の定期總會にして有名化粧品の小販賣價の協定及びその實行を約す。

高岡雜貨五業同業組合
十年中の事業として雜貨五業同業組合。十月十日、組合總會。十月四日、店員慰安會。

金澤雜貨小間物化粧品同業組合
一月十二日、總會を開き前年度收支決算報告、役員改選、勸業員表彰式舉行記念品贈呈。五月十一日、組合員一同福井縣永平寺及び東尋坊へ旅行。十月十二日、組合員一同手取峽谷探勝旅行を試む。

小松小間物化粧品同業組合
三月二十五日、石川縣粟津温泉坂田屋旅館に春季總會を開催、一泊。

福井小間物化粧品同業組合
一月二十日、若原温泉に新年宴會。二月二十一日、總會。隔月十七日、商工會議所に役員會を開く。十一月十五日、周年役員店員表彰式及び大運動會舉行。

靜岡小間物化粧品同業組合
本年の間有名無實の状態にあり、隨つて報告事項なきも、先般東京同業より地價の御見舞を受け、組合名を以て市中間業者に對して慰問を行ふ。

東 部

小山町小間物化粧品同業組合
二月十七日、總會開催。

名古屋小間物同業組合
一月五日、名古屋ホテルに新年宴會を開催、十年勸業店員表彰式を舉行、第六回表彰受賞店員七名。四月三日、春季總會を下呂温泉湯の島に開き役員選舉、全部兼任。四月七日、店員慰安會として長良川を下り長良川堤及大山に觀櫻會。十月二日、秋季總會を三重縣桑名市の津屋に開く。

名古屋化粧品小賣商組合
十月十九日、臨時總會を開く。十月二十四日、中部化粧品小賣商報社と共同主催の上第三回美粧大會開催。

名古屋石鹼製造同業組合
一月四日、新年宴會。二月二十日、全國石鹼製造業聯合大會に關する準備打合せ。三月十二日、同會合。三月二十五日、同第三回會合その他會務打合せ。四月、三重縣二見ヶ浦に於ける全國石鹼製造業聯合大會に出席。八月二十五日、知多郡新舞子に會務打合せを開く。

名古屋製物同業組合
一月三日、新年宴會を牡丹亭に開く。四月一日、春季總會を玉山泉竹新館に開く。四月七日、店員慰安の爲め岐阜縣霞間ヶ谷櫻見物。十月一日、名古屋小間物化粧品同業報社内組合事務所秋季總會。十一月十一日、箱根環翠樓に東京業者との懇談會を開く。隔月一日、組合事務所に研究會を開く。

名古屋香油同業組合
一月十日、新年宴會下呂の水明館に開く。七月三日、臨時總會を東館に開く。十月四日、店員慰安會準備委員會を事務所に開く。十月十一日、松茸狩清遊を雨天の爲め左記の如く變更、晝、常盤劇場映畫觀賞、夜、歌舞伎座觀劇。

東 部

名古屋製物同業組合
一月五日總會開催、役員選舉を行ひ新年宴會を開く。五月一日、知多郡古見海岸に砂干狩を試む。

岡崎化粧品小賣商同業組合
四月二十日、第一年度事業報告並に諸議案協議の爲め岡崎公園開關に總會を開く。

福江化粧品小間物同業組合
一年一回の總會に懇談會を開いて小賣定價の改正を行ひ、店頭に掲示する外他の事業はなきも、組合員協力不正競争の防止に努め、好成績を擧ぐ。

諏訪小間物化粧品同業組合
一月十九日、組合新年宴會を開く。四月十八日、組合定期總會を諏訪開に開催、勸業店員表彰を行ひ、店員慰安の爲め甲府市に於いて探勝及び市街地實地見學を甲府市に於いて行ふ。十月三日、組合員身延山久遠寺參拜。

給本小間物化粧品同業組合
二月一日、總會を開く。

大垣小間物化粧品同業組合
大垣聯合組合にて表彰式舉行。懇親會。富山五湖遊りを試む。

高山小間物化粧品同業組合
五月二十三日、組合總會を開催、役員の改選、化粧品協定價協定、收支決算承認。向、總會に於ける協定價協定統制に就いては現在同業者間に不協なる競争を見ず至極親密なる營業成績を擧げつゝあり。

關東貨化粧品同業組合
一月十日、總會。一月十三日、湖濱旅行を試む。

神都小間物化粧品同業組合
一月十六日、總會。以後役員會を開くこと數次。

四日市小間物化粧品同業組合
一月二十一日、大正館に總會開催。▽

五月二十五日、春季旅行として藤原嶽へ登山並に聖寶寺に遊ぶ。▽八月二日、臨時總會を開き秋季旅行の件及び前會長谷元市治郎氏に記念品贈呈の件決議す。▽十月九日、幹事會を開いて秋季旅行の件を議す。

近畿

大阪化粧品同業組合

一月五日、第十四回組合新年福壽會を大阪ビルに開催。▽三月四日、第十四回動員員表式を組合事務所にて挙ぐ、表彰を受けたもの二十五年五名、十年五十二名。▽三月四日より九日迄、大阪市と共同主催の下に賞券講習會を開き。▽六月一日、恒例大運動會を奈良春日野大運動場に舉行、参加一千五百名。▽六月二十六日、鐵道荷物運賃改正に關する陳情書提出。▽滿洲國關稅改正陳情の趣旨徹底の爲め實情具陳。

大阪石鹼輸出組合

八月二十二日、創立總會を開く、理事長吉田久四郎、常任理事第一工業株式會社橋本幸七、世戸石鹼、三輪石鹼、吉田實石鹼、監事下里、豊田、栗津の諸氏當選。大阪白粉商組合。一月二十三日、南地日柄喜に總會並びに新年宴會を開く。大阪小間物卸商同業組合。一月十五日、恒例動員員表式を事務所にて挙ぐ。十年以上三十二名、二十年以上二名。▽組合定款改正を行ひ、多種複雜となる商品を整理して營業の實態に即せる部制實施。大阪荒物雜貨卸商組合荒廢會。三月九日、東京、三原山、伊豆伊東に

旅行を試み伊東に總會を開き、その席上優良社員表彰をなす。▽十月八日、江州麗々井野魚場見學後京都紙園中村樓に總會を行ふ。▽隔月、商品交換會を行ふ。大阪油卸賣商組合。四月、總會、昭和九年度收支計算の報告を行ふ。▽五月十日、伊豆熱海温泉及附近遊覽。▽十一月九日、組合員從業員模範表彰式舉行。大阪香料商組合。總會二回。▽新年會、一回。▽研究會

大阪石鹼同業組合

原料の昂騰に伴ふ石鹼製品の値上發表。▽前會長松原一郎氏、前副會長井竹松氏。▽功勞表彰記念品贈呈。▽齋藤隆實製鐵所へ工場見學、役員代議員の改選會舉行。▽業界第一線に活躍せる店員諸氏を招いて座談會開催。▽日本政府に滿洲國の石鹼關稅輕減陳情の爲め委員上京、尙再度委員を滿洲に派して同國當對に陳情、此時大連關關に石鹼評價値上に対する反対陳情をなした。▽全國石鹼製造業聯合大會伊勢山田に開かるや組合より代表二名参加。

日本刷子輸出組合

六月二十二日、總會を寶塚榮町壽樓に開く。▽七月三十一日附を以て商工大臣より統制規程制定の件認可せらる。大阪刷子卸商組合。定時總會二回。▽賣場子に語る座談會一回。▽店員慰安大遠足會一回。▽商品交換會毎月二回開催。神戸石鹼化粧品同業組合。一月二十三日、組合總會を魚利樓に開催、役員改選を行ふ。一月二十日、組合創立八十周年記念式準備の爲め評議員會を開き。▽一月二十日組合創立八十周年記念式を紙園中村樓に

舉行、次いで懇親會開催。▽二月十二日化粧品定期總會を木屋町壽樓に開催。▽二月二十三日、組合經費收支決算案を議する爲め評議員會を八坂三吉家に開く。▽同日同代議員會を八坂三吉家に開く。▽二月二十一日、昭和十年度開催の博覽會出品の件を議する爲め勸業部委員會を開く。▽三月十二日、青木宗五郎氏を招聘組合員の營業收益問題に就いての指示を受く。▽四月十六日、都ホテルに於て組合員中九商店よりの出品、滿洲國皇帝陛下台覽の光榮に浴す。▽五月二日、組合店員慰安會を協議する爲め評議員店員部委員の聯合會を開く。▽七月十九日、評議員會を八坂三吉家に開催、昭和九年度組合經費收支決算の件。▽八月二日、店員慰安の爲め八瀬より比叡登山、坂本を経て近江舞子濱に清遊會開催。▽八月七日昭和九年度博覽會收支決算勸業部よりの出品者に報告。大連小間物化粧品同業組合。一月二十五日、總會。▽三月十七日役員會。▽六月十七日、雄松ヶ濱へ旅行。▽十月十一日、京都方面へ商業視察を行ふ。長濱小間物化粧品同業組合。一月十日、總會新年會を船佐樓に開催。▽五月十日、定期懇親會として神田山に同遊會開催。奈良小間物化粧品同業組合。一月二十五日、定期總會開催、前年事業報告及び決算算審議、役員選舉を行ふ。▽五月二十五日、恒例見學旅行舉行尼ヶ崎ベルベット石鹼工場を見學、武庫川遊園地遊覽、観探り。新宮化粧品同業組合。一月二十日、總會開催、値段協定の上新年宴會を開く。福知山化粧品同業組合。十一月十一日、第十四回總會。▽一月六日、役員慰勞會。▽六月十日、店員慰

九龍化粧品同業組合

一月七日、九龍市東洋樓に總會を開く。▽二月末日、西曆福壽會發會。▽五月、西曆化粧品同業聯合會發會。大阪化粧品同業組合。四月二十二日、第二回通商總會開催左記事件を附議、滿場一致可決、閉會後懇親會を開く。昭和九年度未財產目録、同貸借對照表、昭和九年度事業報告書、同決算報告書の件、昭和九年度損失金處分の件、昭和十年收入豫算書の件、定款中變更の件、準備金及び金庫預入先の件、昭和十年度事業計畫の件、昭和十年度中最高借入金額の件。▽組合の事業として協定金の協定値段販賣及び販賣方法の統一協定實施、有名化粧品及び石鹼の共同仕入を行つて居る。松山化粧品小賣商組合。五月一日、團體旅行を試み、吳防空産業博覽會見學。▽六月二十五日、第一期定期總會松山商工會議所に開催、第一期事業報告、第一期會計報告、損益處分案を議決、監事改選を行ふ。宇和島化粧品同業組合。三月十五日、春期總會。▽四月、金尾

中 國

安會として奈良日歸へ旅行を試む。鳥取小間物化粧品同業組合。一月七日、組合總會開催、全出席。▽六月七日、組合運動會を濱村温泉に舉行出席會員及び店員家族一百名。福山化粧品小間物組合。十一月一日、市内佐の半に於て創立總會を開き規約の制定、役員の選舉及び顧問相談所の推選を行ひ、小賣値段協定の上、祝宴を開く。

四 國

九龍化粧品小間物組合。一月七日、九龍市東洋樓に總會を開く。▽二月末日、西曆福壽會發會。▽五月、西曆化粧品同業聯合會發會。大阪化粧品同業組合。四月二十二日、第二回通商總會開催左記事件を附議、滿場一致可決、閉會後懇親會を開く。昭和九年度未財產目録、同貸借對照表、昭和九年度事業報告書、同決算報告書の件、昭和九年度損失金處分の件、昭和十年收入豫算書の件、定款中變更の件、準備金及び金庫預入先の件、昭和十年度事業計畫の件、昭和十年度中最高借入金額の件。▽組合の事業として協定金の協定値段販賣及び販賣方法の統一協定實施、有名化粧品及び石鹼の共同仕入を行つて居る。松山化粧品小賣商組合。五月一日、團體旅行を試み、吳防空産業博覽會見學。▽六月二十五日、第一期定期總會松山商工會議所に開催、第一期事業報告、第一期會計報告、損益處分案を議決、監事改選を行ふ。宇和島化粧品同業組合。三月十五日、春期總會。▽四月、金尾

敬三郎氏の特賓により一行四十五名別府に清遊を試み阿蘇登山。熊本一泊。▽十月二十日、秋期總會を開く。

九 州

九州石鹼工業組合

四月十二日、定時總會開催。▽六月二十日、臨時總會開催。佐賀化粧品同業組合。一月二十八日、設立認可。▽五月十二日佐賀化粧品同業組合第十回總會を兼ねて第一回定時總會及び運動會開催。福岡鹽鹼化粧品同業組合。三月二十九日、博多商工會議所に定時總會開催。小倉化粧品同業組合。五月二十二日、延命寺武藏亭に十年度總會開催。熊本化粧品同業組合。四月一日、十年度總會を市公會堂に開催。

熊本化粧品同業組合

四月二十一日、熊本市公會堂に創立滿十周年記念總會を開催。▽四月二十一日二十日、全九州化粧品同業組合聯合總會を當番組合として主催。豊崎鹽鹼商工組合。一月、總會、續いて新年宴會を開く、列席者の主なるは鈴木長崎縣知事、大津内務部長、佐伯商工課長、長崎市長等々。▽鹽甲細工職修業卒業證書授與式。△熊本、吳、横濱、臺北の各博覽會に共同出品。▽五月、組合春期運動會開催。西肥化粧品同業組合。四月二十五日、第九回定期總會開催。六月二十七日、八月二十三日、役員會開催。▽昨年度より組合自力更生の爲め組合員定商品を販賣、着々實績を挙げつゝあり、向後大いに努力の上組合員一同一九と

西肥化粧品同業組合

六月二十七日、八月二十三日、役員會開催。▽昨年度より組合自力更生の爲め組合員定商品を販賣、着々實績を挙げつゝあり、向後大いに努力の上組合員一同一九と

組 合 團 體

ある。鹿児島化粧品同業組合。四月十九日、總會開催。▽十月六日、總會開催。宮崎化粧品同業組合。都合により總會を開催せず。▽大したる亂賣も無きにより小委員会に止む。佐伯小間物化粧品同業組合。六月二十四日、定時總會を開催、共同購入の件、商業組合組織の件等を協議したる後その研究を役員會に一任、續いて懇親會を開く。別府鹽鹼商工組合。七月二十二日、定時總會開催、昭和十年上半年期財産目録、貸借對照表、營業報告及び損益計算書承認の件、組合會費變更の件、事業執行規定一部變更の件、監事満了に付改選の件、以上を可決。

鹿児島化粧品同業組合

一月には恒例の總會、新年宴會開催。▽一月一回春季には運動會舉行。▽必要の都度幹事會開催。元山洋品鹽鹼化粧品同業組合。八月十六日、松濤海水浴場に店員慰勞の運動會を開催。毎月一回組合例會開催。清津鹽貨商組合。一月、總會開催。▽一月十日、役員改選。

大連化粧品同業組合

四月、春期總會。▽七月、前組合長小泉、馬場、今中の三氏に功勞感謝状及び銀盃一組宛贈呈。▽十月、組合旗新調。▽十月十三日、秋期總會及び運動會を舉行。

滿 洲

以上各課議案の審議を行ひ、滿場一致を以つて可決、二號案に對しては、左の

組合中心の諸問題

全區石鹼聯合大會。第十一回全區石鹼製造業組合聯合大會は、主催組合たる名古屋洗滌石鹼統制組合、名古屋石鹼製造業組合幹旋の下に、四月六日神都伊勢二見ヶ浦に於いて開催された。相會するもの七十三名、遠くは臺灣、九州をはじめ、全區石鹼界の有力者は殆ど網羅されたかの觀があつた。一回は先づ大廟に参拜して二見ヶ浦に向ひ、二見館に入るや、移の原東京石鹼組合書記長兩會の下に、主催組合を代表して名古屋兩組合の理事長石塚元雄氏開會の挨拶を述べ、全區聯合會長相馬久吉氏の式辭あり、副會長松原大阪、河内九州、金谷中國、橋本神戶各組長の祝辭演説、並びに機關新聞記者演説ありたる後、名古屋の石塚組長を議長として議事に入るや、聯合會經費豫算承認の件。二、滿洲國輸入石鹼關稅輕減に關する件。三、輸出組合の全國的擴大に關する件。四、硬化油配給に關する件。五、全國的石鹼統制に關する件。六、兼營業者によるしく兼營業者をも以つて工業組合を組織せられたきことを希望する件。七、東京、名古屋、中國に於ける石鹼業者は速かに各地に工業組合を組織せられむことを希望する件。八、既設の大阪、小樽、九州の工業組合と相俟つて聯合會を組織し石鹼界の全國的統制を期し以て本邦石鹼界の堅實なる發達を圖らむと欲する件。以上各課議案の審議を行ひ、滿場一致を以つて可決、二號案に對しては、左の

全區石鹼聯合大會

最後は緊急動議として松原氏の提案により、工業組合の設立に伴ふ聯合會規約第三條の改正を行ひ、更らに「大連油脂製造の大豆硬化油の無稅輸入並びに大豆油を以て内地に於いて硬化油原料とする場合を以ては戻稅制度を採らむことを大藏、商工、農林各省に陳情するの件を可決、實行委員として正副會長及び東京組合に一任するに決して全く大會を開きた。尙昭和十一年度の大會は中國組合主催の下に開催することとなつた。

北海道聯合大會

北海道小間物化粧品卸商聯合會の第十四回定期總會は、八月二十日を期して小樽に開催された。會せるは小樽、札幌、旭川、余市、江別各方面の有力業界人左の二十有一名。小樽 藤原英太郎氏、高桑市太郎氏、本間彌次郎氏、中山野太郎氏、松木武夫氏、毛利眞氏、村佐英一氏、秋野善太郎氏、長井廣吉氏、藤の眞助氏、西村龍直氏、池田清吉氏、江別 木村三郎氏、余市 大岡隆氏、旭川 石野安太郎氏、國澤大太郎氏、田中龍代次氏、登別 津久井寛氏、津久井寛氏、書記長 島野一三氏。島野書記長開會を宣するや、會長藤原英太郎氏一場の所感を述べて挨拶に代へ次いで書記長より會務、松本氏より會計の報告あり、議事に入るや、一、聯合會員に限る取扱ひ商品に關す

- 二、得意先の支拂差に關する件
- 三、化粧品製造に關する件
- 四、新製化粧品に關する件
- 五、景品券取扱手帳に關する件
- 六、過大不當なる景品添附添附と宣傳に關する件
- 七、北海道商報に關する件
- 八、次回開催地選定の件
- 九、役員改選の件

以上の各議案を討議の上、最後の役員改選は全部留任の動議あり、即ち
 會長 藤原英太郎氏 副會長 岡田英太郎氏
 會計 松本三郎氏
 幹事 木村勲太郎氏 高野市太郎氏 小島清一氏
 庶務 山田吉左衛門氏 田島時男氏 橋本文平氏 莊田徳太郎氏

以上の如く決定。議事全く終了するや自動車を出山溪に驅つて元湯ホテルに席を設け懇親の宴を張つた。席上藤原會長は左の如き意味の演説を試み、全會員の結束を望む處があつた。

今や世界の大勢は生産過剰の時代を現出して来た。經濟機構も又統制經濟に變りつゝある。われ等の仕事もまた東洋の事に過ぎなければならぬ。今日政府に於いても公債の行詰りから増税の餘儀なき情勢に迫られ居る。政府はこれが打開策として近く賣薬化粧品をも課税の對象物として居るらしい形勢がある。北海全道に消化される賣薬は一年五百萬圓に及ぶので、道民に供給せんとして居る。賣薬市場の脅威である。化粧品課税がなるといふならば是又、われ等業者に取りつての非常なる打撃である。これに善處するに於いては一體力によるなければならぬ。こゝに一致協力が必要である。所以である。聯合會の如きはまず、その

擴大強化を圖つてその活躍を期す可きである。

九州聯合大會

九州業界に於ける最高の指導として當にの指導、統制に任じつゝある九州化粧品商組合聯合大會は算へて正に九回四月二十一日、陽春の好季節、折からの新製本博を機として熊本市に開かれた。九州各地より参加せる代表は、午前中先づ熊本化粧品商組合の昭和十年年度總會に臨み、午後三時より市公會堂に於ける大會に列席した。各地組合代表は

- 門司組合 長谷川三郎氏 大内不次氏
- 小倉組合 西村幸三郎氏 岡田英太郎氏
- 石橋町支店 藤田時男氏
- 久留米組合 尾野忠吉氏 山田徳太郎氏
- 大牟田組合 川野忠吉氏 村上秀太郎氏 山田徳太郎氏
- 佐賀組合 小部一太郎氏 宮本一氏
- 長崎組合 廣長次郎氏 吉田清治郎氏
- 熊本組合 正清三郎氏 山田徳太郎氏 高田英太郎氏 山田徳太郎氏 金田金太郎氏 見島一氏 指田徳太郎氏 尾野忠吉氏

以上三十一名。今野熊本商工課長をはじめ新聞界、業界より多数の來賓参加。先づ聯合會長正清三郎氏起つて開會の挨拶を述べ、座談的に協議に入らむとする。長崎組合の成宮代表は協議に先立ち、昨年小倉の大會に於いて決議せられたる事項に對して聯合會は如何なる方法を執られしや、その経過報告を願ひ度い。

一、商業組合に對する取引制度實施の理由

最近業界自力更生の第一歩として各地に於ける商業組合の設立となり、組合員相互の福利増進を計りつゝあることは洵に慶賀に堪へざるべきと見られて居る。

大垣統制販賣聯盟
 岐阜縣大垣市は、岐阜及び名古屋市内に近くして常にその挨拶を受け、市場の安定を得ざるものあるを憂ひ、同業結束、大垣化粧品統制販賣聯盟を結び、十月二十日を期して大垣商工會議所にその創立總會を開いた。全市の卸小賣業者約八十名出席、發行人代表として日比甚一氏より設立の主旨を併せ、市場の現狀に徴するも、統制販賣よりこれを救ふものなきは當業者の痛感する處、業界共存の爲めに是非ともその實現を期し度しとの希望を述べ、後、北村實一氏を議長として聯盟設立の賛否を議したる處、満場一致の賛成をもつて設立に決定、直ちに規約の制定役員の選舉を行ひ、議長に日比甚一、副議長に藤井氏等を統制委員に舉げ、正副會長以下左の如く決定、全く聯盟の形體を整ふるに至つたので、日比會長より就任の挨拶を述べ、その目的とする處の價格協定に關しては、極めて廣範圍に亘る商品に對してその協定原案を可決した。

- 顧問 山田徳太郎氏 名和清助氏 村上英三氏
- 會長 日比甚一氏
- 副會長 石川忠雄氏

處也、然るに各本舗として未だ商業組合に對する取引制度なきを遺憾とす、此際本舗として時代の趨勢を洞察し是れが取引制度を實施せられむことを要望するもの也

此の案に對しては大牟田組合の川野氏提案理由の説明を行ひ

製造業者より直接需要者へといふのが時代の要求であるに拘らず、わが業界に於いては依然として本舗、代理店、販賣店の三重取引を續けて居る状態である。幸ひ中小商工業者多数の目的をもつて制定せられたる商業組合へと、業界組合が轉向しつゝあることは喜ぶべき現象である。商業組合によりて自力更生を圖り、業界百年の計を樹つべきである。よつて本案を提出したるものである。

以上の意味の説明を行ひ、熊本組合より卸關係に就いての報告あり、討議したるも、過渡期にある商業組合に對しては、速かにその多くを期待し得可きや否や、尙研究の餘地ありといふに一致、次に

一、販賣防止に對する協議研究

これに對しては長崎組合の成宮氏、大牟田組合の山田氏等より意見の開陳あり。列席のクラブ本舗酒井武雄氏、レイト本舗北瀬猛氏より、各本舗の所信を披瀝して販賣防止への協力を約する處あり、大會を終つて司旅館に懇親會を開催、翌二十日は熊本組合の案内により本妙寺をはじめ、熊本市内を遊覽、熊本博を見物して大會の幕を閉じた。

朝鮮製糖會
 朝鮮京城にその本店を有する和信商會では、昨年の春から、わが業界最初のボランタリーチェーンの組織を目指して既に朝鮮各地に二百有餘の和信連鎖店を設け、本舗との直接取引によりて業界小

輸出組合の現勢

由來、本邦輸出貿易の大部分は中小輸出業者により經營せられて來つたが、その薄資微力と同業者間の無統制状態は、動もすれば無謀な賣込競争を惹起し、加之、それに伴ふ品質の低下その他種々な弊害により本邦品の海外における信用を失墜すること甚しく、爲めに市場喪失の憂目を見切つた事例は少くなかつた。

わが政府は是に鑑み、輸出貿易の秩序統制を圖り、以てその健全な發展を期すべく、去る大正十四年三月、輸出組合法を制定し同年九月一日之れを實施した。即ち、同法によつて利害關係をともにする同業者の自治的團結の結果組織された經濟團體(協同組合)に法人格を與へ、組合員相互の協同的精神と自治的訓練とに相俟つて、各種の積極的諸事業を營し、之れをして組合員の營業を助くる經濟的助成機關たらしむるとともに、更に消極的の事業、即ち組合員の事業經營内容にまで立入つて或る程度の制限又は取締の如き事業をなす自治的統制機關たらしめ、斯業を組織化することによつて輸出業界を統制改善するの實を擧げむことを期した。

昭和十年四月現在に於ける輸出組合法施行の狀況を見るに、組合数は七十四組合(内、聯合會三)で、その總組合員数は七千四百餘名、總出資額三百三十六萬餘圓、總拂込済額百七十餘萬圓、一組合當り平均組合員数は百名餘、出資額四萬餘圓、拂込済額二萬餘圓となる。又、之れを種類別に見るとは、商品別組合が三十七、市場別組合が二十、商品及び市場別組合が十七である。

より製糖會の主要目的の一たる協定價格販賣に就いては、十日會としても深くその趣旨に賛成するも、會員として合費を負担する外、その他の義務に服することとは、本舗の立場上到底承服し難く、且つ全國何れの團體に對しても、實質的の援助を一律に斷絶し來れる先例もあれば、製糖會のみに對してその要求に應ずることの不可能なる旨を説いて譲らなかつた爲め、折衝途ひに成らずして三代表は一且退京、歸郷の上、四月十八日その報告會を京城に開催、協議の上、十日會の立場をも考慮してその意圖を汲み、規約の改正を行ひ、全く十日會側の希望に副ふことに決し、その報告を受けたる十日會では、當初の希望として申入れたる會員としての會費負擔の義務及び營業上の拘束を受く可き一切の條項が削除せられたる以上、これに参加するも問題なかる可しとのことに一決、こゝに釋然として問題の解決を見るに至つた。

化粧品製造工業會
 帝都に於ける化粧品製造業者中の一部に於いては、同業共同の利益を擁護す可き團體として化粧品製造工業會の結成を目標としてその工作を進めつゝあつた處、いよいよその準備が整つたので八月十一日、日本橋俱樂部に創立總會を開催、相會するもの四十名、發行人代表として北田正吉氏開會の挨拶を述べ、藤田秀太郎氏を座長として飯塚芳次郎氏より創立の経過並びに趣旨の説明を行ひ、議事に移るや、規約制定の件を附議決定の上、役員の選舉は、七名の統制委員を擧げて左の十五名を選び

- 顧問 今村保三氏 飯塚芳次郎氏 林儀次氏
- 會長 藤田秀太郎氏 中谷辰雄氏 上野藤二氏
- 副會長 山本角三氏 藤田秀太郎氏 朝井清輔氏 朝井三三氏 北田正吉氏 齋藤清三氏 門馬久一郎氏
- 會計 飯塚氏 當分長 藤田氏

全國業界組合一覽

〔商業組合を除く〕

組合名稱	所在地	設立年月日	組合長	書記長	組合員數
札幌小間物化粧品卸商組合	札幌市南一條西二の四	昭和七年一月	小泉清一	名達修治	一五
札幌小間物化粧品卸商組合	同 前五條西四丁目	大正十五年四月一日	齋藤備平	大槻善太郎	一八
函館小間物化粧品卸商組合	函館市高砂町一三	明治二十六年五月	齋藤備平	大槻善太郎	六七
函館和洋小間物商組合	同 高砂町一三	大正十二年一月	村住三右衛門		一二
小樽小間物化粧品卸商組合	小樽市花園町西二の二八	明治二十七年	河邊甚藏		六〇
小樽洋物小間物商組合	同 稻穂町西六の九	昭和五年十二月三日	市岡六郎		六〇
小樽化粧品製造組合	同 綠町三丁目 齊藤猛方	昭和九年四月十三日	山崎自治	中村寛一郎	一〇
小樽石鹼工業組合	同 住初町二の一七	大正八年十月	足立敬次郎		一八
小樽炭物漆器問屋組合	同 港町大通 足立合名會社内	大正十一年十月	壽原英太郎	鳥野一二	三八
北海道小間物化粧品卸商聯合會	同 住初町二の一七	大正七年六月	山本龜次郎	新木新藏	一二
旭川小間物化粧品卸商組合	旭川市三條通八右四號	大正九年一月十一日	西田幸次郎	高桑美三郎	五〇
旭川荒物雜貨商組合	同 四條通五丁目左一號	明治五年二月	森島利一郎	齊藤爲太郎	一五
岩内洋品小間物商組合	岩内町廣盛町一一五 齊藤方	昭和五年五月二十七日	高橋善之助	山口 清	二〇
稚内化粧品卸商組合	稚内町本通北三丁目	大正二年	寺江甚助		一九
稚内荒物雜貨商組合	同 町北濱通三丁目	大正五年	莊田徳太		六三
帶廣小間物商組合	帶廣市大通九丁目	明治四十五年	村瀬兼次郎		二一
釧路洋物小間物商組合	釧路市南大通六 村瀬方	大正十年一月二十四日	酒井法弘	岩堀氏康	二六
釧路藥業組合	同 大川町五二 酒井方	大正十四年一月	林好次	布施勇三郎	二〇
網走化粧品卸商組合	網走町南四條西一	昭和三年五月	寺田源藏	寺田源藏	一〇
伊達町小間物化粧品卸商組合	伊達町網代町一〇	大正二年	岩田友男	寺川定次郎	三〇
江別荒物雜貨商組合	江別町二五	昭和三年九月一日	丹野宗三郎	市川啓作	一四
厚岸化粧品卸商組合	厚岸町	昭和八年十一月十五日			一九
厚岸小間物化粧品卸商組合	同 町松葉町				

組合役員選舉

全国各地に於ける業界關係組合の役員中、昭和九年十一月一日より十年十月末日迄の間に於いて新たに改選せられたるもののみを掲ぐ。調査は各組合より報告に據る。

- 東京炭物問屋組合
 會計監督 小西安兵衛商店
 組長 中村茂八
 副組長 森友商店
 評議員 駒木銀三郎
 同 下田嘉右衛門
 同 黒田市之助
- 東京賣場糖製海業組合
 九年十二月二十三日改選
 組長 富田三五郎
 副組長 山田富作
 會計 吉田末吉
 協議員 渡邊長三郎
 松山 定吉
 湯川 九市
 幹事 石川初藏
 加藤勝太郎
 鹽澤四郎吉
 尾高 鐵三
 北川 文吉
- 岩内小間物洋品商組合
 十年一月五日改選
 組長 森嶋利一郎
 副組長 齋藤爲太郎
- 帯廣藥業組合
 十年一月五日改選

組合名稱	所在地	設立年月日	組合長	書記長	組合員數
大泊小間物化粧品卸商組合	大泊町本町大通南一の一三	大正十一年七月	田邊清志		二〇
知取雜貨商組合	知取町初音町一の一四	昭和二年	丸山 造		三〇
青森和洋小間物商組合	青森市大町一の一四	明治三十五年五月	樋口喜輔		五六
弘前小間物商組合	弘前市大字和徳町	明治三十年七月十五日	大高啓吉	原田啓三郎	三八
盛岡小間物化粧品卸商組合	盛岡市三戸町一四八	大正十三年十月二十五日	熊谷長八	井上留吉	六八
一關洋物化粧品卸商組合	一關町宇地主町二九	昭和二年四月一日	千葉 繁	佐々木 猛	一〇
一關小間物文具商組合	同 大町 文港堂方	大正六年四月一日	佐藤喜平	千葉久之蔵	一五
花巻小間物化粧品卸商組合	花巻町二二三	大正七年	岩田豊藏		一八
秋田小間物商組合	秋田市秋田實業組合聯合會内	明治三十一年二月十一日	木内隆一	米塚勇五郎	三四
秋田荒物商組合	秋田市秋田實業組合聯合會内	大正十二年十月	片屋永之助	米塚勇五郎	三〇
能代小間物商組合	能代港町上町マルキ洋品店內	大正四年五月	岸部儀助		二六
本莊町小間物同業組合	本莊町大町三九	大正七年十月一日	伊藤久吾	武田壽次郎	三〇
山形小間物洋品商組合	山形市旅籠町一丁目	明治三十六年十月	佐竹久司		四〇
鶴岡小間物商組合	鶴岡市上音町	大正三年五月	小池銀太郎		三四
鶴岡荒物商組合	同 新町甲八一	明治十七年五月	諏訪 富右衛門	諏訪 富右衛門	二七
鶴岡織物製造業組合	同 上音町五八	昭和六年三月	五十嵐 善五郎	五十嵐 善五郎	九
酒田小間物洋品文具商組合	酒田市大工町二七	明治三十八年二月五日	高山菊次郎		三二
酒田荒物商組合	同 商工會議所内	大正七年五月	五十嵐傳七	大泉慶治郎	四〇
仙臺小間物雜貨商組合	仙臺市大町四の三八	明治三十一年十月	齋川久吉	井澤慶太郎	四六
石巻洋品雜貨同業組合	石巻市大町三丁目	大正九年十一月三日	菊田貞吉	四倉徳造	一五
平小間物洋物商組合	平町四の二六	大正十年六月	猪狩庄平	中野庄吉	一二

- 組合長 石神 清二
 副組合長 法岡建次郎
 幹事 高橋 要
 同 上出 豊茂
- 依原小間物化粧品卸商組合
 十年一月五日改選
 組長 大木 宗藏
 評議員 藤原竹次郎
 同 喜多見正二
 顧問 伊藤松之介
- 名古屋製糖商組合
 十年一月五日改選
 組長 山田 治助
 副組長 岩田彦兵衛
 常任幹事 岡田豊太郎
 伊藤 銅次
 牧野 勘七
 水野信太郎
 古澤勘次郎
- 東京製糖業具製造販賣同業組合
 十年一月六日改選
 組長 長谷川五郎
 副組長 向笠 井
 會計主任 荒井 福治
 評議員 福本福太郎
 田中與會一
 池上慶次郎
 田中又次郎
 谷村伊右衛門
 中村 清
 那須神太郎
 山田健之助
 村山東次郎
 大橋 藤藏
 宮崎新三郎
 今井清次郎
 鈴木 國藏
 相談役 村山善兵衛

水戸市小間物化粧品商組合	水戸市商工會議所内	明治三十八年八月二日	中田彦太郎	八三
土浦市物産商組合	土浦町 榮沼方	昭和七年一月	榮沼繁之助	五
土浦市化粧品商組合	同 本町八三八		上野源吉	三五
栃木町小間物化粧品商組合	栃木町優町 杉江方	大正十四年一月	杉江龜松	六八
小山小間物化粧品商組合	小山町本町二二一五	大正十五年一月	野田喜平	三〇
前橋小間物商組合	前橋市立川町	明治四十年	高橋政次郎	二〇
高崎小間物化粧品商組合	高崎市本町一一五	大正九年九月一日	清塚佐太郎	一五〇
高崎化粧品商組合	高崎市田町九五	明治三十一年	國峯辰治	一一
澁川物産商組合	澁川町上之町二三二一梅澤方	大正十一年二月	梅澤四郎	一〇
沼田小間物化粧品商組合	沼田町甲一一二八	大正十一年十一月	中山勝次郎	一五
佐渡小間物化粧品商組合	伊勢崎町一〇八七	大正十五年五月五日	星野忠藏	五四
川口荒物商組合	川口市本町三三〇三	大正十四年一月	増田秀次郎	一八
川越市小間物化粧品商組合	川越市高澤町 近與商店内	昭和元年五月	戸田安治	五三
大宮化粧品商組合	大宮町四一〇七	大正七年十一月	清水満藏	七八
秩父化粧品商組合	秩父町一三八七	昭和五年三月	平井久吉	一五三
葛飾地方小間物化粧品商組合	葛飾町春日町三五九	明治三十九年三月	平澤清十郎	一七六
深谷小間物化粧品商組合	深谷町深谷二〇二 横田方	昭和二年三月	横田治郎三	四〇
千葉化粧品商組合	千葉市本町三の五三八	昭和四年十一月十一日	宇津木市五郎	一一二
野田町化粧品商組合	野田町二の二四六	大正十年五月三日	岡田安司	三五
佐原小間物化粧品商組合	佐原町佐原一四八七	大正三年二月二日	大木宗藏	一七
木更津化粧品商組合	木更津町一六八八	大正四年七月	大野一郎	五〇
東京小間物化粧品商組合	東京市日本橋區馬喰町三の三	明治二十五年四月十九日	小林富次郎	九五九
東京小間物商組合	同 日本橋區橋本町四の九	明治三十九年十月二十七日	三野村金次郎	七一一
東京石鹼製造同業組合	同 本所區江東橋三の九	明治三十一年五月五日	相馬久吉	八三

横須賀市雜貨商組合
 組合長 村松 規具
 副組合長 田邊 重郎
 會計 新野春之助
 幹事 杉浦富士松
 品川 順一
 池田作三郎
 佐藤 繁雄
 實立會幹事
 立川良太郎
 江畑 雅充
 前原 良市

須賀小間物化粧品商組合
 組合長 北島 金吾
 副組合長 藤津喜久治
 庶務幹事
 北村 幸吉
 會計幹事 町田 弟治
 廣田正太郎
 瀧澤甚左衛門
 幹事 小田切義三郎
 坂田 良重
 金澤雜貨商組合
 組合長 葉谷 篤爾
 副組合長 宮本三千雄
 會計主任 岡本伊三郎
 會計 天日 一雄
 部長 宮本 字平
 出村 喜作
 村上 藤吉
 長村 五六
 彦市

武生小間物化粧品商組合
 組合長 宇野 貞吉
 副組合長 清水 愛治

東京石鹼製造同業組合	東京市本所區江東橋三の九	明治三十一年五月五日	相馬久吉	八三
東京香粉商組合	同 日本橋區本町四の九	明治四十年八月十六日	長谷川 藤太郎	二三
東京雜貨商組合	同 淺草區柳橋二の五	明治三十八年十二月十日	長谷川五郎	二〇六
東京雜貨物問屋商組合	同 日本橋區小網町一の二	大正五年六月十六日	中村茂八	二〇
東京洋裝雜貨商同業組合	同 日本橋區堀切町四の一	明治四十五年六月十四日	加藤末藏	一一〇
東京黃楊製業組合	同 本所區湯島天神町一の七	明治二十八年五月八日	富田三五郎	四五
東京製形業組合	同 日本橋區横山町一〇	明治三十三年十月九日	高津 卓三	四七
東京製人毛商工組合	同 淺草區松清町三 瀬戸方	大正十四年	瀬戸直次郎	二二九
横濱化粧品商同業組合	横濱市中區花咲町一の一八	大正元年九月四日	霜田七郎	九七
横須賀雜貨商組合	横須賀市大瀬町 村松紙店方	昭和六年一月五日	村松 規具	三一
厚木化粧品商組合	厚木町二六〇四	昭和二年十月	岡部能太郎	三〇
小田原化粧品商組合	小田原町幸一丁目 里見方	昭和四年十一月	里見德太郎	五二
秦野洋物化粧品商組合	秦野町二六八七小泉忠次郎方	大正三年六月	佐々木 元三郎	九
三崎化粧品商組合	三崎町日の出六八	昭和六年四月一日	佐々木 元三郎	二二
新潟小間物雜貨商組合	新潟市本町通六番丁一一二九	昭和四年五月	小黒喜三郎	一六
新潟市化粧品商組合	同 本町通八番町	大正十四年四月	川崎 又治	四三
高田小間物化粧品商組合	高田市東本町三の一七〇	大正八年一月十三日	丸山喜太郎	二五
高田小間物雜貨商組合	高田市東本町三 丸山方	大正元年一月十三日	丸山喜太郎	二五
長岡市小間物雜貨商組合	長岡市東千手町	明治四十二年二月	山口 健造	七三
柏崎百貨同業組合	柏崎町本町七丁目	昭和四年	市川茂平治	四〇
三條小間物洋品商組合	三條市三條字二の町	大正四年五月	吉田 熊次	七〇
新發田小間物商組合	新發田町新道四六五	昭和二年八月	齋藤太四郎	一五
新發田町雜貨商組合	新發田町萬町	大正五年一月	田村甚左衛門	一一
小千谷小間物同業組合	小千谷町 西脇方	明治三十六年	西脇新次郎	三〇
堀之内小間物商組合	堀之内町大字堀之内	昭和三年七月	矢島 京平	一一
新津町小間物同業組合	新津町上山谷	大正十四年	吉田 德次	一〇

關東雜貨化粧品商組合
 組合長 藤田 新六
 副組合長 小島 富永
 幹事 野田源兵衛

長濱小間物化粧品商組合
 組合長 羽瀨美三郎
 會計 中島 昇
 幹事 道廣三郎
 同 中澤 發三
 同 林 泰二

長崎雜貨商工組合
 組合長 垣立 寅藏
 副組合長 川口 榮藏
 同 中古賢民地
 理事 田中 秀雄
 東 才次郎
 菊地東一郎
 松本芳次郎

清津雜貨商組合
 組合長 松岡 茂藏
 幹事 浦木 彌楠

積内化粧品商組合
 會長 高橋善之助
 副會長 杉森 一治
 評議員 寺江 甚助
 福富八太郎
 山口 謙

山形小間物洋品商組合
 組合長 佐竹 久司

組合團體

Table listing various agricultural and industrial associations across different prefectures (e.g., 富山, 石川, 福井, 長野, 岐阜, 愛知). Columns include organization name, location, date of establishment, and members.

Vertical text providing details for specific associations, including names of presidents and members, and dates of establishment.

組合團體

Table listing various agricultural and industrial associations across different prefectures (e.g., 愛知, 岐阜, 長野, 福井, 石川, 富山). Columns include organization name, location, date of establishment, and members.

Vertical text providing details for specific associations, including names of presidents and members, and dates of establishment.

福江化粧品小間物組合	福江町島字下地四九	昭和四年一月十五日	山本大三郎	朽名八十馬	一八
豐橋化粧品小間物組合	豐橋市中業町四九	昭和二年四月十四日	石原壽吉	中川末吉	三五
牛成化粧品小間物組合	半田町 大西商店方	大正七年一月十七日	豐羽政治	大井崇次	五二
豐川町牛久保町小間物化粧品組合	豐川町 松井屋方	昭和三年	松井健三		五五
三重縣					
神都小間物化粧品商組合	宇治山田市一之木町二二九	明治四十二年十一月一日	淺沼助藏	和田善兵衛	五〇
四日市小間物化粧品商組合	津市中之香町七〇四	明治十三年二月五日	増富嘉兵衛		一八
松阪小間物商組合	四日市市野町 佐倉方	昭和九年二月	井田正名		一〇
尾鷲化粧品商組合	松阪市新町	大正十一年四月	垣内源一郎	垣内源一郎	三〇
桑名小間物化粧品商組合	尾鷲町 垣内方	昭和三年	陣田金一		一五
上野小間物化粧品商組合	桑名町川端町	明治三十三年一月十日	川合久吉	伊室金次郎	二五
京都府					
京都小間物化粧品商組合	京都市下京區東洞院五條上	明治四十二年十一月二日	松尾喜七	西川甚之助	一三五
福知山化粧品商組合	福知山町字下新町	大正十一年六月二十五日	牧 彌三松	淺場留治	三八
綾部化粧品商組合	綾部町	大正十二年	梅垣英次郎		三二
舞鶴雜貨小間物商組合	舞鶴町字竹屋 土井方	昭和九年九月八日	土井駒藏		一六
兵庫縣					
神戶石鹼化粧品商組合	神戶市淡路區多聞通三の四	大正十一年七月一日	播磨幸七	山内直一	四五
姫路化粧品石鹼商組合	姫路市北條口四四	昭和七年一月十六日	額田善治		一三
大阪府					
大阪小間物商同業組合	大阪市東區北久寶寺町二丁目	慶應三年八月	田中常三郎	萩原靜三	四七五
大阪化粧品同業組合	同 東區博愛町二の五	大正九年六月十八日	中山太一	石川靜三郎	二八〇
大阪石鹼同業組合	同 南區安堂寺橋通四の二九	明治三十三年十一月一日	藤田善治郎	三 阪 涉	一二七
大阪雜貨商同業組合	同 東區博愛町四の五三	大正十一年五月十四日	大谷藤四郎	田中久明	五二
大阪白粉商組合	同 天王寺區上本町九の三四	明治三十四年	神田莊治郎	森脇正道	三〇
大阪香料商組合	同 東區淡路町二の三五	大正十四年七月二十五日	田村 眞策	橋本義一	二九
大阪油卸商組合	同 東區京橋三の一一	明治十四年九月	長谷川 彌三郎	荒木久次	二七
日本刷子輸出組合	同 東區兩替町一の一七	昭和三年八月二十四日	岡 田 治	古澤友治郎	八六

組長 播磨 幸七
副組長 伊藤安治郎
同 竹本 梅吉

大津小間物化粧品商組合
十年一月二十五日改選
組長 松村留次郎
副組長 吉村儀三郎
會計 西川安太郎
役員 大谷淺治郎 吉川秀太郎
書記長 飯田勝次郎

奈良小間物化粧品商組合
十年一月二十五日改選
組長 小林 米藏
副組長 奥村 菊藏
同 藤井 榮吉
同 白木喜三郎
同 松本徳次郎

岩井 信吉 稻村爲太郎
服部 宗市 橋村 嘉郎
細川六兵衛 奥田藤二郎
吉川定二郎 武野 留藏
竹田 謀三 宗岡 石藏
上田定次郎 山田新一郎
八尾 源作 松野 富藏
前田治三郎 松原 一信
廣岡文右衛門 森川 正吉
相談役 飯田 眞三
同 山田梅三郎
同 森川 菊松

札幌小間物化粧品商組合
十年一月改選
組長 小泉 清一

大阪蒸物線香商組合	大阪市北區老松町一の二〇	明治二十九年五月	福井伊助		一〇
大阪 織 商 組 合	同 東區高麗橋町四八川原方	明治二十三年七月	川原義六		一〇
堺化粧品同業組合	堺市大町東二丁目 三好方	大正元年十月十五日	三好爲三		二〇
堺線香同業組合	同 商工會議所内	大正二年九月五日	中田作五郎	正木良昌	六〇
奈良縣					
奈良小間物化粧品商組合	奈良市元興寺町	大正五年十月	小林米藏	若狭義太郎	一〇〇
郡山化粧品藥業組合	郡山町矢田 藤田方	大正十三年八月十日	藤田龍三		六五
高田化粧品協定會	高田町二の一八二六	昭和三年二月十一日	細井榮造	安井徳松	六一
和歌山縣					
和歌山化粧品小間物同業組合	和歌山市杉ノ馬場三の一	大正七年八月一日	岩 橋 濟	湯淺精吉	八一
和歌山小間物化粧品商組合	同 杉ノ馬場三 岩橋方	大正七年七月	岩 橋 濟		六〇
和歌山雜貨商組合	同 東仲町一の三	明治十二年	前田茂兵衛		八
新宮化粧品商組合	新宮市新宮浮島一〇〇	大正五年	兒島勝太郎	井野 博	五五
海南小間物化粧品商組合	海南市日方	昭和四年	小島由太郎		三五
田邊化粧品商組合	田邊町大字榮町	昭和五年一月十六日	山本善一郎	山本善一郎	四三
御坊町小間物化粧品協會	御坊町大字御坊	昭和八年十月			八
鳥取縣					
鳥取小間物化粧品商組合	鳥取市川端三の五六	大正二年四月一日	松田恒藏		三〇
米子雜貨小間物商組合	米子商工會議所内	昭和五年六月十九日	神庭政七		二八
島根縣					
松江市小間物化粧品商組合	松江市白湯本町 梶谷方	明治二十五年	梶谷種一郎		六
今市小間物化粧品商組合	今市町六五二	明治四十二年七月	片岡信助	横木米次郎	一八
岡山縣					
岡山小間物化粧品商組合	岡山市商工會議所内	大正十二年二月二十日	三宅 橫吉	角南芳太郎	三〇
岡山雜貨商組合	同 下町五二	大正九年四月十日	林 泰 八	黒田秀太郎	一七
津山化粧品商組合	津山市商工會議所内	昭和五年三月二十六日	富岡 徳平		一八
倉敷小間物化粧品商組合	倉敷市阿知町 原方	昭和二年三月			二四
廣島縣					
廣島雜貨商組合	廣島市段原橋町八一	大正七年十月	柴田益明	谷山厚太郎	二七

組長 金田 正清
幹事長 長谷川四郎
幹事 小六 秀義 羽島千賀惠
關根 源七 小野平次郎

東京製藥業組合
十年一月二十五日改選
組長 高津 卓三
副組長 石橋傳五郎
會計 鈴木鉦太郎
許議員 小川 平藏 川上徳四郎
大島 茂一 田久保爲藏
原利喜藏 水野 萬次
杉田 貞治 酒井 亨市
三澤治郎造

豐山化粧品同業組合
十年一月改選
組長 西尾 角藏
副組長 日の丸商店
會計 富原 研二
幹事 加納 商店

奉天洋雜貨化粧品商組合
十年一月一日改選
組長 加藤佐太郎
副組長 服部榮三郎
幹事 熊野 光治 宮本 鐵次
深村 寛文 八田 留雄
高橋他五郎 光川金治郎
監督 磯尾彌太郎

敦賀化粧品商組合
十年二月十八日改選
組長 池田 藤吉
理事 三三

組合團體

Table listing various trade associations (e.g., 福山化粧品小間物商組合, 尾道化粧品小間物商組合) with columns for organization name, location, date of establishment, and members.

山田信治郎 小西與三吉
岡田吉三郎 堤中 鶴吉
福井小間物化粧品商組合
十年二月二十一日改選
組合長 三田崎政治
副組合長 板倉 末吉
理事 北村 八平 武田吉太郎
河合彦三郎 矢野新太郎
田中深次郎
顧問 飯田 敬藏
富山小間物商組合
十年三月五日改選
組合長 成田松太郎
副組合長 永藤 徳平
幹事 坂井竹次郎 吉尾良次郎
板倉 治平 高松直次郎
金澤小間物化粧品商組合
十年三月改選
組合長 野村 吉六
副組合長 南 清八
會計 石崎作太郎 香井竹次郎
長野市雜貨商組合
十年四月一日改選
組合長 和田 榮吉
副組合長 桐澤 豊吉
會計 山崎 萬吉
名古屋小間物商組合
十年四月三日改選
組合長 森本 善七
副組合長 村上 庄造
會計 野原 文吾
理事

組合團體

Table listing various trade associations (e.g., 別府小間物化粧品商組合, 中津化粧品小間物商組合) with columns for organization name, location, date of establishment, and members.

竹市 代吉 桑山喜京郎
山田 治助 佐竹幹三郎
東京小間物化粧品商組合
十年四月八日改選
組合長 三野村金次郎
副組合長 島田 眞
同 松下 幸助
會計監督 藤田喜兵衛
同 住田金太郎
評議員 石原 鈴吉 濱田仁三郎
外池五郎三郎 尾澤 四郎
渡邊竹次郎 川端 一雄
兼 蒔悦 吉田 實
兼 正三 高野 末四
永須達三郎 並木 次人
永坂 達三 村上信次郎
山岸米太郎 矢内徳太郎
松澤 與八 小作常太郎
坂巻 寛一 北村晴太郎
志知宗三郎 平澤愛太郎
杉村淺次郎
名譽顧問 原田久兵衛 松田幸治郎
三輪善兵衛 森 惣兵衛
相談役 西村 力藏
高瀬地方小間物化粧品商組合
十年四月十日改選
組合長 平澤清次郎
副組合長 福田 啓助
同 水野 清司
書記 遠藤山太郎
評議員 堀部 安司 齋藤喜兵次
嶋田 昌信 正木正五郎
矢嶋力之助 黒須角太郎

組合名稱	設立認可年月日	區域	業種	員數	出資額	事務所	代表者
青島和洋雜貨同業組合	中華民國九年	青島	雜貨
大連市浪速町一二五	大正十四年二月十一日	大連	雜貨
奉天洋雜貨化學品商組合	昭和五年十一月二十一日	奉天	化學品
京城府本町二丁目	昭和六年一月	京城	化學品
釜山府大倉町三丁目	昭和四年	釜山	化學品
仁川府本町三丁目	昭和五年	仁川	化學品
元山府本町三丁目	昭和五年	元山	化學品
清津府明治町	昭和五年一月一日	清津	化學品
大連市浪速町一二五	大正十四年二月十一日	大連	雜貨

青木長兵衛 齊藤和兵衛次
 福岡化粧品石鹼商組合
 十日會
 理事 井上 與吉
 副理事 三島 順次
 理事 山口三郎 正木藤次郎
 山本伊三
 新濁化粧品小園物雜貨
 卸商組合
 理事 小黒喜三郎
 幹事 須賀田治郎 八
 川崎 又吉
 野田町化粧品同業組合
 十年四月十七日改選
 組合長 岡田 安司
 副組合長 直井 近藏
 幹事 茂木 直藏
 幹事 杉崎 市郎 飯島 年子
 中野 武義 戸邊 龜吉
 鹿兒島化粧品商組合
 十年四月九日改選
 理事 吉水 洗耳 吉田 源治
 監事 山下 榮吉 染川 平
 理事 豊田 良高
 理事 岩下 明治 宮原 榮吉
 岡崎化粧品小賣商組合
 十年四月二十日改選
 理事長 三浦 明治

業界全國商業組合一覽
 自昭和九年十一月二日
 至昭和十年十一月二日

組合名稱	設立認可年月日	區域	業種	員數	出資額	事務所	代表者
青島和洋雜貨同業組合	中華民國九年	青島	雜貨
大連市浪速町一二五	大正十四年二月十一日	大連	雜貨
奉天洋雜貨化學品商組合	昭和五年十一月二十一日	奉天	化學品
京城府本町二丁目	昭和六年一月	京城	化學品
釜山府大倉町三丁目	昭和四年	釜山	化學品
仁川府本町三丁目	昭和五年	仁川	化學品
元山府本町三丁目	昭和五年	元山	化學品
清津府明治町	昭和五年一月一日	清津	化學品
大連市浪速町一二五	大正十四年二月十一日	大連	雜貨

當務理事 木俣 開吉
 會計理事 加藤 三郎
 理事 中根松太郎 多羅尾八郎
 成瀬嘉一郎 井澤 宗治
 倉橋 儀
 監事 井澤 正二
 高橋三四郎
 三浦 佐逸
 小樽雜貨賣場化學品商
 組合
 十年四月改選
 理事長 谷黒 莊平
 庶務理事 棚元三太郎
 同 吉川與三太郎
 會計理事 渡邊 正助
 理事 入山 三郎 三ツ野得二
 岡島允治郎
 本田 三三 目黒 賢助
 坂野 祥介
 高山小園物化粧品商組合
 十年五月二十三日改選
 組合長 瓜田 米吉
 副組合長 山下 齊
 理事 塚越徳次郎 下出 佐吉
 打保 爲吉 川上 新助
 高原彌一郎
 會計 組合長兼務
 下關化粧品商組合
 十年五月二十四日改選
 組合長 日向野久次郎
 副組合長 前田 貞祐
 同 原田 管治
 同 河野 清一

Table listing various industry associations (e.g., 富山縣度量衡器計量器商業組合, 上野原商業組合) with columns for name, location, establishment date, capital, membership, and representative names.

Vertical text providing details for specific associations, including names of presidents and board members, and dates of establishment or revision.

業界全國工業組合一覽 (昭和十年十一月一日現在)

Main table listing industry associations across various regions (e.g., 北海道, 東京府, 大阪府) with columns for name, location, establishment date, capital, membership, and representative names.

Vertical text providing details for specific associations, including names of presidents and board members, and dates of establishment or revision.

組合團體

Table listing various industrial associations (e.g., 日本溫度計工業組合, 日本體溫計工業組合) with columns for name, location, date, membership, and representative.

四〇

Vertical text providing details for specific associations like 仁川化粧品同業組合 and 北海通小間物化粧品同業組合.

業界輸出組合一覽

昭和十年十一月一日現在

Table listing export industry associations (e.g., 神戸人造真珠硝子珠工業組合, 兵庫縣輸出莫大小工業組合) with columns for name, location, date, membership, and representative.

Table with columns for 組合名 (Association Name), 設立認可年月日 (Incorporation/Approval Date), 地域 (Region), 員數 (Members), 出資總額 (Total Capital), 事務所 (Office), and 組合長 (President).

組合團體

四一

Vertical text providing details for associations like 函館時計貴金屬商業組合 and 福山化粧品小間物商組合.

Table listing various industry associations (e.g., 對佛瑞白輸出組合, 東京東亞輸出組合) with columns for name, location, date, president, and price.

大阪物産貨物商組合

十年十月八日改選

- 會長 大谷藤四郎
役員 藤原市郎治, 竹谷新助, 古田米藏, 佐藤菊太郎

十年十月十三日

- 組合長 夏川榮造
副組合長 石川良三郎

十年十月十五日現在

- 理事 坂田伸造
理事 田代榮雄, 渡邊儀三郎, 榮崎惣太郎, 桑原登, 梓澤登吉, 岡戸正次郎

小山町小間物化粧品商組合

十年十月十七日改選

- 組合長 八木實作
副組合長 小野建, 原四男作

十年十月十九日改選

- 名古屋化粧品小賣業組合
理事 坂本安平, 岩田嘉一

全國機關新聞一覽

【昭和十年十一月一日現在】

Main table listing national organizations (e.g., 日本莫大小輸出組合, 兵庫縣滿蒙輸出組合) with columns for name, location, date, president, and price.

網走化粧品商組合

以下新子... 昭和十年甲の改選

- 顧問 早川徳三郎, 井上祐三郎, 後藤庄太郎, 加藤京治郎, 伊藤銀四郎

東京山之手藥粧商業組合

十年十月十五日現在

- 理事長 荻村武郎
理事 喜多川辰三, 矢内徳太郎, 勳柄正平

仙臺小間物雜貨商組合

十年十月十五日現在

- 組合長 齊川久吉
副組合長 櫻井益之助

名古屋小間物化粧品商報	名古屋市中區白川町五の二七	明治三三年三月三日	森本善七	緒川頑太郎	旬刊	一年	一〇〇〇
中央化粧品新報	名古屋市中區南久屋町二の五	大正二年七月一日	加藤寛次郎	加藤寛博	月刊	一年	一〇〇〇
中部化粧品小賣商報	名古屋西區中村町五丁目一七〇	昭和六年三月一日	山森康光	山森康光	月刊	一年	一〇〇〇
神戸業界商報	神戸市東區多聞通三の五	大正一〇年一月一日	山内直一	山内直一	月刊	一年	一〇〇〇
北海道小間物化粧品商報	小樽市住初町二の二七	大正一三年二月一日	北海同道業聯合會	島野一二	月刊	一年	一〇〇〇
札幌小間物化粧品商報	札幌市南二條西五	昭和四年五月一日	金井恒喜	前田建	月刊	一年	一〇〇〇
北日本小間物化粧品商報	函館市高砂町一三	大正一五年四月一日	大槻善太郎	大槻善太郎	月刊	一年	一〇〇〇
東北小間物化粧品商報	仙台市東二番丁一〇三	大正一五年七月一日	井澤慶太郎	井澤慶太郎	月刊	一年	一〇〇〇
靜岡縣化粧品雜貨商報	濱松市田町四一	昭和七年一月一日	坪田勇治郎	淺野敏樹	月刊	一年	一〇〇〇
豐橋化粧品小間物商報	豊橋市花田町字狭間六	昭和三年五月一日	近藤又吉	坂田市三郎	月刊	二年	一〇〇〇
岐阜小間物化粧品雜貨商報	岐阜市柳ヶ瀬町四丁目	昭和七年八月一日	長谷川豊市		月刊	一年	一〇〇〇
奈良小間物化粧品新報	奈良市元興寺町	大正一一年二月一日	小林米藏	小林米藏	月刊	一年	一〇〇〇
播磨化粧品月報	三石市櫻町一の一五	昭和六年二月一日	小田清太郎	小田清太郎	月刊	一年	一〇〇〇
九州日本商報	福岡市博多行町五三	大正一四年八月一日	中尾映巳	中尾映巳	月刊	一年	一〇〇〇
西日本商報	廣島市白島中町四五	昭和九年一月一日	大谷慶輔	大谷慶輔	月刊	一年	一〇〇〇
關西商報	大分市千代町	昭和二年三月一日	松本晴夫	野榮健一	月刊	一年	一〇〇〇
三州化粧品小間物商報	鹿児島市西田町七七	昭和五年五月一日	川吉孝三	川吉孝三	月刊	一年	一〇〇〇
臺灣化粧品雜貨商報	臺北市京町三の一	昭和七年七月一日	小高育太郎	香取靖堂	月刊	一年	一〇〇〇
滿洲商報	京城府大和町二の七	大正一三年四月一日	高橋芳翠	高橋芳翠	月刊	一年	一〇〇〇
鮮滿化粧品雜貨商報	大坂市東區南久寶寺町四の七	昭和八年六月五日	三谷樂山	三谷樂山	月刊	一年	一〇〇〇
	釜山府大廳町二の二二	昭和三年九月一日		西尾角藏	月刊	一年	一〇〇〇

三十五年前の改題問題
 明治三十五年暮れの頃、東京小間物商報改題の議起る。即ち「化粧品」の文字をその表題中に加ふ可しとの議が、發行委員

の一人より提案されたのである。最初は衆議容易に決せざりしも、遂に小間物の下に「化粧品」の三字を挿入することに決した。

平尾贊平氏の回顧談に應へば改題主唱者にして「化粧品」の文字挿入を主張したのは同氏であり、當時可成りの論議が行はれたといふ處から推して、小

間物側の勢力の如何に強大であつたか判るであらう。

常任幹事	高橋喜四郎
同	奈良 龍三
幹事	西内 長治
	遠藤長三郎
	川合 清藏
	書記長 井澤慶太郎
	八木久兵衛
	相談役 八木安兵衛
	顧問 中村 梅三
	三浦 善作
秋田荒物商組合	
組長	片屋永之助
副組長	三浦 久藏
秋田市小間物商組合	
組長	木内 隆一
副組長	中村長十郎
佐波小間物化粧品商組合	
組長	星野 忠藏
副組長	星野 謙作
幹事	磯野徳太郎
本幕	菊次 岡田幸次郎
藤上 進藏	磯野宗三郎
瀧川荒物商組合	
組長	梅澤 四郎
副組長	根岸 雄治
會計	角田 道夫
新設田町荒物商組合	
組長	田村甚右衛門
會計	清野 久治
幹事	田村敏三郎
	高木仙右衛門
	藤田喜四郎
	中川庄三郎

富山小間物商組合
 組長 鳥倉 彦作
 副組長 高岡庄次郎
 幹事 武部元右衛門 齋藤松次郎
 後藤 宗正 松井政次郎
 西森 理作

高岡雜貨五業卸商組合
 九月一日起
 組長 谷道岩治郎
 相談役 野村太三郎 本間 常吉
 北野庄太郎 室崎吉兵衛
 米見幸次郎 磯野小兵衛
 幹事 毛利 龍造

小松小間物化粧品組合
 九月二日起
 組長 伊藤 一
 泉 作松 三島半次郎

諏訪小間物化粧品卸商組合
 組長 小口 正一
 副組長 三浦 理一
 會計理事 伊藤 理助
 理事 藤森善左衛門
 同 増澤 清水

岐阜化粧品業組合
 組長 長谷川豊市
 副組長 西松金次郎
 同 田中宗四郎
 會計 和田辰次郎

大垣小間物化粧品商組合
 組長 名和 清助
 副組長 村上 亮三
 理事 大坂刷子卸商組合
 理事 平井 米吉

大坂刷子卸商組合
 小林朝之助 伊藤 鶴松
 伊勢 爲吉 西村常三郎
 西岡貞次郎 片岡長吉郎
 松岡 柳一 古澤 榮七
 澤田幸太郎 杉田 宗助
 監事 大島 兼助
 同 堺 晋吉
 同 美多 精一

櫻井香同業組合
 組長 中田作五郎
 副組長 大塚 源平
 許議員 奥野久次郎 尾田八兵衛
 種田外之吉 津川 甚七
 鬼頭勇治郎

和歌山荒物商組合
 組長 前田茂兵衛
 副組長 島田昇太郎

丸龜小間物化粧品組合
 組長 小西 篤藏
 副組長 大井 秀茂
 會計 中野 幸吉
 理事 川上 甚吉 小山米三郎
 笠井 宣太 高谷織次郎
 岡本圭太郎 泉 瀧次郎
 高木 太平

富山化粧品商組合
 組長 仲田 豊
 副組長 岡本 雅弘
 會計 賀毛 隆義
 相談役 富田重三郎 松本 勝彦
 毛利 重作 渡邊徳太郎
 來代クニエ 橋本 銀三

西肥化粧品商組合
 九月八日二十六日改題
 組長 村山甚十郎
 副組長 山下新太郎

全國同業者大會
 覽都三十年、帝都を擧げて祝福せる櫻の春、明治三十一年四月十二日を期して最初の全國小間物商大會が東京に擧行された。その發企人に氏名を連ぬるは左の諸氏。

稲生 二平 林 九兵衛
 大塚 萬之助 大野 金五郎
 田中 善兵衛 山田 富郎
 熊田 善藏 山瀬 篤三
 山本 逸造 松澤八右衛門
 江川金右衛門 天野 源七
 淺井 碩成 佐々木文兵衛
 齋藤 吉次郎 佐野 小兵衛
 三橋 喜次郎 三輪 善兵衛
 平尾 贊平 守田 重兵衛
 西森 武城

會場は日本橋俱樂部にして當時の大會記録にも「庭内も亦各所に各國の彩旗と球數百個を以て裝飾し尚地中に半ばして式場餘興等の數ヶ所を設け、樓上樓下は悉く來賓來會者の休憩所に充つ」とあるに徴するも其光景が目前に浮現たるの感がある。更らに「煙燻一聲中天に轟くを合圖として委員一同の式場に列るや、割腕たる音楽はその傍に起り君が代を吹奏する一回」とあり、壯嚴思ふべしである。即ちその場の内外ともに全國の業界大家を以て立錫の餘地もなきまでに満たされたその數一千五百名と記してある。

西森武城氏大會の趣旨を演説せる後、組合員代表として關頭取平尾贊平氏の答辭があつた。

本組合役員諸氏の盡瘁に因り故に全國小間物商大會の開催に方り幸ひ各地御同業者の賛成を得て本日は是れが盛典を舉ぐ何の欣喜か之れ如かんや、殊に金玉の祝辭を萬言本組合に對する謝辭を當らずと雖も、後來尙依然たるの贊助を得ばそれ或は十が一を完ふする所あらんや、聊か本組合を代表して答辭と爲し併せて本會委員諸氏の勞を深謝す明治三十一年四月十二日 東京小間物卸商組合代表者 平尾 贊平

次に三輪委員長は左の挨拶を述べてゐる。大會の精神は略ぼはれるやうに思ふ。

今日私どもが聊か思ひついたことに就いて斯くの如く大多數の御賛同を得、而も盛んなる景況を呈しましたのは、實に私のみならず東京小間物卸商組合一同の満足する所で御座います。何分かやうなこ

富山小間物商組合
 組長 鳥倉 彦作
 副組長 高岡庄次郎
 幹事 武部元右衛門 齋藤松次郎
 後藤 宗正 松井政次郎
 西森 理作

高岡雜貨五業卸商組合
 九月一日起
 組長 谷道岩治郎
 相談役 野村太三郎 本間 常吉
 北野庄太郎 室崎吉兵衛
 米見幸次郎 磯野小兵衛
 幹事 毛利 龍造

小松小間物化粧品組合
 九月二日起
 組長 伊藤 一
 泉 作松 三島半次郎

諏訪小間物化粧品卸商組合
 組長 小口 正一
 副組長 三浦 理一
 會計理事 伊藤 理助
 理事 藤森善左衛門
 同 増澤 清水

岐阜化粧品業組合
 組長 長谷川豊市
 副組長 西松金次郎
 同 田中宗四郎
 會計 和田辰次郎

大垣小間物化粧品商組合
 組長 名和 清助
 副組長 村上 亮三
 理事 大坂刷子卸商組合
 理事 平井 米吉

大坂刷子卸商組合
 小林朝之助 伊藤 鶴松
 伊勢 爲吉 西村常三郎
 西岡貞次郎 片岡長吉郎
 松岡 柳一 古澤 榮七
 澤田幸太郎 杉田 宗助
 監事 大島 兼助
 同 堺 晋吉
 同 美多 精一

櫻井香同業組合
 組長 中田作五郎
 副組長 大塚 源平
 許議員 奥野久次郎 尾田八兵衛
 種田外之吉 津川 甚七
 鬼頭勇治郎

和歌山荒物商組合
 組長 前田茂兵衛
 副組長 島田昇太郎

丸龜小間物化粧品組合
 組長 小西 篤藏
 副組長 大井 秀茂
 會計 中野 幸吉
 理事 川上 甚吉 小山米三郎
 笠井 宣太 高谷織次郎
 岡本圭太郎 泉 瀧次郎
 高木 太平

富山化粧品商組合
 組長 仲田 豊
 副組長 岡本 雅弘
 會計 賀毛 隆義
 相談役 富田重三郎 松本 勝彦
 毛利 重作 渡邊徳太郎
 來代クニエ 橋本 銀三

西肥化粧品商組合
 九月八日二十六日改題
 組長 村山甚十郎
 副組長 山下新太郎

全國同業者大會
 覽都三十年、帝都を擧げて祝福せる櫻の春、明治三十一年四月十二日を期して最初の全國小間物商大會が東京に擧行された。その發企人に氏名を連ぬるは左の諸氏。

稲生 二平 林 九兵衛
 大塚 萬之助 大野 金五郎
 田中 善兵衛 山田 富郎
 熊田 善藏 山瀬 篤三
 山本 逸造 松澤八右衛門
 江川金右衛門 天野 源七
 淺井 碩成 佐々木文兵衛
 齋藤 吉次郎 佐野 小兵衛
 三橋 喜次郎 三輪 善兵衛
 平尾 贊平 守田 重兵衛
 西森 武城

會場は日本橋俱樂部にして當時の大會記録にも「庭内も亦各所に各國の彩旗と球數百個を以て裝飾し尚地中に半ばして式場餘興等の數ヶ所を設け、樓上樓下は悉く來賓來會者の休憩所に充つ」とあるに徴するも其光景が目前に浮現たるの感がある。更らに「煙燻一聲中天に轟くを合圖として委員一同の式場に列るや、割腕たる音楽はその傍に起り君が代を吹奏する一回」とあり、壯嚴思ふべしである。即ちその場の内外ともに全國の業界大家を以て立錫の餘地もなきまでに満たされたその數一千五百名と記してある。

西森武城氏大會の趣旨を演説せる後、組合員代表として關頭取平尾贊平氏の答辭があつた。

本組合役員諸氏の盡瘁に因り故に全國小間物商大會の開催に方り幸ひ各地御同業者の賛成を得て本日は是れが盛典を舉ぐ何の欣喜か之れ如かんや、殊に金玉の祝辭を萬言本組合に對する謝辭を當らずと雖も、後來尙依然たるの贊助を得ばそれ或は十が一を完ふする所あらんや、聊か本組合を代表して答辭と爲し併せて本會委員諸氏の勞を深謝す明治三十一年四月十二日 東京小間物卸商組合代表者 平尾 贊平

次に三輪委員長は左の挨拶を述べてゐる。大會の精神は略ぼはれるやうに思ふ。

今日私どもが聊か思ひついたことに就いて斯くの如く大多數の御賛同を得、而も盛んなる景況を呈しましたのは、實に私のみならず東京小間物卸商組合一同の満足する所で御座います。何分かやうなこ

旭東實業化粧品部

東都業界に於ける化粧品部
問屋業者相互の見本市、商品
の交換を目的とする團體であ
る。會員百四十六名、大正十四
年創立、幹部は左の諸氏。

- 會長 中村 與市氏
副會長 石田 佐一氏
幹事長 川合吉三郎氏
幹事 川野喜四郎氏
推名 佐助氏
中林庄兵衛氏
大山 要藏氏
野口彌左衛門氏
北山 好三氏
石原源次郎氏
國分 兼佐氏
上野 麻吉氏
木村 茂吉氏
山口 和吉氏

大東京商會

王子、澁野川、池袋方面に於
ける雜貨、乾物、化粧品卸商六
十名を組織してある。昭和七年
十一月創立。會長は澁野新之丞
氏、副會長は武井孝次郎、五十
嵐敬雄の兩氏。

- 會長 澁野新之丞氏
副會長 武井孝次郎氏
理事 五十嵐敬雄氏
理事 兼事務理事
理事 兼事務理事

五 日 會

東都業界に於ける中堅化粧品
問屋の共同仕入れを目的とする
もの。大正三年九月創立、會員
四名。

- 浦周陽堂 井田兩國堂
鈴木義明商店 武孝商店
かきり會
東京業界に於ける香料商の融
和懇親團體、大正十三年九月の
創立、會員は左の十五名氏、何
れ一人として参加してある。

すみれ會

東京有力香料商の中堅店員の
融和懇親を目的とする團體。昭
和八年創立、年二回日帰り程度
の旅行を行ふ。會員左の十一名。

- 會長 長谷川香料店 長谷川 豊氏
副會長 高砂 香料 西野 嘉雄氏
理事 高砂 香料 藤島與三吉氏
理事 高砂 香料 古屋 壽夫氏
小林建香料店 安藤末四郎氏
會田香料店 佐野 信雄氏
長谷川香料店 齋藤 英三氏
共 莊司 勝雄氏
森相四郎吉氏

所は神田區旗籠町二ノ二、會員
十六名、會長は森徳兵衛氏、會
計吉野龜之助氏。

- 小作常次郎氏 坂本 源松氏
津田竹次郎氏 尾澤 四郎氏
寺澤 梅雄氏 鈴木 孝一氏
松尾銀兵衛氏 小川 惠造氏
松澤 與八氏 北村晴太郎氏
平田 旭氏 小島 一郎氏
並木 次人氏 濱田仁三郎氏

新進俱樂部

小問物化粧品の共同仕入れ、火
災保險代理業等、會員の共同利
益擁護のために、昭和五年十月
創立、昭和九年十二月二十三日
法人組織に改めて株式會社とな
す。會員六十五名、事務所は淺草區
雷門二ノ十一。

- 取締役會長 島田 眞氏
取締役 志知宗三郎氏
取締役 川端 一雄氏
取締役 武藤 精安氏
取締役 高須桂三郎氏
取締役 平野 恒三氏
取締役 建部 正三氏
東京齒科會
東京に於ける齒科子雜貨問屋
業者の親睦團體、昭和四年一月
創立、會員五十名、幹部左の諸
氏。

御園會・ミツワ會

御園化粧品本舖伊東胡蝶園、
ミツワ石鹼セーラ化粧品本舖丸
見屋商店が、大劇場に於ける觀
客に、各月商品の貨物宣傳を
兼ねて、芝居とタイアップし
て行ふ御土產附屬劇である。

- 會長 澤 京治郎氏
副會長 德永保之助氏
會計 村上幾太郎氏
同 村松 九八氏
會長 伊藤 智幸氏
副會長 西村 力藏氏
會計 岡田 久吉氏
同 岡田 正三氏
同 岡田 三三氏
同 岡田 三三氏

大東京クラブ共榮會

クラブ化粧品の値段協定並び
に會員の共存共榮を目的とし
ての大東京小賣商の團體。創
立は昭和四年四月三日、現在會
員九百六十八名、事務所は
京橋區橋町中山太陽堂支店内に
置く。幹部は左の諸氏。

- 聯合會會長 松田幸治郎氏
聯合會副會長 萩村 武郎氏
同 菊地三之助氏
同 理事 伊藤 智幸氏
同 理事 西村 力藏氏
同 理事 岡田 久吉氏
同 理事 岡田 正三氏
同 理事 岡田 三三氏
同 理事 岡田 三三氏

劇客に、各月商品の貨物宣傳を
兼ねて、芝居とタイアップし
て行ふ御土產附屬劇である。

- 御園會は明治四十二年十一月の
歌舞伎座より開催明治四十三年
五月より御園會・ミツワ會連
名開催。大正十二年大震災より
各會それ、別個に毎月開催す
る。

大東京太洋會

クラブ化粧品の卸値協定並
びに業界の共存共榮を目的とし
る大東京卸商の團體。創立は昭
和八年十二月十七日、會員は三
十名、幹部如左。

- 常任委員 葉滿田芳兵衛氏
同 田中 吉兵衛氏
同 桑原 啓造氏
同 神保 文太郎氏
同 千本木 彌八氏

東京ライオン會

は關東、東北、北陸並びに大
連。

- 會長 香久花就山本角太郎商店の製
品を中心とする販賣機關、創立
昭和三年十一月三日、會員百九
十名、幹部六名、地區は東京市
内及近郊。

東陽協進會

是陽商會の製品を中心とする
販賣者の團體、會員三十名、幹
部は林儀次氏、大野木傳氏。武
子金太郎氏、野村太四郎氏、地
區は東京市。

マル工會

また石油を中心とする販賣
者の團體、創立大正十五年五月
一日、會員二十名、代表者前田
爲一氏。

青葉會

青葉屋製品を中心とする販賣
者の團體、創立大正八年五月。
代表者青葉屋本店。

東油互進會

Table with 10 columns: 八王子, 川越, 横濱, 水戸, 宇都宮, 栃木, 前橋, 群馬, 澁川, 清水, 名古屋, 岡崎, 一宮. Each column lists members and their affiliations.

Table with 10 columns: 長岡, 高田, 直江津, 富山, 高岡, 福井, 敦賀, 金澤, 長野, 松本, 上田, 東京. Each column lists members and their affiliations.

組合團體

丹神百貨店 藤田化粧品店 國枝化粧品店 千本丹百貨店 京都共榮クラブ會

大阪市

組合七日會 大阪化粧品同業組合の役員、代議員を以て組織し、組合並に業界の向上發展に關する研究及び會員の懇親團體、昭和四年十二月七日創立。

組合團體

中山太陽堂 桃谷順天館 伊東胡蝶園支店 小林商店支店 長瀬商會支店 平尾商店支店

大阪府

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

組合團體

同業組合内、會員二十名、會長 松原 一郎氏 幹事 堤拾氏 笠井藤太郎氏 南部 義一氏 塚本俊治氏 嘉野治郎平氏

大阪府

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

組合團體

二の四四にあり、會員十八名、會長杉本林之助氏 幹事 秋二回、大阪府立貿易館に見本市を開催するを以て目的とする。

大阪府

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

兵庫縣

小賣販賣店の振興を目的として昭和八年十一月三日創立。大阪府西區京町堀通二の三三に事務所を置く。會員七十名、代表者廣田善平氏。

兵庫縣

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

五五

Table with 10 columns and 10 rows listing various organizations and their members. Columns include names like 都城, 延岡, 鹿兒島, etc. and members like 荒井, 石原, etc.

組合團體

丹神百貨店 藤田化粧品店 國枝化粧品店 千本丹百貨店 京都共榮クラブ會

大阪市

組合七日會 大阪化粧品同業組合の役員、代議員を以て組織し、組合並に業界の向上發展に關する研究及び會員の懇親團體、昭和四年十二月七日創立。

組合團體

中山太陽堂 桃谷順天館 伊東胡蝶園支店 小林商店支店 長瀬商會支店 平尾商店支店

大阪府

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

組合團體

同業組合内、會員二十名、會長 松原 一郎氏 幹事 堤拾氏 笠井藤太郎氏 南部 義一氏 塚本俊治氏 嘉野治郎平氏

大阪府

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

組合團體

二の四四にあり、會員十八名、會長杉本林之助氏 幹事 秋二回、大阪府立貿易館に見本市を開催するを以て目的とする。

大阪府

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

兵庫縣

小賣販賣店の振興を目的として昭和八年十一月三日創立。大阪府西區京町堀通二の三三に事務所を置く。會員七十名、代表者廣田善平氏。

兵庫縣

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

五五

Table with 10 columns and 10 rows listing various organizations and their members. Columns include names like 都城, 延岡, 鹿兒島, etc. and members like 荒井, 石原, etc.

組合團體

丹神百貨店 藤田化粧品店 國枝化粧品店 千本丹百貨店 京都共榮クラブ會

大阪市

組合七日會 大阪化粧品同業組合の役員、代議員を以て組織し、組合並に業界の向上發展に關する研究及び會員の懇親團體、昭和四年十二月七日創立。

組合團體

中山太陽堂 桃谷順天館 伊東胡蝶園支店 小林商店支店 長瀬商會支店 平尾商店支店

大阪府

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

組合團體

同業組合内、會員二十名、會長 松原 一郎氏 幹事 堤拾氏 笠井藤太郎氏 南部 義一氏 塚本俊治氏 嘉野治郎平氏

大阪府

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

組合團體

二の四四にあり、會員十八名、會長杉本林之助氏 幹事 秋二回、大阪府立貿易館に見本市を開催するを以て目的とする。

大阪府

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

兵庫縣

小賣販賣店の振興を目的として昭和八年十一月三日創立。大阪府西區京町堀通二の三三に事務所を置く。會員七十名、代表者廣田善平氏。

兵庫縣

大阪府内各小賣店、業界の革新、監査防止を目的として昭和九年七月創立、事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目。

五五

Table with 10 columns and 10 rows listing various organizations and their members. Columns include names like 都城, 延岡, 鹿兒島, etc. and members like 荒井, 石原, etc.

に在り、代表者は杉田定之助氏。

神戶クロバール會
昭和七年六月の創立、事務所は神戸市須磨區御幸町三、會員三十名、會長は守野萬一氏。

和會
會員の平和、統一を計るため昭和二年四月三日創立、會員六十名、事務所は神戸市淡路區多聞通三、幹部如左。

共榮會
會員の共存共榮、生活必需品供給のため組織された團體、株式組織、創立は昭和二年十月十七日、事務所は明石市櫻町一丁目にあり、現在會員一千四百九十名、幹部は左の二氏。

二十日會
事務所は長谷川治太郎氏、事務所は長谷川治太郎氏、事務所は長谷川治太郎氏。

和歌山縣
和歌山縣の向上發展を目的として昭和六年三月二十日創立、事務所は兵庫縣明石市櫻町一丁目番淡化粧品月報社内、會員六名、如左。

共榮會
販賣の統制を目的として昭和三年五月二十日創立、事務所は和歌山市杉の馬場三の一岩橋方、會員四百名、幹部如左。

熊本縣
熊本縣の向上發展を目的として昭和八年十月創立、事務所は熊本市鹽屋町裏二番町益田方、會員は

益田合名會社 正清彌七氏
金澤一郎氏 高田松美氏
西田 商店
以上五名、合議制にして別に會長を設けず。

熊本縣本洋會
熊本縣下代店代理店の親睦、販賣統制機關、昭和十年四月十五日創立。

長崎縣
卸値協定の協定、業界の弊風矯正を目的として昭和二年創立、事務所は佐世保市新免支店内に置く。會員は佐世保の新免支店河合商店、早岐の村山商店の三御問屋、臨時集會制を採つて居るが、昭和九年七月十八日には佐世保館に小賣業者との協議大會を開催、百二十餘名出席、取引制度改善その他協定して成果を収む。

長崎佐賀兩縣大津會

鹿兒島縣
鹿兒島縣の向上發展を目的として昭和十三年五月創立、事務所並びに責任者なく、會員は卸商並びに小賣有力店の十四名、幹事は輪番に交代。

川内化粧品雜貨賣場
同業者の親睦を目的として昭和八年五月創立、事務所は川内町向田興村美粧堂内、會員十四名、代表者奥村義雄氏。

九州力毛井會
鹿兒島、宮崎兩縣を除く全九州のカモ毛織取販賣機關で、昭和七年二月創立、會員は十三名、會長は嶋田健三、副會長は吉村益次氏。

香川縣
高松縣の向上發展を目的として昭和十一年四月創立、事務所は高松市南新町クニトモ婦人用品店內、會員二十一名、幹部左の諸氏。

高松縣和會
化粧品販賣店の百貨店對抗策販賣の獲得、會員相互の協定、本館に對する團體交渉等をなすを目的として昭和九年四月十九日創立、事務所は高松市南新町クニトモ婦人用品店内、會員二十一名、幹部左の諸氏。

朝鮮
釜山花王會
昭和四年十月十九日創立、會員百名、事務所は釜山府大倉町三に設けてある、會長は西尾角藏氏。

釜山美蘭會
昭和四年三月創立、會員九十名、事務所は釜山府大倉町三に設けてある、會長は西尾角藏氏。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

商報社の一年

一月 東京商報「小間物化粧品年鑑」十年版發行
大阪商報石川主幹、BKより「白粉と化粧品」と題する講座放送
二月 名古屋商報社、中區白川町五の二七に新築移轉
小原千蔵氏「雜貨雜覽」を大阪市北區會根崎町四の五〇より創刊
大阪小間物原主幹、産業功勞者として表彰さる
三月 名古屋商報社、第八回出資者總會、常務理事一名増員の結果伊藤東兵衛氏當選
大阪商報創刊三十五周年記念祝賀會を大阪歌舞伎座に開催
四月 大阪商報創刊三十五周年、帝都廣告主招待會、神田一つ橋會館に開催
五月 東京商報、滿洲國皇帝奉迎記念號發行
大阪商報、創刊三十五周年、滿洲國皇帝奉迎記念號發行
六月 東京商報、滿洲國皇帝奉迎記念號發行
大阪商報、創刊三十五周年、滿洲國皇帝奉迎記念號發行
七月 東京商報、滿洲國皇帝奉迎記念號發行
大阪商報、創刊三十五周年、滿洲國皇帝奉迎記念號發行

九州商報社大阪支局移轉
二十日 神奈川商報社では横濱復興博を記念して「モダン・ヨコハマ・ガイド」發行
五月 大阪商報社が「商品愛護」の精神を徹底せしめる標語の當選者決定、一等は「一つの商品にも両手をかけて」
六月 日刊紙業、紙輪一千號記念の祝賀會を大阪中座に開催
名古屋商報、創刊三十五周年紙輪一千號記念の祝賀會を向陽館に開催
東京商報創刊四十周年記念號並びに英文「The Toilet Article」と「Tany Goods」發行、記念祝賀會を東京會館に開催
化粧品本館十日會、上京中の各商報主幹を赤坂「あかね」に招待、東京商報では同夜一同を歌舞伎座に招待
日刊紙業、一千號、東京支局開設披露宴を芝浦雅園に開催
大阪小間物ジャパンセネラルグッズザール發行
名古屋商報、紙輪一千號記念號發行
中部小賣商報社、中部化粧品業界銘鑑發行
七月 北海道商報、創刊十周年記念祝賀會を定山溪に開催
大阪商報夏のブランチ、東海道バス行脚出版
五七

長尾 久吉氏
平松 靖民氏
共同仕入、販賣統制を目的として大正十三年一月創立、事務所は和歌山市杉ノ馬場三の一岩橋方、會員二十名、會長井畑徳衛門氏、副會長岩橋清氏、幹事は二名宛一ヶ年交代。

廣島縣
廣島縣の向上發展を目的として大正十五年五月創立、事務所は奈良縣田原本町にあり、會員二十名、財産保管委員桶田正一氏。

和歌山縣
和歌山縣の向上發展を目的として昭和六年三月二十日創立、事務所は兵庫縣明石市櫻町一丁目番淡化粧品月報社内、會員六名、如左。

共榮會
販賣の統制を目的として昭和三年五月二十日創立、事務所は和歌山市杉の馬場三の一岩橋方、會員四百名、幹部如左。

熊本縣
熊本縣の向上發展を目的として昭和八年十月創立、事務所は熊本市鹽屋町裏二番町益田方、會員は

益田合名會社 正清彌七氏
金澤一郎氏 高田松美氏
西田 商店
以上五名、合議制にして別に會長を設けず。

熊本縣本洋會
熊本縣下代店代理店の親睦、販賣統制機關、昭和十年四月十五日創立。

鹿兒島縣
鹿兒島縣の向上發展を目的として昭和十三年五月創立、事務所並びに責任者なく、會員は卸商並びに小賣有力店の十四名、幹事は輪番に交代。

川内化粧品雜貨賣場
同業者の親睦を目的として昭和八年五月創立、事務所は川内町向田興村美粧堂内、會員十四名、代表者奥村義雄氏。

九州力毛井會
鹿兒島、宮崎兩縣を除く全九州のカモ毛織取販賣機關で、昭和七年二月創立、會員は十三名、會長は嶋田健三、副會長は吉村益次氏。

香川縣
高松縣の向上發展を目的として昭和十一年四月創立、事務所は高松市南新町クニトモ婦人用品店内、會員二十一名、幹部左の諸氏。

高松縣和會
化粧品販賣店の百貨店對抗策販賣の獲得、會員相互の協定、本館に對する團體交渉等をなすを目的として昭和九年四月十九日創立、事務所は高松市南新町クニトモ婦人用品店内、會員二十一名、幹部左の諸氏。

朝鮮
釜山花王會
昭和四年十月十九日創立、會員百名、事務所は釜山府大倉町三に設けてある、會長は西尾角藏氏。

釜山美蘭會
昭和四年三月創立、會員九十名、事務所は釜山府大倉町三に設けてある、會長は西尾角藏氏。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

釜山共榮會
大正十四年六月八日創立、會員百九十七名、事務所釜山府大倉町三。

東城共榮クラブ會

クラブ化粧品販賣者の共存共榮を目的として昭和二年六月十五日創立。事務所は京城府元町二丁目一あり、會員三百名、會長は齊藤三郎氏。

中央太平洋會

會員の共存共榮を目的として昭和九年八月十七日創立。事務所は京城府本町二丁目。會員六名、理事長山本忠三郎氏。

朝鮮總督會京城支部

會員の共存共榮を目的として昭和三年四月創立。事務所は京城府本町四丁目。會員三百名、會長川浪清次氏。

京城千乳石會

朝鮮に於ける牛乳石鹼の中央配給元月本店主催の下に昭和八年三月十七日創立。

京仁化粧品同業會

昭和二年四月一日に創立、會員六名、事務所は京城府本町二丁目。

朝鮮太平洋會

大正十二年創立、事務所は京城府明法町二月本政次郎商店に設く、會員四十名。

嶺南浦商會

大正二年二月創立、嶺南浦府明京町に事務所を置く。會長岡部平一氏、副會長貝島權藏氏。

釜山卸商同業會

釜山化粧品卸業者の親睦發展を圖り取引の改善を目的として二十五年前創立。事務所は釜山商工會議所内。會員一〇五名、幹部左の諸氏。

會長 立石 雄氏

副會長 大里西松氏

常任委員

宮原 研二氏 福島源次郎氏

東原嘉次郎氏 豊原 浩一氏

土田 商店

幹事 澤野辨太郎氏

會計 秋山 頼雄氏

委員 二十四名

朝鮮太平洋會

クラブ新陽級販賣制度による北鮮に於けるクラブ代理店の親睦販賣統制機關。昭和十年四月十五日創立。

朝鮮總督會

朝鮮全道に亘る化粧品卸商の親睦發展、取引改善を目的として昭和十年二月創立。事務所は本部釜山府本町四丁目朝日堂小賣部樓上、支部京城府本町二丁目片屋商店内、會員二十一名

幹事長

富原 研二氏

同 山本忠三郎氏

同 南方 新一氏

書記 高橋 芳翠氏

臺灣

臺南

化粧品卸業者相互の親睦發展を圖るを目的として昭和六年二月九日創立。會員は四十名、各會員輪番當直制。

幹部

神木資郎氏

脇村元造氏

小林啓七氏

滿洲

滿洲太平洋會

値段統制を目的とするクラブ

化粧品卸商の團體、創立昭和九年九月二十日、會員は八名、幹部如左。

理事長 前田徳太郎氏

常務理事 川勝正三郎氏

同 中村 房市氏

同 寺島治三郎氏

同 岡田小太郎氏

同 岡田小太郎氏

商報社

卯月會

全國業界機關紙の親睦協調機關として、昭和九年四月創立。會員左の十七機關新聞。各社年會。

東京小問物化粧品商會

大阪小問物新報

京都小問物化粧品新報

名古屋小問物化粧品新報

北海道小問物化粧品新報

九州小問物化粧品新報

日本石鹼新聞

滿鮮化粧品小問物商會

日滿貿易新報

日刊粧業新報

西都商報

三州化粧品小問物商會

廣瀨小問物化粧品商會

神戶業界商會

補遺

關東輸入化粧品協會

帝都に於ける化粧品輸入販賣業者を以て結成するものにして昭和五年一月十二日の創立。その會員は左の五店にして幹事は岡本信太郎、高橋林三郎の兩氏。事務所は日本橋區本町一の一四高橋林三郎商店に置く。

岡本信太郎商店 高橋林三郎商店

丸善株式會社 佐々木商店 シー、ホルスタイン商會

尚、その目的とする處は、會員相互の親睦を圖ること、輸入化粧品買及及び小賣業者仲間業者並びに會員の利益を保全すること、法規を遵守し商取引の陋習を矯正すること、而して業界の爲めに協力發展に資するにある。例年二月十二日定期總會を開く。

京阪神藥業同志會

藥業界の販賣合理化を圖る目的の下に例年一回、座談會及び買交交換會を行ふ。會長黒野與會次郎氏。

硬化油同業會

硬化油製造業者によつて結成せらるゝ同業アロツクにして、その製品は硬化油共同販賣株式會社を以て販賣せしめ、統制の實行に努めて居る。その會員如左。

合同油脂株式會社 日本曹達株式會社 朝鮮製藥肥料株式會社 水素株式會社 ベルメツト石鹼株式會社 大坂酸

山折商店 北海油脂株式會社 尙、最近そのアウトサイダたるライオン石鹼株式會社、奥山石鹼製造所、木津川油脂の三社も亦加盟せるに傳ふ。

十二日會 名古屋商報社常務理事によつて組織せる、團體。會員は森本善七氏 村上庄造氏 森 庄助氏 馬淵源六氏 近藤誠安氏 伊藤東兵衛氏

昭和十年の販賣界概觀

未曾有の混亂に終つた昭和九年度の後をうけて、昭和十年に於ける業界販賣界は、依然混亂の一路を辿るのみにして、期待されたる如き業界販賣界の安定は、此の一年に於いても遂ひに望まれなかつた。本舖、問屋卸店一致の努力にも拘らず、濫賣の陋性は尙且つその進行を止めずして販賣界崩壊の叫びも、遂ひに十分なる實効を擧げ得なかつたものと云ふことが出来るであらう。

一般經濟界の好況

讀つて昭和十年に於けるわが國一般經濟界の景況を顧みるに、軍需工業の活況に伴ひ、従來歐米製品の競争壓迫をうけてその發展を阻止されてきた各種工業の勃興は産業界全般の活動を促し、産業合理化によつて、競争力を涵養してゐた既存産業は、低爲替の波に乗つて海外市場の擴大開拓をなし、爲替インフレ景氣を發展させ、外國の景氣の消極的なに對して著しい積極的な様相を示した。かくて財政の膨脹、低爲替、低金利に基づく産業界の發展は、國民購買力の増進を伴ひ、物資需要の増加は鐵道貨物發送數量、倉庫貨物の移動、手形交換高の増加となつて現はれ、一般商取引は目覺しい活況を呈した。

この一般商業界の好況は齊しく業界にも反映せるは勿論にして購買力の増大に伴ひ、業界品需要の増加は小賣販賣店の店頭に齊しく見られる處ではあつたが、何分にも販賣界の暗影は依然として去らず、この期に於いて本舖がその製品配給の手を緩めるに於いては、不良販賣店の跳梁を益々促すこととなり、業界販賣界は更らに拾收すべからざる混亂に陥るの懸念があつたので、従來激烈なる競争をつつて來つた有力本舖も、互ひに自省協同して市場の引締めに努め、本舖、問屋卸店いづれも互ひに警戒し合つたため、需要の旺盛なるにも拘らず、市場は

大なる活況を示すに至らず、十年度に於ける業界販賣界は、所謂「賣れない」のではなくして「買ひ惜しい」状態に終始したものと云へるであらう。以下この年に於ける販賣界の諸傾向について聊か回顧を試みまう。

業界販賣界の悪化

先づ帝都業界販賣界に於いては、昭和九年六月、東京化粧品卸商組合の解消によりその統制が破れ、自由販賣が行はれるとともに、販賣界の混亂は日を送つて苛烈もその果が及ばんとするに至つたので、卸店有力者により組織された卸商研究會と、有力十七本舖との會見となり、十七本舖は獨自の立場より、聲明を發して市場崩壊の爲めに起ち、ライオン齒磨本舖もまた單獨聲明を行ひ、市場攪亂の事實あるものに對しては送荷停止の用意ある旨を明らかにした。九年末に至つて、化粧品本舖十日會も又厥起して屢々會合を行ひ、帝都業界の混亂を救ふことは全業界の不安を一掃してその健全性を引戻すことであるから、單に一東京のみの問題ではなくして、全國業界の繁榮にも重大なる影響を有つ問題であるといふ見地から、これが對策に關心したにも拘らず、販賣界は依然たる混亂の裡に十年を迎へたのであつた。

新春に於いてもこの混亂は更に熄まず、濫賣當習者と見做さるゝ不徳業者は、その後も跳梁を肆にして容易にその非を改めず、益々無算なる現金取引を以て市場を蹂躪したる爲め、流言蜚語頻りに飛び、市場は全くその安定を失つて日に悪化を告げ、遂ひに例年業界の危険期たる二三月のクرائم支拂ひ期に至るや、この危局は遂ひに爆發して業界に古くより知られたる十余の老舖卸店が相次いで整理を發表するの止むなきに至つた。この時期に於いて、販賣界に獨り變態的な成長をな

生産 販賣

東京商報全國業界訪問第四年度計畫として中國、四國、北陸へ順次特派員派遣——十一月八日
九州商報、創刊十周年記念號發行——十五日
名古屋商報社主催、第一回中京業界野球大會熱田道徳公園球場に開催——十八日
九州商報社開催、花玉ビーズ店頭裝飾競技會十日間に亘り開催——二十日
北海道藥業新聞社「北海道梯太藥業名鑑」發行——
大阪商報、特撰夏の讀物號發行——
九月
滿洲商報社、松尾喜七商店謹製の子紋り長襪袴を滿洲國へ献上——十三日
九州藥業化粧品商會、關西商報と改題——
十月
京都商報、四六四倍版日刊紙型に改定——一日
名古屋商報主催、中京業界野球大會、堀川土地會社球場に決勝戦舉行——二十日
東京商報大廣告主招待會を修善寺菊屋に開催——廿七日
十一月
朝鮮化粧品雜貨商報社長川島喜業氏逝去、事業はそのまゝ繼續——廿一日

したるものに、所謂「現金屋」と呼ばれる、濫賣店がある。これは市場の悪化とともに、卸店が商品を金融に用ふるの弊より起つたもので、金融に逼迫せる卸店の足許につけ込み、有名商品を本舗買値よりも更に安法外なる安値に叩き落して引取り、随つてこれを建値に全然補はれざる價格にて現金販賣するものにて、小賣販賣店又その相互間の激烈なる競争より争つてこれを求める爲め、益々一般販賣界の不健全性を増大することとなり、本舗側の嚴重なる監視の眼をくゞつて、裏から裏に不徳なる取引は續けられ、十年上半期を通じてこの現金屋は依然跳梁を肆にしたのであつた。

帝都の問屋合同運動

帝都の販賣界に於けるこの不安克服のため、卸業者自らの努力の現れとして、見られるものに、所謂問屋合同時代といふ可き一傾向がある。これは帝都卸業者がそれ／＼に相寄り相扶けてプロッタを結び、資本並びに信用の強化により、この混戦期を切抜け、健全なる販賣界の建て直しを行はんとする共通の情みから自然に生れ出たもので、新年早々三店の合同による東京堂株式会社が発生したるを初めとして、關東組、協賛會、和會等の團體が層々に結成され、或は互ひに強固なる盟約を結んで共同利益の確保に努める等、これ以後の帝都販賣界は、個々の商店同志の競争より轉じて、かゝる有力卸店プロッタの間の争ひとなり、全帝都の廣大なる販賣市場をめぐつて、その競争も漸次統制されるの感を呈して來たと云へるであらう。

本舗側の市場矯正策

一方、この販賣界の狀態に伴ひ、本舗側に於いて見られることは、各本舗相協調して市場の引締めを努めるとともに、又本舗独自の立場より、その販賣政策に一轉換を示すの傾向が窺はれ來つたことである。これは現在の販賣界混戦の時期に當り、業界に特殊の販賣制度を敷く資生堂、アイデル等の本舗が業界不安の外に超然として着々その販賣力を増大しつゝあるの事實に基づくもの

最近十年間業界關係品生産統計表

(商工省昭和八年工場統計表に據る)

Table with 4 main columns: 白粉, 面粉, 化粧水, 石鹼. Each column has sub-columns for quantity and value. The table shows production statistics for various goods from 1918 to 1928.

生産販売

で、小賣販賣店に於いても、傾崩したる有名商品を賣るよりは、むしろ確實なる利益を保證されたる濫賣なき制度品を扱ふことを喜ぶ傾向にあるに鑑み、各本舗それ／＼特別な販賣組織による制度品の確立に努力し始めたことである。即ちこれが現はれとして、クラブ本舗に於いては、クラブ特定品の新制度を定め、全国各地にクラブ特定品販賣會社を創立してその擴張並びに制度維持に努め、レイト本舗、又レイトサービス製品の伸長に努力して販賣店の支持を收め、又、マスター本舗新たにマスター推奨品を發賣して、全國の濫賣地にマスター推奨品メインを置き、その市場統制陣を收め、いづれも販賣店の強力なる支持を得て本舗直接に小賣販賣店との接觸に乗り出して來たことである。これらはいづれも各有力本舗が、問屋卸店に於ける配給制度に不安を感じ來つたがために執れる手段と云ふよりは、むしろ、かゝる新制度の確立により、側面より卸店販賣界の混亂を匡正せんとする意圖の現はれと云ふべく、何れにしても十年度販賣界に於ける一傾向を示すものと言へるであらう。

クリームの販賣戰

かゝる複雑せる昭和十年販賣界の様相を示して興味あるものに、十年度に於けるクリームの販賣戰がある。業界に於いて毎年夏期に行はる秋冬需要期を前にしての各本舗のクリームの賣込み戰は、その扱ひ高が多額に上り且つ、その年に於ける各本舗の意氣に關係するものだけに、例年各本舗の間に激烈なる競争が展開されるものであるが、十年度に於いては、この花やかなるべきクリーム戰も市場の低氣壓を反映して、その初期に於いては、豫期に反して一般に意氣甚だ揚らざるの皮肉なる現象を呈した。即ちこれは、本舗側にあつては、販賣市場に對する不安より積極的の飽くまでも賣進むことの出來ぬ躊躇より、恐々特賣の蓋を開け、無制限なる大量出荷を自重したること、販賣店側にあつては、九年度に於いて特賣を買急いだる後になつて、更に安値なる濫賣品が續々と市場に現はれ、苦い經驗をなめたるに類み、十年度に於いても、先行き安値の出現するの見込みの下に、

販賣市場の一年

石鹼値下げ時代

昭和九年末以來、原料油脂の昂騰に次ぐ昂騰によつて非常なる採算難に陥つてゐる各種石鹼の値上げ問題に就いては、十年度に入つて各本舗ともいづれも自重してはゐるが、その値上げ發表は時期の問題と見られてゐるところ、四月に到り果然石鹼界全般に亘り、値段改正が續々と發表されいよいよ石鹼値上げ時代來るの感を呈するに至つた。

先づ御園本舗伊東胡蝶園では從來の建値一打一圓五十錢を一圓六十錢に改め、二月二十一日より實施したのを始めとして、次いで資生堂では四月十五日を期して資生堂石鹼及び銀座石鹼の値段改正を發表し、小賣定價はいづれも從來のまゝの十五〇及び十〇としてゐるが、その建値に於いて、いづれも約二割に近い値上げを實行した。又森下商店では仁丹石鹼の値上げを四月より實行し、販賣建値は從來通りであるが、目附を三十匁標準附に改正した。

丸見屋商店ではミツワ石鹼については依然、靜觀を保持してゐるが、洗滌石鹼については値上げを行ひ、ミツワ・マルセル石鹼は從來の小賣定價十二〇を十五〇に改正、ミツワフレック及びスノー石鹼は建値改正を行ひ二圓十錢とし、又ミツワ煉齒磨も從來二圓十錢の建値を二圓五錢に改正した。

花王本舗では花王石鹼の値段は依然從來の方針を動かすことなく堅持してゐるが、大日本油脂の發展につれて、原料油脂の自給及び利用による工業的利益の確保に着々と成功しつゝあるのを、これを以て原料の高値にも拘らずこの難局を從來通りの建値を以て切抜ける方策が確定したが、各官廳方面への入札に關しては幾分の値上げを實行したらしい。

特賣にとがつかず、成行きを待たつたために、クリーム戰もその初頭に於いては甚だ人氣揚らぬといふ近年の奇現象を呈したのであつた。然るにかゝる状態に實需期が近づくに及び、本舗自重の結果は何時まで経つても安値品は市場に現はれず、且つ旺盛なる需要に促がされて、クリーム販賣戰は俄かに尻跳ね景氣を出し、特賣締切り期に至つていづれも例年以上の賣上げを示したことも、十年度販賣界に於ける一傾向を示したものと云へやう。

市場矯正運動の効果

かく様々なる變轉を示した十年度販賣界にも年末に近づくに及び漸く一縷の希望が認められ初めるに至つた。それは永年の濫賣競争に卸店自らが全く疲弊の極に陥りその濫賣も底をついて來たのによること、卸店いづれも現状のまゝでは滅亡より外に道はないといふことを眞に自覺し來つたのによるもので、加ふるに前年以來、屢々市場矯正策に腐心し來つたる有力本舗側が、七月以來更に積極的の肅正の實をあげることに努め、卸店側の自覺と俟つて、その肅正方針が漸次實効を收め來つたのによるものである。即ちその具體的なる現はれとしては花王本舗が制度の改正を行ひ、六月各有力販賣店を申合せて嚴に市價の健全化に努めこれに成功したること、ライオン本舗が十一月、新年度取引の開始に當り、販賣制度を改めて市場矯正に更に一步を踏み出し、その實行により卸店の信頼を高めて、一般市場に好影響を與へたこと、更に有力本舗續々として市場矯正に乘出さんとするの氣配を示して來たので、配給の引締めと俟つて業界販賣界には漸次、堅實なる氣風が漂ひ初めるに至つた。今度こそは販賣界の眞の肅正が行はれるであらうとの空想は、これまで幾度か業界の空しき願ひに終つたものではあるが、今全業界に澎湃として漲りつつある肅正の眞熱なる熱意と、業界の實情とを見るときにはこの昭和十年度に於いて培はれ來つた肅正運動は、次年度に於いて眞にその實効を收めるであらうと期待され得るのである。

繪製同業組合では、從來の値上げに加へて、更に十年一月十七日より、化粧石鹼三割、洗滌石鹼二割、粉末石鹼三割の値上げを發表し、又、大阪石鹼同業組合では十年一月二十三日及び二月五日の二回に亘り合計化粧石鹼五割、洗滌石鹼四割の値上げ聲明を行つた。又、ベルベツト、ライオン、合同、旭電化の四社聯盟では九年十二月十五日より十年三月二日の間に亘り、洗滌石鹼の値上げを四回に亘り發表し、合計三週半の値上げを行ひ、これを日刊新聞紙にも廣告して一般需要家に訴へ、販賣市場に於ける値上げ促進に努めた。

マスター推奨品制度確立

マスター化粧品本舗尙美堂では業界品今後の勢力の消長は、一にその販賣市場に於ける價格統制の成功不成功の如何にかゝつてゐるといふ、店主阪本氏の信念に基づき、販賣市場の肅正を目指して、九年夏以來慎重にこれが對策を研究中のところ、十年四月いよいよその成案なり先づこれが第一着手として、小賣販賣店に於ける販賣利潤を確保すべく特定販賣制度によるマスター推奨品を發賣して、聯盟加入店に限りこれを販賣せしめ、その正當利潤を擁護することに決し、先づ六大都市よりこれを發賣すべく、四月來、六大都市各地のマスター化粧品販賣會社の重役會を順次開催して、本舗より阪本氏出席これが説明を行ひ、その同意を求めつつあつたが、その準備一切成り、六大都市一齊にこれが計畫を發表推奨品を發賣した。

マスター推奨品は、マスター化粧品品の殆んど全製品に亘り從來の製品とその意匠包装を悉く改め、小賣正價は三十五〇及び五十〇の二種に限り、推奨品聯盟店(マスター推奨品メイン)に於いてのみ、嚴密なる定價販賣を實行するものである。而してこれが配給は、當分の間先づ六大都市の販賣店にのみ限り、本舗が直接その配給を行ひ、その他の地方にあつては販賣店からの特別なる希望があれば、その地の販賣界の實狀に照して、改めて相

生油	桐油		桐實油		大豆油		木 蠟		大正 13
	数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額	
97,106	29,040	42,194	3,261,675	1,449,226	28,703,111	11,680,646	3,451,830	2,266,837	13
110,929									14
2,103	40,260	160,800	4,308,236	1,827,456	33,438,563	13,302,979	2,881,549	2,079,947	1
10,184									2
368,926	149,985	131,591	6,614,095	2,106,349	37,330,841	12,614,835	2,169,315	1,195,291	3
10,633									4
82,820	168,795	129,592	4,686,840	1,499,718	19,791,154	7,156,810	4,139,704	2,877,735	5
93,356	8,910	320,000	8,354,874	2,540,636	38,901,596	13,369,871	4,050,836	2,810,225	6
93,120									7
202,616	41,761	441	7,186,313	911,456	35,039,199	11,371,194	2,286,936	1,497,875	8
167,684	15,450	33,758	1,439,124	896,411	36,977,335	9,312,807	3,587,955	1,808,580	
347,380	25,692	38,159	6,076,975	1,233,700	46,861,164	9,058,899	3,708,787	1,293,719	
227,721	40,583	54,000	5,829,763	1,306,941	39,081,867	9,720,108	3,784,684	1,249,913	
362,636	47,190	37,175	9,632,179	2,816	42,742,968	12,790,731	4,208,131	1,440,017	

業界の夏に更に激刺の生氣をそへる恒例のクリーム合戦。化粧品中、最も廣敷なる需要を有するクリームは、近年冬季のみの需要から更に恒常的の化粧品として益々その需要を増しつゝある。各化粧品本舗にとつてはこのクリーム販賣は重要な意義を持つ一戦である。昭和十年度に於いても、各本舗いづれも秘策をこらしてこの秋季クリーム特賣に臨む準備をこまめにこらした。盛夏を迎へるとともに、各本舗は、各本舗の競争を激しめ、全國に亘つて華やかなクリーム合戦が展開された。

即ち十年夏に於けるクリーム合戦のトップを切つて、前年全額拂戻しの巨額を放つてクリーム界に著しい進出ぶりを示したオリヂナルが六月一日の東京商報に再び半額拂戻しの優待特賣を發表して、逸早く名乗りをあげたのを初めとして、クラブ本舗では、七月十三日商報に美身クリームの愛用者並びに販賣店の大優待を内容とする特賣を發表し、二十日號には、ウテナ、マスターの各本舗がいづれも愛用者販賣店双方の優待による有利なる特賣を發表した。尚、御園は八月初旬には發表を行ひ、ヘチマも八月に入つて發表され、これにクリーム界の有力品は大體出揃ふに至つた。而して、これら各本舗の特賣を通じて、十年度のクリーム合戦の傾向として認められることは、各本舗とも従来の販賣店優待から更に進んで、愛用者優待の方法をも同時に發表して、販賣

品の統制陣をも確立すべく、之れに向つて進むことゝなつた。

仙臺商組の價格協定

仙臺化粧品卸商業組合に於ける化粧品昭和十年協定價格を定むべき公正小賣價格協定委員会は、六月二十八日同市に於いて開催、出席委員は

組合側代表
川合 清藏氏 大澤 晋平氏
鶴本 平助氏 今野 平藏氏
村上 安之助氏 佐藤 怡氏
高橋 喜代治郎氏 遠藤 長三郎氏
氏 家 良助氏 庄子 新左衛門氏
八木 信男氏 木村 正一氏
官 廳 代 表
宮城縣商工課長 加藤 林藏氏
製 産 者 代 表
十日會代表 廣田 嘉一氏
消費者代表
河北新報社長 一力 次郎氏

以上十五氏にして官廳側を代表して、加藤宮城縣商工課長、製造者側を代表して廣田東京組合理事等、希望をのべ、協議に移つたが、協議に於いて、協定價格を調停に決定した。

網走組合の決議

北海道網走化粧品商組合では、七月二日、組合臨時總會を開き、販賣界真正に關する左の決議を行つたが、この中、第四項は、折からの各本舗のクリーム賣込み戦に對して、販賣店の承諾をまたずして荷送りしたものに對しては、荷受けせざるか又は委託品として取扱ふといふ本舗側對する強硬態度を表明したものに、販賣界の注目をひいた。

一、網走化粧品商組合の定めたる化粧品單價を絕對に變更せざることを

更に各本舗を通じて見られることは、従來は販賣店最も激甚なる帝都業界から順次に特賣發表が地方に及んで行はれたものであるのに、十年度はそれと反對に先づ地方より初められ、中央に於いては特賣が發表される七八月に於いては、各地方に於いては既に出張員によつて一通りの前哨線が終了してゐることである。これは今年に於ける帝都業界の形勢には甚だ樂觀を許さぬものがある。迂迴にこれを中央より發表するときは、直ちにその品は全國に亘り、地方販賣界をも脅かすこととなるので、今年はいづれも潜在的に出張員により地方販賣込みより初め帝都業界に發表せる時期に於て各本舗の今年度に於ける販賣政策がその全貌を現はし來つたものと見るべきであらう。又、従來各本舗間の競争から各販賣店に對して、その販賣能力以上のインフレを行ひそれが牽いて溢賣の一因となつてゐたのに鑑み、今年はいづれも自重してかゝる傾向を避け、健全業界の建設に向つて自然の販賣増加を求めんと努めつゝある氣配がうかがはれた。

北海道販賣界調整問題

北海道では、その社會的施設の一として、社會課に於いて立案せる販賣業の製造供給を計畫したが、この問題は全國業界に一大衝動を與へ、各地にこれが反對運動が捲き起された。即ち東京製菓製造組合では七月二十五日、丸の内會館に全國同業の士、二百餘名を糾合してその批判會を行ひ、左の決議を行つた。

北海道社會課立案の賣製製造並に配給事業は社會政策に關口し吾人の營業を根柢より破壊しわれ等業者を

大正 13	化粧石鹼		工業用石鹼		藥用石鹼		洗濯石鹼		粉
	数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額	
13	14,752,521	869,245	8,927,389	3,093,412	—	—	—	—	—
14	15,271,602	17,112,411	5,065,346	1,964,034	—	—	—	—	—
1	16,408,079	20,274,920	7,088,149	2,114,113	—	—	—	—	—
2	18,172,345	251,449	5,657,419	39,500	—	—	—	—	—
3	19,240,963	21,123,722	6,045,206	2,283,040	—	—	—	—	—
4	16,610,623	701,291	5,237,546	1,785,541	5,107	2,297	23,249,312	7,149,938	4,964,152
5	17,131,489	23,094,989	9,090,689	584,625	5,107	3,642	28,622,696	3,049,814	7,434,817
6	21,063,554	18,740,962	5,172,806	2,322,805	103,702	259,524	3,663,746	5,160,162	4,574,624
7	17,386,515	3,949,903	3,683,095	540,361	300,444	137,727	48,084,916	7,621,747	13,283,975
8	18,026,552	15,721,898	6,612,267	852,638	97,523	159,911	8,051,255	1,180,310	2,401,283
		14,994,519		598,048		109,047	767,757	1,180,310	2,401,283
		15,455,922		1,707,827		107,891	8,051,255	1,180,310	2,401,283
		5,787,931		850,397		86,393	1,533,141	1,180,310	2,401,283

談に應ずることになつてゐる。その決算はすべてその地の販賣會社が帳元となり、關係代理店を通じて決算を行ふことになつてゐる。代理店契約、並びに販賣店契約の要點は左の如くである。

一、推獎品代理店規約要點
一、一定の規約信託金を販賣會社に納め、定期預金とする

一、聯盟販賣店五店以上を開拓する義務がある

一、推獎品聯盟店規約要點
一、定價販賣の嚴守
一、推獎品の帳合は代理店經由のこと
一、推獎品とマスター一部製品との交換を行はぬこと
一、聯盟店會、代理店會の決議を嚴守すること

以上の諸點の外、自治制度による代理店會、聯盟店會を各地區に組織し、本舗では更に聯盟店のマスター製品を各販賣店に當り、愛用者への販賣店サービスとして、價段的割引は絕對にこれを行はざる代りに、見本品その他の製品を本舗より提供し、又、販賣店に對しては、本舗が今後行ふ愛用者優待の場合に於ける優先權を與へる等幾多の特典を與へてゐる。推獎品はすべて入掛原價を確保することになつてゐるものゝ如く、特賣は一切これを行はぬことを原則としてゐる。代理店に對してはその經由帳合により歩戻しを行ひ、他に販賣會社株主に對する利益配當金のあることはもとより云ふまでもない。

本舗より第一回荷物として發賣されたものは、推獎品各種詰合せ百二十圓一捆であるが、聯盟店の責任販賣額は年額三百六十圓となつてゐるやうである。而してこの制度の實行に當つては、本舗では大體九月末日迄を目標としてこれを三期に分ち、急進なる發展よりも、飽く迄も制度の確立に向つて努力し、東京に於いては第一期の終りたる五月末日迄に約二百軒、九月末迄に約六七百軒の聯盟店を獲得他の都市はこれに準じて聯盟店を獲得することに努め、この推獎品制度の確立を俟つて、更に第二段の方策として、十年度末までに、マスター一部製

年次	グリーム		洗剤		香水		香油		花	
	数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額
大正 13	—	—	—	1,372,533	—	824,255	—	2,379,176	—	183,650
昭和 1	—	—	—	1,048,443	—	1,017,789	—	2,017,420	—	178,186
昭和 2	—	—	—	1,174,599	—	882,660	—	1,723,867	—	700,488
昭和 3	—	—	—	922,745	—	1,415,127	—	2,245,383	—	24,674
昭和 4	87,600	110,108	—	1,078,586	—	885,445	—	2,703,076	—	183,485
昭和 5	93,489	5,535,629	903,368	51,041	37,014	97,701	44,631	188,077	—	492,972
昭和 6	202,399	1,253,543	261,282	423,839	80,358	462,737	20,656	87,596	—	512,287
昭和 7	304,118	4,338,046	590,304	391,837	29,659	714,403	31,860	2,384,752	—	1,464,414
昭和 8	320,955	1,668,732	375,607	128,618	28,549	99,865	58,874	71,033	—	611,376
		3,215,683	1,686,675	29,335	200,165	2,220,029	2,903,271	994,564		
		1,965,260	59,795	583,184						
		3,786,984	427,537	923,694	40,204	583,184	26,848	2,903,271	994,564	

て死地に陥らしむるものと認む。依つて茲に絶對反對を表明す
昭和十年七月二十五日
全國賣薬業團體聯合會
東京賣薬製造組合

理由

一、北海道は往古政府が開拓地として移民を奨励せり依つて同業者の多くは之れに促され懐かしき故郷を去り粒々辛苦血と汗とに因つて今日の基礎を爲すとともに、聊か國家産業と國民保健衛生とに寄與しつゝあることは吾人の快心に堪へざる所なり。然るに今回北海道社會課の立案せる賣薬製造並びに配給事業は吾人多年の勞苦を以て、築き上げたる營業權を根柢より奪取し去らんとするものにして、業者を顧みざるの甚しきものと謂はざるべからず。
二、救済濟生の事業と稱するも、その眞の目的は營利事業にして國家納税の大部分を占むる中産階級に位置する吾人業者の生活を脅し、納税義務の履行を危殆に陥らしめんとするが如きは、社會事業としてその見解を誤れるものと謂はざるべからず。
三、北海道の農漁山村は疾病治療の機關に缺陥あるの理由に因るが如きも、之等農漁山村には既に業者が在り賣薬の普及全きの事實に照し、敢て愛ふるに及ばざるなり。

吳海軍共済組合の安置問題

吳海軍工廠に於ける職工共済組合では、昭和九年十一月より化粧品品の取扱ひを開始して海軍々人、軍屬、職工及びその家族を合して約十五萬の需要者に対して化粧品品の配給を行ひ、而もそれが市價三割安の溢價値段を以て賣らるゝに至るや、同地に於ける市場混亂、吳全市の卸小賣業者は全く窮地に陥るに至つた。吳小間物化粧品組合では共済組合側と交渉半歳に及べども尙且つ解決を告ぐるに至らなかつたが、これが一度び中央の問題に移さ

る、や、俄然全國業界の注目の的となるに至つた。こゝに於いて吳商工會議所に於いても對策に關心し、九月一日、會頭三宅清一郎氏は化粧品組合長山縣鐵之助氏と同道、海軍工廠に左の陳狀を行つた。

海軍工廠職工救済組合吳購買所取扱化粧品に關する陳情書

貴所に於いては昨年来化粧品販賣を開始せられ、市内當業者の仕入れ及ばざる價格により配給せらるゝために市價の平衡を失し、永年に亘る吳小間物化粧品組合の融合は廢り遂に有名無實と化し、業界の内紛絶へざる有様な候。
當業者は斯くして年々實收減少せるに拘らず、非常時局に際し増税に次ぐに増税を以てせられ、到底小資本業者は父祖傳來辛苦經營したる家業と雖も維持する能はず、廢業の止むなきに至る次第に候。
惟ふに吳海軍工廠開設せられて茲に五十年、その間市民の大半は父去れば子代り、兄出れば弟入るの狀態にして、工廠を去れる父兄の多くは市内に於いて商に就き工に従業するものなれば、海軍工廠従業員は家庭的に市と密接不離の經濟關係あるものに候。實に吳市の他の民間工場都市とはその趣きを異にし、海軍工廠の従業員を無視して吳市の繁榮圖られざることも市を離れて従業員なしと言ひ得られ候、需用者が良品を廉價に購買せんとする要望あるは當然のことなりと雖も、工廠従業員がこの家庭的なる市内商工業者の利害を顧みず、自己擁護のみに専念するが如きこと非ざるなりと思料せられ候。
今や帝國は擧げて軍備の擴充、國民協同團結精神を喚起し、産業の振興を企圖せられんとするに、軍港都市の發展即軍港地商工業の健全なる發達に留意せらるることこそ至當なりと存候。彼上の理由により當局に於かせられては、之等業者の現狀を諒とせられ、左の如く緩和方御採下さらんことを款願致し候。

年次	「セロファン」紙		人造香料		硝子		白		大正 13
	数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額	
大正 13	—	—	—	—	7,849,665	3,629,034	753,196	377,369	13
昭和 1	—	—	—	—	6,458,609	3,237,254	87,745	42,951	14
昭和 2	—	—	—	—	5,821,611	3,026,883	4,100,446	251,837	1
昭和 3	—	—	—	—	9,654,672	4,458,843	674,745	350,296	2
昭和 4	—	—	—	—	10,116,891	4,333,524	754,851	281,395	3
昭和 5	172,796	16,875	5,000	81,400	425,870	893,386	9,703,480	3,060,600	4
昭和 6	89,152	—	85,400	727,904	8,500	11,887,678	3,795,509	625,548	5
昭和 7	79,948	64,575	100,777	757,399	1,143,443	14,193,416	3,601,581	890,939	6
昭和 8	1,689,016	147,000	207,877	757,060	1,374,587	15,350,137	4,419,745	617,470	7
	2,561,848	574,529	1,106,685	1,001,758	1,822,048	17,763,021	6,244,862	796,565	8
								251,444	

一、可及的取扱化粧品品類の減少を計らるべきこと
二、化粧品品の配給が組合員に及ばざるや取給られべきこと
三、配給價格を總額の五分引以内止められべきこと
四、以上三項實現なき場合は吳購買所等物品を作業し包装並裝型を替へられべきこと
右緩和方に關しては種々御意見の有るべきを知悉するも、この秋之際、吳市小間物化粧品組合の疲弊困難を特に憐察せられ、特別の御諭議に預り度く茲に本所の決議を陳情するものに候。
昭和十年九月一日
吳商工會議所會頭
三宅 清 一 郎

更らに又、吳會議所よりは全日本商權擁護聯盟に宛て陳情の結果報告に併せ、左の如く依頼して来た。
拜啓益々御隆昌奉賀。
陳者吳海軍工廠職工共済組合購買所に關しては、引續き多大なる御後援と御教示を賜り肝銘措く不能候、右吳購買所は昨年十月より別紙の通り化粧品配給を開始漸次その数を増加したるため、勢ひ市内化粧品販賣業者中投資する者續出したるため、吳小間物化粧品組合の統制亂れ紛糾を續け、遂に有名無實の組合と相成りたる次第に候。

吳市の場合化粧品本舖直接納入に非ずして代理店某が本舖と提携して納品しつゝあるものに候。目下クラア化粧品は建値の二割三分引、市中商人は三分引仕入れにしてその他本樟香油、ヘチマコロンはより以上安く仕入れ居り候、配給價格に至りては海軍と市中で約三割の差を生じ、而も部外の者に對して自由に販賣するため、到底市中商人は立行かざる現狀に候。

從來の例に見るも吳市が人口十三萬當時、米穀商四百五十軒のものが今日人口二十三萬市域も倍加したるとき僅か百五十軒に減少し、而も購買所開設以前に比して營業收益税の減せられたる一人もなく、年々重税に苦しむつゝあるを見るも、吳市の現狀は洵に憂慮に堪へざるもの有之候。

本所は吳小間物化粧品組合の意見を徴し別紙の通り吳購買所長宛陳情書提出、又會頭訪問、具さに意見陳陳致し候、次で吳小間物化粧品組合役員も當局を訪問具陳するところ有之候。結局當局の意向としては
一、組合の資金を以て組合員に物品配給するものなれば部外者の何等の特典の要なしと
二、商權組合を作りて低利資金を得て商品を安く仕入れること
以上の如き平易なる回答を得候。今後引續き本件に關し購買所の緩和方要望する所存に候條宜敷御指導の程願上候。
附記、吳市に於いては本所先して商業組合を設立したるも、政府當局が組合法第九條を適用せざるため漸次解散する有様な候。

東新會見本市の成績

帝都に於ける小間物裝身具雜貨の有力卸店十五店よりなる東新會では九月二十五、六日の兩日、東京商工獎勵館に於いて見本市を開催、第一日は東京市内の顧客を招待、第二日には地方の小間物店を招待して東海道、東北陸の各地より多數の仕入れ客あり、非常な盛況裡に多額の取引が行はれた。
東新會見本市に地方客を招待することは今回が最初の試みだけに、その結果については注目されてゐたが、各店より持寄つた賣上げの結果は豫想外によく、例年に比すれば、全體で約五割の賣上げ増加を収めた。東新會は帝都に於ける各方面の有力問屋を網羅するだけに、一般向商品はもとより新奇なる高級品も多數にあり、専門見本市だけに内容も充實してをり、且つ有利なるため逸々來會せる仕入客も期待以上の收穫にいづれも非常な參考を得て、次回の來會を約せるものも尠くなかつた。この十年秋季の見本市が特に好評を博した所は、入場が簡単な手續で済むこと、季節的關係上、日本製用品が豊富に見本を以て招待客の仕入慾を十分に満したること、東新會ではその好成绩に鑑み、次回からも更に積極的に全國の見本市として乗出すことに申合せを行つた。

年	期	赤油		白油		イワシ油		硫黄		「ステア
		数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額	
大正	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—

花王石鹼の市價騰貴

花王石鹼株式會社社長瀧商會では、市場騰貴の第一歩として、別項の如く花王石鹼取引制度の一部を六月一日より改正したが、その後幾許もなく、その効果は漸次現はれ取引値は次第に更正せられ、従来一部に行はれた極端なる騰貴は漸次その後を断ち、九月末に至つては全国的に市價の建直りを見初めるに至つた。又、従来、地方によつては金融の爲の投資荷物を拾ひ上げて、これを販賣して市場を攪亂することが行はれてきたが、制度改正の結果、この方法は全く困難となり、従つて完全な配給地域が確保され、正常な配給系統の回復をみるに至つた。更に又東京、大阪、京都、神戸、名古屋、廣島、岡山、濱松、金澤等の各地では、有力卸店が協力してその市價維持に努力するに至つたので、配給系統は漸く正規に立ち戻り、地盤が確保され、市價の建直りとともに、小賣市場の回復も期待されるに至つた。

養生堂スクールの成績

養生堂本舖が、小賣業改善問題の喧しき折から、全國六千軒に亘る養生堂チェーンストアの發展合理化を目標に、小賣販賣店の再教育を目指して、昭和十年二月開設せるセイド・チェーン・ストア・スクールは、全チェーンの約一割に當る優良店七百軒を第一年度として申込みをうけ、爾來男女別各クラス約二十人づゝの生徒を全國より集め、十一月末を以て終了した第二十期を十年度の最終として、約四百人の卒業生を出すに至つたがその結果を見るに本舖が當初豫期せる以上の好成績をあげ、わが國に於ける最初の店員學校としての期待された効果を十二分に果してゐるものがある。即ち、このスクールに於いては、本舖と販賣店との精神的繋りを密接ならしむることを主要の目的としたもので、取引額の増加等は本舖の全く期待する處ではなかつたにもかゝらず、本舖の指導精神の販賣店に十分に傳へられた結果は、自ら

年	期	赤油		白油		イワシ油		硫黄		大正
		数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額	
大正	13	—	—	—	—	—	—	—	—	13
昭和	1	—	—	—	—	—	—	—	—	14
昭和	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1
昭和	3	—	—	—	—	—	—	—	—	2
昭和	4	—	—	—	—	—	—	—	—	3
昭和	5	—	—	—	—	—	—	—	—	4
昭和	6	—	—	—	—	—	—	—	—	5
昭和	7	—	—	—	—	—	—	—	—	6
昭和	8	—	—	—	—	—	—	—	—	7

花王石鹼取引制度一部改正

花王石鹼株式會社社長瀧商會では、六月、十年度下半期の初めに當り、花王石鹼取引制度の一部改正を行ひ、これ迄直送荷物に附けてゐた銀合料の廢止を行った。この直送料の制度は昭和六年三月新裝花王發賣當時設けられたものであるが、兎角制度本来の精神が没却せられ、往々濫賣等の弊害を生む傾向が有つたので、これを廢止し取引を簡易化する一面、かゝる弊害を断つて今後不安なき取引を行はんとする主旨によつたもので、尙、卸建値打一圓五錢には變更なく建値勵行、濫賣防止について確固たる方策を執ることになつた。

ミツワ石鹼桶開通通知書廢止

ミツワ石鹼本舖丸見屋商店では、従來ミツワ石鹼一桶毎に一枚宛封入してゐた桶開通通知書に對する謝禮金が永らく一定せるため之れを濫賣の具に供されることが尠くない現状に鑑み、七月聲明を發して、今後右の謝禮を抽籤又は他の適當なる方法によつて行ふ旨を發表した。

ライオン齒磨一桶内容改正

ライオン齒磨本舖小林商店では、昭和八年來、ライオン齒磨及齒刷子の値段改正を行った結果、一桶金額に不齊を生じ特賣の都度不便が尠くないので、大袋一桶金七十圓を標準として各種内容打数を左記の如く改正し各一桶金額を略平均し計算上の便宜を計るため、昭和十月八月發表の秋季特賣荷物より實施した。

取引制度改正

昭和十年中に行はれたる業界品の取引制度改正をあぐれば左の如くである。

ライオン券新規定 十年度

ライオン齒磨本舖小林商店では業界過去の諸事情を斟酌の上、昭和九年十一月二十一日昭和十年度ライオン券規定を新設し従来のライオン特利券を九年十一月二十日限り廢止し、販賣制度の一部に改定を行った。この昭和十年度に限るライオン券規定は、齒磨齒刷子昭和十年度（九年十一月二十一日より十年十一月二十日）の買上高金一千圓毎に一枚添附、抽籤により景品と引換へるもので、ライオン券一萬本に對する率を示せば左の如くである。一等二百圓一百本、二等一百圓二百本、三等三十圓五百本、等外十圓殘全部。

花王石鹼年末禮金改正

花王石鹼株式會社社長瀧商會では、四月從來の年末禮金を廢止し、これを期末禮金に改正する旨の聲明を發したこれは九年度より起れる石鹼原料油脂相場の非常なる騰貴によつて生産原價にも著るしい變化を生じたため、販賣店への禮金も、在來の慣例たる一定率を以て一ヶ年通算と云ふが如き長期契約を許されぬことになつたのに由るもので、十年度に於いては一先づ五月末日迄の出荷

品名	数量	価額
小袋 一打	100	100.00
中袋 一打	100	100.00
大袋 一打	100	100.00
...

ライオン券規定改正 十一年度

ライオン齒磨本舖小林商店ではライオン券の制度を改正し、昭和十年十一月二十日限り從來の一千圓券を廢止し、二十一日より左の規定による五百圓券を新設した。昭和十一年度ライオン券規定

- 一等 金一百圓 一百本
 - 二等 金五十圓 三百本
 - 三等 金十圓 一千本
 - 等外 金五圓 殘全部
- 買上高計算期間 自昭和十年十一月二十一日至十一年十一月二十日
發給 昭和十二年二月に至り直接特約店を通じて發給
當議發表 昭和十二年四月

化粧品小間物製造及販賣高

東京卸商同業組合

Table showing sales figures for cosmetics and small goods in 1929 and 1930. Columns include '種類別' (Category), '昭和九年度' (1929), and '昭和十年度' (1930). Rows list various product types like '化粧水' (Cosmetics), '石鹸' (Soap), etc.

業界品特賣の一年

業界販賣界が、その根源に於いては、各本舗より随時發表される特賣によつて左右されること少くないことは云ふまでもあるまい。昭和十年度に於ける業界の特賣について見るに、別項昭和十年業界特賣一覽表に見らるゝ如く、この年中に於ける業界品特賣の總数は東京大阪兩商報に發表せられたるもののみを以てしても四百十六の多數に達してゐる。本舗側の立場よりすれば、特賣はその商品の勢力の伸長を圖る攻撃戦であり、特賣の成功不成功は直ちにその本舗の勢力の消長に關するものであるから、周到なる用意の下に競争商品に優るの有利なる姿を以て次々に市場に溢れるものであるが、これを買ふ問屋、卸店、販賣店の立場よりすれば、多數の本舗が競つて自己の商品の特賣の大量取引に務むる結果、販賣店に於いては絶えず特賣の應接に暇なき有様で、特賣回数減少、特賣全廢の聲すら發せられてゐる状態である。この販賣店側に於ける特賣忌避の聲は、獨り帝都業界のみならず、わが社が毎年夏季に於いて行ふ全國業界訪問の途次に於いて、各地の有力販賣店より、或ひはその店頭に於いて或ひは座談會の席上に於いて異口同音に聞ける處で、一面から云へば、各本舗が競つてその販賣店の販賣能力以上の商品を賣りつけんとする處から、販賣店側の混亂を生ずる濫賣の一因ともなつてゐるのである。本舗側に於いてもこの特賣に伴ふ弊害の除去に關しては、絶えず苦心し、特賣方法については研究を重ねてゐるが、十年度に現はれたる特賣方法として見られるものは、依然として、割増特賣、最品特賣、觀劇特賣、清遊特賣、マネキン特賣、獎勵金特賣、二重三重景品特賣、愛用者優待特賣等々にこの年に於ける新方法とも云ふべきものに乏しいのである。たゞこの年に於ける特賣全體を通じての傾向として感じられることは、

昭和十年特賣一覽

Table listing special sales events in 1930. Columns include '品名' (Product Name), '種類' (Type), '總額' (Total Amount), '金額' (Amount), and '主催者' (Organizer). Rows list events like 'アモンバヤヤ奉仕特賣', 'アキウ新裝發賣', etc.

販賣額

Table showing sales figures for various goods in 1929 and 1930. Columns include '種類別' (Category), '昭和九年度' (1929), and '昭和十年度' (1930). Rows list categories like '化粧品' (Cosmetics), '洗剤' (Detergent), '香水' (Perfume), etc.

特賣技術の上に於ける著るしい進歩である。混亂せる今日の販賣界の現状に於いては本舗が犠牲的に提供せる有利なる特賣もそれが販賣店の實利益とならずして、販賣店間の競争による濫賣の値崩しに役立つてゐる有様なので、有力本舗に於いてはいづれも特賣率を引締め、これを割引値段に直ちに換算し得ざる他の方法によつてカバーせんとして巧妙なる方法がとられるに至つた。即ち、率に於いては同一であつてもこれを販賣に有利に示さんとする方法がとられるに至つたもので、二重景品三重景品附の如きは即ちその一例である。又、この年の特賣に於いては販賣品の賣込みに先立つて、取引先に送る特賣規定書についても著るしい變化が現はれ、従來の如き、單に特賣内容を知らしめるのみに留らず、更にその規定書に於いて、他の競争品を壓倒し、賣込み戦を有利に導かんとする處から、豪華なる規定書が作られる傾向を示し、所謂特賣に於ける文書戦の萌芽は先づ十年度に於ける特賣の傾向としてあぐべきものは愛用者優待と結びつけた特賣並びに販賣店優待である。前述の如く、現在に於いては特賣それ自身では販賣店を何等刺激することが出来ないの愛用者優待を内容とする特賣を發表し、愛用者優待を新聞に大廣告することによつて、愛用者側より販賣店を刺激せしめ、販賣者が嫌でもその荷物を買はねばならぬやうな巧妙な方法をとつたもので、同時にこれに伴ふ販賣店優待をも發表して、一石二鳥式の特賣効果、販賣率、愛用者宣傳優待を兼ねしめたもので、各有力本舗とも競つてこの方法をとり、この年に於ける販賣界の一特徴をなしたものと云へやう。次にこの年に於ける特賣中異色あるもの二三についてその概略を示さう。これ以外に掲ぐべきもの、もとより多數ではあるが、これを以て十年度に於ける特賣内容の大略は察せられるであらう。

ライオン大懸賞販賣店優待

Table detailing the 'Lion Large Prize Retailer Favoritism' program. Columns include '品名' (Product Name), '種類' (Type), '總額' (Total Amount), '金額' (Amount), and '主催者' (Organizer). Rows list items like 'ウテナクリー', 'エビアンミー', etc.

Table listing various products such as '別型ト水白粉', 'オカッブクレモナ', '美人シャンプー', etc., with columns for product name, date, and company name.

Table listing products like 'モンド周煉白粉', 'アールネスト', 'マシーモ', etc., with columns for product name, date, and company name.

三十年前の業界品販賣額

日露戦争が終つてから二年経つた頃のことだつたと思ふが、商報の總會が箱根宮の下の奈良屋で開かれたことがあつて私も當時なりたての出資者の一人として一行に参加してゐたが、その折一行中當時の化粧品本舗の御主人連が五六人、廊下で日向ぼっこをしながらいろいろ世間話に花を咲かせて居る中へ、私も交つて聞くと、先代の長瀬富郎氏が突然こんなことを云ひ出した。

一打に付 金一圓六十銭
小賣定額は従來通り十五〇
井筒屋香油店
井筒ホマード
昭和十年三月一日より左記の通り値段改正の上報謝
奉慶止

Table with columns for '種別', '舊値段', '改正値段', listing various items and their price changes.

Table with columns for '品名', '種類', '改正値段', listing items like '風鳥メー', '風鳥メー', etc.

Table with columns for '段値正改', '小', '中', '大', '特大', listing price adjustments for different sizes.

Table with columns for '段値正改', '小', '中', '大', '特大', listing price adjustments for different sizes.

Table with columns for '種別', '額', '舊値段', '改正値段', listing items like 'ベルベツト石鹸株式会社', 'ライオン石鹸株式会社', etc.

Table with columns for '種別', '額', '舊値段', '改正値段', listing items like '資生堂', '資生堂石鹸', etc.

Table listing various products and their prices, including '美人かつら', '皮膚チヤリ', '百万兩石', etc.

Table listing various products and their prices, including 'ホーヨー化粧品', 'ホシジ', 'ホルン化粧品', etc.

Table listing various products and their prices, including 'マコーナ', 'マスターグ', 'マスターグ', etc.

料髮整的表代

純粹精製

純植物性

井筒ポマード

為法志

店油香屋筒井 舖本京東

生産 販賣

新製品の一年

昭和十年度に於ける業界の新製品として新たに新製發賣されたものは別項新製品一覽表に見らるゝ如く、その數百八十四の多きに達してゐる。斯く新製品が續々として發賣されることは、従前に於いてさへも、製品の種類の過多に慣みつゝある業界の小賣販賣店としては、いよ／＼そのストックを増大せねばならぬことになるわけであるが、その品質に何等の特異性を持たぬ類似商品の新製發賣は、販賣店の立場よりすれば、甚だ困惑に値するところではあるが、一面より見れば、業界の繁榮を語る一體左とも見られるであらう。尤も本舖側の立場よりすれば發賣する新製品はいづれも苦心研究の末に成れる十分な自信を持てるものであることは云ふまでもないが、一面よりすれば、龐大なる生産設備を常時休止することなく運轉し、しかも販賣市場の調節轉換をはかるために必要なる販賣政策の現はれてあるとも云へやうが、こゝにはこの問題に關して深く觸れる必要もあるまい。

昭和十年中に現はれたる新製品を通過して第一に感じられることは、藥的效果を謳へる製品の目覺しい躍進ぶりである。これは化粧品需要者の美容知識が、近時著しく進歩し、單に美しくなることのみを圖つたのでは容易に満足せざるに至つたことによることは云ふまでもないが、各本舖又、この傾向を敏感に感受して、眞に美容上、皮膚を地肌から美しくする栄養劑の研究に苦心せる結果、從來の化粧品に見られなかつたこの方面に製品の新分野を開拓せるもので、ホルモン、レシチン、コレステリンラセラン、タニンミルキー、アンペリン等の効果を應用せる化粧品が多數現はれ、他方、ホルモン劑の回春効果についての醫學的知識が普及するに隨つて、この種化粧品は實際市場に於いても旺盛なる賣行きを示した。次にこの年に於ける新製品の傾向として見られることは、比較的高級なる製品が再び現はれ初めたことである。こゝ、數年來化粧品界に於いては一般經濟界不況の影響をうけ

一品キープ入機電器	種類	行改正一	小改正一
クラフ 煉商磨	特大	四・六〇	四・六
クラフ 煉商磨	大	三・〇〇	三・〇
クラフ 煉商磨	中	一・五〇	一・五

佐々木商店

ローヤル化粧品
昭和十年七月十五日より左記の通り値上實行
全部五歩値上

東京樹形製業組合

昭和十年十月一日より左記の通り値上實行
二割値上

宇野達之助商會

タンゴードーラン
昭和十年九月十四日より左記の通り改正

タンゴードーラン	各色と同一打に付	・五〇	値上
固形タンゴードーラン	同	・五〇	値上

東京製鋼製業組合

備 鋼 一 般
昭和十年一月 二割値上
昭和十年十月 三割値上

東京輸入毛商工組合

かもじ類人毛製品
昭和十年十月 二割値上

東京化粧品製造工業會

植物性ポマード二割値上
一貫日に付金五十錢値上げ十月より實施

大阪石鹼同業組合

昭和十年一月二十三日より左記の通り値上げ實行
化粧品石鹼 三割値上

マニッシュ	帯揚十年度特賣	一千五百	三五〇	新商店
丸善ベーク	量品割増付	百口		丸善株式會社
丸善ベーク	九年度歳末	六千口		同
丸善ベーク	割増景品付	一萬口		同
丸善ベーク	新春特賣	一萬口		丸見屋商店
丸善ベーク	春季特賣	一萬口		同
丸善ベーク	中元特賣	一萬口		同
丸善ベーク	夏季特賣	一萬口		同
丸善ベーク	暑中特賣	一萬口		同
丸善ベーク	秋季特賣	一萬口		同
丸善ベーク	歳暮特賣	一萬口		同
丸善ベーク	十周年記念	二百口		増澤精油部
丸善ベーク	港まつり	五百口		同
丸善ベーク	小口有利	二千口		同
丸善ベーク	小口有利	二千口		同
丸善ベーク	景品付有利	一千口		同
丸善ベーク	發賣記念			同
丸善ベーク	三笠松かとり			同
丸善ベーク	香清渡付有利			同
丸善ベーク	峯の華化粧品有利			同
丸善ベーク	十年度有利			同
丸善ベーク	十年度有利			同
丸善ベーク	御園コールド			同
丸善ベーク	御園固煉白粉三五〇發賣	一萬口		同
丸善ベーク	御園石鹼美裝罐入			同
丸善ベーク	御園石鹼美裝罐入			同
丸善ベーク	御園化粧品有利	小口五千口		同
丸善ベーク	現品付全國			同

八〇

ニードル洗粉

美肌のぞめば
先づニード

常に色白く
清く滑らかに
健康の美肌を創る
洗粉界の女王

金鳥ポマード

金鳥こそ頭髮美の
至寶！ 今新人の
愛好品！



中田善株式會社
大阪東區博勞一丁目



香り第一、櫛通りよく
サラツと落ちる植物性

日毎に
賣行旺盛！

メンソレータム



ララン美髮料本舖

福田號商店

東京・大阪

—種三は味色—

濃	肌	白
肌	色	色
色		

水 顔

美 色 明

化粧水を兼

ねた素晴し

い水白粉

不思議なほど

美しく附くの

で大評判



館 天 順 谷 桃 會 株 式



國産の誇り

リーガル 製品



毛髪肥料

ベジリン香水

頭髪用

ユーモリンクリーム

純植物性

リーガルポマード

リーガルポマード
フラワー

リーガルチツク
フリラン

リーガルローション

リーガル香水

リーガル

バニシング
レモン
クリーム

リーガル粉白粉

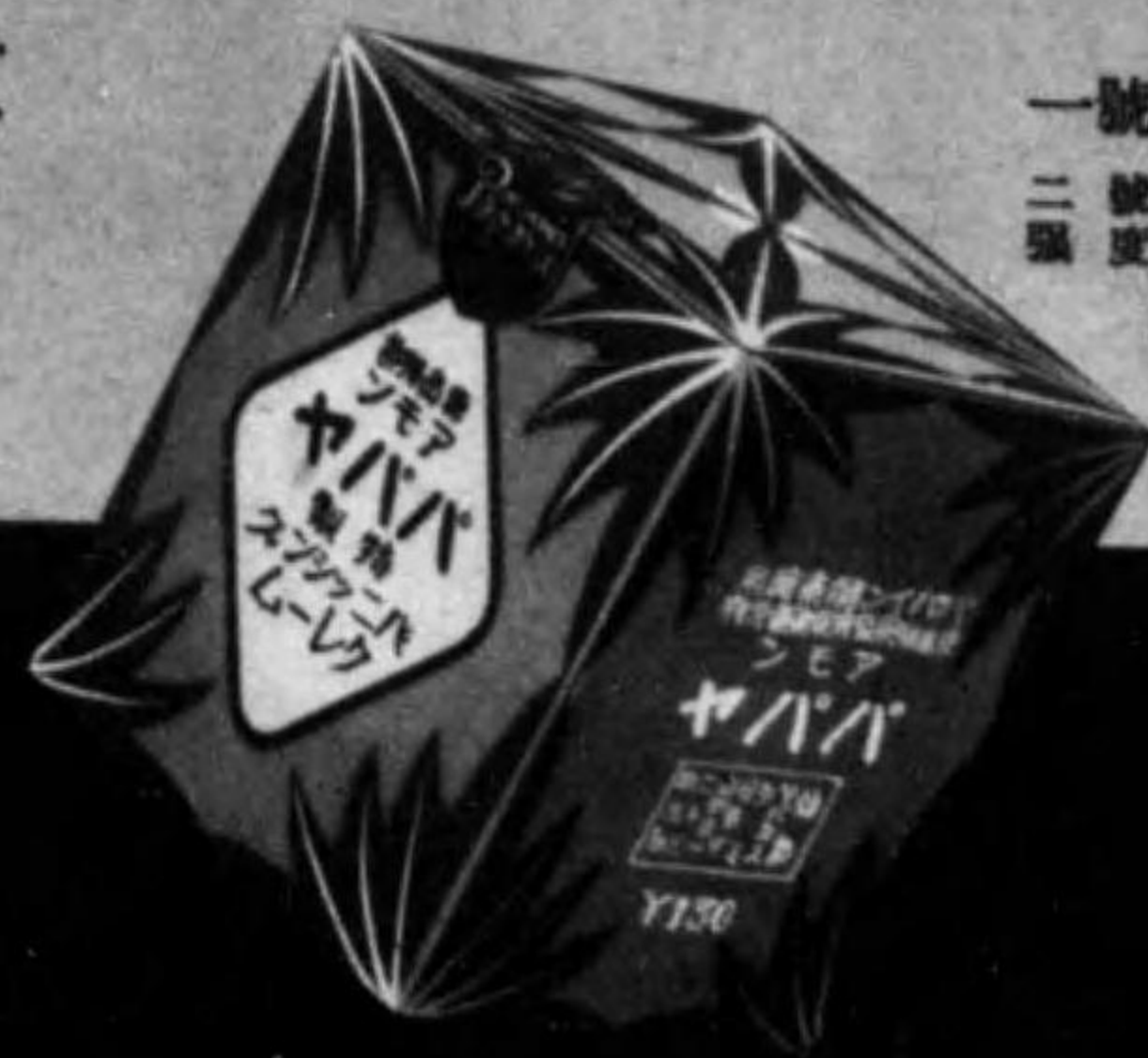
リーガル水白粉

ハイン酵素含有
薬用クレーム



ソバカス・シミ・ニキビ
日焼けが、完全にとれる
大評判の薬用クレーム

一號 ¥.130
二號 ¥.180



本舗杉田商店東京

アモンパパーヤ

本舗リーガル會商

東京市本區石町三日

TRADE MARK



忠勇ハブラミン

陸軍御用品



東京市日本橋區馬喰町三ノ四

井阪支店

大阪市東區南久寶寺町二ノ五三

井阪本店

カタログ送呈

化粧化粧品

常に新時代の需要と感に

愛用者本位を
モットーにする良質主義



井阪一ミワラ
店商住奥

タマゴシャンプー
 玉子粉石鹸
 黒砂糖合玉子石鹸
 玉子洗粉
 玉子かみあらい

玉子洗粉
 玉子かみあらい
 黒砂糖合玉子石鹸
 玉子粉石鹸
 Tamago Shampoo
 玉子洗粉
 玉子粉石鹸
 玉子洗粉

本 社
 女 玉 子 王 玉
 ゴ マ 子 子
 シ 粉 子
 ヤ 洗 子
 フ 粉 子
 ー 洗 子
 本 舖
 資 本 會 社
 美 香 園

本 社
 名 古 屋 市 中 區 針 三 丁 目
 古 屋 市 中 區 針 三 丁 目 九 番 地
 電 話 南 六 九 六 二 番 八 七 五
 東 京 市 橋 區 舟 入 一 丁 目 八 番 地
 電 話 京 東 橋 五 〇 五 (56) 番 一
 關 西 出 張 所
 大 阪 市 外 小 田 村 潮 江 西 一 番 地
 電 話 關 西 橋 五 〇 五 (56) 番 一

卸問屋として

多種多量の商品と
 迅速なる配給機関
 を常に準備して

誠心誠意を以て
 全國薬店の御用を
 勉めさせて
 頂いて居ります

【營業品案内】郵券十銭同封の上
 お申込次第御進呈申上ます。

主要發賣品

ス マ イ ル	ヨ ー チ 水	小 松 ち の 薬	腦 鼻 液	手 津 救 命 丸	字 津 救 命 丸	理 研 無 鹽 醬 油	理 研 ウ イ タ ミ ン
理 研 レ バ ー	妙 君 が 代	黒 蝴 蝶	萬 惣 西 瓜 糖	た こ の 吸 出 し	ア ー ス タ ム	ア ー ス タ ム	ア ー ス タ ム
ど り こ の	海 貴 來	み や こ 染	ヘ ヘ ラ イ ン	ノ ボ ビ ン	森 永 ミ ル ク	ネ オ ネ オ キ ー	ネ オ ネ オ キ ー

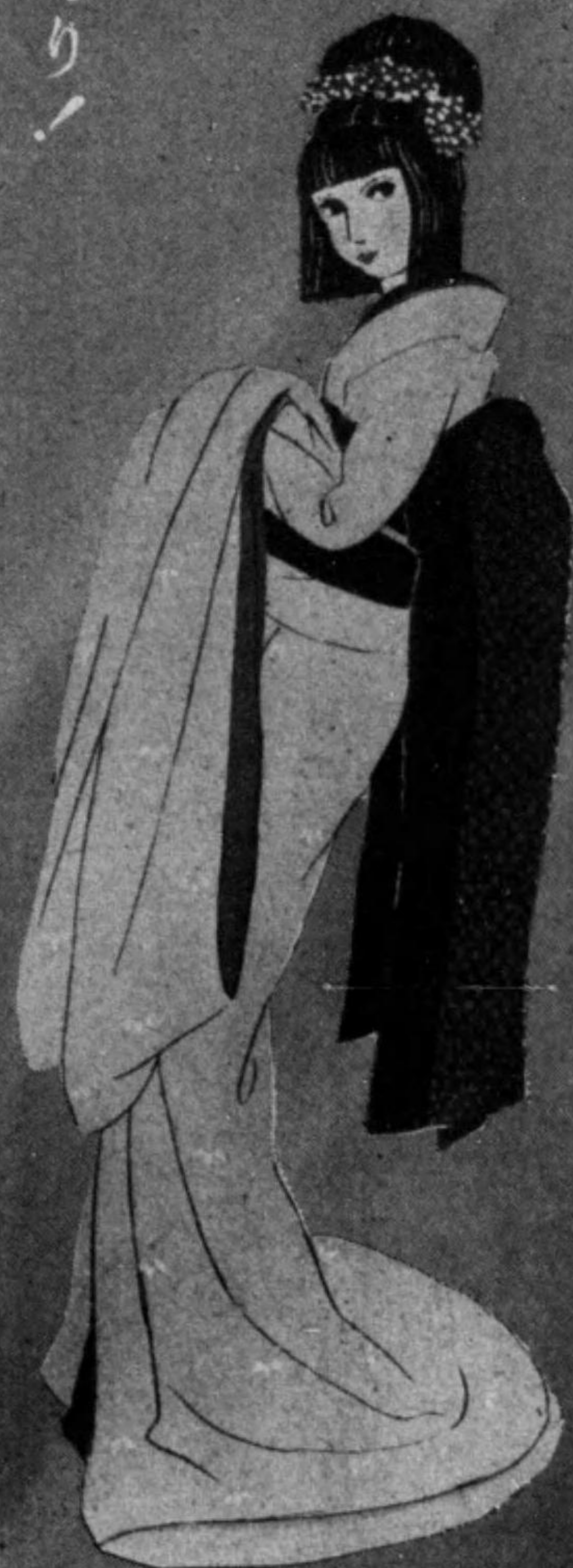
玉置合名會社

東京市日本橋區本町一丁目九番地
 電話 日本橋 1050
 (24) 1051
 1052
 1053
 1054
 1055
 1056
 1498
 2406
 2618
 2644
 4018

大阪出張所
 大阪市東區瓦町三丁目八番地
 電話 本局 三七八八番

鶴之卵石鱈

傳統の誇り！
需要者の評判！



株式会社鶴之卵石鱈本舖

東京市麹町
電話 田墨 二七〇四
六八〇〇



乾物

海草

荒物

問屋

東京市日本橋區小網町

駒木銀三郎商店

電話 茅場町 六一〇四・六一〇五
振替 東京 座口 〇二七九



美髪の絢彩譜



清涼養毛料の基準
丸善ベールム
 特大瓶 ¥2.60 小瓶 ¥.85
 大瓶 ¥1.50 平瓶 ¥.50

粘着度中庸・紳士淑女の共用料
ベールム
コスメチック
 大 ¥.90 小 ¥.50

純植物性・伸びと芳香のよさ
ベールム ポマード
 大 ¥.60 小 ¥.35

さらりとした無脂肪質の新整髪料を
ベールム ヘヤ
クリーム
 1個 ¥.50

■ 販 賣 元 ■
丸善洋物卸部

東京市日本橋區通二丁目



製屬金・製ドイツロルセ

器容鹼石

器容品粧化

スーケトツレガシ

賣販造製

金 屬 製 品	セ ル ロ イ ド 製 品
ニツケル石鹼容器	セルロイド製石鹼容器
ニツケル化粧品容器	同 白 粉 入
ニツケル商アラス入	同 商アラスサツク
ニツケル巻煙草入	同 化粧品容器
金 屬 製 コ ン パ ッ ト	同 筆 入
アルミニウム製容器	同 巻 煙 草 入
金 屬 製 白 粉 入	同 コ ン パ ッ ト
金 屬 製 刻 煙 草 入	同 コ ン パ ッ ト
輸出向金製小函	同 香 粉
輸出向金製小函	同 針
名 入 貯 金 器	輸 出 向 雜 貨

國立貯金器發賣本舗



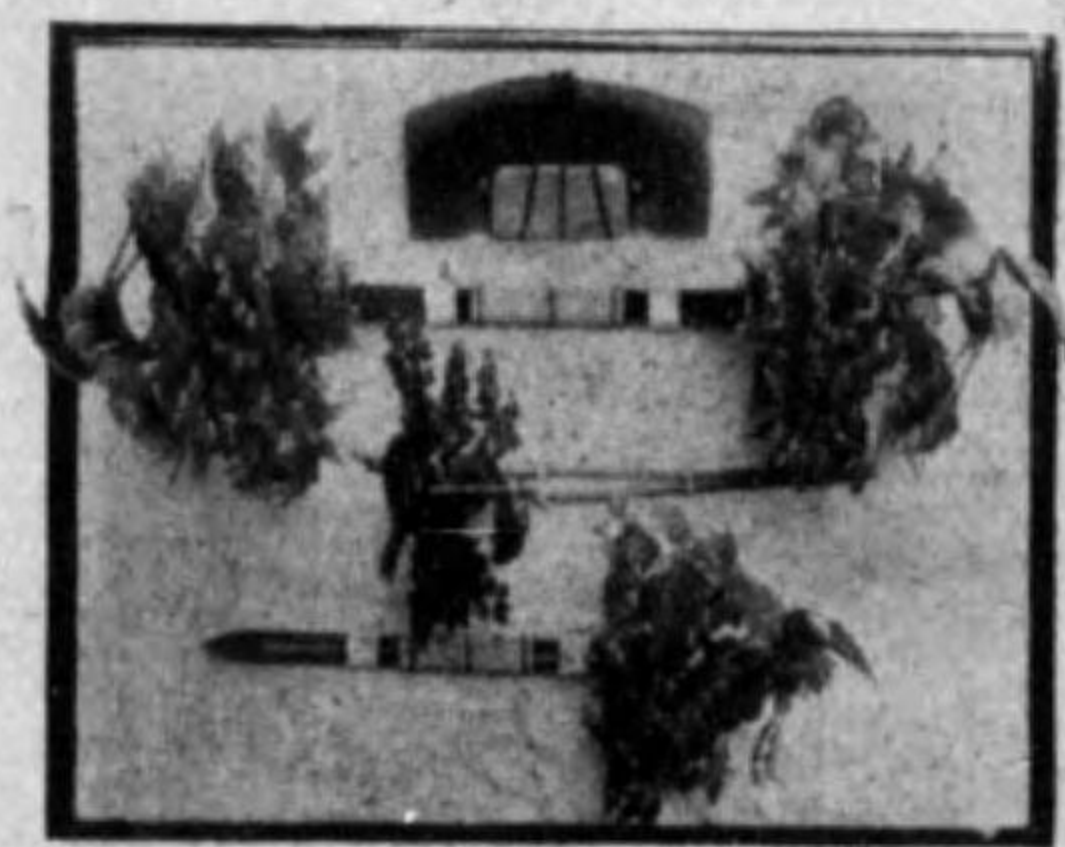
東京市淺草區淺草橋一丁目
井上小四郎商店

電話淺草(84) 四五〇七七番
 播磨口産東京五三〇四番



御婚禮頭飾調度と花筭の店

御注文は東京
大阪、名古屋
の各有名小間
物問屋へ願上
ます



時田湊商店頭飾部

東京市浅草区浅草三橋一ノ一
電話浅草(84)三五六三番
東京市荒川区一丁目 花工場
埼玉縣粕壁町 電話一四一四番 箱工場

石鹼化粧品・賣藥滋養品・雜貨問屋

日本橋區横山町九番地

東京堂株式會社



日本橋區横山町十番地

東京堂株式會社特定品部

電話浪花(67) 三三七九三番
三三七九四番
三三七九五番

電話浪花(67) 三三九二番

！品二の此る作を肌美

高岡、庄野兩博士發明の「新美膚素」應用

仁丹の麗泉

お肌の 生地を生々とした艶
を出し
美しい 和洋兩風のお化粧は
御意のまゝ
始めて 完成されたお化粧美
の素です
お化粧 下には勿論、洗面や
入浴の後に是非……

高級石鹼原料 ハームオイル製

仁丹石鹼

殺菌と美肌の快よい芳香が
一泡一泡に溢れます



店商下森 社會式株 元賣發

磨齒丹仁

近代的香味、美齒効果百%

仁丹の煉齒磨

專賣特許の齒磨

半煉の仁丹齒磨

快適な芳濕性
申分なき使ひ心地
將に半煉界の王座を行く

最優秀の粉齒磨

仁丹の粉齒磨



店商下森 社會式株 元賣發

實用新案登録 意匠登録出願中

TRADE MARK

萬人向オビハサミ

斯界に一大エホツクを劃し燦然として

ツバメ印 萬人向オビハサミ 時代出現！

堅牢にして帶地を少しも損めず

是れこそ萬人が待望の要求を巧に取り入れて完成せる、超合理的優秀發明品、體裁優美價格低廉、名實共に萬人向

種類五種

- 壹號形
- ニツケル仕上製
- クローム仕上製
- 焼付漆塗仕上製
- 特號形
- ニツケル仕上製
- クローム仕上製
- 絶対銷ス
- アルミニウム鍍金
- ニツケル仕上製

堅牢ニシテ帶地ヲ損メズ、丸帶ヘノ御使用モ樂々ニシテ御使用心地萬點、幼兒ヲ「オンブ」ナサル方ニハ最モ便利ニシテ又枕受ヲ御用ヒニナラヌ方ニモ好都合デス、枕受ガ起伏自在反動除トナツテ居リマス故自動車、電車等ノ乗物ニテ動搖ノ際後方ヨリ強ク押サル場合ガアリマシテモ絶対ニ損レマセヌ

(特號形)

(壹號形)

(特號形)

特約店 (順はろい)

- 飛川商店 東京市日本橋區横山町七
- 丹總商店 東京市日本橋區馬喰町三丁目
- 萬新商店 東京市淺草區小島町二ノ二九
- 水野善治商店 東京市淺草區小島町二ノ二九

東京 京東 元造製 兄弟木鈴 會商

見鶴市濱橫 區見鶴市濱橫 地番〇三八町見鶴


電話 話電 會商 兄弟木鈴 見鶴 番二七三三

！評好大て店各トーパデ

店品粧化物問小
で店物荒・局藥

須必備常御
るれ賣トツキ

品製大三



右見本御入用の方ば三種八拾錢
於て送早但し左記送料と共に振
替東京一四一番へ御振込
見本送料内地無料、臺灣
太廿錢、鮮滿卅五錢、南洋
卸取引送料一打以上三
鮮滿以上内地無料、臺灣
鮮滿以上内地無料、臺灣

最新發明のシミスキ・クリーニング液

◎透清エキス 小瓶百瓦 入三十五〇 打參圓五拾錢
德用百五十五瓦 入五十〇 打五圓也

研究專賣の洗張用艶出仕上液

◎ツヤモト 小瓶二十〇(シンシ張四十反、板張廿反分) 打貳圓也
大瓶三十五〇(シンシ張百反、板張五十反分) 打參圓五拾錢

絹織物、人絹、毛織物類、一切の洗張には「ツヤモト」さへあれば家庭で完全によいツヤに仕上り且つ安價に出来、決して専門業に依頼する必要はありません。

松原醫學博士實驗推獎・河内工學士創製 (賣藥部外品)

◎カミノール(髮の王) 小瓶洋 髮壹回分男子貳三回分(〇七) 打七拾錢
大瓶 日本髮壹回分男子五回分(一〇) 打壹圓也

カミノールは脱毛防止を主眼として、特効ある藥劑多數を配合してありますので、病的なフケ、不快なカユミを一掃し、且つ配合養毛劑は毛髮を潤澤にしなやかに、絶対赤毛にならず、殊に幼小兒の洗髮には理想的の逸品です。然も使用簡便僅か三分で充分に洗髮と養毛の目的を達し、麗雅な芳香は心身を快適にし従來のシャンプーと全然異なり、一度御使用の方は永久の愛用者となります。

小間物雜貨問屋・善光石鹼本舖
東京市日本橋區馬喰町三丁目(電車通り)

分正 木屋商店
店主 安井勝藏

電話浪花(07)〇五六一 番・振替東京貳參四壹番

化粧用
亞鉛華
純無鉛

顔

香

料

料

化粧品原料直輸入

佛國アルベール・ルベール香料社東洋總代理店

堺化學工業株式會社

東京支店 東京市本區綠一丁目二二三

電話本所六一八六・二九八六・三九八六

大阪營業所 大阪市西區南堀江上通二丁目一五

電話川櫻二六五六・七五六二・八五六二

伊豆椿特定美粧品

専門の技術と……
洗練されたる品質……
完備せる工場より
創り出されたる最高優秀の頭髮御料



本舖
大機彩芳園

大阪市東區本町二丁目

お染椿香油

爽やかな香り

本廣告と同ギスタ
一月
日より二月末日まで
大阪府津島市本町一丁目
南高津四番丁大井
所券封入御申越次第贈呈

所油製内の井 舗本

阪大——京東



香 料

香水 化粧品 石鹼 及 製菓用其他

天然 香料

化學香料

高級合成香料

- ブーケー
- シブレー ハイペ
- 〃 ゼニコ
- 〃 K 240
- 〃 B
- エメラード
- ジャスミン ハイペ
- 〃 No.64ハイペ
- 〃 ゼニコ
- 〃 No.64ゼニコ
- ムゲット フラワーゼニコ
- ネオリ油 ハイペ
- 〃 ゼニコ
- ローズ オリエントゼニコ
- トレフオリン



小林健次郎商店

東京市日本橋区本町四丁目三番地
電話 日本橋 (24) 1796・3901

生産販賣

ぎんやなぎ洗粉

合資会社平松商會にては、三月、美白化素「ぎんやなぎ洗粉」を発売したが、最新薬化学研究の結果による植物性特殊蛋白質を主剤とした新発見の美白化素アンペリを含む合成製品で、専賣特許も受けてゐる。そして従来のわか袋式の長所を採つて布袋入とし、その洗粉獨特の清浄、艶美化、衛生の三作用を充分發揮するやう工夫されたものである。なほ各地方發賣元は關東桑原花生堂、關西角倉商店、中部中東商店、北海道十全堂と決定した。

資生堂ホルモリン

資生堂が若返り不老クリームとして従来の輸入高價品に對抗するの充分なる自信を以て四月發賣せるもので、専賣特許を有し、基準強度六〇〇、二倍強度一〇〇〇の超高級クリームであるが、十年度に現はれたるホルモリン化粧料の先鞭をつけたものと云へる。

クラブ乳液

クラブ本舗中山太陽堂では、クラブ乳液、新瓶五十〇を五月發賣した。これはアルモンドを主剤とし、綜合ホルモリンを含有する若返り化粧水としてホルモリン化粧品流行の波に乗つて好評を博した。

オカツブレモナ

オカツ本舗平尾三郎商店では、オカツブ美粧料として最初に世に問ふべき製品として六月、美粧水オカツブレモナを發賣した。これは従来の萬能式化粧水と異なる透明化粧水で、脂肥性の皮膚に適するアストリンセント、アレ性に適するナリシングの二種に分つ別効果の賣薬部外品にして、いづれも五十〇、容器は紫、青のツヤ硝子を用ひた意匠、包装とも頗るスマートなものである。

ダンブシヤムプー

ヤンア粉石本舗第一工業製藥株式会社では、理想的シヤムプーの製出に成功、六月、ヤンアシヤムプーを發賣した。新製品は、絕對中性にしてアルカリ性を含まず、洗滌力絶大にして毛髪及び皮膚を害することなく、毛髪の色艶をよくし雲脂、痒み等をとり、如何なる用水にも融和し、毛織毛織物の洗濯に用ひても極めて有効で、シヤムプーに一新紀元を開くものとして注目された。

ホームクレンザー

花王石本舗長瀬商會では、研究中の磨き石本舗ホームクレンザーをいよいよ七月初旬を期して發賣した。これは食器家具等の洗滌用具一切の洗滌用に使するもので、三角筒に入れたる粉石本舗、小賣定價十五〇で石本舗の専賣品として大いに期待された。

薬用煉洗粉バウム

鼻病薬漢式吸液發賣元光明社では七月、専賣特許薬用煉洗粉バウムを發賣した。バウムは在來の粉末洗粉と異り、水気の多い浴場、洗面所等で使用するに便利で、且つ、ニキビ、ソバカス、吹出物、脂顔を治し皮膚諸症に頗る効果的な藥的効果を持つてゐる。三十五〇、六十〇の二種。

仁丹の麗泉

森下博藥業所では、義に外用薬仁丹の麗泉を發賣したが、皮膚の諸障害、外傷等に卓效ある逸品として頗る江湖の好評を博せるに鑑み、更に同所新製部に於いて化粧用麗泉の發賣を計劃之が研鑽中のところ、八月、全國一齊に發賣した。卸値段は五十〇打五圓、三十〇打三圓である。

粉白粉バビリオ

御園本舗伊東胡蝶園では伊東化学研究所の名の下に八月新粉白粉バビリオを發賣した。バビリオは従来の粉白粉の着色方法と全く異なる操作により作られたる新粉白粉

生産販賣

ベリカンゴマード	大	四・五〇	・六五
ベリカンゴマード	小	三・五〇	・四〇

扇橋製藥株式会社

新アルボース石鹼	大	一打二付	金十錢上ケ
新アルボース石鹼	小	一打二付	金四錢上ケ

光堂

白光クリーム白粉	一打二付	金三圓五十錢
白光クリーム白粉	一打二付	金三圓五十錢

近藤誠宏商店

キンシ薬局クリーム	大	五・〇〇	六・〇〇
キンシ薬局クリーム	中	三・〇〇	三・五〇
キンシ薬局クリーム	小	一・〇〇	一・三〇

丸見屋商店

サリワ白粉	大	一打	五・〇〇
サリワ白粉	中	一打	三・〇〇
サリワ白粉	小	一打	一・〇〇

品名	種類	規格	定価	卸値
サリワ白粉	大	一打	五・〇〇	三・〇〇
サリワ白粉	中	一打	三・〇〇	一・〇〇
サリワ白粉	小	一打	一・〇〇	〇・三〇
サリワ化粧水	大	一打	四・〇〇	二・〇〇
サリワ化粧水	中	一打	二・〇〇	〇・七〇
サリワ化粧水	小	一打	〇・七〇	〇・二四

ラミー石鹼	三・五〇	發賣一萬口	二、〇〇同	代理店
ラミー石鹼	三・五〇	發賣一萬口	二、〇〇同	代理店
ラミー石鹼	三・五〇	發賣一萬口	二、〇〇同	代理店
ラミー石鹼	三・五〇	發賣一萬口	二、〇〇同	代理店

で、優秀な品質は舶来品をも凌駕するものとして頗る好評を博した。十二色、一個六十〇、特定卸店の手を通じて発表された。

フアモスクリーム

華の花本舗齋藤平本店では八月、フアモスクリームを発売した。フアモスクリームはある長壽動物の唾液の不思議なる作用を、滲透性のものとし、化粧クリームに應用せるもので、アレルを防止ニキビ、ソバカスを豫防する薬的効果を持つるもの、特定販賣店を通じて発売。

資生堂クレンザー

株式会社資生堂では多年研究中であった資生堂クレンザーを八月発売した。これは食器の磁器、陶磁器、塗物の他一切の洗滌用に適せる國産クレンザーで、その品質は舶来品に比し毫も劣らぬ優秀なるものである。十五〇、一個六十五個、卸値一圓七角。

クラブ薬用美身クリーム

クラブ本舗中山太陽堂では、ホルモン應用時代にさきがけて之れをいち早く化粧劑に應用せるクラブ乳液を発売して好評を博したが、ついで強度綜合ホルモン、腺腺素含有の薬用クラブ美身クリームを研究完成し、これに専賣特許を得ていよいよ九月発売を發表した。此の新製品は植物性及び動物性ホルモンの配合による専賣特許の強度綜合ホルモンを含有せる肌の若返りクリームで、ホルモンは肌から完全に吸収せられ、皮膚に充分な栄養と弾力を與へ、皮膚の弛緩や小皺を防ぎ、短時間の中にきめを細やかに、しなやかにする効果を有するものである。又腺腺素はその含有するリパーゼの作用により色を白くするとともに新陳代謝を促進してニキビ、ソバカス、シミ、などを綺麗に除去し、日々々雪々々をも助ぐ美髪作用を有する。一個は一圓五十銭。

明色クリンシン・クリーム

桃谷順天館では九月、明色クリンシン・クリームを発売した。これは湯も水も使はず、少しすりこんでガーゼで拭きとるだけで強力な清掃作用を持ち、更に化粧下としても、マツサリシヨ用にもアレル止めに用ひられるので非常な好評を博してゐる。洗顔クリームたるクリンシン・クリームは米國によく發達してゐるものであるが、價格が高いため、未だ一般化されてゐないが、これが普及した場合には大需要を豫想される。中罐六十五〇、特大罐二百〇。

薬用モンココクリーム

モンココ洗粉本舗では先に薬用モンココ洗粉を発売したが、更に十一月、新たに橙の種子から發見された營養素ベクタンを主劑とする薬用モンココクリーム、パニシング、コールドの二種を発売した。このベクタンなる營養素は植物中に含まれてゐる一種の粘液性で、皮膚營養の營養劑として効果を有することは以前より知られてゐたが、その抽出と保存が困難なるため、化粧品に利用され得なかつたものであるが、古川農學士によつてベクタンの誘導體ベクチールが發見され、クリームの主劑として應用されたものでその藥的効果は、皮膚組織の新陳代謝に強力な作用を有するものとして薬用クリーム界の注目の的となつた。定價パニシング、コールドとも小一〇、大二三〇。

四十年前の業界販賣界

東京商報の發刊された四十年前にあつては、日清戰役後の好景氣の波に乗つて、業界品に對する需要の俄かに増加せる時代であり、又今日の如く、業界の生産施設も整はず、多くは家内工業的に小規模に製造しつゝあつたものであるから、各商品はいづれも需要に追はれてをり、今日とは全く逆に、隨つて販賣界も大いに事情を異にせる爲め、濫賣等の問題のなきはもとより、本舗からの發賣に際しても、特賣といふ如き制度は未だとられる

に至らず、僅かにその仕入れ數量の多少によつて、卸値の歩引きが異なる位の程度であつた。いま、その販賣規定を當時化粧下として最も勢力のあつた田中花王堂發賣の乙女肌についてこれを見やう。

乙女肌卸賣規定

一、定價二錢、一圓二十五箱入

特別御引法(二箱三十具入)

五箱以上一箱に付三十六錢 廿五箱 同三十四錢五

圓 五十箱 同 三十三錢

擴張販賣方法

一、實用廣告用として擴張中當分の内見本量上用として本品五函に付見本品五十個入一函宛無代進呈仕候

一、引札は三十個入五箱に付二百五十枚宛の割合を以て進呈仕候

一、三十具入五箱に付、大形紙看板一枚(幅一尺一寸 丈五尺) 小形紙看板(幅一尺一寸 丈二尺五寸) 二枚の割合を以つて呈上仕候

田中花王堂

これによつても、當時に於ける販賣店への特別なサービスが、見本品、引札、看板添附の程度であつたことが知られるのである。

次に又、矢張り化粧下として用ひられた若葉屋發賣の「ねりすりん」に就いて見るに、その卸値段は

卸値段の割合よきは他品の及ばざる處也

百個以上は定價の 五掛

五百個以上は定價の 四・八掛

千個以上は定價の 四・五掛

以上の如くなつて居る。割合よきは他品の及ばざる處也と斷つてあるから、他の化粧品品の歩率はこれよりも幾分悪かつたとしても今日の歩率から見れば尙且雲泥の相違で、これらがいづれも大體定價通りに賣れてゐたものと思はれるから、業界品販賣店はいづれも十分なる利益を得て、他の業界に於いても恐らく同じことであつたらうと思はれるが、當時の業界は極めて天下泰平何れもその業に安んじてゐたものと思はれる。

(東京商報四十年前記事から)

店商 品商

昭和十年業界商品史

一、昭和十年度に於ける商品勢力の消長を知るに備へたのが、此の調査である。主として過去一年間に於ける需要の傾向、流行の變遷にその眼點を置いたものではあるけれども、然し中にはその發展過程に就いての觀察を加へたものもある。取扱ひは必ずしも一律ではない。

一、商品の種類を以つて言へば二十種類。その調査の統一を缺けるは、最初、業界に於ける各専門家に依頼してその材料を求め、これを整理して一つの商品史を編む心組みてはあつたけれども、遂ひにその暇なくしてその談話のまま、或ひはその執筆せられたるまゝを掲載するの外なかつたに由るものである。

一、商品の種類を二十種に限れるは、業界品の分類上、かくすることが現下の業界情勢に最も適して居ると信じたからである。前年版と相異なる點は「婦人頭飾品」「婦人服飾品」を合して一項目に收めたること及び新たに「小間物雜貨」「硬化油」の二部門を設けたることである。

化粧石鹼界の一年

一九三四年度に於ける米國棉實油並びに滿洲大豆の大減收は、ひいては世界の油脂界全般に大影響を與へ、昭和十年度に於ける油脂界は實に歐洲大戰の好況時代以來、十數年振りの大波瀾を示し、ために化粧石鹼界も非常なる活況を示した。

先づ化粧石鹼原料油脂類について一瞥するに、牛脂は九年十月來、暴騰に暴騰をつゞけ一時小康を見たが、秋口に至り又々騰勢を示し、その他一般植物油に於いては大豆油は前年に反して少しも落勢を示さず、大豆硬化油は大連に於いて不渡りとなる状態へ一般に昂揚となり、本年に於ける大豆收穫の減少が見越されたる十月に於いては高値を示せる六月の三割高となる昂揚ぶりである。

パーム油も昨年の高値を突破し、綿實油、落花生油等に於いても、本年は多少の増収を見たりも拘らず、伊エ職

も石油界に於ける福音と云へやう。これに力を得て、香料製造業者の間には、天然香料に對しても更に十割増税を課すべしとなして運動が行はれてゐるが、これに對しては化粧品業者はもとより、化粧品業者は悉く反對の氣勢を示してゐる。その他化粧品原料はすべて昂騰し、石油業者は著るしく採算難に陥り、石油組合の名によつて化粧品原料の値上げは前後三回に亘つて發表されるに至つたが、實際市場の形勢より、各名石油は自重して、値上げは實際には容易に行はれず、數年來の景氣の反動として需要は著るしく増加したにも拘らず、石油業界は痛し振ゆしのデレシマに陥つてゐたと云へるであらう。

前述の如き油脂界の活況の結果として、この年の化粧品原料の著るしい現象として見られることは、硬化油業者の化粧品原料への目覺しい進出である。牛脂の暴騰の結果は、魚油硬化油又は魚油重合油の過度の使用となり、化粧品原料の品質を著るしく低降せしめたが、更にぬか、油等より硬化油を採取して輸入牛脂に代用せしめんとする研究が盛んに行はれ、内地硬化油工業の異常な發展につれて、漢洲産牛脂の輸入はこの年に於いて著るしく減少した。一方、魚油硬化油については、海外需要の旺盛なるため、内地販賣値段よりも海外輸出値段の方が常に優勢を示したため、共販會社による硬化油の中小石油業者への配給は頗る不圓滑の状態を持ち、加ふるに硬化油業者自ら石油を兼業するものも、増加し、兼業者の進出につれて、中小石油業者は益々壓迫せられ、兼業者對中小石油業者の對立は次第に尖鋭化し、石油界の分野に根本的な影響を與へる重大問題として十一年に持越されるに至つた。

最後に、この年に於ける化粧品原料の輸出について見るに、一昨年重要輸出品に指定せられて以來、いよ／＼旺盛なる進出が期待されてゐたにも拘らず、わが石油の主要仕向國たる蘭印及び印度に對する輸出が、日蘭會商、日印會商の豫期に反したる結果、却つて前年に比し幾分

減少の氣配を示してゐることは、甚だ遺憾なること、云はねばならない。左に商工省工場統計表による化粧品原料の生産額を掲げる。【資生堂製】

Table with 4 columns: Year, Quantity, Price, Total Value. Data for years 13, 14, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8.

洗濯石鹼界の一年

昭和十年度に於ける洗濯石鹼界を顧みるに、原料油脂全般に亘る非常なる相場急騰は、わが國としては大正七八年の好況時以來最初のことにして、驚愕後、爲替の變動による値上りを除いては、實に十數年來稀なる暴騰ぶりを見られたものと言へるであらう。この原因は昨年に於ける世界的な天候不順に禍ひされて、米國に於ける棉花が非常な不作を來せるがために、棉實油二十萬噸の減收を見たるによるもので、引いては植物油全般に及び、九年十一月より、棉實油はもとより大豆油椰子油相次いで食料油悉く暴騰を續け、その影響の歐洲にも波及するや歐洲全部に亘る食料油、石油原料油脂業者の有力團體たるユニ・リバー・トラスが動くに及んで植物油のみならず牛脂、硬化油も世界的に昂騰し、九年十一月から十年三月に至る間は、左表の如く油脂相場は止むことなく

上騰して殆ど停止する處を知らざるの有様であつた。その表にも明かなるが如く、原料油脂の値上り率は平均七割の騰貴を示す状態であつたので、石油界に於いても東西業界に於いては、それ／＼同業組合の名によつて前後三回に亘り五割の値上げを發表した。殊に洗濯石鹼界に於いては、その主要原料たる硬化油が、輸出の旺盛なる關係もあり、九年十月に比すれば十年春に於いては約倍額の値上りとなり、業者は非常なる採算難に陥るに至つた。是に於いては洗濯石鹼界に於ける四大會社たる合同、旭電化、ベルベツト、ライオン等の兼業四社では洗濯石鹼値上げの徹底を期し、三回に亘つて合計二週半の値上げを發表した。而してこれを日刊新聞紙上にも廣告して需要者に訴へた結果、豫想以上の効果を收め、隨つて十年上半年に於ける洗濯石鹼界は稀なる好況を呈し、販賣も頗る旺盛を極めた。

處が五月頃に至つて油脂相場は稍々落付き漸落歩調をとり、硬化油の如きも四五ヶ月に亘り、百疋當り約八圓の値下りを示し、隨つて石油も販賣界は急に閑散状態を示すに至り、原料値上りによる思惑氣分も一段落を告ぐるに至つた。而も洗濯石鹼の最需要季たる夏季となつて七八九の三ヶ月間、雨天つゞきて、需要も甚だ緩慢なるため、生産方面も牛蒡振りに閑散となるに至つた。然るに十月に入つて植物油原料の收穫期に入り、今年も不作にして原料收穫の不足なることが判明するや、油脂価格は又々反騰し、五六月頃と比較すると、再び平均約三割近くの騰貴を示すに至つた。この反騰は勿論、不作氣配に直接原因するものであるが、歐米油脂界に於ける買氣が相當旺盛なる處から見ても、石油原料油脂相場には今後尙相當の波瀾があるものと豫想されるので、製品たる洗濯石鹼も亦高値を持続するものと見られる。随つてこの年に於ける洗濯石鹼業者間の状態を見るに、硬化油業者はわが國に於ける油脂工業の發達につれて、二三年來續々増加の勢を加へ、從來少數硬化油業

最近一年石油原料相場表

Table with 2 columns: Year, Price. Lists various oil products like 大豆油, 菜油, 椰子油, etc. with prices for years 9, 10, 11.

者の協調によつて市場を繰つてゐた硬化油販賣の妙味は次第に失はれ、漸次競争が行はれるに至つた結果、硬化油業者自ら石油の製造に着手して所謂兼業者となり、この年に於いては、前記四社の外に新たに大阪酸水素、朝鮮窒素等の新兼業者の出現を見るに至つた。而もこれら兼業者はいづれも油脂界の好調に乗じて擴張に擴張を重ね、現在わが國洗濯石鹼一ヶ年の消費量を三百五十萬乃至四百萬噸とみれば、その六七割はこれら兼業者に於いて生産しつゝある状態なので、硬化油の自給自足によ

齒磨界の一年

昭和十年度に於ける齒磨界の状況は、一昨年に比しては一層の飛躍を見せ、相當記録すべき成績を挙げたが、特に記憶すべきことは、本舗並びに販賣界の接觸融合が非常に合理的且つ活潑な動きを見せ、兩者共榮の道に突進したることである。更に齒磨に對する科學的研究、殊に諸原料に關する研究も眞に國民保健の上から極めて眞實に研究考慮されるやうになつたことである。又宣傳方面に於いても、新著新試みの現はれたることは注目すべきことであつた。左にその一二について述べて見よう。

一、販賣及び宣傳方面

齒磨の需要は年々増加の傾向にあり、昨年度の賣上げも、一昨昭和九年度に比して一層の進境を示してゐることは事實である。而してその販賣方法は業界の通例として何れも特賣の形式により行はれてゐることに變りはないが、十年度に於いて特に著しき商策として擧ぐべきものは、懸賞による販賣方法であつた。就中ライオン齒磨の五十萬人愛用者優待大懸賞の如きは、その試みが單に需要者に對する奉仕に止まらず、一方全國販賣店を總動員して此の舉に参加せしめ、製造家、販賣店、一般需要者この三者の共榮共存の理想を端的に實現したもので、眞に業界に驚異的衝動を與へた。斯くの如き販賣政策及び組織的大宣傳陣はこれ又非常なる好成績を收め、總懸賞三百六十萬の巨額に上り、眞に未曾有の最高記録を残したことも毫に特筆に値するものであつた。又同本舗が都下百貨店と巧みにタイアップして、納涼婦人子供博覽會を開催し、全店をあげて同社の齒磨の品質宣傳に提

携せしめたるが如き壯観は、之また業界に類例少き出色の一商策として注目された。この他、相撲、映画、劇場音楽等の招待による販賣の方法も各方面に於いて實行され、相當の効果を収めた。以上の如く、十年度にあつては、齒磨製造本舗が、その販賣に於けるその廣告に續々驚異の新機軸を作り、さながら業界をリードするかの觀があつたことは、宛に記憶すべきことであつた。

二、齒磨の製造並びに研究

純近齒磨が衛生必需品として独自の分野を占むるに至つた結果、齒磨に對する一般大衆の認識も漸次深まり來つたことは、國民衛生上幸甚に堪へない處である。隨つて齒磨に關する科學的研究の點に於いても、各本舗の化學研究所並びに製造技術者の間に於いて、極めて眞實に考慮され、眞に齒科醫學、口腔衛生學乃至藥物學方面に立脚せる理想的齒磨の實現を期しつゝあることは、結構なことである。殊に原料、就中香料の研究は最も重要な問題として着々研究され、英國薄荷の内地栽培に成功せるが如きはその一例である。優良なる國產香料の出現も是等研究と相俟つて近き將來に齎されるものと信ずる。又、齒磨齒刷子の細菌學的考察も近時非常な進境を示し、榮養問題食料問題の齒牙に及ぼす影響の如きも、今や相當深刻な検討が行はれてゐるやうである。かゝる熱心な研究が進められつゝあることは、獨りわが齒磨界の爲めに喜ぶべき問題たるのみならず、國家工業の發達の上にもよりよき影響を與へるものと注目されてゐる。

三、製造家と販賣店との接觸

本舗と販賣店が眞に兩者依存の趣旨に基き十分の理解接觸を圖ることは、極めて大切なことで、從來斯うした問題については、色々の方法が試みられて來たのであるが、十年度に於ける著るべき傾向は、本舗と卸店と小賣店の三者の接觸融和であつた。本舗と卸店と小賣店の關係は全く唇齒同車と云つた。即ち卸店は本舗の製品の配給機關であり、小賣店はその販賣機關であり、所謂持ちつ持たれつの間であつて、これ等の圓滿なる齒

きに依つてその本舗の盛衰が分るゝ所以である。この點に各本舗が眼をつけたのは當然であるが、特に十年は懸賞その他各種の催しをなして、この意義を徹底させ、右三者の融合を計つたのは結構のことであつた。殊に各本舗が市場値段に注意を怠らざり、卸店並びに小賣店の利益擁護を計るため、或ひは値段の協定に、或ひは定價販賣にその力を注ぎ、諸種の會合を催してこれが勵行を促したるは時宜に適したる方法であつた。

四、健齒運動の諸運動

口腔衛生運動が年々ともに熱心に然も漸次自覺的に行はれるやうになつたことは、強健なる國民本位を建設する上に實によりよき影響を與ふるものである。而してこの運動が全國に最も集中的に行はれたのは、六月四日の健齒防疫デーを中心とする各齒磨製造會社主催の下に實行されるものである。左に昭和十年度に行はれた是等諸運動の二三に就いて述べて見ると、その一は小學生用齒刷子の特價提供である。之れは本舗が小學校兒童の口腔齒牙衛生を養成せしむるために、多くの犠牲を拂ひ、打算を離れて提供されるものである。而もこれによる齒磨教練の實行は、獨り齒牙の合理的清掃の方法を體得するのみならず、延いては如實に健齒保健の實をあげるもので、國民衛生の爲め、慶賀に堪へないことである。次に學校齒科醫師會後援の下に行はれた「良き齒の會」の如きは一般兒童に對して、齒牙保健の重要なことを認識せしめた意義ある試みであつた。又、一般國民の口腔思想養成の一助として、映畫、演藝、音楽の會を催し、興味的にその目的を達成すべく努めたる如き、一々擧ぐるに暇がない。更らに一本舗に就いては小學校教授に必要な「齒磨課教授細案」を編輯して各學校に頒布し、日常教授に便せるが如きは、宛に口腔衛生の達成を念慮せる眞摯な態度の現はれと云はねばならない。

五、輸出の盛衰

各國の種々の輸入防遏策により一時その前途の悲觀されたわが齒磨輸出も、是等の障礙を飛越え、依然輸出額は増加を示して順調なる發展を遂げ、昭和十一年一月以降八月下旬迄の齒磨類輸出額を見るに四十一萬一千餘圓で、これを八年同期の三十萬四千餘圓、九年同期に於いては三十五萬四千餘圓に比すれば、遂次増加してゐることは、わが齒磨輸出の堅實なる發展を示してゐるものである。

白粉製造界の一年

昭和十年度に於ける白粉が九年度に比較しては如何な

る推移を示したか——殊にその製造上の過程的變化に關して——を商品史的に展望することは容易の業ではないのである。従つてこゝには白粉の消費上の變遷と云つた點に立つて、次の諸項目を擧げて見たいと思ふ。

- 一、從來わが國白粉の王座を占めてゐた煥——即ち固煉、冷、海綿等を包含しての白粉が、——刷、即ち粉白粉によつて置換へられつゝあること
- 二、前年度の研究對象として設けられてゐた白粉の色彩と云ふ課題が、全く研究の殻を脱して十年度では著しく實際化されたこと
- 三、従つて需要者の間に現はれた注目すべき事象は白粉の色の自由なる配合が廣く行はれ來つたこと
- 四、最後に十年度に於いて特に表面化した研究事項は白粉の分子の微細に關する研究と白粉に附與する色彩に就いての製法上の研究であると觀察せられる

近代婦人の美的生活が一般社會の情勢にも適應して、専ら簡易を尚ぶ傾向を示すとともに此の傾向を把握した各本舗は一分固化粧、早化粧、スピード化粧等々の名に於いて中心を刷(粉)白粉に置く化粧法を強調した。自然之れが消費者の心理にも映じて刷(粉)白粉に對する需要の度を増加せしめたものと解され得よう。更らに中年婦人の既往の化粧法は、主として水、或ひは練白粉に依據する所が多かつたやうであるが、近來漸次粉化粧へと轉向し來れる現象も、これ亦見逃し難い點であらう。

加ふるに各本舗の色白粉に關する研究が高速度に完成するに及んで、その種別も十數色を數ふるに至り、凡そ色彩の配合選擇による白粉使用上の自由性が、次第にその範圍を擴め來つて、一般婦人に個性美を生かすこととに強い興趣をさへ伴ひたる風あることも、刷(粉)白粉の需要を昂めた理由の一に數へ得られやう。九年度よりましては色白粉と云へば肌色、その他一二のものが主力であつたかの觀ありしに比すれば、其處に極甚しきを覺えるものがある。

尙十年中、各本舗に於ける研究上の對象となつたと思はれるものは、白粉(主として刷)の分子の細粒に關する完成化であり、他は各種白粉製法上その色彩附與の完璧を期する研究の二つであらうと思はれる。

以上略述した諸點は、十年度の白粉に就いて語るとしたら、先づ話題に登るべき目星しいものであらうと考へられる。若し刷(粉)白粉に就いて以上の事項が議論でない限りは、今後刷(粉)白粉は更らに一段の躍進を遂げ、遂ひには完全に白粉界をリードする地位に立つ時が來ることを豫想せざるを得ないのである。【中山太陽堂】

クリーム的一年

社會的地位

個性美の表現を目的とする人類生活上の必需品たる美容料は、文化の推移と併行して商品の普及、流行が變遷する。即ち經濟的變動、社會機構の動搖等に連れて、各人が情操の満足や無意識的に時代相そのものに合せさせて、流行の移り變りを誘致する結果、好景氣なる時には人心浮薄にして變幻的美粧技巧が歡迎せられ、又經濟状態逼迫して社會情勢異常なる時には、その空氣を反映して堅實にして自然、粧はざる赤裸々の美しい個性美の表現が一般に歡迎せられる。このやうに美容料の流行變遷も、時代時代の情操生活の變化によつて又流行り廢り、移り變りがあるわけである。

現今非常時の名に於いて呼ばれるわが國の社會情勢は堅實、健康感を要求されつゝあるの結果、浮薄にして濃厚なる技巧的化粧等を拒否し反對に自然的にして健康發射とした意志を象徴する素肌の美を發揮する整肌料が、從來主とされてゐた白粉下としての從的使命より分離し獨立した整肌美容品として確固不動の地位を占めるやうになつたのである。クリームが整肌美容料として獨立して評價される結果、その用途は從來よりも一層廣汎

に大衆の中に要求され、又適應され、既消費層たる一般婦人の外、更らに幼少婦人、老年婦人、各階級の男子に至る迄もその消費者として獲得され、遂ひに日常生活上の必需品と迄になつた。

従つて近年殊にその販賣高も激増し、好況を示せる結果、品質の研究も到らざるなく、二流三流品は兎も角、一流商店の販賣になる商品は、品質に於いては殆んど理想に近く、現在の如く高價なる原料を製品化するの結果は、如何なる舶來品と比較するも遜色なく、寧ろ或種の製品の如きは國產品絕對優秀なりとの評高く、クリーム界の現狀は正に優秀國產品のみを以て十二分にわが國需要層に應へつゝある黄金時代とも言つて可い。

販賣

質的研究が日に月に進んでゐるものゝ、昭和十年度のクリーム界に於いては、特異な變つた品質の商品も出現せず、業界の關心は徹頭徹尾既製商品の白熱的宣傳戦のみに吸收されてしまつた。宣傳戦は、新聞に、雜誌に、街頭に、種々の催しに、各本舗が智慧を傾けて自己の陣營を展開し、消費者の注目を自己商品に喚起して、此の整肌料擴大の潮時に一舉餘瀛を決せんとするあらゆる職務にしのぎをけつた。昭和十年度は終ひに宣傳戦に終始したとも云へる。その結果調劑物として一般大衆の啓蒙の意味も達成され、益々此の方面に世人を注目させ、關心をもたせる効果もあつたことと信ずる。

元來、美肌料としてのクリームは季節の寒冷による肌の荒れ止め料として最も多く需要されつゝあるが故に、多季節の地には殊に消費量多きは云ふ迄もなく、特に滿洲方面には近年の社會情勢の好轉的變化とともに、漸次販賣量、販賣網も擴大され、十年に入りてはいよいよ有望に、確定的な地位が固定されるに至つた。此の方面の需要は、その季節的相對關係とわが國勢の全面的進出と併行して益々好調を示すものと豫想される。

顧みれば業界多年の努力は、優秀なる技術による製造法の進歩を生み、原料の精選は極度の品質の向上を促す

とともに近代化学工業による大量生産に価格の低廉を得せしめ、従つて舶来品の輸入を完全に防遏して國産品の...

現在歐米品を運送して東洋に副を稱ふる整肌料クリームは、高度に發達せる業界の優秀な技術研究に相俟つて...

昭和十年度に於ける化粧品産業界、クリーム部門の活動と動向を顧るに當り、最近化粧品産業界が著しく國際的に...

クリームの一年

昭和十年度に於ける化粧品産業界、クリーム部門の活動と動向を顧るに當り、最近化粧品産業界が著しく國際的に...

北米合衆國ではN.R.A.は完全に失敗だと云はれながら、十年度に於ける經濟的復活目覚しく、生絲消費、自動車...

昭和六年 一、三三三、八四三三
昭和七年 二、三二四、三九四四
昭和八年 二、九七六、三五九四

今日市場に有名なるボマードとしては實に十指を屈するに足るべく、その廉價に就いては又既に業界に定評あり、...

一方、輸出方面に於いては、盟邦滿洲國の經濟的整調に伴つて滿洲へのボマードの輸出は逐年増加の傾向にある。

昭和九年度から持ち越されたコピーブランド法案（食料品薬品取締法案）が、相當問題となり、特に「人體の組織...

中華民國では、三割から三割三分への輸入關稅引上げ影響して、歐米化粧品輸入が減少し、上海を中心とする...

滿洲國に於いては、前年に引續いて鐵器、珪硯鐵器、綿織物等の商品に取つては、そのマーケットが益々有望...

一般業績としては、クリームの製造數量、又は賣上價格の年度數字を擧げるとは、今の處不可能であるが、...

香水界の一年

一般大衆の文化生活の向上、購買力の増加に伴つて、化粧品需要の増大することは、もとより云ふまでもない...

昭和十年度のボマード界は、その原料方面に於いては、一昨年来非常なる昂騰を示したる植物油、香料等は...

Table with columns for year (大正13, 14, 昭和1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8) and values (額, 量).

あつた。然してそれが、十ヶ月を経た今日、事實となつて現はれたやうである。インフレーションの浸潤——完...

ボマードの一年

昭和十年度のボマード界は、その原料方面に於いては、一昨年来非常なる昂騰を示したる植物油、香料等は...

すべきことであらうと思ふ。香水原料なる香料界について見るに、十年度は天候の不順等に觸ひされて、天然香料は減收を來し又爲替關係...

處が、斯く香水の需要が普及化して來たにも拘らず、香水業者側より見れば、その調合法に於いて、商品の宣傳に於いて何等の特記すべき程のものもなく、極めて平凡なる年であつたと云はねばならないのである。香水として一定の商標の下に、特色ある芳香を掲げて販賣しつゝあるものは、依然として古くより知られたる、オリヂナル、月の友五百香、金鶴、アイデアル等にすぎず、前に掲げた統計に於いても知られる如く、數量の判明せざる香水が甚だ多いことによつても、香水界に於いては如何に無名品が多數を占めてゐるか知られるのである。元來、香水界の進歩は、多數の人々がそれらの立場から、競つて標々なる調合をなし大衆に飽きられない複雑なる處方を完成した時に行はれるのであるから、業界に於いてはいよいよこの研究をすゝめ、大衆を眞にアツビルする優秀なる處方の續々として發表されたいものと思ふ。

更に十年に於ける香水の貿易状況について見るに、最近数年間の香水貿易額は左表に示すごとく、輸出入とも逐年増加の傾向を示してゐるが、輸入の増加の緩慢なるに比して輸出の増加率は極めて多く、殊に十年度に於いては九月迄の累計を前年に比較すると、左表の如く輸入

最近三年間香水輸出表

年	輸 出	輸 入
昭和七年	二四九、四一九	二四八、三九九
八年	四八〇、三二九	三四〇、四〇九
九年	七一四、八一四	三七四、五六〇

が前年度に比してむしろ減少を示しつゝあるにも拘らず輸出は著しい躍進を示してゐる。これは滿洲國への輸出が増加したるによるものであると、一面にはわが合成香料が益々優秀となり、外國品に劣らぬ廉價を海外市場に於いて獲得しつゝあることを示すもので、九月迄の輸出入額前年度との對比表

年	輸 出	輸 入
昭和八年	三二二、三四八	二五二、九四九
九年	四八八、九八三	二八一、八九四
十年	六九三、三六四	二七〇、二四七

昭和十年度はわが香料香水界の世界的進出に一エボツクを劃したる年と言へるであらう。【安藤井筒室調】

香油界の一年

昭和十年度の香油界の大勢と云へば、香油そのものが現代に於ける化粧品流行の尖端をゆく化粧品でないといふ商品の性質上、概括的に見て特に昭和十年度の傾向として特記すべき程の事象に乏しく、一言にして云へば平凡なる一年に終始したと云ふべきであらう。

香油界の消長に甚大なる關係を持つ婦人の美容のこの年に於ける傾向を見るに、數年來著しく社會各方面の事象の上に現はれ來つた國際美意識の傾向は、この年に於

いても前年に引續いて同一歩調をとり、日本人は日本人らしい國粹美を尊重するといふ處から、黒髮の保護に香油の各方面から異論なく支持され、又、黒髮の保護に香油の使用が最も適するものであることも、何人も齊しく認めるところではあつたが、何分にも香油の使用は衣服を汚し易く、且つ洗髪にも手数を要するといふやうな事情から、何事にも、簡易化を喜ぶ近代人の心理に反撥され、又美容界の流行としても、美容師自身が技術上油を用ひず、鏡によつて髪を直すといふやうな結髪法を唱導せる結果、香油を使はぬ結髪法が一般からも喜ばれ、又大勢を支配して、香油の需要は人口増加の割合にも増加せず、左表にも示すが如く、遺憾ながら年々幾分づゝかの減少を見つゝあるの實情である。

香油最近十年間生産額

年	量	價	額
大正13年	2279176
" 14 "	2017424
昭和 1年	1723367
" 2 "	2245333
" 3 "	2703076
" 4 "	44631	...	188077
" 5 "	20355	...	87596
" 6 "	31860	...	2384752
" 7 "	53874	...	71033
" 8 "	26348	...	1282310
			94365
			2220029
			73038
			2003271

然しながら、この香油使用料の減少の傾向は、在來の香油そのもの、使用上の不便さから原因したものであり、黒髮の美を尊重する根本の精神は昔も今も同様であるので、この點、各香油業者はいづれも研究を重ねてをり汚れぬ香油の研究が進められ、トニツク等の如き香油の代用品も生れ、時代の變化とともに香油の形狀性質も追々變化してゆくべき時代が來つゝあるのではないかと思はれる。即ち一般の需要は、手数をかけずに、しかも黒髮の美を保持得る新時代の頭髪油を希望してをるの、在來の形のまゝの香油の需要は次第に減少してゆくとしても、これは少しも憂ふべきことではなく、頭髪の榮養

化粧水界の一年

昭和十年度に於ける化粧水なる商品の分野についての回顧すれば、その著しい特徴として感じられること

は、その製品の種類の流行について大きな變化を示してゐることである。近來、化粧法の進化に伴つて、化粧水は過去に於けるが如き夏季のみの需要から、一年を通じてあらゆる化粧の基礎的美肌劑として用ひられるやうになり、その需要も急激な増加を示してをり、十年度に於いても、同じグラフを描きつゝその販賣額を増しつゝあることは云ふまでもないが、十年に於いては、化粧水全體の内、その種類の種類による勢力の消長が著しく目につくのである。即ち、化粧水には「ヘチマコロン」の如き透明化粧水と、フイド或ひはボンナの如き乳液化粧水と、ボンジーコロイドミルクの如きコロイド化粧水とがあり、昨年度までは透明化粧水が断然壓倒的な需要を得てゐたのであるが、十年度に於いては、かゝる透明化粧水が浮氣なる需要者から稍々飽かれて來たためか、一時振はなかつた乳液化粧水が新らしい姿を以て再び化粧水界の第一線に著るしい躍進を示し、コロイド化粧水とともに透明化粧水の分野を著しく壓迫して來たことである。

以上は化粧水界の大勢を傾向的に見ての見解であるが個々の商品について云へば、化粧水界の王者を以て自他ともに許さるゝヘチマコロンは依然たる躍進ぶりをつけてゐる。これは化粧水界に専念努力しつゝある同品の優秀な品質と、誰からも水く飽かれることの少いその性状とによるもので、男女を通じての常用化粧料としての確乎たる地盤を築いてゐることによるものであるが、同本舖がこの年に於いて近畿、中國、九州、滿鮮に亘つて花々しい宣傳を行った結果、この地方に於いて非常なる販賣額の増加を見たるによるものである。又、この種透明化粧水としては、美顔、白美、ライラック、アイデア、マスター一番、クラブ、レット、ウテナ、ミツワ雪の雫、ラブミーボンナ等の在來の有名品が依然變らぬ需要を持ち、ユキワリミンが前年について躍進ぶりを示すとともに、新たに生れたるものに、オカツブレモナがあり、これは需要者の皮膚に應じて、脂性用のパニシ

グと、荒れ性用のコロイドを分ち、前年化粧水界にこの端著を開いたラブミーボンナとともに化粧水界に一つの新軌軸を示したものであつた。

コロイド性化粧水の分野に於いては、前年化粧水界に初めて新境地を開拓したボンジーコロイドミルクが著々その需要を増加しつゝある外に、未だ有力なる新製品を見ぬ状態であるが、乳液化粧水に於いてはクラブによつて目覚ましい活躍が行はれた。

從來、乳液化粧水に於いては、レットフイド、カテフイドの二つが並行して需要されてゐたものであるが、レット、クラブ兩本舖の間に多年懸案となつてゐたフイド商標權の問題が、兩者の互譲によつて圓滿に解決するや、クラブ本舖では、十年の化粧品界に流行のホルモン劑を使用せる專賣特許クラブ乳液を發賣し、巧妙なる宣傳によつて大衆的需要を喚起したる結果、化粧水に初めて力強く現はれたその藥的效果と持つて非常なる賣行きを示した。

化粧水最近十年間生産額 商工省工場統計表による

年	量	價	額
大正13年	3959271
" 14 "	2765372
昭和 1年	3848227
" 2 "	2510045
" 3 "	2369837
" 4 "	7980	...	20985
" 5 "	37142	...	1684230
" 6 "	5914	...	113300
" 7 "	13337	...	950803
" 8 "	9702
			395621
			19599
			823670
			4656
			751573

界に於いて餘り用ひられなかつたアストサンゼントロイション等の研究も進められて居るので、來るべき新年度に於いても、化粧水界は品質的に更らに躍進してゆくものと思はれる。化粧水の最近年産統計を掲ぐれば上の如くである。

シヤムプーの一年

昭和十年度に於けるシヤムプー界の大勢を見るに、シヤムプーなる名稱が髪洗粉なる名稱に代つて洗髪料の一般的稱呼として用ひ初められてから、まだ僅々數ヶ年を出てざるに拘らず、各業者競つてシヤムプーなる新名稱をその製品に附し、これを普及宣傳に努めた結果、農漁村等の文化程度の低い地方は別として、購買力の旺盛なる各都市に於いてはシヤムプーは全く大衆的な洗髪料として需要されるに至り、飛躍的な發展を遂ぐるに至つた。即ちシヤムプーの誕生から昭和九年までを、わが業界に於けるシヤムプー發展の第一期とすれば、實に昭和十年度は、シヤムプーの發展に於いて販賣上、品質上、一時期を劃した年であつたと云へるであらう。

即ち、昭和九年度までのシヤムプー界に於いては、シヤムプーなる化粧品の新領域にあつて、花王、資生堂、千代田、モダン、玉子、イワヤ、ぼたん園等の各シヤムプーが、互ひに鎗を削つてその制覇を争つた時代であり、謂はゞシヤムプー界は群雄割拠の形で、各シヤムプーいづれも廣告宣傳に努力したる結果、化學的製法によるシヤムプーは意外に短かい期間に在來の粘土質、フノリ性澱粉質等の洗髪粉に代つて大衆の間に普及し、その形狀に於いては、液狀、クリーム狀、粉狀及び固形の各種を通じてシヤムプーの需要は益々増加するに至つた。

斯く各本舖間に於いて激烈なる競争が行はれたる結果、シヤムプー界の大勢が如何に動いて行つたかと云へば、シヤムプー發展の第二期とも云ふべき、九年度より

十年上半期にかけては、この各商品の競争は一段落を告げたかの感を得、その資本力に於いては、更らに著しくその販路を増し、九年度に於いては、全シヤムプー生産額の三十三パーセントを占めるものと推定されてきたものが、十年度に於いては前年度の賣上げに對し、六七割の賣上げ増加を見、その販賣額も百六十萬圓を突破したと傳へられてゐる。斯くシヤムプー界の大勢が決した結果、これを製品的に見ても、従来の如き袋入りの粉末洗粉が著しく減少し、四角或ひは圓形の容器に入れたる固型シヤムプーが増加し、シヤムプー界にも他の化粧品に於けるが如き、宣傳力を有する有名品と然らざる無名品との區別が、次第に明かになつて來るとともに、花王シヤムプーに模したる所謂パチ物もちらほらと市場に散見されるに至つた。

この結果として販賣界の新現象として見られることは、有名品に對するパチ物の値段による挑戦が露骨に行はれ始めたことと、卸値は勢ひ低下することとなりシヤムプー有名品はその地位を得てから幾許もならずして、早くも他の化粧品と同じ有名品の價を味はねばならなくなつたことである。即ち、シヤムプーのよく普及せる都會地に於いては、有名品は早くも濫賣が行はれるに至り更らに伸びむとするシヤムプーの伸展力を濫賣によつて抑へるが如き傾向が見られて來たことである。然しこれは何と云つても未だ都會地だけの傾向で、地方に於いては、未だシヤムプーには未開拓の地域が頗る多く、石鹼齒磨の全國都鄙を通じて普及せるに比較すれば、開拓すべき地盤は尙多く残されてゐるのであるから、現在地方に於いて用ひられてゐるフノリ、鶏卵、搗糟、粘土等の洗髮料に代つて化學的製品たるシヤムプーが、品質的にも優秀であり、衛生的にも更らに優良なることを宣傳して、發展しゆくべき餘地は尙充分にあると言つて差支へないのである。

以上の如き、シヤムプー發展の第二期とも云ふべき時

代は、昔ならば相當永い期間に亘つて續かねばならぬものであるが、今日の化粧品品の止むことなき科學的研究の結果は、この時代を更に短縮せしめて、シヤムプーの作用を更らに科學的に調査したる結果一層効果的なシヤムプーの品質的革命的時期が早くも齎らされむとすつた傾向が窺はれるのである。これは今年出現せるゲンブシヤムプーによつて具體的な姿を業界に示し各有名品本舖いづれも研究室に略々完成しつゝあるもので、それが従来のシヤムプーと全く異なる洗濯劑を用ひて、しかも従来のシヤムプー以上の効果が預期されてゐるだけにこれが商品化した點には、そのシヤムプー界に與へる影響は蓋し甚大なるものと想像されるのである。然し現在に於いては何と云つてもこの研究は未だ研究室のものであり、又各有力本舖としても、漸くに大衆的に普及し來つたシヤムプーをこの時期に於いて内容的に大變化を與へることは政策的にも甚だ重大なる結果を來すものである。更らに研究の完成を急ぎつゝある状態では、このシヤムプー界の新傾向が今後具體的に如何なる形體をとつて動いて來るかは、甚だ興味ある問題と云へるであらう。

香料界の一年

歐洲大戰による未曾有の好況に酔ふて膨脹せるわが國の産業界は一九二七年以來、非常なる恐慌の嵐に襲はれ、生産は三十五パーアセント、貿易は四十五パーアセントを減じ、國內購買力もまたそれに準じて減退し、その間あらゆる苦惱の試練に見舞はれて來た。が、又世界各國と雖もこの世界的不況の波を逃るゝこと懸はず、各自自衛の立場から、僅かに經濟的プロテクト確立の呼稱による通商條約の廢棄、禁止の高率關稅の賦課等にその進路を網羅して來たに過ぎない。

白 檀 油	11,710	11,110
麝 香	110	1,000
ムスクシロオル	6,100	3,100
ムスクケトン	11,100	3,100
ムスクアンプルット	11,100	3,100
他のムスク類	11,100	3,100
ロニオン	11,100	3,100
クマリン	11,100	3,100
ヘリオトロピン	11,100	3,100
他の結晶人造香料	11,100	3,100
他の液状人造香料	11,100	3,100
天然香料の現況	11,100	3,100

天然香料の價格高騰と圓爲替の低落、加之、香料工業の進歩發展は、わが人造香料をして輸入品を防禦せしめ、中には進んで外國市場に登場して外國品と角逐を争つてゐるものさへもある。その主なるものを擧ぐれば、人造麝香、ロニオン、クマリンの三人造香料を初め、イオノオン、リナリールアセテト、ヒドロキシトルナラール、アミールシンナミツクアルデヒド(シヤスミンアルデヒド)、ベンチルアセテト、ゲラニオール、シトロネロール、メリロット、ネロリン、プロムスチロール、ヘリオトロピン、テルピネオール、サフロール、シネオール、リナロール、レモンガラス等があり、日夜その數を増しつゝある。思ふにわが國の緯度は寒、温、熱の三帯に跨り、又地勢變化に富んでその植物分布状態も甚だ恵れたるものなるに拘はらず、天然香料の必然性の想起し得られざるは、現在天然香料を世界市場に供給しつゝある國に比し、地域の狭少が根本的缺陷となつてゐる。従つてその生産高も一定の限度以上に出ないのである。が、わが國は東に海をへだててアメリカ大市場あり、西には世界最大の原料生産地あり、且つ製品市場たる支那、南洋を肩右の間に控えて甚だ特異有利の立場にあるのである。それ故將來、香料工業がわが國代表の化學工業の一として天然資源の乏し

これに反してわが國の合成香料界は、模倣時代より創造時代の域に達し、化學工業の一としてその進歩には甚だ目ざましきものがある。従來、香料工業は輸入防遏のみを目的として設立せられたものゝその原料は國外に仰ぐの外なく、ために發展意の如くならなかつたのであるが、前に述べたるわが産業界の推移に伴ひ、又、石鹼、齒磨、その他一切の化粧品、製菓、飲食料品、口腔劑、薫香類、防虫、防臭劑等、香料必需の工業の隆盛に刺戟せられて、その多年研究努力せる結果、近年輝かしい成果を見るやうになつた。昨今はその文化的効用に於いて産業の王座を目ざすが如き勢ひさへも示す有様である。この事實は樟腦副産油及び薄荷腦油を原料とする化學工業を一覽すれば忽ち領けるのである。即ち、天然に存在するそれらのもの有機、無機物質の性質を化學的に變化させ、一層價値ある製品の生産たらしめむとするのである。現に世界のナンバ・ワンたる香料にも比肩すべき製品が、どしどし市場に登場しつゝあるのを見ても分るであらう。

わが國に於ける天然香料の産額増量のため、その大半を國外に仰がねばならぬことは前述したとほりであるが、そのためわが國に於ける相場も主産國のそれに引きづられ勝ちであつた。こゝ數年來は世界的不況の影響を受けて相場は一般に下行し、その前途の難關を思はせたが、今年頭來、産地に於ける收支不償に依る栽培不能と昨年來の乾魘の作柄、不作は内地の相場を鰥寡りに高騰せしめた。下半年以後伊エ紛争及び聯盟の空氣險惡となつては、更に高騰配となつてゐる。確實なる關係筋より得た主なる天然香料及び合成香料の輸入數量及び金額を擧げると次の如くである。

天然香料	1,000,000	1,000,000
合成香料	1,000,000	1,000,000
他	1,000,000	1,000,000

昭和十年度に於けるこれ等の變遷を見るに、頭髪品に就いては別に取上げる程のこともなかつたが、只その需要は人口の増殖につれて増加し、滿洲開發上渡瀋者の増加に伴ひ、斯業の販路も増大して輸出方面にも活況を見せたことは勿論であるが、此處數年來ますます日本髪之美が尙ばれ、内地ばかりではなく支那その他の國に於いても堂々日本髪に飾られた女性を見ることが何等奇異とは思はれざる程に見受けられるやうになり、その日本髪譜美の世潮は遂に市内府立某女學校をして斷髮禁止の發表をせしめたやうなこともなり、從來日本髪と云へば、正月とか、結婚期のみに限られて居つたものが、目立つて多く見られることとなつたため、勢ひ日本髪は頭髪品にも好結果を齎しつゝある。それと同時に近代的生活上より洋裝者の増加して來たことも著しく、それにより洋裝の頭髪品は相當の賣上高を示した。其處で如何なる製品がよく出たかと云ふに、洋裝向きとしては、セロロ

きわが産業界に、重要缺くべからざるものとなる可能性については論ずるまでもあるまい。ただここに於いて目下の急務とするは、香料工業に必需なる知識を容易に得られる研究機關の設置、及びそれに要する機械器具の整備工場設備の竣工、技術の練達、等々、それら四圍の聯絡をよくして業績を擧げしめることであらう。

頭飾・服飾品の一年

婦人頭飾品、婦人服飾品と何時誰によつて區別されたのか判らないのであるが、それ等は合體して小間物と云ふ綜合的名稱の方が適切至當ではないかと思はれる。もしも強ひてこれを區別する場合に於いては、婦人頭飾品は婦人頭飾品、婦人服飾品は服装用品又は服装附屬品と名付ける方が尤も當を得るのではないかと思はれるのである。

昭和十年度に於けるこれ等の變遷を見るに、頭髪品に就いては別に取上げる程のこともなかつたが、只その需要は人口の増殖につれて増加し、滿洲開發上渡瀋者の増加に伴ひ、斯業の販路も増大して輸出方面にも活況を見せたことは勿論であるが、此處數年來ますます日本髪之美が尙ばれ、内地ばかりではなく支那その他の國に於いても堂々日本髪に飾られた女性を見ることが何等奇異とは思はれざる程に見受けられるやうになり、その日本髪譜美の世潮は遂に市内府立某女學校をして斷髮禁止の發表をせしめたやうなこともなり、從來日本髪と云へば、正月とか、結婚期のみに限られて居つたものが、目立つて多く見られることとなつたため、勢ひ日本髪は頭髪品にも好結果を齎しつゝある。それと同時に近代的生活上より洋裝者の増加して來たことも著しく、それにより洋裝の頭髪品は相當の賣上高を示した。其處で如何なる製品がよく出たかと云ふに、洋裝向きとしては、セロロ

イド製ピン、金属製ピン等が相當の數量に上つて居る。日本製向きとしては、櫛、笄等が秋口より春にかけて賣行きも良好で、婚儀用祝儀遣は、日本製八分に、洋製二分と云ふ割合ひであつた。

服装用品の方は何と云つても洋装の流行増加により懸盛を極め、費用を愈々旺盛ならしめつゝある。従来ストツキング、ズボースコルセット類はメリヤス商の扱品として委ねられて居つたのであるが、これらは新たに小間物の販賣部門に入り、時計バンドの如きも時計は扱はぬにも拘らず、これも小間物の領域に入り、服装用品としての製品部門が擴大せしめられて来た。コルセット、ブルマー、ズボース、乳バンドの賣行きは著しいものがあり、いづれも平衡せる數字を示した。その他タオル、ハンカチ類、腰美帯、胸美帯、脚美帯等の美容衛生を兼ねたる商品並びに身長器と云ふべき「フライングゴム」又は「ラツキール」など逐年の傾向として費用増増を示して居る。尚、帶上芯、前芯、帶上薬、帶締等も相當に出た。

商況については以上の通りであるが、更に流行的に觀察するならば、時代も異り、化粧美、裝飾美についての眼も考へ違もつて居る以上、その色彩形状等の意匠については温故知新的に、又は獨創的に新機軸を出す等時流に残されぬやうな努力の跡が見られたわけである。

【以上・万新商店・歌代増蔵氏談】

又小間物を一般的に見て如何なる種類のものが多く出たかと云ふに、一般的傾向としてはグリーン、カブ色、ラクト色の三色の落着いた系統のものを流行色とし、更にこれを區別するならば、日本製用品はカブ色、柿色東製物はグリーン、ダリヤ色系統が流行色である。製品としてはまづコンパスト、化粧セットが化粧用雑貨としてよく出た。摘み物は需要際に来て動くのは例年の通りであるが、よく出るのは一年置きと見ることが出来る、昭

和十年はそのよく出る年次に當つたために随分賣行きは良かった。櫛は東製用品中一番出たもので、斷髮向きにはバツク止めその他女學生用のもの。流行品としての櫛では普通の櫛と並んでオチナイ櫛がある。材料としてはセルロイド、金属ともによく出た。尙襟カバリの進出は著しくフェルトをはじめ種々の材料を以つて考案されたものが見られた。東製櫛も又とかく賣れたことは櫛以上と見て良い。その他最近小間物業界で扱はれるものにマスクがあるが、總數として非常な數字に上らう。

【以上・飛川商店・飛川敬造氏談】

半襟、帶止、その他の衣服用品では何が最もよく出たかと云ふに、粗紐の帶止、半襟は代表的なもので、伊達巻しごき、普通の帶止等の細いものが之れに次ぐ。その他は袖口、ガロンレース等の雑貨、夏季ではレース加工品のスカート、小町袖、すそ除け。それから一年中出るものでは何れも着が新たに業界扱品として相當主要さを持つて来たことである。手柄としての鹿の子も永年不況にあつたが、不況とは云へ今年相當出たことは注目し値ひしやう。リボンは最近全然影をひそめてしまつたがリボンに類するものとして旗草その他のもにや、使はれた。

傾向としては衣類の濃いものが好まれるに準じてそれに合つた薄色のもの、それから時代的好みとして金銀糸を用ひたものがよく出た。色で目立つものはクリーム系統。原料では本絹、ベンベルグ、レーヨンの中、金額的には本絹、一番よく出たものではレーヨン、柄では例年見られる菊模様が今年その筋のは嚴重なる取締によつて全く見られなかつた。半襟では殆んど無地のもの。値段では細いものもきまつて居るのを除く外、總じて安い物は賣れなく中位のものが最も多く出た。定價の均一的に取扱はれるものやうなものも全然賣れなかつたと思ふことは十年度の著しい傾向であつたと思ふ。

【久保力松商店調】

に限られ、それ以上の良質のものにあつては、その値段にも變化を來してゐないといふのが實狀である。従前にはダイヤモンドも良いものは東洋市場に來ることは極めて少く、殆んど歐米市場で消化されてゐたものであるがこの方面の不景氣のためか、近頃は良質のダイヤが日本にも頻りに輸入されるやうになつたことは貴石十割關稅の撤廢と、注目すべき現象と云へやう。

眞珠 近年、眞珠は稍々製造過剩の傾きがあり、且つは工業的に大量生産せられるためその品質も幾分低下せるかの感があるが、わが近海に於ける養殖の外に、近年三菱が南洋方面に於いて試みつゝある養殖では、一箇にして七分から一匁位の重量を有する大粒のものも採取せられ、その需要も各方面に亘つて廣く求められて居る。

天然寶石 その他の天然寶石としては、その種類頗る多く、ダイヤに次ぐ需要を持つエメラルドをはじめ、キヤツアイ(猫目石)アクアマリン、サファイア、ブルユールビー、スターサファイア、スタールビー、トルマリン、スピネル、ジルコン、ガーネット、トパース、翡翠等があるが、價格の高値なる關係もあり、その需要は數量的に見れば甚だ限られたものである。たゞ、前述の如く十割關稅撤廢の結果として、その輸入も幾分増加の傾向を示しては居るが、天然寶石はシンセティックに比すると寧ろカットも不整で、その自然の雅味を喜ぶといふ風な趣味的な需要に訴へるものであるため、一般化し難いと云ふのが眞實であらう。

シンセティック これは前述せる如く人工的に合成せる寶石で、今日では科學の進歩の結果あらゆる色彩を化學的に合成することも可能であるが、寶石として需要されるものには自ら限りがある。これをその原料の相違によつて大別すると、コランダム(鑽石)を原料とするサファイア系統のものと、スピネル系統のものに分つことが出来る。即ち、サファイア系統のものとしては、ルビー、サファイア、アレキサンドライト、錫蘭サファイア、バイオレット、サファイア(ウルトラライト)、エローサファイア、ダン

裝身具界の一年

昭和十年度に於ける貴金屬裝身具界の傾向を見るに、婦人流行界の多年の趨勢として、漸減の一路を辿り來つた日本製は、この年に於いても同様の歩調をとり、婦人の頭髪流行の大勢を支配するものは依然として洋製であり、而も裝飾を必要としない簡單なる髪型が一般に廣く行はれてゐるため、裝身具としての頭飾品は、花柳界等の一部の高級品の需要を除いては、一般的には極めて微々たるもので、貴金屬裝身具界の需要中、最高位を占めるものは依然、指環、帶留の二つである。近年、洋裝の普及化につれて、洋裝服飾品たるネツクレース、ブローチ、バツクル等はその需要を著るしく増大し來つたとは云へ、未だ都會地のみに過ぎず、且その使用者も比較的に年歸の若い婦人が多いので、一般には購買力弱く、高級洋裝品の需要は極めて一部の上述婦人に求められるのみである。その他裝身具界に於ける一傾向として見られることは、籠甲に對する需要が前年に比し更に減少せること、これは籠甲が一般から飽かれたといふよりは、寧ろ籠甲の持つ味を賞玩し得る婦人が時代的に減少せるによるものと云ふべく、籠甲を應用せる裝身具は、花柳界等の一部高級品にのみ用ゐられるに至つてゐる。

寶石

裝身具の價値は多くはそれに用ひられたる寶石によつて決定されるものであるが、これには寶石界の王座を占めるダイヤモンドが依然猶が流行の王者たる實録を示し、眞珠がこれに次ぎ多くの需要を持ちつゝある外、この數年來益々流行を示しつゝあるものに、化學的人造寶石たるシンセティック(合成石)がある。

ダイヤモンド 貴石關稅が、この年の四月以來、十割稅から一割に減減されたため、一般に値段も約二三割の下落を示したが、これは半カラット以下の小さなものにして注目すべきことであらう。【服部時計店調】

洋裝雜貨の一年

洋裝雜貨の動きについては、これまでの處、昭和九年が一番激しかつた。十年は洋裝雜貨が漸く専門化し時代化して來たと見ることが出来る。そしてデパートに於いては異服と對抗し廣い賣場により廣い範圍を以つて賣られつゝあるのを見るまでになつた。それと同時に洋裝雜貨専門店がますます増加し、いづれも相當の力を以つて顧客を吸收しつゝある事實は見免してはならない。洋裝雜貨は既製品の出來合ひ品を嫌ふので自然減へる向きが多く、専門店に於いて勉強するのと小賣店が親切で無理がきくの活況を呈し、注文額に於いてもかなりの數字を示した。

最近婦人の洋裝に關する眼が職えて來たことは實に著しいと言はざるを得ない。體にびつたりと合つたきこなしの洋裝を見ることは尠くはないのもそのためである。それだけに非常に恰好に頭を置く女學生等は、形について學校等で教へられるばかりでなく、デパートのフアツション・ショウに於いてもその知識を得て、腰の周り、脇の恰好、袖、首の色柄はどうのといふ風に、表から横からその形を見るやうになつた。そして自分が一つ注文するのでも細かく見るやうになつて來た。

其處で今までは服の形にばかり注意して居つたため、飾りと云ふものに頭がいつてなかつたのが、さて形が出來て來るといふと今度は裝飾に就いて頭をこらすやうになる。實際今迄は裝飾の使ひ方も知らずに居つたのが、雜誌や映畫によつていよゝこの知識を興へられ注意をするやうになつて來た。又小賣店に於いてもそれを並べて置くものゝその使ひ方すら知らないと思つたやうな状態であつた。であるからほんとの洋裝雜貨はこれからであると思ふ。これから婦人大衆にそれを示さなければならぬのであるから、それだけ本舖としては努力を要するわけである。一體婦人洋裝雜貨と云ふものは、裝飾的なものだけに難い處がある。早い話ではなければならぬ。如何にして婦人の心に合ふかと云ふやうなものをも作らなければならぬからである。まづ服飾附屬品についてはフランスについて新しい觀察により研究しなければならぬのである。然るに流行品中一番變化の激しいものは服飾品であるから、その研究と云つても實は容易ではない。服飾品の壽命と云ふものは僅々一ヶ月か半ヶ月で、最も激しいのは、これはある婦朝者の話を聞いたのであるが一週間経つて再びその店から、も一個欲しいと云つても無いときがあると云ふのである。これはその變化の激しい極端な例ではあるが、新しいものは前のを賣切つてから出さなければならぬのであるから、頭飾品以上に流行は激しい。

さて以上は一般論であるが、これから細かい流行に就いて述べよう。十年中一番目立つて賣れたものは何かと云へば、まづ服飾クリップである。クリップはこれ迄あまりその使ひ方を知られて居ないにも拘らずその販賣された數字は極めて大きい。これは服飾クリップがある程度自由に廣く用ひられるからである。

それに次いで金銀ベルトで、十年はその最高潮と云つても良く、流行の頂上にあるが、十一年も引つゞき賣れると思ふ。一體流行は大阪の方が遅れて居るのであるが、その大阪でこれが今年はいくら出しても間に合は

ないと思ふ現象を示し、二ヶ月間位はその製作に迫られた。又地方あたりでも手紙で注文の來るのはベルトで、滿洲あたりから注文があつたから、ベルトが全く一般化したと云ふことが出来る。値段も安向きとなり一頃四圓もしたものが、一二圓といふ風に大衆化し高いものでも三圓止りである。

ネットレース、ペンダントはえりへつながらるものは少なかつた。バックルは相當に出た。これは特殊の服を作るとき、それに合ふ特殊のものが必要となる傾向から趣向的なバックルが使はれるやうになつた。

ブローチは今や大衆的なものとなり、殊に女學生に多く用ひられる處から安いのが求められた。ブローチの中にもイニシャルものは全盛時代を作つたかの感があるが、歐米でもこの流行は今だにいつて居るから、わが國でも續くものと思はれる。

指環はます／＼賣れて來た。婦人が洋裝になると指環も變るが、今年には男物女物兼帯のものが出た。そして昔のものは嫌はれ、モダン味のあるものが迎へられて來た。それから洋裝リング、和裝リングと區別することが生れ、婚禮調度品にもさう云ふ言葉が出て來たので、地方の小賣店では面喰らふやうな挿話さへ現れた。

【宮本庄七商店支配人栗木昇一氏談】

小間物雜貨の一年

小間物雜貨の動きはこゝ三四年來ずつと需要の増加を示しつゝある。殊に九年より十年にかけては、各地に風水害の災禍を受けて、内地に於ける品物のさばきが悪かつたにも拘らず、需要數量が減少しない處か、却つて増加したと云ふことに就いては、どうしてこんなに賣れると疑問を抱く程であつた。その理由としてすぐ考へられるのは輸出の旺盛と云ふことである。わが國産品の海外躍進については今更改めて云ふ迄もないが、國産工業の

非常なる進歩發達が、爲替と云ふ絶好のコンディションと相俟つて、外國のあらゆる隅々までも進出して行つたのである。小間物雜貨も亦國産品の一翼として海外へ伸びて行つたことは實に目覚ましいものがある。從來小間物雜貨の貿易と云へば、支那にのみ限られて居たのである。のみならずその支那ととも永い間の排日によつて門戸を閉ざされて居たのである。處がその支那に於いて最近排日思想が緩和されて來たばかりではなく、進んで日本商品を迎へ入れやうといふ機運さへ見えて來た。その他印度、南洋、アフリカ、英、米、歐洲各國等、世界のあらゆる國々よりの照會、注文が齎らされつゝある。但し滿洲國は今のところあまり大したこともないのであるがやがては大きな需要を見るに至るであらう。

然らば如何なるものが十年中に於いて輸出されたかと云ふに、一言にして言へば小間物雜貨のあらゆるものが輸出されたと言ふも過言ではあるまい。セルロイドのものは勿論であるが、金屬製小間物雜貨はその生産される殆んど全部が輸出されたかの感をさへ持たしめる程旺盛を極め、尙個々についての輸出概況を述べれば、石鹼容器は支那向きは少しく鈍ぶつたが、印度、南洋方面に於いては活況を呈した。コンバクトは歐米各國から印度南洋方面に引つゞき出て居る。又シガレットケースは前年より多くの數量を以つて世界各方面に盛んなる輸出を見せつゝある。

次に小間物雜貨の内地に於ける生産状態を見るに、需要に伴ひその生産を増加せしめつゝあるは言ふまでもない處であるが、この傾向は、例へば以前五萬圓賣つて一萬圓儲けを得たものが、今日では十萬圓賣らなければ一萬圓の儲けがないと言ふやうな状態であるから、數多く賣られつゝあるのではないかと疑ひも抱かしめられるが輸出が現在の状態を續けて行く以上は、ます／＼生産の増加を呈することと思ふ。

それから小間物雜貨の意匠に關してであるが、デザインがます／＼工夫考案されて、優美なるものを續々と送る。前述の國際的傾向をも一般大衆が敏感に察知する傾きがあるから、製作者たるものは此れ等の研究に於いても相當の苦心が拂はれ、従つて歐米よりの輸入品は殆んどその存在を認められなくなつたことは、注目すべき快事である。

一般小賣店を主とする流行

一時百貨店の進出に依りその進路を阻まれたるが如き一般小賣店方面も、追々その特殊性により活況を呈しつゝある。此の方面はやはり弗入れその他の小物が優勢でハンドバッグは稍々副業的に取扱はれて居る。然しながらその地方的進出は著しいもので、近來は如何なる僻村に於いてもこれを取扱はざるものはない、その他婦人用弗入、札入等の小物に於いても相當の進出を見て居る意匠に於いては百貨店方面の傾向に影響される處渺しとしないが、地方向きのものとしては徒らに都會趣味の模倣をせず、地方向きのものとして適合したものを求める傾向がある。ハンドバッグに於いても餘りに大に失するものや小さ過ぎるものは歓迎されず、殆んど一定の寸法に一致して居るし、小物に於いても餘りに強い調子を出したものは感心されない。一時賞美されかけた極端に薄形のものや思ひ切り細いものなども追々淘汰され、比較的實用に適したものが多くやうに見受けられる。

【大島屋本店・村山善兵衛氏談】

鬚形界の一年

昭和九年までは極めて平穩な歩みを續けて居た鬚形界も、十年にはいつてから目立つて活況を呈するに至つた。これが原因については云ふ迄もなく國粹精神尊重とも起つた國粹美日本鬚の謳歌による以外の何ものでもない。デパートあたりでも日本鬚祭りと云つたやうな催物が行はれ、日本鬚用品の購買を煽る所があり、又日刊新聞の家庭欄には洋裝以上に日本鬚の美容が扱はれた

りつゝあるが、輸出向きと内地へ向くものとは自ら違つて居る。形状についてはあまり改革を見せない。殊に石鹼容器は形の新らしいものは賣れないのである。もと／＼石鹼容器は花王石鹼を標準にして作られたのであるから石鹼の形が異なる以上、形に於いての變化と云ふものはないのである。たゞ關東關西と分けるならば、關西は大きく、關東がやゝ小さいと昔からなつて居るやうである。それから材料についてはセルロイドと金屬に大別されるが、どの位の割合であるかと云ふに、現在これを金額の割合で見れば、セルロイド七分、金屬三分と云ふやうな状態である。其處で小間物雜貨にとつてはセルロイドよりも金屬製のものを買はれば良いわけであるが、目下セルロイドに押されて居る次第で、業者は金屬製でも安くしてさびないものを市場に送り出すべく皆必死になつて苦心して居る。こんなことも昭和十年に於ける小間物雜貨界を横から物語る資料ともならうと思はれる。

【森留藏氏・井上小四郎氏談】

袋物界の一年

一概に袋物と云つても市場的に見たる國內、國外の状況、流行より見たる都會、地方の分布により、これを系統的に傾向を抽出することは至難である。殊に近來歐米に於ける動向が國內市場に影響を興へることは看過すべからざるものがあるから、一つの商品の推移には非常に複雑なる原因が伏在して居るのが常である。故に以後述べるところは極めて表面的な現はれを列記したに過ぎざるは論俟たない。

輸出市場

露進ニツポンの聲と爲替好調の浪に乗つて一般の業界人が、われも／＼と輸出市場へ突進する様は數年前には思ひも及ばなかつた活況である。然しながら一部に於いて

商 品 商 店

硬化油界の一年

ことは著しいものがある。其處で問題は昭和十年度に於いて幣形がどの位生産されたかと云ふことになるが、その確定的な数字は未だ得られないが、少くとも二割方の生産増加と云ふことが出来る。従つて幣形組合員に於いて相當意氣込む處があり十月末にはボスターを各方面に配布して、愛用を訴へる策を講じたのであつた。

かくの如く近年來の活況に恵まれるべき幣形界ではあつたが、こゝに一つの難關に當面しなければならなくなつたのである。それは九月下旬關東北部を襲つた水害のため、幣形の主要原料たる燈芯の産地茨城縣相馬郡に於いて不作を告ぐるに至り、燈芯が稀に見る暴騰を示したことである。切角正に時運に乗らんとしつゝあるとき、この原料高に遭遇したのであるから、組合としても出来得べくば今しばらく堪へ忍んで行きなかつたのであるが、如何せんその暴騰は九年度に比れば五六割以上の値上げて、亦これを安んずる時代と比較すると、何倍にも相當するといふ状態である。其處で組合に於いては採算上到底現情を維持し得ぬため、十月一日を以て餘儀なく二割値上げを發表、商報紙上にも廣告した次第である。それであるから昭和十年度も例へ好況期にはありながら相當苦境に立たなければならぬ。然し好況が今後よいよ續き、生産上の條件も好調を迎へるならば幣形界の景氣も出て來るに相違ないと思ふ。

次に幣形の形状について觀察するに、九年は大した特徴もなく、各製造元獨特の形がそれ／＼愛用家に認められる状態であつたが、十年の特徴としてその形に於いてかなり厚厚になつて來たことである。幣形が大きくなること云ふことは常に景氣が直る象徴であるが、今年は目立つて大きい。つまり大きいと云ふことは派手になつて來たことを示すもので、好景氣なれば頭も派手にならうと云ふのである。幣形業者にとつてこの大きなものが賣れると云ふことは喜ばしいことで、その點今年は張合ひがあるわけである。【丸治商店・小山平藏氏談】

昭和十年度の硬化油界について、月次的情勢についての概説を試みやう。

一 月 昭和十年初頭に於ける石鹼原料界は非常なる活勢を示し、植物油方面の躍進と待つて新春ともなふ素晴らしい景況を示した。牛脂は一月四日瀋洲シドニー競賣入電に先づ一磅高の飛躍的高値を報じ、二三月積のステートアバタは百斤建二十四圓七、八十錢の減切高を豫想させ、硬化油は持込三サイ百瓶建二十三圓（百斤十三圓八十錢）、松脂四日先物入電は河津渡百斤建W十一圓六十五錢、N九圓八十五錢、H九圓四十五錢とこれ又躍進を示した。椰子油は原價的に一層強く持込六サイ百斤建十八圓弱を主張し、買はんとすれば値に添ふ外なしとの状態であつた。

一九三四年米國に於ける棉實油と、滿洲大豆油の一大減收は世界の油脂界に一大波紋を生ぜしめ、一九三五年の初より歐洲市場は混亂の状態となり、先づ獨逸の油脂輸出禁止はこの状態に更に一層拍車をかけたもので、從來獨逸が露國その他よりパーター制によつて輸入せる棉實油その他の油脂を直ちに米國向けにして輸出して其たものを今回の發令によつて既約品の積出しをも禁止することになつたものである。

尚、ユニバーが米國向けの落花生六千噸の賣約品及びその他棉實油等の契約を破棄したことは歐洲の油脂界を一層混亂せしめた原因である。以上の事情より油脂類全般の値上り、従つて硬化油原料たるわが國特有の魚油は、一箱六圓三十錢弱へに躍進し、硬化油は百斤建二十四圓より二十七圓に値上げせしめ、尙他の植物油脂肪動物油脂に比較し割安なので、買氣頗る旺盛で、特に歐洲市場は神戸横濱FOB二十六圓唱へのため、内地を値上げ

資したことも、業界の注目をひいた處であつた。

四月

四月中旬、諸油頭打ちの關係上、硬化油は百斤三圓安を發表し、三十二圓となつた。二月二日三十五圓に値上げたものが、僅かに二ヶ月半で下落相場を現はしたので油脂界一般の不安を色濃くすることになつた。又、鯊油については、これまで不定量のみ入札であつた朝鮮鯊油は、この不定量を二十日迄に受託して打切り二十一日以後に受託するものを定置入札に附することに規定の一部改正が行はれた。この月、北海油脂は十倍の増資百五十萬圓の大會社となり、合同油脂の持株は四十五%と決し、北海油脂と合同との提携が成立したことも、業界に大きな話題を變へたものであつた。

五月

五月に入つて硬化油は、内地需要家は他油脂との値段關係より買ひ添はず、當分の手當にも事缺かない爲め、三十二圓では需要増加は望めない實狀にあつた。加ふるに支那二十六圓歐洲二十二圓の安値であるので、内地賣値の引下げ説が出て低落の氣分濃厚となり、遂に十七日大巾五圓値下げを断行し二十七圓賣價に決定した。

六月

棉實油の低落より入氣全く減入り、生質無聲、椰子油閑散、硬化油値段に不安を感じ居るものがあるが、前月の輸出値段と本月の値段とは硬りはなく、内地値下げの理由は見出せない。且つ椰子油を除いた他の諸油に比較して硬化油は割安である。尙魚油相場よりしても下げの餘地がない。尤もアウトサイダーの問題があるが、値段政策よりも他の政策に依つて善處すべきであつて遂に値段は前月と同様に据置と決定した。

七月

三陸北海道方面の鯊油漁獲は全く裏切られ、産地箱五圓貳拾錢より六圓に降した。此の月中旬紐育棉實油定期漸落の報あり、諸油軟調。硬化油は前月同様廿七圓の賣値を維持して居る。下旬大阪商店費が硬化油製造を

しても尙且つ二圓の逆精状態である。

二月

この月初めには硬化油は豫期せる通り原料の魚油昂騰關係より百斤五圓高、即ち建値三十圓に値上げを發表した。同時にステートアバタ一圓値上げ十五圓五十錢となつた。鯊油は續いて昂騰し、北海道物東京阪神一箱六圓五十錢唱へとなり、文字通り無い物相場を現はした。この時、米國筋では再び油脂類の輸入を計り、油不足の補給を行つたため、瀋洲牛脂の如きはシドニー競賣一ヶ月に三回に涉り昂騰に次ぐ昂騰で五磅半の値上げとなつた。又、ステートアバタ百斤建三十圓近くとなり、昭和年間に入つてからは最高値を示し、その他大豆油、棉實油等の植物油は一般に騰勢の一路を辿つた。

三月

三月に入つては先づ硬化油百斤三十五圓の値上げが行はれた。これは、三月一日朝鮮鯊油の入札がFOB三圓七錢で、朝鮮鯊が落札した結果、硬化油の値上げが確實性を増したためである。元來原油は二割の値上げ、牛脂、椰子油、パーム油、大豆油、棉實油は一九三四年七月の指數と比較して百八十五より二百に高騰したのに硬化油は獨り百七十程度の指數に止つて居る路を見ても値上げは當然と云ふ意見から斯く値上げが断行されたのである。然るにこの月中旬に於いて紐育棉實油相場は大暴落を演じて、從來昂騰を續けて來た油脂類の頭を打つたかの感を受へたが、續いて牛脂椰子油も暴落するに至つた。

二十二日朝鮮鯊油は前契約より落札量六割保留油四割、その保留油中、合同六割、朝鮮三割、朝油一割の割合によるの制度は昭和十一年三月迄有効なることに決定した。又、この月、長瀬商會ではその油脂事業の獨立を計り、大日本油脂株式會社を設立した。この新會社は三月一日創立總會を開き、資本金六百萬圓（四分の一拂込み）硬化油食料品油原料の取扱販賣を目的とするもので、この設立と同時に花王石鹼が資本金を四百萬圓に増

開始するの計畫の實現を見るに至つた。

八月

朝鮮鯊油不定量鯊油入札貳圓六拾壹錢で朝油の落札となつた。之れが爲め硬化油値上げをするものとの觀測があり、此の値段では硬化油採算上値上げは當然なりとの意見であつたが、遂に据置となつた。鯊油の相場は天井知らずの成行である。北海道は無い物相場で六圓で六圓七八拾錢、朝鮮入札貳圓六拾壹錢。此の北海道の騰貴の原因は單一のものでない。即ち十年の夏頃が不漁で九年の北海道夏漁四十萬箱、十年は廿二三萬箱が最大原因であるが、硬化油製造業者輸出業者が青田の契約が、本年初めて行はれられたのである。即ち七八月渡しものが不漁の爲め八九月渡しに延期し、而も全部渡り切らないで解合ひが行はれた、値段は先物五圓七八拾錢であつた。

大日本油脂會社は硬化油同業會に入會し、此の月の理事會に初めて出席した。尙同社は月産三十噸見當に過ぎず、全部自家用として消化され居る。今後市販の機會ある時、當然販賣會社加入するものである。

久しく据置かれたる硬化油は、八月の定例會には値上げするものと一般の觀測であつたが、アウトサイダーの關係もあり、原油關係上よりも亦々据置となつた。八月分の定置入札朝鮮鯊油貳圓八十錢にて三麥に落札した。その數量三萬五千六百箱。その中、落札者は二萬三千八百六十箱で一部は日曹に、他は輸出に振向けられた様子である。

此の原油高を眺めて一般の觀測としては、大なる興味を以て注視されて居る。即ち輸出業者として初めて三麥が落札したため、硬化油製造各社原料買付けに非常なる不利の立場に置かれることになつた。安く買はうとすれば輸出業者は凌はれるし、硬化油の値段を上げると原油の値上げに拍車を掛けることとなり、尙一方アウトサイダーに對する憤りの爲めに、賣値は亦据置となつた。

九月

大阪寶藤硫黃の硬化油は獨立して木津川油脂と名づけ

資本金五十萬圓半額拂込とすることとなり、佐竹三吾氏が取締役社長に、安田瀧次郎氏事務取締役と決定、就任した。現在の新硬化油生産高百噸乃至五百五十噸程度、此の月の朝鮮不定量鯊油は二圓七十八錢にて朝鮮に落札した。大阪に於ける硬化油のアウトサイダーたる奥山石鹼及び木津川油脂には、硬化油同業會より加入方勸誘せる結果多少の條件付ならば加入の見込みありといふことで、交渉の經過は理事會に報告があつた。

東京側に於けるライオンプロックの七星會については、ライオン側では、七星會員を連子としてならば同業會に加入してもよいといふ條件を提出したが、共販側に於いてはこれ等の條件付加入は認むる能はず、無條件にあらざれば加入せざるも、敢て差支なしといふ態度に出で居る。而して七星會員は有利なる條件にて硬化油を購入し得るに反し他の單業者は共販會社より購入せねばならぬため、不利なりとの石鹼業者の不平もあるが、特に取立て、之れが對策を講ずる程には未だ問題視せられず果して七星會は有利轉回せしか、原油關係より疑問視せられて居る。

九月中旬、七星會の結成問題で東京一般石鹼業者は、七星會員今回の行動に對してその聲明を求めた。即ち七星會員とは石鹼同業組合の相馬組合長初め幹部にして、これ等は一般同業會員の利益を圖るのが本分であるにも拘らず、一般石鹼組合員に事を圖らずして自らが計畫の渦中に飛込むなど、同業者組合の存在を無視せる行爲である、依つて幹事は信賴するに足りずといふにあるものゝ如くである。七星會としては寧ろ七星會を組織せることは統制販賣に反省を促し、硬化油値上げを容易ならしめたる點より見て、確かに七星會の存在は有意義なりとの辯解もあり、今後統制硬化油販賣と七星會との間には、果して圓滿協調の行はるゝや疑はしい。

此の月初めは未だ海外油脂の事情判明せざりしも、中旬に至るや歐洲市場の油脂不足、伊エ競争にからみて市況一般に上向きたる爲め、硬化油も當然昂騰を迫るも、

歐洲硬化油廿三圓五十錢程度にして、内外ワンプライスの目録下に今後の相場に一新機軸を作り、是非とも海外の相場に内地相場を一致せしむることに、大勢既に定まつた時、たま／＼海外市況及び油の爲めに斯くの如き所論となつたが時代の變遷に連れ論旨は亦異なることゝなら

朝鮮蠟油入札獲得に關し井兼商店は既に權利を得、更らに今回日本食糧工業は入札權を得た井兼商店は、對露輸出を條件とし百食は硬化油同業加盟者及び海外輸出を條件としたのであるが、これに對しては總督府の獨斷的行爲に對する不滿の聲が放たれた。即ち昨春の契約魚油生産者をして有利なる現制度の實施を見たるに拘らず、硬化油業者及び輸出業者を無視し獨斷にて之れを握りに入札權を附與するが如き、今後斯かる申談者の續出ともなるべく、かくて圓滿なる協定期し難しとなし、總督府の態度に對する不滿を抱き居れるものゝ如く、十一年春の更定期には相當の波瀾を豫想されて居る。一九三五年中旬以降より海外油脂一齊に再轉した。即ち植物油たる亞麻油、桐油、荳油等一般に漸次減價高となり、大豆の如きは急騰を演じ、牛脂昂騰、椰子油ともに輸出の白熱化を來した。日本捕鯨社の國南丸は南極捕鯨を企圖の下に十年の春二千噸の鯨油を載せて歸國し、此の油は獨逸に全部輸出せられ、第二回を九月三十日大阪港出帆、途中濠洲ニューカッスルにて先發の捕鯨工船五隻と落合ひ、タスマニヤにて積炭給水、食糧給の上、南極に向ひ、約九千噸位の鯨油を齎さんと計劃してある。南極に於ける米國及び諸國船と三巴となつて捕鯨戰が開始されるのである。

十月

此の月に入つて紐育の棉實油は八月の高値を上廻り暴騰を演じた爲め、一般油脂活況を呈した硬化油は、米國百斤廿八圓歐洲向廿六圓、東洋向廿七圓程度に進展し、内地硬化油は廿七圓の賣値動かず、海外輸出品は上廻るの盛況を呈し、販賣會社に於いては十二月一物物の賣物

を此の値段に於いて締結することが出来た。

然るに内地と海外との相場差縮となれる結果、内地値段引上設は當然のことであるが、此の月の理事會に於いては據置となつた。之れにはこんな理由がある。現在の輸出値段は前々月來契約したもので、手取値段は内地海外値段の平均は廿四圓といふ安値である。十月引合契約値段が高値でも、製造會社の手取りに變りはない。十月品は賣盡し、矢張り手取廿四圓である爲め、十月に値上げしても手取金の増額僅少である。而もアウトサイダーに利益を與へるのみで、販賣會社加盟各社はその恩典に浴すること極めて薄いから據置と決定した次第である。且今後は内外とも同一値段を以て供給することに稍々意見の一致を見た次第である。

此の月の理事會に於いて特筆すべき事項としては、硬化油取扱特約店にしてアウトサイダーの硬化油取扱をした場合は、共販の特約店は取消すこと、並びにアウトサイダーに魚油を販賣した場合は、共販の硬化油特約權を剝奪するとの決議である。三井、三菱、酒井商店の特約店は、此の問題に影響する處甚大である。濠洲牛脂新高値に爆發して、過去十年間嘗つて見ざる新高値で、海外一齊に買氣旺盛である。朝鮮蠟油の豐漁は十月初旬より十月十日迄に三百三十萬噸に達し、十月の定産四十五萬噸、不定産五十五萬噸、計百萬噸の生産の出荷數である。過去に於いて十一月中に百萬噸の生産のあつた年もあるから、十年の漁獲總數は五百萬噸突破することであらう。而も定産入札は三圓五錢にて三菱に落札し、不定産五十五錢は合同油脂に於いて貳圓八十三錢で落札して居る。

北海道不漁に反し朝鮮漁業者は非常なる儲け物をした譯である。魚油の引合値段は一罐壹圓六十錢程度ならば、充分採算上引合ふものが、三圓唱への高値に躍進するに至りては、朝鮮東海岸漁業者は巨利を博した次第である。尙、この年に於けるグリセリン、魚油に關しては「生産・販賣」の項を参照されたい。【XYZ】

顔料界の一年

一般化粧品原料として使用される諸原料中、専ら顔料界の狀勢に就いてのみ述べて見よう。化粧品用顔料として使用される顔料中、大部分は勿論亞鉛華であるが、昭和十年度に於ける亞鉛華の需要傾向を見るに、粉白粉、水白粉並びに固練白粉用としての割合は約一、四、十二の比を示して居るが、例年に比較して見ても特に顯著なる差異を認めない。又夏及び冬の季節に於ける水白粉及び固練用亞鉛華の消費割合増減の傾向も、略々同一の比率となつてゐる。

次に原料の品質に關しては白色度、並びに含鉛白粉使用禁止問題とともに白粉の所謂「モットー」とする「純良無鉛」を標榜する微量鉛分の混入存在すら、十年に入りて一層重大視されるに至つたが、亞鉛華製造原料の嚴選と技術の向上とが相俟つて、斯界の要需を更らに充つべき純品の完成に邁進進成したるも製造原料たる電解亞鉛に就いてはわが國産品は近來その純度に於いて著しき向上を遂げたりとは云へ、外國標準品、例へば「ハンドソーパー」ノアノジントク、コタダナツク等の商品に比しては今一步の儲みがあり、國産獎勵の聲を外に未だ化粧品用亞鉛華製造にはこれ等外國品にその供給を仰がねばならぬ狀勢である。然しながら亞鉛の酸化焙燒並びに精製技術に關しては不斷の研究により、殆んど完結の域に達し嚴密なる分析に依れば、アメリカその他の或る製品に比し優秀なるを立證し得る程度にまで進み、更に使用目的に於ける分子の大きさ、粘り、緊密度に於いて各需要に應じ任意の狀態の品種の製造は、彌々確實となれるも、最近の傾向としては幾分輕質のものが歡迎されるに至つた。

次に數年前より化粧品界に出現喧傳されるに至つた原料として酸化チタニウムがある。酸化チタニウムのを示してゐる。殊に貿易方面に於いては、一躍各國激賞を蒙り、良品廉價を以て從來未だ曾つて見ざるの激増振りを見せである。これは爲替安の好影響によるものであることは勿論であるが、本邦セルロイド製品の眞價が次第に海外市場に認識せられて來たのによるものであると思はれる。

十年度は市價の維持並びに生産高の増減には變動少なく、荷動きも案外活潑で、さほど競争より生ずる弊害もなく、局部的には高低もあつたが、多くは一時的の現象に止り、強力なる協定に依つて完全に舊態を保持され、その上主要原料たる樟腦の値段引上げあり、且つ又、公債の續發による通貨膨脹は、更らに一般經濟界の景氣と呼應して、頭飾品、雜貨、文具類、ともに逐次順調を辿り來つたのは全く好況時代の延長とも感ぜられ、セルロイド界にとつては順調なる一年であつたと云ふことが出来るであらう。

貿易に至つては、最近國際間の微妙なる動きが、直接間接に影響反映すること少からず、稍々變調を來したる爲め、下半年期に及びに従ひ、わが製品は各國から輸入禁止又は割當制等の壓迫を被るに至つたが、併もよく關稅の障壁を突破して輸出額を増進せしめ、就中、散髪櫛は新たに獨伊の新市場を開拓する等、洵に目覺しい躍進振りを示した。

要するにセルロイド原料はわが臺灣の特産で、純國産品であり、且つその製造工程に於いても、わが國民性に過したる家内工業であるので、これをわが國の資本で、わが國獨得の技術を以て生産するに於いては、世界の如何なる國に對してもあえて負けをとらぬ鞏固なる足場に立つ産業といふべく、且つその利用範圍を頗る廣く、各種商品にも應用され得る範圍が極めて廣いので、その前途は頗る多幸なるものと云ふべく、同業者の協力切實によつて、わがセルロイド界の世界的に飛躍せんことを期待して熄まないものである。【三浦督治氏談】

セルロイドの一年

近年の蠟兒酸化チタニウムは、前記諸會社の努力に依りて昭和十年度に於いては、一化粧品原料として本原料の國産化を完成し、特筆大書すべき記録を印したると同時に、その特徴を以て重要原料として今後益々研究され、國産化による價格の低下とともに益々需要増加の傾向を辿るものと確信する。【堺化學工業株式會社】

昭和十年に於けるセルロイド業界を回顧するに先立つて、先づ近年に於けるわがセルロイド界の一般情勢について觸れて置く必要がある。彼の濱口内閣時代、緊縮政策の徹底から他の業界と同じくセルロイド界に於いても、内地市場に於ける在荷の拂底、手控え氣味及び市價の續落等により、その生産率は著るしく低下するの狀態にあつた。然るに犬養内閣出現後に於ける金輸出の再禁止、金利の引下げ、滿洲事變、國際聯盟退、軍備の充實、新興事業の發生に伴ふ株式界の活況、惹いては企業家の利潤増加等々、所謂インフレの好景氣はセルロイド界にも及んで、その市場の形勢は内外ともに漸次好轉し、正に一陽來福の兆候を帯び、加ふるに諸原料の騰起は數回に互り生地原料の値上げを促して熄まず、自然商品全般の需要を高めたが、九年度に入るや、輕微の反動をも豫想されながらも、平凡裡に經過したのであつた。いま試みに加工品原料たるセルロイド生地の年産額を見るに

昭和七年度	六、六〇〇	千噸	一一、三三〇	千噸
同 八年度	八、九五〇		一七、八九〇	
同 九年度	一〇、二六〇		二〇、五四〇	

以上の如く逐年累進の経路をとり、九年度と七年度とを比較すると、數量に於いて五割五分、金額に於いて八割一分の増額を示し、十年度に於いては未だ正確なる數字を得られるに至らないが、九年度に比し更に増加の勢

特徴は亞鉛華に比すれば比重が小さく、隱蔽力は數倍し藥品に對し頗る安定にして又、人體には勿論無害なるものにして、練白粉に用ふれば亞鉛華の如く酸化する憂ひなしと稱せられるも、その價格は現在相當高價である。酸化チタニウムの製造に關しては現在堺化學工業株式會社、大日本人造肥料株式會社の外、栃木商事、國産工業、日本チタニウム等の諸會社にて製造續行、或ひは研究中なるも、特に前二者即ち堺化學工業及び大日本人造肥料にては、他に魁けて企に、研究に着手し鋭意苦心研究の結果、十年に至りて殆んど研究を完成、漸次大規模に工業的生産に移りつゝあり。化粧品一新原料としての優秀品の國産化の確立を期し得たるは、慶賀すべき事柄と言はざるを得ない。

酸化チタニウムは上記の如き特徴を具備するが、最近オーストラリアのエーデル氏等に依ると、紫外線に對する皮膚の保護作用として酸化チタニウム化粧品は卓効を有することが研究されたが、何れ此の外本原料の特徴を以て幾多の利用價值が発見考案されるに至るであらう。その他厚化粧用白粉として使用するものに少量ながら酸化亞鉛があり、此の原料の隱蔽力は亞鉛華と酸化チタニウムの中間程度であるが、未だ化粧用としてはドイツその他の外國品が使用されつゝある模様であることは争はれない。

以上要するに化粧用原料としては、十年に於いては特殊なる原料の出現を見ず、又つきのび等の勝れりと云はるべリリウム化合物等の新原料等の採用等を見ず、又斯の方面に於ける學術的研究、並びに特記すべき發明特許も行はれなかつたが、亞鉛華の品質は彌々向上して、徒らなる外國品尊重模倣より脱し、邦人として一層適切なる品位の原料使用については更に覺醒されつゝあり、輸出に於いても昭和九年一月以降八月迄の白粉の輸出統計額四九五〇、四六圓に對し、昭和十年の同期に於いては五四六、七〇五圓に達し、約五、〇〇〇圓の増加を示して居る。

商店一年史

フールド商標問題解決

業界多年の懸案であつたフールド商標問題、幾多の紆余曲折を経て今日及び、大審院並びに特許局に於いても容易にその断案に到達する能はずして、法的には遂に最後の解決を見るに至らないが、その爲に何時までも一沫の暗影を業界に投げつゝあるは好ましくならずとの念が期せずして當事者双方の間に起つた。且つこの間にあつて東京組合の小林組長並びに廣田理事の熱心なる仲介斡旋の結果、局面一轉して双方代表者の會見となり、互ひに胸襟を開いてその至情を披瀝したる處、多年の紛れも釋然として解け、忽ち和解成立の上申書を提出、業界に對しても共同聲明を發表、多年の問題も解決するに至つた。

有力五商店協賛會結成

帝都問屋界に於ける業界直進の肅正運動は、東京堂株式會社の出現を先驅として資本信用の強力化を目指して問屋合同の機運が次第に濃厚となつたが、有力化粧品問屋として知らる、井田兩商店 武孝商店 山口豊永堂 芥田商店 鈴木義明商店

合を行ひ、相互協同の保證に立つ緊密、明らかな紳士協約を結び業界の危局を突破すべく堅い申合せを行ひ、販賣界に第二の波紋を投じた。

資生堂の店員學校

業界に特殊な販賣制度を持つ株式會社資生堂では、小賣機關に資生堂の販賣制度を眞に理解せしめ、資生堂精神を各小賣店の販賣員に徹底せしめるために新たに銀座七丁目資生堂化粧品小賣部の三階に資生堂チエーンストアの若き從業員子弟を全國より收容して、これに販賣教育を施すこととなり二月六日より第一回を開講した。これは全國に亘る資生堂チエーンストアの中から、一定の販賣額を有する有資格店一店一名に限り、全費用を本舗が負擔してこれを集約して新設せる寄宿舎白樺寮に收容して毎日銀座に通學せしめ、こゝにて各組十日間づゝ資生堂化粧品の実地研究、販賣制度並びに廣告、美容知識について教へるものが教育商業界に於ける最初の販賣教育學校として各方面の注目をひいた。

新開東京堂設立

販賣界の混亂甚だしき帝都業界に於いて、問屋界の有力店たる桑原花生堂桑原啓造氏、福島昌平堂福島善雄氏、千本木彌八

商店千本木彌八氏の三氏は三店を合體、協力販賣界の肅正運動に當るべく、化粧品賣業問屋東京堂株式會社を設立、一月十七日より日本橋區山町の新店舗にて營業を開始したが、有力三店の合同（尤も桑原花生堂は市内小賣部のみ合體）はこの年帝都販賣界の傾向として現はれたる問屋合同の機運に先驅するものとして全國業界に大きな反響を興へた。新會社の幹部如左。

- 専務取締役 千本木彌八氏
- 常務取締役 福島 善雄氏
- 同 桑原 啓造氏
- 同 津香 源三氏
- 同 中澤 英二氏
- 同 藤島 善雄氏
- 監査役 藤島 善雄氏

新石鹼本舗三和堂創立

桃谷順天館營業部長を辭任したる楠本政太郎氏は、業界よりその去就を注目されてゐたが、義兄に當る阪本一郎氏のマスタ本舗尙美堂に入り、阪本氏が石鹼齒磨等の新本舗として設立する、三和堂の中心となつて活躍一月中麻布區霞町に新店舗を創立した。三和堂ではマスター石鹼を發賣すべく着々準備を進めたが、石鹼界の波瀾はげしきため年内には發表に到らなかつた。

兒玉正陽堂創立

クラブ化粧品本舗中山太陽堂東京支店長として多年放腕を振ひつゝあつた同店理事兒玉勝一氏は、中山店主の諒解の下に太陽堂を退職、氏の郷里に近い熊

本市に見玉正陽堂株式會社を創立、熊本市吳服町三丁目に店舗を設けて化粧品石鹼卸商を二月十七日より開業。

大日本油脂株式會社創立

花王石鹼本舗長瀬商會では從來本社内にあつた精油課並びに吾獨工場内にあつた原料油脂工場を獨立せしめて油脂工業界に積極的進出を行ふべく、資本金六百萬圓の大日本油脂株式會社を設立、三月一日創立總會を開催した新會社は百五十萬圓拂込済み、株式は一般に公募せず、長瀬商會の持株の外は、長瀬商會各重役が引受けるもので本店を吾獨町の同工場内に置き、同二十七日設立認可の申請と、同に營業を開始した。新會社の幹部如左。

- 専務取締役 山崎 高晴氏
- 常務取締役 伊藤 英三氏
- 取締役 長瀬 川上八十太氏
- 同 伊藤 富郎氏
- 同 伊藤 六郎氏
- 監査役 秋元 直氏

オカツ化粧品本舗創立

昭和九年末、平尾贊平商店主任以來、業界よりその動向を注目されてゐた平尾喜三郎氏は、四月三日、天龍堂平尾喜三郎商店を開店オカツ化粧品本舗として業界に復活した。店舗並びに工場は大坂市東淀川區中津本通一丁目、舊味の素鈴木商店大坂工場の跡に設け、薬品、化粧品本舗としてその營業を開始した。

仁丹本舗兼下商店創立

仁丹ハミガキ販賣株式會社で

は四月、その社名を改めて株式會社兼下商店と變更、同時に社長としては森下家の養子として迎へられた青年森下義三氏が就任せるをはじめ、その全重役は何れも青年壯心の人々を以てこれに當らしめ、時代に順應せる新機軸の下に發刺たる活躍をなさしむることとなつた。新任重役の顔ぶれ如左。

- 社長 森下 義三氏
- 常務取締役 木村 頼次氏
- 取締役 神保 富保氏
- 同 岩橋 美藏氏
- 同 谷本 弘氏
- 同 伊藤 良一氏
- 同 森下 義三氏
- 同 森下 博氏

千代田新會社設立

千代田製菓本舗として古き歴史を有する株式會社山岸商店では舊來に於ける營業上の不備を一掃して業務の刷新、販路の擴張に新時代精神を吹込み、その陣容を一新すべく、株式會社千代田山岸商店を創立し舊山岸商店の營業一切を新會社に於いて繼承、五月設立登記を了へ、山岸徳治郎氏が専務取締役として一切の權に當ることとなつた。

帝都製菓會社創立

帝都製菓界に於ける御問屋として永い歴史と信用を持つてゐた合資會社柳下商店では、六月の支柱であつた金高良助氏の急逝に遭ひ、遂かにその首腦者を喪つたので、これが更生に關しては業界各方面より注目されてゐたが、八月その組織を株式會社

平尾贊平商店の支配人を辭した

平尾贊平商店の支配人を辭した平尾太郎氏は、再び業界に歸つて八月、蒲田區下丸子町に株式會社生化工業研究所を創立、薬品化粧品界に進出することとなつた。その第一歩として先づ新美容劑シャベトニックスを發表坂田合名會社を東部代理店、關西方面では大阪市浪速區元町に出張所を設け、營業を開始した

花王石鹼本舗の増資

花王石鹼株式會社長瀬商會では、その事業の進展に伴ひ、豫てから増資を行ふべく準備中であつたが、二月二十日臨時株主總會開催の結果、二百萬圓を増資して資本金三百萬圓を四百萬圓となすことに決定した。この増資額百萬圓は一般に公募を行はず、長瀬社長はじめ株主に於いて引受けた。

ライオン齒磨工場完成

昭和七年の初秋、本所區厩橋々畔に地を相して工を起した新工場は、二月、よ／＼と竣工、操業を開始した。新工場は仕入部、製品倉庫、研究室等を含み、地階四階、鐵筋コンクリート建築地一千九百五十坪、建坪八百三十坪、延建坪二千二百坪に及び、隅田川を眞前に控へ、壯大を極め、多年齒磨製造工場としての理想を實現せしむべく凡ゆる構想と努力を拂つた。凡ゆる諸施設の機械化、能率化、完成し、暖房通風の衛生的設備から男女工手の娯樂設備に至るまで考慮されてあり、業界に於ける最新設備を誇る大工場として職高砂香料北工場竣工

高砂香料株式會社が計畫中の

高砂香料株式會社が計畫中の高砂工場は、竣工を以て本社より取締役技師長堀内利器博士渡邊、五月四日臺北に於いて開場式を挙行した。新工場は敷地三千五百坪を有し、樟腦副産物の處理をはじめ、各種香料の生産を行ひ、年額千五百圓の樟腦副産物處理が行はれる生産設備を有してゐる。この新工場の完成によつて、蒲田工場では今後主として高級香料並びに高貴薬の生産が行はれることになつた。

マスター蒲田工場竣工

マスター化粧品本舗尙美堂では蒲田梅屋敷に廣大なる地を相して營業所、研究室、工場の新築に決し、五月十一日起工、十年中に竣工する豫定。工場は延



自昭和九年七月一日
至同十年十二月三十一日

- 一、廣告、宣傳、清遊觀劇に關するものは除く。
- 一、人事に關する消息、異動は除く。
- 一、商品を中心とする團體主催の總會等は除く。
- 一、此の日記に除外したる以上の項目は、廣告宣傳「人事人物」「清遊觀劇旅行」等それらの部門を参照せられ度い。

十二月(九年)

レイト本舗平尾贊平商店大阪支店長平尾喜三郎氏辭任。
わかもとボマード本舗早川用雄商店着落成。
貴金屬琢磨商依田忠商店株式會社組織變更。
美濃本舗桃谷順天館營業部長楠本政太郎氏辭任、支配人塚本好三氏兼任に決定。
奥知金來氏(舊大阪製菓石鹼製造所社員)石鹼卸商奥知商店

一月

クラブ化粧品本舗中山太陽堂宣言發表。
クラブ化粧品本舗西發賣元廣秀社本店宣言發表。
カガシ化粧品本舗名古屋出張所移轉。名古屋市中區末廣町三ノ三。
大阪勸業商店組織變更して泉勸合名會社と改稱。
月の化粧團大阪出張所開設。大阪市西區阿波堀通五ノ一〇。
高野禮重氏(前大喜商店大阪出張所主任)石鹼原料商開店。大阪市東區京橋二ノ四八。
タンゴードラン本舗宇野達之助商會五萬圓増資決定。
大阪福永義雄氏、婦人頭飾品營業開始。大阪市東區餅屋町二ノ二。
大阪世戸石鹼製造所株式會社に組織變更。
日野義一郎氏(前タカラ石鹼本舗日野三天狗社員)日野石

坪九〇一坪、木筋一階建、營業所は延坪三六〇坪、鐵筋コンクリート地階とも四階建、研究所は延坪八二坪、いづれも近代様式の建築にして舊來の名園ともいふに似て、呈するところなら、アイデアル工場設計畫

御園化粧品本舖伊東胡蝶園ては、技師長谷部小連氏が苦心研究の結果、白粉に從來の着色方法と全く異なる操作による色素の配合に成功し、伊東化學研究所の名の下に新製白粉パビリオを發賣、粉白粉界にエボツクを劃した。

關東組商店成立 昭和十年初頭に於ける帝都販賣界には、東京堂株式會社の設立に刺戟されて、間接合同の氣運が勃然と起り來つた。この波に乗つて、從來、關東組なる團體を結成しつゝあつた帝都の荒物系開屋の有力店たる左記七店では、業界の共同繁榮及び營業の擴大強化を圖るため、二月十一日紀元節の佳慶を以て、關東組商店と店名を改め、參加七店は、その各地區營業所となつて、協力邁進することとなり、店舗を京橋區京橋二丁目八の丸山松治氏方に設けた。參加者如左。

創業僅かに半歳餘にして店主平尾三郎氏を失へる大阪のオカツ美粧料本舖では、既に浴く全國的にその販賣網の完成を見、市場でも大いに製品の歡迎を受けつゝある最先でもあり、直ちに嗣子喜久雄氏をしてその營業を繼承せしめ、喜三郎製名のの上、開店以來その苦勞をともにして來た全店員從業員と協力一致して製品の發展に邁進することとなつた。喜久雄氏は故人の長子にして若冠二十一歳、大阪の醫學專門學校在學中にして今春卒業の筈である。

滿洲國皇帝へ化粧品献上 四月滿洲國皇帝陛下の御來訪を機として化粧品本舖十日會ではこれが慶祝の意を表すべく献上品の御嘉納を依頼する處あつたが、九月御探納を賜はり滿洲國公使館を経て献上した。同じく大阪石鹼化粧品輸出協會に於いても、加盟十五本舖より御訪日を機として献上品の御嘉納を依頼し、滿洲國公使館を通じて九月十四日献上した。

東久運宮殿下御化學へ御成 東久運宮殿下御化學へ御成は七月二十四日午前八時、南部御府武官、菅波工務課長御隨伴市内の五化學へ御成り遊ばされたが、業界關係では辨化學工業株式會社、大日本セルロイド株式會社の二工場が御巡視の光榮に浴した。

業界工場一覽

昭和十一年十一月一日現在

Table with columns: 工場名 (Factory Name), 所在地 (Location), 設立年月日 (Establishment Date), 主要生産品 (Main Products), 使用動力 (Power Used). Lists various chemical and industrial factories across Japan.

二月

米山清人氏(前井上小四郎商店)獨立して雜貨問屋開業 本所區千歲町一ノ四ノ二 花王石鹼本舖長瀬潤會研究部 國產人相透劑の製出に成功。大阪袋物問屋矢澤商店株式會社に組織變更。

品名	工場名	代表者氏名	所在地	設立年月日	主要生産品	使用機工数
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇

品名	工場名	代表者氏名	所在地	設立年月日	主要生産品	使用機工数
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇
石炭	三美石炭	石塚元雄	石塚元雄	明治一〇・二	各種石炭	一五〇

四月
 町田商相クラブ化粧品本館中
 山太陽堂訪問。二十八日
 五月
 マスター本館向美家マスター
 ハンドバクト、同ターキー容
 マスターホームバクトターキー
 容器發賣。
 千代田本館山岸商店組織變更
 して株式会社千代田山岸商店設
 立。
 丸見屋ミツヲ科学研究所消火
 剤「泡消」の研究に成功。
 釜屋商店化粧品瓶型意匠都新
 設。
 合資会社日通商會藥用化粧品
 かたり發賣。
 岡谷ミモサ美髮料本館増添精
 油部東京工場建設に着手。
 ライオン齒磨本館小林商店滿
 洲駐在所設置。奉天浪速通一八
 高橋ビル内。
 ママゴシヤンブー本館美香園
 從業員慰安會。三日
 高砂香料株式会社臺北工場開
 場式。四日
 マスター化粧品本館向美家、
 蒲田梅屋敷の新工場起工。十一日
 ライオン齒磨本館小林商店販
 橋工場へフイリッピン學生見學
 團訪問。十三日
 三尚會マスター化粧品販賣會
 社(福岡縣、山口縣)第一回株
 主總會。小倉市。十六日十七日
 北海油脂工業株式會社増資決
 定。二十八日

四月
 淺井石炭店組織變更、株式會
 社鶴之形石炭本館を設立。
 ライオン石炭株式會社五十萬
 圓増資、資本金百萬圓となる。
 金澤市野村兄弟商會新築移轉
 金澤市高岡町二六。
 スチルマン本館河田商店スチ
 ルマン・レコアイング・カンパ
 ニーを創立、レコード吹込を
 開始。
 田端登香園發賣のクール化粧
 料の新販賣制度クールファミリ
 ー販賣店組合設立。
 仁丹ハミガキ販賣株式會社名
 稱變更。株式會社森下商店と改
 稱。
 モンブラン製藥本館蘇美白
 劑モンブラン發賣。
 合同油脂株式會社王子工場改
 修完成。
 北日本油脂工業株式會社創立
 クロバール化粧品本館合資會社
 三葉商會移轉。大阪市東區粉川
 町一。
 スハマ化粧品本館村瀬三郎
 商店大阪出張所新設。大阪市東
 區川西町五四九。
 平尾箕平商店前大阪支店長平
 尾喜三郎氏はオカツ化粧品本
 館天龍堂平尾喜三郎商店を創立
 大阪市東區川區中津本通一丁目
 に營業開始。三日
 マスター化粧品名古屋販賣株
 式會社株主總會。十二日
 マスター化粧品東京販賣株式
 會社重役會。十三日
 福岡市瓜生商店卸部開設。二

工場名	代表者氏名	所在地	設立年月日	主要生産品	使用職工数
カシヤ化粧品工場	高橋 三郎	神戸市	大正三	化粧品	二〇〇
カシヤ化粧品工場	高橋 三郎	神戸市	大正三	化粧品	二〇〇
カシヤ化粧品工場	高橋 三郎	神戸市	大正三	化粧品	二〇〇
カシヤ化粧品工場	高橋 三郎	神戸市	大正三	化粧品	二〇〇
カシヤ化粧品工場	高橋 三郎	神戸市	大正三	化粧品	二〇〇
カシヤ化粧品工場	高橋 三郎	神戸市	大正三	化粧品	二〇〇
カシヤ化粧品工場	高橋 三郎	神戸市	大正三	化粧品	二〇〇
カシヤ化粧品工場	高橋 三郎	神戸市	大正三	化粧品	二〇〇
カシヤ化粧品工場	高橋 三郎	神戸市	大正三	化粧品	二〇〇
カシヤ化粧品工場	高橋 三郎	神戸市	大正三	化粧品	二〇〇

地方出張員一覽

一、六大都市、及び全国主要都に於ける業界の各本舗、問屋より各地に派遣されてある出張員の擔當區域及びその氏名を各店別によつて示したものである。

二、配列の順序は地方別にし、上、店名の五十音別に

東京市

旭電化工業株式會社
大坂出張所長 米田 善治
名古屋出張所主任 山縣 昌次
安藤 井筒堂 中村 一二
今井 征二 久力 進吾
村上 實太郎 沙澄 義二

石井石鹼工場 高島 龍三
井筒屋香油店 佐藤 廣藏
西井 義弘 小林 七郎
鈴木 清 井上 拾吉

工場名	代表者氏名	所在地	設立年月日	主要生産品	使用職工数
熊坂初太郎	熊坂 初太郎	近畿			
高橋 利雄	高橋 利雄	近畿			
井上太兵衛商店	井上 太兵衛	近畿			
黒須 一郎	黒須 一郎	近畿			
神風 健一	神風 健一	近畿			
磯野 孝雄	磯野 孝雄	近畿			
加納 政助	加納 政助	近畿			
渡邊 典助	渡邊 典助	近畿			
清助 清助	清助 清助	近畿			
横井 廣助	横井 廣助	近畿			
家田 繁助	家田 繁助	近畿			
加藤 英助	加藤 英助	近畿			
飯塚芳次郎商店	飯塚 芳次郎	近畿			
中里利喜三	中里 利喜三	近畿			
角田 雅三	角田 雅三	近畿			
鈴木 雅三	鈴木 雅三	近畿			
關口 雅三	關口 雅三	近畿			
ウチナ化粧品本舗	ウチナ 化粧品本舗	近畿			
渡邊 茂幸	渡邊 茂幸	近畿			
矢田 廣仲	矢田 廣仲	近畿			
山川 益司	山川 益司	近畿			
沖野忠太郎	沖野 忠太郎	近畿			
高田 俊雄	高田 俊雄	近畿			
成田 善之助	成田 善之助	近畿			
前田 兵造	前田 兵造	近畿			
李	李	近畿			
江ノ部宗一商店	江ノ部 宗一	近畿			
小川 力三	小川 力三	近畿			
河邊 盛三	河邊 盛三	近畿			
岡本信太郎商店	岡本 信太郎	近畿			
奥野 博司	奥野 博司	近畿			
小川 商店	小川 商店	近畿			
野村 利夫	野村 利夫	近畿			
小川 潮華園	小川 潮華園	近畿			
小川 武之助	小川 武之助	近畿			
今川 五郎	今川 五郎	近畿			

新築落成。
官林菊松氏(前中山太陽堂社員)獨立開業。大阪市住吉區北田邊町二九九
ミツロ本舗丸見屋駐在員設置
仁丹本舗森下商店東京出張所新設、久野修治氏主任に任命。
ラファミ化粧品本舗奥住商店事務所移轉、中野區沼袋町一九五ラファミ沼袋工場事務所。
高砂香料株式會社社臺北支店開業。臺北市大安路龍安坡一。
花王石鹼本舗長瀬商會花王クレンザー發賣。
第一工業製藥株式會社ゲンヤシャンパー發賣。
藥用化粧結かたり中京代理店中東商店に決定。
ゲンヤ石鹼本舗第一工業製藥株式會社工場擴張完成。
武者ライオン、マスマー前子本舗共進商會新工場落成。
大阪吉原定次郎商店組織變更、吉原製油株式會社と社名變更。
旭川市卸問屋岡澤東京堂新店舖上棟式。十五日。
東久通宮殿下掛化学工業株式會社工場並びに大日本セルロイド會社へお成り、工場御見學。二十四日。

八月
掛化学工業株式會社堺市三寶濱へ新工場建設着手。
伊東胡蝶園御園コールドクワーム發賣。
株式會社生化学工業研究所創立シヤベトニツク發賣。

商品商店

常盤・柳野・中川... 矢口佐太郎... 海老沼元六... 津屋本店... 白美液本舖... 巴里院... 平尾贊平商店... 丸新東京店... 三和以字壽商店... 高橋喜良久... 山田屋香粧品製造所... 恒川武三...

大阪市

伊東胡蝶園支店... 太田榮治郎商店... 小川香料店... 井ノ内製油所... 近藤彌商店... 中山太陽堂... 鈴木淺雄... 高橋日出太郎... 竹田馨之助... 西岡貞商店...

一四

ラブミー本舖奥住商店新陣容決定... 伊東胡蝶園伊東化學研究所新粉白粉パビリオン發賣... 山田屋香粧品製造所... 恒川武三...

九月

大連油脂株式會社石鹼製造開始... 化粧品問屋上州商店東京堂へ合併... 藥原花生家柳屋ゴマード東日本代理店に決定...

十月

中山太陽堂クラブ藥用美身クリーム發賣... マスター化粧品本舖尙美堂廣告部移轉... 巴屋化粧品製造所動機店員表... 釜山府化粧品問屋夏川支店改築竣成...

これ等に類する廣告として注目されたものに昭和九年の秋から繰越されたオリヂナルクリムの全額拂戻し方法が量的にも可成りな成功を収めたやうであつたが、これも一過性の經營ではないので、矢張り次への特賣プランを立てなければならぬ運命を作りつゝあるやうに思はれる。

これ等を常態に復しやうとするには、矢張り何か懸賞廣告とか、多少でも一度興へた福利を興へなければ、購買者なり中継業者なりが承知しないので、或る程度のもを行つて、更らにスターバリーユを利用するタイプツプ廣告でカムフラージすると云ふやうになつてしまふのではあるまいか。

懸賞廣告

懸賞廣告をする場合にも何十萬人様空襲なしとか何百名様總當りとか云ふものが可なり行はれて居るが、これとても一過性の大量販賣を企圖したもので、要するに興味中心の下に實物宣傳をするつもりだらうが、次に行はれるものに依つて運命が定められるので、これを常道とは云はれない。結局するところ婦人雜誌の附録政策と同じやうに、つまり購買者の満足と興へる爲めに廢めることが出来ない破目陥つてしまつたと同じやうな一つの割引販賣となつてしまふのではないかと思ふ。

雑誌と云へば昭和十年度に於いては、婦人雜誌を利用する業界の廣告がその大半を占めるやうになつた傾向があるが、これも例のグラビヤを使用する他に座談會を利用しての記事廣告や、挿込み廣告ではヘチマコロン、花王シャンプーなどが目についた。しかし婦人雜誌も勢力のある雑誌の廣告料金が可なり高率にある爲め、最初に企圖された廣告費でなく、これを使つたら宜からう程度の試みである爲めに、何時の間にか記事中の刺込廣告になつたり、別頁廣告になつてしまつたりするやうな鹽梅で、マスターとウテナの徹底廣告と違つて、その他は臨時的なものになつてしまつたかの感がある。これ等は新聞廣告と同じやうに、一定豫算を組まずし

て行ふことは、その徹底を期する上に於て甚だ遺憾なことと思ふ。

値上問題

昭和十年度に於ける廣告界の問題として大きなセンセーションを捲起したのは、廣告主の第一目標であるところの大朝、大毎、東朝、東日、讀賣、各新聞の廣告料値上問題である。これは新聞社の方でも強い自信の下に發表されたことであるから、遅くも昭和十年度か十一年の年初めまでは決定されることであらうけれど、廣告の主力紙であるだけに廣告主の負擔も容易なものでない、假りに昭和十年八月の廣告行數を調べて見ると、前記五新聞に掲載された行數は一紙平均五千五百行見當と見て、五紙を通しての値上率を五十銭を見れば二千七百五十圓の値上となる。年額三萬三千圓の廣告料増加となるから、容易なことではない。従つて本年度に興へられた豫算を明年に順ずるとすれば、結局スペースに於いて二割減するか、二割増の廣告費に依つて現状維持をするかと云ふ問題になる。

ところが、中間業者を獎勵し、他商品との競争も加味するとして、いろ／＼な催し物を連發しなければならぬといふと、これ以上の廣告費を要するとしてこれ以下の廣告費ではやつて行けないことになるであらう、されば彌生會の結成や、十日會の結成やらで、値上げにいろ／＼な術策を試みたやうであるが、結局、個々に於いて定めた廣告單價であるから結束を以て之れに當ると云ふことは出来ないで、個々に於いて交渉するより外はないのであつた。勿論廣告料としても一種の買取引であるから、店に依つて有利な条件もあらうし、又不利な条件もあらうけれど、中間業者不振の折柄、製造販賣としては早急の消費者を相手づけやうとするものだから、多辯な訴求が必要となる、此處に新聞社の乗ずる所があり、昭和十年度に於ける廣告料値上問題は、廣告主の方が否應なしになつてしまふ形勢になつた。何しても昭和十年度の秋に起つた颯風の廣告料値上問題は「物云へば唇寒

明年度への約束

元來廣告と云ふものは、製造者が直接消費者に呼びかけることは距離が遠いだけ、大きな聲を出さねばならぬので、スペースを多く扱ふ傾向になり易い。故に廣告は消費者を對照とするよりも、問屋卸屋小賣商、そのどれが廣告をして呉れるから仕入れて置いて何時かは拂けるだらうと云ふ安心の下店頭にも並べられるものだと考へればあまりにストック排除に早急變る販賣計畫は考へものだ。殊に新聞廣告に残された問題としては、百六十行十四段改組の計畫があることも考へれば昭和十一年頃からは、ポツ／＼準備する必要があるでもない。つまり百六十行十四段組となれば二百二十四行の増加となるから約一割二分五厘の値上げが約束されてしまつたものと云つてもよからう。【昭和十年十月廿二日谷孫六】

昭和十年度に於ける廣告界の傾向

業界の宣傳廣告

昭和十年度に於ける業界の宣傳廣告は、九年度の波瀾の後をうけて、一應整理時代、反省時代熱考時代に入つてると言つていゝであらう。昭和九年度は、販賣業績の如何にかはらず、兎にも角にも宣傳廣告華やかな時代でありました。スポーツにしますならば、業界一切に、スタートを切つて資本關係、販賣組織の如何を問はず、昭和九年度に於いて、一期に勝負を決するかに見えました。ところが昭和十年度に入りまして、スタートを切つてから一年目、幾多の波瀾を経て斷然トップを切つたものは、トップに走りながら、あまりに行き過ぎはしないか、精力を一時に浪費し過ぎはしないか、將來が垣々たるフィールドであるか否かについて、反省をはじめました。中頃を馳けておりますものも、こゝで力をセ

イウして、勝利のゴール入りを考慮するものも出て來ました。中には昭和十年度に入つて、宣傳廣告界から落伍して行くものも出來ました。斯くて昭和十年度の業界は整調時代に入つたと言つていゝであらう。

昭和九年度は、催し物、懸賞、招待等の新聞廣告を通じての即効的の宣傳戰の絶頂期でありました。わけて廣告界の私生児タイプツプ廣告に至つては昭和九年度は全盛を極め、昭和十年に入つて、この跋行的變態廣告の清算期に入つて、廣告淨化運動とともに、反省期に入つて來りました。それかと言つて商賣を停止したわけではありませんから、昭和九年度の情勢といふか、昭和十年度に入つて、更らに新境地を獲得したといふか、新しい催し物、懸賞、優待、招待、試寫會等の新聞廣告は相當の出稿を見ております。

しかし、タイプツプ廣告への業界の反省は否定出來ない事實だと思ひます。それは、タイプツプ廣告の主なる相手である映畫業界に於いても、このタイプツプ廣告の反省時代に入つて參りました。

タイプツプ廣告の反省時代

即ち昭和十年一月三十日並びに二月一日の松竹本社の活動寫眞協會の新聞廣告協定に関する協議會に於いて松竹、日活、新興、日映、協會の諸氏は、タイプツプ廣告に關し、無謀なる廣告政策を統一するといふ主意によりこの際完全なる協定の下に、新聞廣告協定の契約書を作成致しました。それは大要次の如きものであります。

新聞廣告契約書

東京市に於いて發行する日刊新聞紙に掲載する封切廣告並に封切前の豫告廣告につき左の契約をなす。
一、封切廣告及豫告廣告は全一段を超過せざること。
二、封切に附帶する「アトラクション」及び之れに類する廣告は前項廣告行數の二分の一を超過することを得ず。
三、タイプツプ廣告は前條の規定に拘らず、全スペースの三分の二まで使用することを得。

廣告宣傳

- 四、タイプツプ廣告をなす場合の代價として金品を提供することを認めず。
- 五、契約各社が製作及び配給する映畫を直營館及び定期契約館以外の場所及び契約以外各社の映畫と併映封切をなす場合は特にタイプツプ廣告の規定に準據することを得。
- 六、本契約に違反したる行爲ありたるときは契約各社より一名宛の委員を選び違反事實を審査し多数決に依つて一事反毎に違約金三千圓以上一萬圓までを課するものとす、以下五條は略(附則)本契約に付帶する廣告料金行數算定基準協定は本契約と同一の効力を生ず。
- 廣告行數算定基準協定
 - 一、タイプツプ廣告の映畫題名場面寫眞主演者及び監督等の氏名又は之れに準ずべき文字は之れを會社側の行數とす。
 - 二、新聞連載小説を映畫化する場合その新聞社とのタイプツプ廣告はこれを認めず。
 - 三、廣告面に掲出されたる俳優その他の寫眞は會社側の行數に算入するを原則とし、特に相手方の商品を携へたる寫眞に限り相手方の行數に算入することを得ず。
 - 四、記事廣告は一種一段を超過することを得ず。といふやうな協定契約書を作つて、主に化粧品本舗が相手であるタイプツプ廣告に協定を致しました。
- 映畫會社が斯く、タイプツプ廣告について反省すると同時に、昭和十年度は、本舗側に於いても、大いにタイプツプ廣告について、反省するところがありました。主に如何いつた點について反省するところが大きかつたかそれは、
 - 1 廣告媒體の悪用
 - 2 廣告媒體の濫用
 - 3 廣告媒體の質の低下
 - 4 廣告媒體業者の反對

- 5 商品の名聲 暖簾の低下
 - 6 購買者層の變動
 - 7 商品常用者の常用中止
 - 8 タイプツプ中止後に於ける購買者層の購買力の激減
 - 9 廣告に對する attraction value. attention value の遞減
 - 10 いまゝで、好感を以て廣告を見てゐた人が見なくなる
 - 11 タイプツプ廣告によつて適當の景品をうけた人は喜ぶが、景品をうけなかつた人は、反つて反感をおこし、商品の使用を中止するやうになる
 - 12 射倖心の誘發
 - 13 商品の正しい販賣増進の阻害
 - 14 小賣商店の非難、賣上激減
 - 15 小賣商店に對し消費者側からの苦情
 - A タイプツプ廣告の直後小賣店に商品が賣切れでない
 - B 當選しなかつた
 - C あの商品は駄目だ、と悪評を放つ
 - 16 問屋側の苦情
 - A タイプツプ廣告掲載後の賣行き不振
 - B 正しい賣上の阻害
 - 17 小賣商店、問屋の仕入過剰
 - 18 特賣に利用され易し
 - 19 商品の廉賣濫賣
- 以上のやうな結果を招來しましたので、タイプツプ廣告については、昭和十年度に於いて再検討をすることにいたしました。しかし、タイプツプ廣告は幾分の減退を見ましたが、懸賞、催し物、招待、試寫會等は、一洗本舗に於いて一段と盛況を見ることになりました。
- 新聞廣告による愛用者優待宣傳
オリヂナル本舗安藤井簡堂の「全額拂戻」愛用者大優待は、お買求めの原料香水オリヂナル空函(大瓶二圓、

中瓶一圓、小瓶五十錢)を本舗出品係へ御送りになれば直ちに同額の原料香水オリヂナルを運送するといふ破天荒の方法で、業界を賑はしてゐるものであります。

オリヂナル感謝大奉仕
オリヂナル本舗安藤井筒堂では、愛用者への感謝大奉仕として四月末日迄、カオール一圓買上げ毎に、オリヂナル香水小瓶五十錢を、先着二十萬人へ進呈の新聞廣告訴求は非常なる好評。
白美液本舗、橋本製菓株式会社では、白美液の新装振出六十錢瓶又は大瓶五十錢買上げの方に、イニシアリング進呈、進呈方法は包装箱に指環の寸法、頭文字、男持ちか女持ちかを記して郵送の方へ渡れなく進呈して好評。
「新製品ヘナマグリム」發賣記念十萬人當選大懸賞」發表。

天野源七商店では、三月二十日、新製品ヘナマグリム、發賣記念十萬人當選大懸賞を發表四月三十日な締切りに、これまた非常な好成績をあげた。
「仁丹商標百萬人懸賞」オリヂナルクリム御愛用者大優待牛乳拂戻し景品附大特賞」
クラブの愛用者優待大懸賞。

クラブ本舗中山太陽堂では、坂東好太郎氏が入江たか子、川崎弘子、飯塚敏子の三スターに同ふたクリムの名、クラブ○○クリムの○○の處に適當な文字を入れる課題、クラブ美身クリム二百萬人優待の懸賞募集の豪華版、いよいよ出でていよいよ大衆化してくる大懸賞、新聞廣告の偉力と相持つて、益々生彩を放つ廣告効果である。

●新聞廣告利用の愛用者招待優待宣傳

ライオンのコードモ大会
ライオン兒童齒科院、ライオン・デントタル・センタ―主催の下に、一月二十九日赤坂三會堂に、ホカラカライオンコードモ大会が正月の例會が催されて盛會であつた。

講習會「レグユー祭マスター招待會」「ウテナ愛用者連続開催」「ウテナの都會の船唄の夕」等。
何れも新聞廣告を利用した愛用者の招待であります。これにてもわかりますやうに、新聞廣告にいかにかタイアップ廣告、催物廣告、愛用者招待廣告が昭和十年度に多くのスペースを分つてゐるかわかるのです。

●新聞廣告利用の懸賞募集
クラブ白粉本舗中山太陽堂、松竹キネマ株式会社主催東京大阪朝日新聞社後援の下に、松竹京都撮影所に於いて東朝大朝に連載中の三上於菟吉原作、「雪之丞變化」の主演は誰といふ問題で、クラブ愛用者の懸賞募集を行つて、三月十日を締切りに、
一等、京都井上大丸特製新糸錦織金糸綴入名古屋帯地(女子)ちとせ錦紗絞兵児帯(男子)一本宛二百名
二等クラブ化粧品詰合函一函宛三百名、三等「雪之丞變化」出演スター半截引伸直筆サイン入額縁付一枚宛五百名、四等松竹封切館一等席入場券一枚宛三千五百名、五等「雪之丞變化」出演スターサイン入プロマイド一枚宛七千名、等外クラブ洗粉試用袋一個宛残り全部以上の如く年度の懸賞募集廣告のトップを切るものであつた。

レイトフードの大懸賞
レイト化粧品本舗平尾登平商店では、レイトフードの愛用者優待の大懸賞を募集、課題は「レイト○○○○」の中に適當な文字を入れる。締切りは四月末日、賞品は一等五十名ビクターレコード、お子様洋服一着宛特選お召銘仙一反、尖鋭型腕時計一個、お化粧セット一組の内希望により一品。
二等一百名、ハイキング用具一組、流行パラソル一本、ランドセル一個、流線型萬年筆一本、初夏ショール一本の内。
三等一千名、安全剃刀一組。
四等一萬三千八百五十名、日滿チョコレート一包。
といふ、可なり複雑味を持つた懸賞として興味を惹か

あつた。

「母の愛」ヘクラブ招待

クラブ齒科本舗中山太陽堂では一月二十九日日比谷公會堂に、愛用者二千六百五十名を招待して松竹蒲田サウンド「母の愛」特別試寫會を開催、松竹スターの挨拶があつた。
唐人お吉ヘウテナ招待。
ウテナ化粧品本舗久保政吉商店では、一月二十九日晝夜二回に亘り、大阪國民會館に於いて、水谷八重子のオールトーカー「唐人お吉」特別試寫會を開催して盛會であつた。

丸見屋・春の招待會プラン。
ミツロ石鹼本舗丸見屋商店では三月九日、日本青年館に東京市防護團員五千名を晝夜二回招待して日活映畫「召集令」を上映。
十六日には、九段の軍人會館に、今春市内各女學校の卒業生四千名を晝夜二回に招待して講演、舞踊、獨唱、映畫の卒業祝ひの會を催したが、從來百貨店で女學校の卒業生を招待してゐたのが、近年化粧品本舗の招待が多くなつたことは、注目すべき事柄である。
レイトの春を樂しむ會。
レイト化粧品本舗平尾登平商店では三月十五日、日比谷公會堂に於いて、レイト白粉、レイトクレーム愛用者五千名を招待して白粉祭「春の日を樂しむ會」を開催非常な盛況。

ヘチマコロン本舗天野源七商店では、主催松竹少女歌劇團後援會、東京港祝賀記念とタイアップして愛用者四千名を三月十七日、日比谷新音樂堂に開催の「港まつり大會」へ、又三千名を松竹少女歌劇團四月公演「東京踊り」へ招待、「港まつり」の出演者は、松竹少女歌劇團、松竹蒲田スター、笑の王國、コロンビヤ專屬歌手であつた。
ウテナ本舗鐵道試寫會「五千名招待」

ライオンの五十萬人當選大懸賞。
從來新聞廣告利用の大懸賞は二萬、三萬、五萬程度の懸賞でありましたが、昨年ライオンが二十萬人當選の大懸賞を發表されて、異常の好成績を納めて以來懸賞は何れも十萬代に躍進し、最近では、百萬代に上昇してしまひました。化粧品廣告の躍進ぶりは、大いに驚嘆に値するものがあります。

ライオン齒磨本舗では、二月十日全國一齊に、「ライオン齒磨新工場記念五十萬人當選大懸賞」を發表して、愛用者を異常な興奮のルツボに捲き込んでしまつたが、これは販賣店との協力もあつて、御愛用者から回答を集めて、本舗へお送り下さつた販賣店には、回答五十枚を一口として、一口毎に抽籤券一枚を贈呈し、厳正抽籤の上景品を引換へるといふサーヴィス振りに、中間締切三月三十一日、中間發表四月下旬で、レコード破りの好成绩を納めた。

●地方に於ける新聞廣告併用の愛用者招待
ラブミー化粧品本舗奥住商店では、二月十一日の紀元節を期して豊橋岡崎兩市に於いて、ラブミー化粧品大宣傳愛用者優待大會を開催した。プログラムは、
一、御挨拶及び新舞踊夏川靜江。
一、美容演説、ハリウッド美容室キク牛山女史。
一、西川流舞踊披露。
一、漫談木下朴見。
兩市ともに以上の通りで會場は豊橋は公會堂、岡崎は蒸菜座で、入場者は兩市とも晝夜四千名宛、殊に岡崎は稀れに見る盛況であつた。
中國筋でも愛用者招待。

向、同本舗では、廣島市並に呉市に於いて愛用者優待を開催、優待方法はラブミー化粧品五十錢買上げ毎に日活映畫館入場券進呈、廣島市に於いては太陽館に五千名

三月十八日比谷公會堂にて大盛況。
マスター春の大園遊會。

マスター春の發賣元尙美堂では三月二十四二十五の兩日、丸子多摩川園に於いて林長二郎、田中絹代、水の江瀧子、オリヱ津坂等のナンパワロン・スターを圍む「春の大園遊會」開催マスター春化粧品一個買上げ毎に、園遊會参加券進呈當日は四大スター林班、田中、班、ターキー班、オリヱ班と配分して、好みのスターと記念撮影をする外、柳家金語樓の司會により、ナンパワロンスターの餘興あり更らに福引があつて、春の催し物の王座を勝ち得た。
クラブの櫻日本大會。

クラブ白粉本舗中山太陽堂が愛用者五千名を呼ぶ「さくら日本大會」は三月三十日晝夜日比谷公會堂に開かれた。
「レイトの春を送る會」美顔本舗主催のシューベルト祭。
五月に入つて、「ウテナ男三十前試寫會」「クラブ主催の淡輪つじ祭」「スチルマンの百貨店宣傳」「御園の大園遊會」「ウテナ初夏の招待會」「クラブ大補公六百年祭」「レイトの初夏の大招待」「御園本舗の信越招待會」

七月には「レイト愛用者納涼會」
レイト化粧品本舗平尾登平商店では日活東京撮影所とタイアップし、化粧品はレイト、映畫は日活のモットの下に既に前後三回に亘つて日活フレッシュマン賞演隊を組織、清新なる演出と独自のプログラムとなつて、レイト、日活兩方面の絶對的支持をうけてゐるが、更らにその第四回目として、七月十三日晝夜二回日本青年館に於いて愛用者五千名を招待、納涼會を開催した。
「美顔の龍涎香座談會」ミツロの彌次喜多到着地の懸賞募集。「ミツロサリ」の愛用者清水次郎長試寫會招待。「ウテナの龍涎香招待」ライオンの納涼衛生

を招待、呉市にては大家樂館へ三千名招待があつた。
レイトの春を樂しむ會。
レイト本舗では三月十六日、京都日の出會館、同十七日には大阪國民會館に、各晝夜二回白粉祭開催非常な盛況であつた。
美顔本舗名映畫鑑賞會。
明色美顔白粉本舗桃谷順天館では、愛用者七千三百名を招待して、名映畫鑑賞會を開催したが、映畫は新興、高田プロ合同作品「鐵路」並びに「釣鐘草」賞映畫、日露戦役回顧三十年、招待日並びに會場は三月十二日晝夜大阪國民會館、十三日夜京都日出會館、十三日夜神戸舊關西學院で盛會であつた。
ユキワリミン映畫鑑賞會。
ユキワリミン本舗原澤合名會社では、三月八日から一週間、大阪は常盤座、公樂座、天滿劇場、神戸は錦座、京都は帝國館、千本座の各日活封切場に於いて日活映畫鑑賞會開催非常な盛況であつた。

「マスターの東北招待會」は七月十六日より四日間互に、東北各地に於いて蒲田スター田中絹代の舞踊演説及び映畫の會を開催、十六日山形市演藝館、十七日秋田市秋田劇場、十八日鶴岡市松竹館、十九日酒田市濠座で非常な盛況であつた。
ヘチマコロンの西部日本招待。
ヘチマコロン本舗天野源七商店では、ヘチマコロン愛用者優待のため、七月十八日大阪劇場に開演中の東京松竹少女歌劇に愛用者三千名を招待、別に幹部並に一行三十餘名よりなる東京松竹少女歌劇を呼び物として、中國より九州に亘り、愛用者招待會を開催、非常な盛況であつた。

●實習講習宣傳
花王石鹼長瀬商會の家事科學研究所では、三月十一日には西宮市、十二日尼崎市、十三日堺市、十四日岸和田市、十七日姫路市、十八日明石市、十九日和歌山市、二十日海門市、二十一日奈良市、二十二日大津市、二十三日彦

根町、二十五日字治山田市、二十六日大津市、二十七日四日市、二十八日桑名町、二十九日松阪市といふ風に巡回講演會を試みてゐるが到るところ非常な盛會でこの種の宣傳隊としては、成功してゐるものゝ一つである。その他の本舖に於いても、斯うした試みをなすつゝあるが、未だその宣傳効果については未知数のやうである。

●婦人雜誌廣告
ラブミー本舖奥住商店では、婦人俱樂部四月號にグラビヤ引出し四頁のラブミーボンナ、雲肌クリーム、の廣告を行つた。

同廣告部の案になるもので山田五十鈴、夏川大二郎の二人の見立夫婦の新婚グラフに詩的な文案を加へ、四月の婦人雜誌廣告中の白眉であつた。
婦人雜誌廣告も、これをいかに効果的にするかについて、いろいろの苦心が拂はれてゐます。婦人雜誌にして、「主婦の友」「婦女界」「婦人友」「婦人俱樂部」「婦人公論」それぞれ特長を有し、廣告編輯にも特別の注意が拂はれてゐますが、いま主婦の友誌上の化粧品品の廣告面の掲載個所を見ても、大抵はクラブ白粉です。その他は、ウテナ化粧料の十四個所、マスター化粧料の九ヶ所、ラブミー化粧料の四ヶ所、白美液の一ヶ所、ハルナーの一ヶ所、風鳥メーラーの一ヶ所、タンゴドローンの一ヶ所、美顔化粧料の八ヶ所、養生堂化粧料の一ヶ所、レット化粧料の二ヶ所、花王シャンプーの一ヶ所、メスマポマードの一ヶ所、クレオのアンバー香水一ヶ所、マイスキンの一ヶ所、蘇鐵の一ヶ所、ヘチマ化粧料の四ヶ所、アイホーンの一ヶ所、キユーテツタスの一ヶ所、カツビー化粧料の一ヶ所、三共ヨモトニツクの一ヶ所、井筒ポマードの一ヶ所、アキラの二ヶ所、古代アツキ洗粉の一ヶ所、マー化粧料の一ヶ所、マリールウキズ化粧料の一ヶ所、ローレル化粧料の一ヶ所、アモルスキンの一ヶ所、聖林化粧料の一ヶ所、ウルビーの一ヶ所、薬用モンコ、の二ヶ所、ナルビー化粧料の一ヶ所、モデナの

化粧品の新聞廣告

化粧品新聞廣告はわが新聞廣告に於いて重要な地位を占め、この数年間は年々廣告掲載行數に著しき増加を示し、藥品廣告に次いで廣告行數の第二位を獲得して居るが、この結果を生むものは大量廣告主の多數なことに直接原因しやうが、また一方には新廣告ソースとしての小廣告主の出現と發展にも據るところが多い。昭和九年度に於ける化粧品廣告の掲載行數を日本電報通信社調査に據る數字を以つて見れば左の如くである。

- 一、東京十二新聞總行數 四、九八八、九八八
- 二、全國百一十一新聞總行數 三、九三三、三三三
- 三、全國百一十一新聞總行數 三、九三三、三三三
- 四、全國百一十一新聞總行數 三、九三三、三三三

即ち東京十二新聞に於いては總行數の一割三分二厘、全國百一十一新聞に於いては一割六分七厘で、化粧品廣告が日本新聞廣告總行數の約一割七分を占めて居ることは驚嘆に値ひする。また東京十二新聞の昭和八年度行數との増加率を見れば總行數に於いて一割一分七厘、化粧品一割八分七厘、また全國百一十一新聞に於いては總行數七分九厘化粧品二分一分一厘と云ふ空前の増加率を示して居る。これが原因は新製品と舊製品との競争と、小賣者間の競争から來た利益減少を直接民衆に訴求することによつてバックアップする策の現れである。

昭和十年度に於ける東京初め全國三十四新聞の一月より十月迄の普通行數(案内廣告を含まず)と化粧品行數の比較を左に記して見やう。

月	總行數	化粧品行數
一月	九、八八八、二四行	一、五五五、六六行
二月	八、七七七、七七一	一、五五五、八八〇
三月	一〇、一〇〇、三三三	一、七九九、〇〇九
四月	九、〇〇〇、〇〇〇	一、六六六、六六六
五月	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、六六六、六六六
六月	九、七七七、七七一	一、六六六、六六六
七月	一〇、八八八、八八八	一、六六六、六六六
八月	九、五五五、五五五	一、五五五、五五五
九月	九、三三三、三三三	一、三三三、三三三
十月	一〇、一〇一、〇一〇	一、六六六、六六六
計	九七、八八八、六六六	一、六六六、六六六
昭和八年	九、〇〇〇、〇〇〇	一、六六六、六六六
十一月	一〇、七七七、七七一	一、八八八、八八八
十二月	一〇、七七七、七七一	一、八八八、八八八
計	一〇、七七七、七七一	一、八八八、八八八
合計	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇

即ち總行數一億一千一百八十三萬八千九百六十八行に對し化粧品行數は一千九百四十三萬六千五百五十八行で、一割六分四厘を占め、數年にして廣告行數の王座を占めむつ勢ひである。
化粧品廣告の大部分は所謂意匠廣告と云ふ觀念があつたが、最近寫眞廣告及び新しい記事體のものが出現し、更らに昭和十年度に於いては、「スピード化粧法」「一分間化粧法」等の科學的、醫學的から見た特色の説明、解説の廣告も相當展開して、他を非難した中傷廣告とも思へるものまでも出現し來つたことは化粧品廣告界の進歩發展とも云へやうし、需要者に対する親切かも知れないが、特に後者は一考を煩はすべき問題ではなからうか。
次に商品の種類より觀たる時——クリーム、白粉等の大量廣告は別問題として——九年度に於いては髮洗粉即

な言葉であらうか。否、斷じて否である。
一九三五年。振り返つて深く思ふならば一月一月の變化を苦心と研究にあがきながら歩んで來た廣告界の歩みの中に、私達は底深く流れるかすかなる主流を感じかへり見てそこに一つの道標を見出すのである。しかもそれは進歩への道標である。

●新興勢力と婦人雜誌
毎月六〇〇頁に近い本誌と、數百頁の附録までつけた主流婦人雜誌は、一通り目次に目を通すだけでも私達には可成りの努力を強められるのである。然し毎月の半頃には有力な新聞の一頁を埋めるこれら主流婦人雜誌の廣告と、書店の店先に山と積まれるこれらの雑誌がいつしか跡方もなくなつて行くことを恐るることによつて、吾々は自分の認識の不足をもう少し補ふ必要を感じる。

新しく興りつゝある日本の姿がそこにある。家庭の奥深く閉ぢ込められ、蘇屬的な制度の下に、比較的和やかに育つた婦人達が、今や勢ひのおもむくまゝに、職業の戦線に、社交の中心に、そして又家庭の重要な地位に立つて新らしき時代を作らんとしつゝある。
婦人の社會的經濟的地位の向上に伴ふ必然的な智識慾の燃焼は、こゝに婦人雜誌の目も彩なる氾濫をまき起したものである。

婦人を最大の需要階級として目ざす、化粧品廣告の多彩なる變化も、かくして婦人雜誌に溢れる。私達は新らしき時代の傾向を覗ひ知る爲にも、重慶をすら感ずる此婦人雜誌の内容に謙虚な研究の目を注ぐ必要がある。

●婦人雜誌の知的分野
然しながら、各々百萬元に垂んとする發行部數を持つと云はれる婦人俱樂部、主婦の友の兩誌を始め、これに次ぐ婦人公論、婦女界の目次を檢べて行くなれば、吾々はそれらの各雑誌の内容に、黎明への婦人達の求めるものとしてあまりにも豫想を裏切る通俗的な家庭記事と井戸端會話的なジャーナリズムのトピックスだけの盛られ

ち花王シャンプー、モダンシャンプーその他養生堂、千代田、ぼたん園、タマゴ、イワヤ、ケイラン、百萬弗等の髮洗粉の廣告が掲載された。勿論十年度に於いては全然それらの廣告を見ないと云ふ譯ではないが、減行されて居ることは事實である。これに代つて十年度に於いては俄然、洗粉時代は洗粉時代でも、頭髪より顔面への洗粉時代と變化し來つたのである。即ちモンコ、マコナ、ナンパーワン、ニード、バウム、エビアンミール、クラブ、あづき等の新舊頭洗粉の廣告が相當新聞紙上を賑して居るのは一種の化粧品界の流行とも云へやう。
新舊頭洗粉及び時代洗粉に適した化粧品として九年度終りより十年にかけて、新聞紙上に廣告を掲載されたものは多數あるが、バナ、化粧料、かきり、アキラ、オカツブレモナ、モンブラン、パピリオ、クラブ乳液、フアモスクリーム、柳屋はつちり白粉等の他、洗粉中のマコナバウム等がある。これ等新製品は大體に於いて化學研究より粒子の問題、皮膚に及ぼす影響等の學術用語を一般大衆に解せしめる爲めに、圖解入り説明をして居ることが特色と云へるやうに思へる。

化粧品の雑誌廣告

「日の下に新らしきものあるなし」といふ言葉が眞實ならば、今年の化粧品の雑誌廣告にも何等取止めていふべきものを見出さないであらう。然しそれは果して妥當

も大同小異であるとするものが多いであらう。然し私は此小論の最初に断つた通りそこには多くの「新らしきもの」を見出すことが出来ると思ふのである。

例へば従来は、主流の三つの雑誌に現はれる或る一つの化粧品品の広告は、殆んど同じものが多かつたけれども今年この婦人雑誌に於いてこのことは非常に稀有の事實に属する。主婦の友と婦女界と婦人公論とは、同じ一つの化粧品品の広告でも全然圖柄と文章を變へるといふことに作成者の良心のひらめきを見ることが出来る。

「道づれ廣告」の出現
更らに後半期の婦人雑誌の廣告に見られる著るべき進歩は新らしき一つの廣告方針として、「道づれ廣告」の發表である。

これは従來の廣告に全然見られなかつた新傾向であつて、「道づれ廣告」の言葉そのものすら讀者の耳には新らしく響くに違ひない。
好例をここにあげればクラブの「一分間化粧」と「ホルモンクリーム」の作り方の廣告である。前者は①クラブ乳液と②クラブ美身クリーム③クラブはき白粉を道づれとして使ふことによつて出来るよき化粧の方法を讀むものに納得させる説明廣告であり、後者はクラブクリームとクラブ乳液とを併せ使ふことによる「驚くべき効果のある」ホルモンクリームの作り方を讀むものに教育する廣告である。同じ傾向は幾分異つた形に於いて「leit」の「表情化粧」の廣告にもマスターの一部の廣告にも見出されるではないか。

従來の廣告に於いても、同じ製造本舖が同一系統の商品の名前を並列して廣告することに於いて、これに似通つたものがなかつたとは云へないが、右の「道づれ廣告」は全く積極的に同一系統の自家製品を必ず使はねばよき効果を得ないことを教育する點に重大な相違點がある。
消費者——殊に感情的に偶像崇拜的なファンになり易い婦人消費者をしつかりと把握して離すまいとする全商

涼風立てば秋なれば：ウテナ・パニシシヤ
新鮮な魅力と濃潤たる近代美：カトヒョウクリーム
秋だ・目を美しく爽やかに：スマイル
最高度まで本來のあなたの美を引立たす：ウテナ水白粉
B、品質訴求の見出し
驚く程肌が若返る、若返り化粧水：クラブ乳液
油と水分が完全に融け合つて云々：資生堂コールド

表情化粧：leitクリーム
地肌へよく吸収されますので分泌腺の活動を促し、夏の日に荒れた肌の弾力を取戻し：云々：マスターパニシシヤ
これは文案のスペースにあまり多くを割くことのグランドヤ廣告を例として話であるが、更に記事の中に現はれる記事廣告の中には、モンゴ洗粉の如く薬品に近い品質訴求のものを始めとしてleit・クラブその他の化粧品が各自の品質と特長を説明して消費者を理性の上から誘導せんとする、新らしい行き方をより明確に認めることが出来る。

かくて一九三五年の化粧品の廣告は少ない乍らも一歩を高めて、消費者を説得し教育せんとするよりよき一つの模倣を見出す。

一般雜誌の化粧品廣告
化粧品廣告を鳥瞰するが爲に、私はあまりにも多く婦人雑誌への觀察にこだはり過ぎたけれども、新らしい傾向の一つとして見逃しならないことに化粧品廣告の一般雑誌、殊に男の雑誌への進出である。
婦人雑誌の化粧品廣告をいつまでも、感情訴求に終止する人々は、多くの婦人達が婦人雑誌を棄て、一般の娯樂雑誌へ移つた、ある近頃の一つの事實に驚かねばならない。此事實が延いて一般雑誌の廣告に化粧品が進出する機会を作つたといふ程、私は早い結論を導くものではないが、従來の如き娯樂雑誌のみならず一般に男子の雑誌

品の秩序ある廣告的歩調がこの「道づれ廣告」によつてどれだけの力強さを表はすかは、我々の最も多く聞かんとする處であつて、一九三五年の化粧品廣告の投げかけた重要な問題の一つである。

感情訴求と品質訴求
更らに深く省察するならば、婦人の美的渴仰の氣持に迎合せんとする美文と麗句の感情的訴求の歴史的に多い中にも、後半期の廣告はその終りに近づくに従つて、自らの化粧品獲得の特質を主張せんとする、云はゞ廣告本來の正統的方針の廣告がぼつ／＼発見せられることも又今年の新しい傾向と云はねばならない。

此處に婦人公論の十月號を開いて美しさを競ふグラビ

三大婦人雑誌化粧品廣告統計

自昭和九年十一月
至昭和十年十月

月別	主婦之友		婦人俱樂部		婦人公論	
	普通頁	合計	普通頁	合計	普通頁	合計
九月十一月	三〇	六七八	二二	四九七	二二	四九七
十月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
十一月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
十二月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
一月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
二月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
三月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
四月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
五月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
六月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
七月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
八月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
九月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
十月	三〇	六八八	二二	四八八	二二	四八八
合計	三〇〇	六八八〇	二二〇	四八八〇	二二〇	四八八〇

誌と信ぜられてゐるものにも又化粧品品の廣告を見るのである。例へばボマード、チエツク、シエービングクリーム等男子用品以外、十一月號の「文藝春秋」には次の如き化粧品廣告が見られる。

- アモルスキ
- ウテナクリーム
- 三共ヨモトニツク
- スマイル
- 仁丹石鹼
- 資生堂商標
- 美顔水
- 美顔クリーム
- ホンジョーコロイド
- leitクリーム

かくて一九三五年は化粧品の雑誌廣告がタイアップと懸賞販賣の旺盛だつた一九三四年の後を受けて、それらのものを揚棄し、傳統的な感情訴求の横溢する中であつてしまふ。

「道づれ廣告」の如き新らしき手法を生み出し、品質訴求の正統的廣告の發展を豫想するもののあることは同様に堪へない事實である。

これらを出立點とする來年の化粧品廣告の發展こそ期待すべき多くのものを持つてはなからうか。
この外「スマイル」の廣告機關紙とも云ふべき「ホーマライン」に就いて、或は又パピリオの新發賣を中心とする化粧品廣告のよき傾向に就いても論ず可き多くの問題が残されてゐる。【一九三五、一〇、二五、新保民】

歐米の廣告變遷史小觀

シカゴ大學商科で廣告學の權威として知られてゐるジェームズ・スタング氏 (James W. Yarnall) の語るところによると、餘程廣告に就いては明るい廣告を比較的に信

や廣告を一瞥するならば、次の通り、感情訴求の絶対多數の中にあつて、新らしき「品質訴求」の廣告をも又散見するのである。

- A、感情的訴求の見出し
あなたのお顔とマツチする頬紅口紅：マスター。
空けるり色：ニード洗粉。
秋の二重奏：メマゴマード。
秋空のやうに澄んだ明朗化粧：タンゴドール。
さあ日焦したお肌から：風鳥メイル。
肌色の秋が近づきました：青蘭ビタオール。
秋・秋・秋・秋なれや：アイアアル水白粉。
實る仲秋：ウテナ・レモンクリーム。

じ易い米國の婦人達ですら、化粧品や石鹼の廣告に就いては未だ／＼無理解の域を脱し得ない點が多いらしい。例へば或る新聞にアメリカの一石鹼會社が一ケ年に使ふ石鹼の廣告費が百萬弗以上になるといふことが出てゐたのを讀んだ比較的知名な智識階級の一婦人が、

「そんな莫大な廣告費を使つても好いのでせうか？ 私達は自分の必要以上の値段を拂つてまで石鹼や化粧品を買つてゐるのである、廣告費つて本當に社會的の浪費ですれ。」

といふのださうである。そして多くの家庭では未だに廣告を誇大的なもの、或は非常に悪趣味なものゝやうに考へて嫌ふ風があると語つてゐる。即ち歐米の進んだ婦人の間に於いてさへ、それがまだ／＼信ぜられてゐる程に、廣告は大眾を誤つた道へ迷ひ込ませ、時とすると有害な商品を買付けたたり、或は又實際價值以上の値段で賣らうとするイカサマの分子の多いものだといふ感じを與へてゐる點が多いのである。

歐米の廣告が、非常に進み、大眾の理解を得て來た今日に於いてすら、まだ斯かる印象を深く植へ付けてゐるものであるから、その發達の途上、歩いて來た道には相當の苦難と刺戟のそれが横はつてゐたのである。

「東京小間物化粧品商報」の年鑑がその足跡をたどり且記録して頂門の一針とすることも、決して無駄なことではないと信ずる。

歐米の原始的な廣告法

印刷術が未だ發明されぬ前十二世紀頃の記録を見ると、フランスの呉服商が太つた男を雇つて、鹿の角笛を吹きながら町を練り歩かせ、新らしい呉服物を廣告したといふ。然し廣告が眞に發達し始めたのは近代的な印刷技術が發達し、讀むことに依る教育が盛になり、新聞雑誌が刊行されるやうになつてからであることは云ふまでもない。

近代的廣告のはじめ

フランク・プレスブレイ (Frank Freshbery) 氏の

カガシ化粧品

確保します

貴店の利益を

この品こそ



カガシ化粧粉



カガシ化粧リキ



カガシ化粧ラベ

東京市橋本町一丁目番地
カガシ化粧品本舗

大坂・神戸・名古屋・東京・門司

廣告宣傳

著「廣告史」によると、此の新時代の印刷による廣告が、一番始めに現はれたのはロンドンの週刊雜誌で、一六九二年、今から二百四十五年前のことであつた。此週刊雜誌の發行者ジョン・ホウトン (John Houghton) 自身が先づ次のやうなことをその雜誌の始めに書いてゐる。

「學校の廣告でも、貸家や下宿の廣告でもロンドン市中のことならば必ず有効と信ずる。それらの關係者に敢てすゝめる。

この公示ともいふべき提案に對して早速次の週から次の廣告が開始したのである。

「ドルフエン通りの次のクワッド小路に、とても静かな、美しい花壇のある下宿屋があります。パツカーンこれが廣告主にも又發行者のパーカーにも非常に便利だつたことから、盛に利用されるやうになり、後にはパーカーはいろんな商店に對し「もしお尋みならば信用あるお店の爲に良い品ならば、何品でもお買ひして見せませう」といふ風にする程になつた。その後の廣告には先づ次の品々が入りました。

- マーコンはエドワード氏により
- ナーズはフランシス氏により
- 珊瑚玉はバグン氏により
- 蟹の目はハーベイ氏により
- 馬の毛はビーセン氏により
- 地圖はタムソン氏により
- オレンザの花の水はペラミー氏により
- 透明ガラスはメーソン氏により
- サフランはウェスターン氏により
- 鯨鯨はケット氏により

といふのが現はれてゐる。——もし誰でもまだ他の品をお尋みならば、調べて挿入致します。とも添書がしてある。

廣告の根本要素
この一番古いとされる最初の廣告に讀者は何を見出されるであらうか。恐らく只珍らしいと感じられる以外

に、廣告がそのまゝニュースであることに氣付かれるに違ひない。このことは廣告にとつて非常に大切な要素である。廣告は昔も今と變りなく、廣告するものゝ費用で商賣を盛にしようといふ目的で此週刊雜誌に發表されたのだが、それは同時に當時の凡ての人々の生活の興味に對し「買ふ品ものに就いてのニュース」を提供するものだつた。

しかもそれは此雜誌の發行者ホウトンが廣告する如く「買手にも買手にも役に立つニュース」だつたのである。このやうに商賣上のニュースを広く世間に傳へるといふことは、今日に至つても尙廣告の根本的な要素として守られ且應用されてゐるのである。従つてその後にはける歐米の産業の發達は、大いに廣く傳播せねばならぬ商業上のニュースを必然的に多くし、至る處に廣告の利が盛になつて来た。

新しい發明や、技術的な改良によつて驚かされる商品のいろんな得點はかくして廣告の仲介によつてどれだけ吾々の生活を豊富にしたか知れない。買手と同じやうに買手も亦非常な利益を得たのであつた。

近代的廣告の功徳

例へば約五十年前歐米の家庭で使はれてゐた石鹸は衣服を破り、皮膚を荒らすことの甚だしい歌石鹸が多かつたのだが、さうした被害の原因である遊離アルカリのなくなるやうな石鹸の改良によつて、實に優秀な石鹸を使ふやうになつた。雜誌にした食料品の發明も亦五十年前に始めて廣告され今日の如き完全なものが得られるやうになつた。

よりよき齒ブラシ、よりよき齒磨、より便利な臺所道具やよりスピーディーな自動車の發達等、廣告は常によりよきもの、より安きもの、より便利なものゝニュースを提供することに忙しく、これによつて人々は、その家庭生活をより簡易に、より健康に、より楽しくすることが出来た。

「今年五十歳のアメリカの婦人が、自分の生活を振り

返つて考へるならば、こゝろした廣告の驚らした商業的、ニュースがどれだけその婦人の生活を變化させたかを明らかに考へることが出来るやう」と、前記シカゴ大学のジェームス・ヤング教授は語つてゐる。そして「かゝる廣告が買手と同じやうにどれだけ買手であつたその婦人にも多くの功徳を齎らしたかを覺るであらう」とも云つてゐる。

然し廣告のこの利益を經濟學的な立場から全體的に認めたのは、ウォルター・バジョット (Walter Bagehot) で、例の經濟學の古典的名著として知られてゐるロンドンの金融市場「ロンドン・ポート街」の論文を書き始めた一八七〇年のことである。

彼のその名著は主として金融政策の經濟的影響を取扱つたもので直接廣告に關しては云つてゐないけれども、廣告が所謂商業的のニュースを傳播することが如何に吾々の經濟的生活にとつて重要な要素であるかといふことを明かに論斷してゐる。

廣告の經濟的使命

即ちバジョットによれば

「吾國の最近の經濟政策は商業上の運用に關して時間的な考慮を充分に拂つてあるといふことは決して云ひ得ない。然し勞役の分擔が社會に於いて實行されるや否や次の二つの原理は重要な使命を帯びて現はれるのである。しかもその二つとも時間を根本要素とするものである。

一、交易される爲に生産された商品は出来るだけ早く交易されねばならぬ。

二、多くの生産者は自分自身の必要なものよりも主として多くの他人の必要なものを生産してゐるのだから、いつも少しの遅滞もなく、少しの努力も拂はず、少しの不安もなく、自分の生産するものを要求する他の多くの人々を見付けることが出来なければならぬ。

商業的のニュースを早く廣く宣布する廣告の使命は右

植物性

ライオン洗濯石鹸

品質に
生産量に
常に
斯界の王座に在り
躍進ノ
又躍進ノ
遂に
追隨するものなし



東京・ライオン石鹸株式会社

オシドリ椿香油

佳香馥郁 自然に若やぐ
心地よき髪結び榮え



ドーマボリドシオ
クッチメスコリドシオ
ムラーベリドシオ
ムーリクリドシオ
鱒石クスマダクラ

舗本

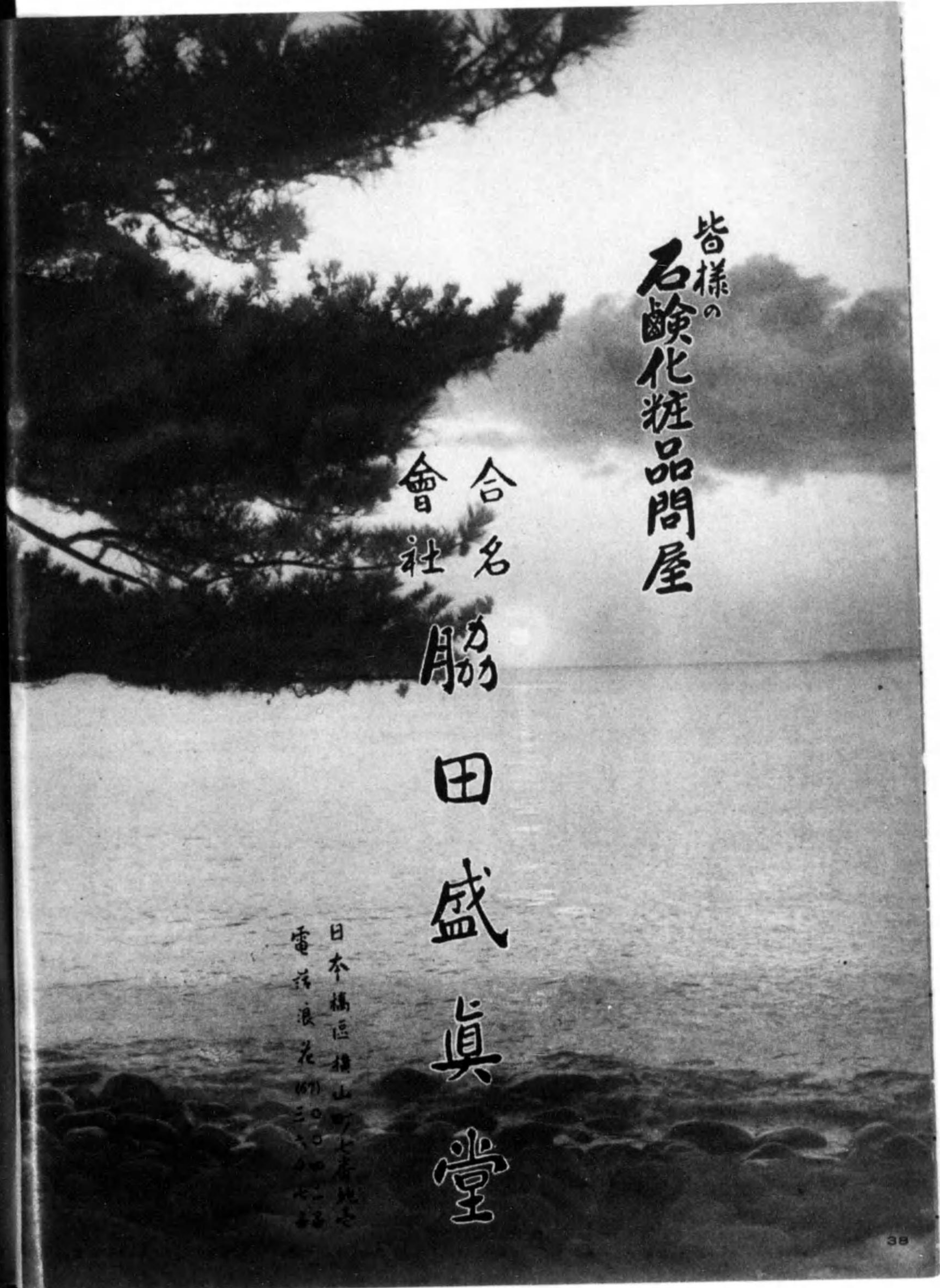
井上太兵衛商店

東京市本橋區室町四丁目
電話本橋二〇四六番・振替東京二八五四番

皆様の
石鹼化粧品問屋

合名
會社 脇田盛真堂

日本橋區横山町七番地
電話 浪花 3000 七番



用藥
モンゴ洗粉

一〇〇〇
・五八五三
〇〇〇五



用藥

モンゴ洗粉

「モーランド」
ゲルマニウム

一〇〇〇
・五八五三
〇〇〇五

月の友五番香水



本 舗
月の友化粧園
 東京浅草区越前七ノ一
 電話(84)七〇六二

香料

食品料・製菓用・香水・化粧品・香油・ドーマホ・粉白・鹼石

商輸入直原料香芳

宮坂商店

目三町本區橋日本市東京
 番六二七・二七五橋日本
 電話
 番一〇四五五東京替振



大日本政府登録商標
REGISTERED TRADE MARK



FROG BRAND
FROG REFINING CO., LTD., LONDON

世界に於ける最も古き歴史を有する

最高級

カイロ印

ホワイトオイル

薬用 (薬局方適合品)
化粧用 毛髪油クリーム其他

本品の特長

無臭・無色・透明
濃度高ク・凝固點低シ

以上の條件を完全に保有するが故に何卒御愛用を乞ふ

見本御申越次第通呈

英國フロッグ レファイニング コンパニー

東京市淺草區淺草橋三丁目

輸入元

早川商店貿易部

御注文は全國有名油問屋及化粧品原料商へ

資生堂ホルモン

中年婦人の皮膚の衰頹を防ぎ
永く青春を維持せむし
美美容素“女性ホルモン”含有の
劃期的若返リクムー



專賣特許

第一〇七七〇六號
第一〇七九一六號

女性ホルモンの
化粧料は本社の
の持つ專賣特許です



價
基標準強・度六圓
二倍強・度十圓
御試用型一・圓二



他品の三倍もの

亀の子束子

束子界の標準品！

創業以來二十七年

品質と聲價と相俟つて

最もお扱ひよき束子

尙御値段本位の格安品も種々有
之候へば御照會賜り度く願上候

平素の御取引店へ御用命の程願上候

子束子の龜號一



子束子の龜號三

亀の子束子 本舗

西尾正左衛門商店

東京市瀧野川區瀧野川町一八四五
電話大塚(86)六一〇一番六一〇二番



若肌・柔肌
もこの一品
洗顔に入浴
に是非……



ウツノミヤキ石鹸

石 崎 問 屋
木 鋪 近 磯 商 店
東京市日本橋區横山町



植物性
小柳スマート髪洗粉

サラリとした
洗髪後の
清快さ

シヤンプー

町網小區橋本日市京東
店商吉佐柳
番一四九 町場茅 話電
番九四九 田墨 場工戸龜



◆値段表送呈◆

純質 キヨス 化粧石鹼

純植物性 キヨスホマード

止荒めれ キヨスクリーム

冬の女王 キヨス 懷爐灰

牛乳石鹼代理店
化粧品石鹼雜貨問屋

立川野立志堂

東京市深川區清澄町一ノ三
電話本所(73)一四六七番



標商錄登



現金勉強主義

婦人小間物問屋

君が代印花笄
月星印ゴム本舗

飛川商店

東京市日本橋區横山町
電話浪花二五六五番
振替東京七一七一二番



香料



輸入商

高級配合香料
香水 香油
白粉 煉油
ポフド 石鹼
飲食料水 藥菓
其他各種原料及香料一般

少量小分販賣 時價表進呈

篠崎四郎商店

東京市日本橋區本町四丁目十五番地
電話・日本橋 (24) 965番
振替・東京 66161番



ユニオン香水

カユミ止め
フケ取り
の第一品!

床 マ キ 香 水
ユニオンデオロコ
本 舗

ユニオン商店

東京日本橋本町三丁目
電話 花浪 〇六九五
振替 東京一四七四七番

UNION

勉 強 の 化粧品石鹼 問 屋

大山勇次郎商店

日本橋町・五番地

電話 花浪 二三五五番

